

厚生労働省発生食 0307 第 7 号  
令和 5 年 3 月 7 日

薬事・食品衛生審議会  
会長 奥田 晴宏 殿

厚生労働大臣 加藤 勝信  
( 公 印 省 略 )

### 諮問書

食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 13 条第 1 項の規定に基づき、下記の事項について、貴会の意見を求めます。

### 記

#### 1 次に掲げる農薬等の食品中の残留基準の設定について

動物用医薬品オルメトプリム  
農薬・添加物ジフェノコナゾール  
農薬インピルフルキサム  
農薬セトキシジム  
農薬ピカルブトラゾクス  
農薬ピジフルメトフェン  
農薬ビフェントリン  
農薬ピリベンカルブ  
農薬フルキサピロキサド

以上

令和5年9月4日

薬事・食品衛生審議会  
食品衛生分科会長 村田 勝敬 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会長 穂山 浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会報告について

令和5年3月7日付け厚生労働省発生食0307第7号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第13条第1項の規定に基づくフルキサピロキサドに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

# フルキサピロキサド

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく農薬登録申請（新規製剤の登録申請）及び適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと並びに関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

## 1. 概要

(1) 品目名：フルキサピロキサド [ Fluxapyroxad (ISO) ]

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺菌剤

カルボキシアミド系殺菌剤であり、ミトコンドリア内呼吸鎖複合体Ⅱを阻害することにより殺菌効果を示すと考えられている。

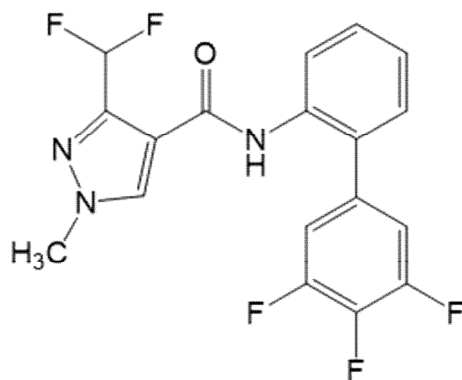
(4) 化学名及びCAS番号

3-(Difluoromethyl)-1-methyl-*N*-(3',4',5'-trifluoro-[1,1'-biphenyl]-2-yl)-1*H*-pyrazole-4-carboxamide (IUPAC)

1*H*-Pyrazole-4-carboxamide, 3-(difluoromethyl)-1-methyl-*N*-

(3',4',5'-trifluoro[1,1'-biphenyl]-2-yl)- (CAS : No. 907204-31-3)

(5) 構造式及び物性



分子式	C <sub>18</sub> H <sub>12</sub> F <sub>5</sub> N <sub>3</sub> O
分子量	381.30
水溶解度	3.88 × 10 <sup>-3</sup> g/L (20°C)
分配係数	log <sub>10</sub> P <sub>ow</sub> = 3.06 (20°C, pH 7)

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

### (1) 国内での使用方法

今般の基準値設定依頼に当たって、農薬取締法に基づく農薬登録申請及び適用拡大申請がなされている項目を四角囲いしている。

#### ① 26.5%フルキサピロキサドフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	そうか病 灰色かび病	3000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
りんご	モニリア病 黒星病 黒点病 赤星病 斑点落葉病 褐斑病 うどんこ病 すす点病 すす斑病						
なし	赤星病 黒斑病 黒星病						
もも類	灰星病 うどんこ病						
小粒核果類	黒星病 灰星病(すもも)						
おうとう	灰星病						

② 18.3%フルキサピロキサドフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
小麦	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	1000～ 1500倍	60～150 L/10 a	根雪前	4回以内	散布	4回以内 (融雪後は 3回以内)
	赤さび病	2000倍					
		8～16倍	0.8 L/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	無人航空機 による散布	
赤かび病	1000倍	60～150 L/10 a			散布		
ばれいしょ	黒あざ病	150倍	—	植付前	1回	瞬時～ 10分 間種い も浸漬	1回
てんさい	根腐病 葉腐病	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内

—：規定されていない項目

③ 7.0%フルキサピロキサド・4.7%ジフェノコナゾールフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
りんご	モニリア病 黒星病 うどんこ病 黒点病 斑点落葉病 赤星病 灰色かび病 褐斑病	2000倍	200～700 L/10 a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内

③ 7.0%フルキサピロキサド・4.7%ジフェノコナゾールフロアブル（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
なし	黒星病 黒斑病 うどんこ病 赤星病 輪紋病						
おうとう	灰星病 炭疽病 幼果菌核病						
もも	灰星病 黒星病						
ネクタリン	ホモプシス腐敗病 うどんこ病			2回以内	2回以内		

④ 4.7%フルキサピロキサド・42.0%ジチアノンフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	そうか病 黒点病 灰色かび病	1000～1500倍	200～700 L/10 a	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	黒星病 すす斑病	1500倍		収穫14日前まで	2回以内		
りんご	モニリア病 黒星病 斑点落葉病 黒点病 褐斑病 うどんこ病 赤星病 炭疽病 輪紋病	1000～1500倍		収穫60日前まで	3回以内		
なし	赤星病 黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病 炭疽病	1500倍					

④ 4.7%フルキサピロキサド・42.0%ジチアノンフロアブル（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
もも	灰星病 黒星病 ホモブシス腐敗病	1500倍	200～700 L/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
ネタリン	縮葉病 せん孔細菌病			収穫14日前 まで	2回以内		3回以内

(2) 海外での使用方法

今般のインポートトレランス申請により残留基準を設定する食品に関する作物名を四角囲いしている。

① 30 w/v%フルキサピロキサド水和剤（米国）

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
あぶらな科葉菜類 花蕾・結球及び茎 (ブロッコリー、カイラン菜、 キャベツ、キャベツ、はく さい、カラン、カブラー、 Cavalo broccolo、コ ールラビ*) 葉菜類 (Broccoli raab、チ ンゲンサイ、コラード、ケール、 みずな、マスタードグリーン、 Mustard spinach、 Rape greens)	Alternaria leaf spot ( <i>Alternaria</i> spp.) Black leg ( <i>Phoma lingam</i> ) Cercospora leaf spot ( <i>Cercospora brassicicola</i> ) Powdery mildew ( <i>Erysiphe polygoni</i> ) Rhizoctonia blight ( <i>Rhizoctonia solani</i> ) Ring spot ( <i>Mycosphaerella brassicicola</i> ) White leaf spot ( <i>Pseudocercospora capsellae</i> ) Sclerotinia stem rot* ( <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> ) Southern blight* ( <i>Sclerotium rolfsii</i> )	74～100 g ai/ha	3回	299 g ai/ha	収穫 3日前 まで	地上散 布、空 中散 布、ス プリン クラー 散布

ai : active ingredient (有効成分)

\* : 抑制効果のみ

\*\* : 防除促進

① 30 w/v% フルキサピロキサド水和剤 (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
ぶどう	Powdery mildew ( <i>Erysiphe necator</i> )	43~97 g ai/ha	6回	584 g ai/ha	収穫 14日前 まで	
	Black rot ( <i>Guignardia bidwellii</i> )	97 g ai/ha				
	Botrytis gray mold ( <i>Botrytis cinerea</i> ) Summer bunch rot** ( <i>Aspergillus</i> spp., <i>Alternaria</i> spp., <i>Botrytis</i> spp., <i>Cladosporium</i> spp., <i>Penicillium</i> spp., <i>Rhizopus</i> spp.)	97~197 g ai/ha	3回	591 g ai/ha		
葉菜類 (あぶらな科 を除く) (アマランサス、アルギモラ、 カドモン、セルリー類、レタス、 チャービル、きくの葉・ 花、コンサラダ、クレソン、 たんぽぽ、ギンギシ、 エンダイブ、フェネル、 レタス、Orach、パセリ、 スベリヒユ、チコリ、ルバ ブ、ほうれんそう、 スイスチャード)	Alternaria leaf spot ( <i>Alternaria</i> spp.) Ascochyta leaf spot ( <i>Ascochyta</i> spp.) Cercospora leaf spot ( <i>Cercospora</i> spp.) Phoma ( <i>Phoma</i> spp.) Powdery mildew ( <i>Erysiphe</i> spp., <i>Phyllactinia</i> spp., <i>Sphaerotheca</i> spp.) Rust ( <i>Puccinia</i> spp., <i>Uromyces</i> spp.) Septoria leaf spot ( <i>Septoria</i> spp.)	74~197 g ai/ha	3回	591 g ai/ha	収穫 1日前 まで	地上 散布、 空中 散布、 スプ リッ クラ ー散 布
	Botrytis rot ( <i>Botrytis</i> spp.) Lettuce drop caused by <i>Sclerotinia minor</i> Lettuce drop* caused by <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	99~197 g ai/ha				



② 6.25 w/v% フルキサピロキサド乳剤 (米国)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
大麦	Black point (Kernel blight or Head mold) ( <i>Cochliobolus sativus</i> , <i>Alternaria</i> spp.) Leaf rust ( <i>Puccinia</i> spp.) Net blotch ( <i>Pyrenophora teres</i> ) Powdery mildew ( <i>Blumeria graminis</i> f. sp. <i>hordei</i> ) Scald ( <i>Rhynchosporium</i> <i>secalis</i> ) Septoria leaf and glume blotch ( <i>Septoria</i> spp., <i>Stagonospora</i> spp.) Spot blotch ( <i>Cochliobolus sativus</i> ) Stem rust ( <i>Puccinia graminis</i> f. sp. <i>tritici</i> ) Stripe rust ( <i>Puccinia striiformis</i> ) Tan spot (Yellow leaf spot) ( <i>Pyrenophora</i> spp.)	50~100 g ai/ha	2回	200 g ai/ha	収穫 21日前 まで	地上散 布、空 中散 布、ス プリン クラー 散布
ソルガム	Gray leaf spot and Cercospora leaf spot ( <i>Cercospora</i> spp.) Northern leaf blight ( <i>Exserohium turcicum</i> ) Rust ( <i>Puccinia</i> spp.) Southern leaf blight And Bipolaris spot ( <i>Bipolaris</i> spp.)	74~100 g ai/ha				

② 6.25 w/v% フルキサピロキサド乳剤 (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
ベリー類及び小粒果樹 類 フッシュベリー類 (ブルーベリー、カント、 エルダベリー、グースベリー、 ハックルベリー) Caneベリー類 (ブラックベリー、ローガン ベリー、ラズベリー等) Low growingベリー類 (Bearberry等)	Alternaria leaf spot and fruit rot ( <i>Alternaria</i> spp.) Botrytis gray mold ( <i>Botrytis cinerea</i> ) Leaf spot and blotch ( <i>Mycosphaerella</i> spp., <i>Septoria</i> spp.) Monilinia blight and mummy berry ( <i>Monilinia</i> spp.) Phomopsis leaf spot, twig blight, and fruit rot ( <i>Phomopsis</i> spp.) Powdery mildew ( <i>Sphaerotheca</i> spp., <i>Microshaera</i> spp., <i>Oidium</i> spp.) Spur blight ( <i>Didymella</i> spp., <i>Phoma</i> spp.) Rust* ( <i>Pucciniastrum</i> spp., <i>Arthuriomyces</i> spp., <i>Phragmidium</i> spp., <i>Kuehneola</i> spp.)	75~200 g ai/ha	3回	600 g ai/ha	収穫 当日 まで	地上散布、 空中散布、 スプリン クラー散 布
あぶらな科葉菜類 花蕾・結球及び茎 (ブロッコリー、カイン菜、 メキャベツ、キャベツ、はく さい、からしな、カリ ラー、Cavalo broccolo、コールラビ) 葉菜類 (Broccoli raab、チン ゲンサイ、コラート、ケール、 みずな、マスタードグリー ン、Mustard spinach、 Rape greens)	Alternaria leaf spot ( <i>Alternaria</i> spp.) Black leg ( <i>Phoma lingam</i> ) Cercospora leaf spot ( <i>Cercospora brassicicola</i> ) Powdery mildew ( <i>Erysiphe polygoni</i> ) Rhizoctonia blight ( <i>Rhizoctonia solani</i> ) Ring spot ( <i>Mycosphaerella brassicicola</i> ) White leaf spot ( <i>Pseudocercosporaella capsellae</i> ) Sclerotinia stem rot* ( <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> ) Southern blight* ( <i>Sclerotium rolfsii</i> )	75~100 g ai/ha		300 g ai/ha	収穫 3日前 まで	

② 6.25 w/v% フルキサピロキサド乳剤 (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
鱗茎菜類 (にら、チャイブ、材ハ ギボウシ、Elegans hosta、フリテリヤ、に んにく類、Kurrat、 Lady's leek、リーキ類、 ワケギ、たまねぎ類、 エシャロット)	Powdery mildew ( <i>Leveillula taurica</i> ) Purple blotch and leaf blight ( <i>Alternaria porri</i> ) Rust ( <i>Puccinia porri</i> ) Stemphylium leaf blight and stalk rot ( <i>Stemphylium vesicarium</i> )	75~200 g ai/ha	3回	600 g ai/ha	収穫 7日前 まで	地上散 布、空 中散 布、ス プリン クラー 散布
	Botrytis leaf blight ( <i>Botrytis</i> spp.) Botrytis neck rot ( <i>Botrytis</i> spp.)	100~200 g ai/ha				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     うり科類 (はやとうり、とう がん、きゅうり、か ぼちゃ、すいか、食 用へちま、 <i>Momordica</i> spp.、マス クメロン類、サマスカッシュ 類、ウィンタースカッシュ類)、 カンタローフ                 </div>	Alternaria leaf blight ( <i>Alternaria cucumerina</i> ) Powdery mildew ( <i>Podosphaera</i> spp., <i>Sphaerotheca</i> spp., <i>Erysiphe</i> spp.)	75~100 g ai/ha	3回	300 g ai/ha	収穫 当日 まで	
	Cercospora leaf spot ( <i>Cercospora citrulina</i> ) Gummy stem blight ( <i>Didymella bryoniae</i> ) Microdochium blight ( <i>Plectosporium tabacinum</i> ) Target leaf spot ( <i>Corynespora cassiicola</i> )	100 g ai/ha				
乾燥豆類 (大豆を除 く) (そらまめ、ヒヨコ豆、 グア、フジ豆、 レンズ豆、キマ、 ルピナス属、インゲン豆 属、エンドウ属、 サガ属)	Alternaria leaf and pod spot ( <i>Alternaria</i> spp.) Ascochyta blight ( <i>Phoma exigua</i> , <i>Ascochyta</i> spp.) Botrytis gray mold ( <i>Botrytis cinerea</i> ) Cercospora leaf spot ( <i>Cercospora</i> spp.) Mycosphaerella blight ( <i>Mycosphaerella spp.</i> ) Powdery mildew ( <i>Erysiphe polygoni</i> ) Rust ( <i>Uromyces appendiculatus</i> ) White mold ( <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> )	200 g ai/ha	2回	400 g ai/ha	収穫 21日前 まで	

② 6.25 w/v% フルキサピロキサド乳剤 (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
なす科野菜 (なす、Ground cherry、ペピーノ、 ペッパー類、トマトイモ、 トマト)	Black mold ( <i>Alternaria alter nata</i> ) Botrytis gray mold ( <i>Botrytis cinerea</i> ) Early blight ( <i>Alternaria solani</i> ) Powdery mildew ( <i>Leveillula taurica</i> ) Septoria leaf spot ( <i>Septoria lycopersici</i> ) Target spot ( <i>Corynespora cassiicola</i> ) White mold ( <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> )	75~100 g ai/ha	3回	300 g ai/ha	収穫 当日 まで	地上散 布、空中 散布、ス プリン クラー 散布
葉菜類 (あぶらな科 を除く) (アマランサス、アルギエラ、 カドゥン、セルリー類、レタス、 チャービル、きくの葉・ 花、コンサラダ、クレソン、 たんぽぽ、ギンギシ、 エンダイブ、フェンネル、レタ ス、Orach、パセリ、スベ リヒユ、チコリ、ルバーブ、 ほうれんそう、スイチ ャート)	Alternaria leaf spot ( <i>Alternaria</i> spp.) Ascochyta leaf spot ( <i>Ascochyta</i> spp.) Cercospora leaf spot ( <i>Cercospora</i> spp.) Phoma ( <i>Phoma</i> spp.) Powdery mildew ( <i>Erysiphe</i> spp., <i>Phyllactinia</i> spp., <i>Sphaerotheca</i> spp.) Rust ( <i>Puccinia</i> spp., <i>Uromyces</i> spp.) Septoria leaf spot ( <i>Septoria</i> spp.)	75~200 g ai/ha		600 g ai/ha	収穫 1日前 まで	
	Botrytis rot ( <i>Botrytis</i> spp.) Lettuce drop caused by <i>Sclerotinia minor</i> Lettuce drop* caused by <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	100~200 g ai/ha				
なたね	Blackleg ( <i>Leptosphaeria maculans</i> ) Blackspot ( <i>Alternaria</i> spp.)	50~100 g ai/ha	2回	200 g ai/ha	収穫 21日前 まで	
	White mold/Sclerotinia stem rot ( <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> )	100 g ai/ha				

② 6.25 w/v%フルキサピロキサド乳剤 (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
ひまわり	Alternaria leaf spot ( <i>Alternaria</i> spp.) Cercospora leaf spot ( <i>Cercospora helianthi</i> ) Powdery mildew ( <i>Erysiphe cichoracearum</i> ) Rust ( <i>Puccinia helianthi</i> , <i>Uromyces</i> spp.) Sclerotinia head blight ( <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> ) Septoria leaf spot ( <i>Septoria</i> spp.)	50~100 g ai/ha	2回	200 g ai/ha	収穫 21日前 まで	地上散 布、空中 散布、ス プリン クラー 散布
根菜類 (てんさいを 除く) (かえんさい、ごぼ う、にんじん、 Celeriac、チャービル、 チコリ、朝鮮人参、西洋 わさび、パセリ、パース ニップ、だいこん類、 ルタバガ、Salsify類、 Skirret、かぶ)	Alternaria leaf spot/blight ( <i>Alternaria</i> spp.) Powdery mildew ( <i>Erysiphe</i> spp., <i>Leveillula</i> spp.)	75~100 g ai/ha	3回	299 g ai/ha	収穫 7日前 まで	
	Cercospora leaf spot/blight ( <i>Cercospora</i> spp.) Sclerotinia white Mold*/cottony rot* ( <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> ) Southern blight* ( <i>Sclerotium rolfsii</i> )	100 g ai/ha				

② 6.25 w/v% フルキサピロキサド乳剤 (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
核果類 (アブリコット類、チェリー 類、ナツメ、ネクタルン、も も、プラム類、plumcot、 スロー)	Alternaria leaf spot ( <i>Alternaria</i> spp.) Blossom blight ( <i>Monilinia</i> spp.) Blue Mold ( <i>Penicillium</i> spp.) Brown rot ( <i>Monilinia</i> spp.) Gray Mold ( <i>Botrytis</i> spp.) Leaf spot ( <i>Blumeriella jaapii</i> ) Powdery mildew ( <i>Sphaerotheca</i> spp., <i>Podosphaera</i> spp.) Ripe fruit rot ( <i>Monilinia fruticola</i> , <i>Monilinia laxa</i> , <i>Botrytis cinerea</i> , <i>Rhizopus</i> spp.) Rust ( <i>Tranzschelia discolor</i> ) Scab ( <i>Cladosporium carpophilum</i> ) Shothole ( <i>Wilsonomyces carpophilus</i> )	123 g ai/ha	3回	369 g ai/ha	収穫 当日 まで	地上散 布、空 中散 布、ス プリン クラー 散布
てんさい	Powdery mildew ( <i>Erysiphe betae</i> ) Rhizoctonia stem canker and crown rot ( <i>Rhizoctonia solani</i> )	50~100 g ai/ha		301 g ai/ha	収穫 7日前 まで	
さとうきび	Brown rust ( <i>Puccinia melanocephala</i> ) Orange rust ( <i>Puccinia kuehnii</i> )	75~125 g ai/ha	2回	250 g ai/ha	収穫 14日前 まで	

② 6.25 w/v % フルキサピロキサド乳剤 (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
ナッツ類 (African nut-tree、アーモンド、 Beechnut、ブラジルナツ ツ、ブラジル松の実、 Bunya、Bur oak、ハ タグルミ、Cajou nut、 Candlenut、カシューナツ、 くり、Chinquapin、 ココナツ、Coquito nut、 Dika nut、ぎんなん、 Guiana chestnut、ヘ ゼルナツ、Heartnut、 ヒッコリーの实、トチの実、 マカデミアナツ、Mongongo nut、Monkey-pot、 Monkey puzzle nut、 Okari nut、Pachira nut、Peach palm nut、 ペカン、Pequi、Pili nut、松の実、ピスタ チオ、Sapucaia nut、 モモタマ、くるみ類、 Yellowhorn)	Alternaria late blight ( <i>Alternaria</i> spp.) Botrytis blossom and shoot blight ( <i>Botrytis cinerea</i> ) Brown rot/ Blossom blight ( <i>Monilinia</i> spp.) Eastern filbert blight ( <i>Anisogramma anomala</i> ) Green fruit rot/ Jacket rot ( <i>Botrytis cinerea</i> , <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> , <i>Monilinia laxa</i> ) Leaf rust ( <i>Tranzschelia discolor</i> ) Panicle and shoot blight ( <i>Botryosphaeria dothidea</i> ) Scab ( <i>Cladosporium carpophilum</i> , <i>C. caryigenum</i> ) Shothole ( <i>Wilsonomyces carpophilus</i> ) Hull rot* ( <i>Rhizopus stolonifer and Monilinia</i> spp.)	75~125 g ai/ha	3回	374 g ai/ha	収穫 14日前 まで	地上散 布、空 中散 布、ス プリン クラー 散布
塊茎及び球茎類 ばれいしょ (arracacha、クスウコ ン、キャッサバ、はやとう り、てよろぎ芋、 chufa、さといも、食 用カネ、しょうが、き くいも、 レン、かんしょ、 tanier、やまいも、 うこん、クス任	Black dot ( <i>Colletotrichum coccodes</i> ) Early blight ( <i>Alternaria solani</i> ) Leaf spot ( <i>Cercospora</i> spp., <i>Alternaria</i> spp.) Powdery mildew ( <i>Erysiphe</i> spp., <i>Leveillula taurica</i> ) Rust ( <i>Uromyces</i> spp., <i>Puccinia</i> spp.)	50~100 g ai/ha		301 g ai/ha	収穫 7日前 まで 植え付け 時	
	White mold ( <i>Sclerotinia sclerotiorum</i> )	100 g ai/ha				

③ 16.7%フルキサピロキサドフロアブル (ブラジル)

作物名	適用	1回当たり 使用量	本剤の 使用 回数	栽培期間中 の総使用量	使用 時期	使用 方法
コーヒー豆	Brown eye spot <i>Cercospora</i> <i>Cercospora coffeicola</i>	83.5～ 100.2 g ai/ha	3回	300.6 g ai/ha	収穫 45日前 まで	地上散 布、空 中散布
	Leek rust <i>Hemileia vastatrix</i>					
マンゴー	Anthraxnose <i>Colletotrichum</i> <i>gloeosporioides</i>	41.75～ 66.8 g ai/ha	4回	267.2 g ai/ha	収穫 7日前 まで	

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、トマト、大豆及び小麦で実施されており、可食部で10%TRR<sup>注)</sup>以上認められた代謝物は、代謝物F002 (大豆) 及び代謝物F048 (大豆) であった。

注) %TRR : 総放射性残留物 (TRR : Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

(2) 家畜代謝試験

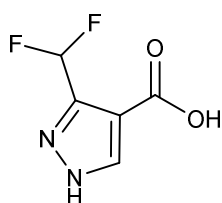
家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物F004 (泌乳山羊の腎臓)、代謝物F008 (泌乳山羊の筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳汁並びに産卵鶏の脂肪及び卵)、代謝物F005/代謝物F024 (泌乳山羊の脂肪及び腎臓)、代謝物F008/代謝物F016 (産卵鶏の筋肉) 及び代謝物F010/代謝物F040 (泌乳山羊の乳汁) であった。



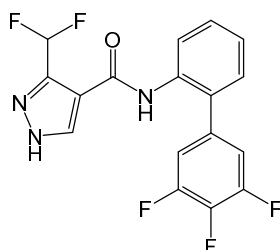
【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
F002	M700F002	3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボン酸
F004	M700F004	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F005	M700F005	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [5-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F008	M700F008	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F010	M700F010	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F016	M700F016	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [メチルチオ-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F024, F040	—	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-3', [4又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F048	M700F048	3-(ジフルオロメチル)-1-グルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド

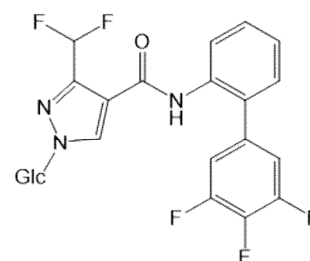
— : JMPRで評価されていない。



代謝物F002



代謝物F008



代謝物F048

注) 残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

## 4. 作物残留試験

### (1) 分析の概要

#### 【国内】

#### ① 分析対象物質

- ・フルキサピロキサド
- ・代謝物F002
- ・代謝物F008
- ・代謝物F048

#### ② 分析法の概要

##### i) フルキサピロキサド

試料からメタノール・水 (4:1) 混液で抽出し、C<sub>18</sub>カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

##### ii) フルキサピロキサド、代謝物F002、代謝物F008及び代謝物F048

試料からメタノール及び水で抽出し、フルキサピロキサド、代謝物F008及び代謝物F048についてはC<sub>18</sub>カラム又はHLBカラムを用いて精製した後、代謝物F002については強陰イオン交換カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

なお、代謝物F002、代謝物F008及び代謝物F048の分析値は、それぞれ換算係数 2.35、1.04及び0.72を用いてフルキサピロキサド濃度に換算した値として示した。

定量限界：フルキサピロキサド	0.005 mg/kg
代謝物F002	0.012 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)
代謝物F008	0.006 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)
代謝物F048	0.004 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)

#### 【海外】

#### ① 分析対象物質

- ・フルキサピロキサド
- ・代謝物F002
- ・代謝物F008
- ・代謝物F048

#### ② 分析法の概要

試料からメタノール・水 (1:1) 混液又は試料に水を加えて30分放置後メタノールで抽出し、2 mol/L塩酸及び飽和塩化ナトリウム溶液を加えて酢酸エチルに転溶する。油脂を含む試料は、イソヘキサン/アセトニトリル分配で脱脂する。LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物F002、代謝物F008及び代謝物F048の分析値は、それぞれ

換算係数2.35、1.04及び0.72を用いてフルキサピロキサド濃度に換算した値として示した。

定量限界：フルキサピロキサド	0.01～0.02 mg/kg
代謝物F002	0.02 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)
代謝物F008	0.01 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)
代謝物F048	0.01 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)

## (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

## 5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留農薬濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

### (1) 分析の概要

#### ① 分析対象物質

- ・フルキサピロキサド
- ・代謝物F002
- ・代謝物F008

#### ② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水(4:1)混液で抽出し、塩酸酸性として酢酸エチルに転溶する。LC-MS/MSで定量する。

なお、代謝物F002及び代謝物F008の分析値は、それぞれ換算係数2.35及び1.04を用いてフルキサピロキサド濃度に換算した値として示した。

定量限界：筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓

フルキサピロキサド	0.01 mg/kg
代謝物F002	0.02 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)
代謝物F008	0.01 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)

乳及び卵

フルキサピロキサド	0.001 mg/kg
代謝物F002	0.002 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)
代謝物F008	0.001 mg/kg (フルキサピロキサド換算濃度)

(2) 家畜残留試験 (動物飼養試験)

① 乳牛における残留試験

乳牛 (Holstein Friesian種、3又は6頭/群 (最高用量群は休薬試験用の3頭を含め6頭)) に対して、フルキサピロキサド及び代謝物F002が飼料中濃度としてそれぞれ3.2+0、6.1+0.1、18.2+0.3及び60.3+1.0 ppmに相当する量を含むゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるフルキサピロキサド、代謝物F002及び代謝物F008の濃度をLC-MS/MSで測定した。乳については、投与開始1、3、5、7、10、14、17、21、24及び28日後に搾乳した乳に含まれるフルキサピロキサド、代謝物F002及び代謝物F008の濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg)

投与群	フルキサピロキサド	3.2 ppm投与群	6.1 ppm投与群	18.2 ppm投与群	60.3 ppm投与群
	代謝物F002	0 ppm投与群	0.1 ppm投与群	0.3 ppm投与群	1.0 ppm投与群
筋肉	フルキサピロキサド	ND (最大) ND (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.012 (最大) 0.011 (平均)
	代謝物F002	ND (最大) ND (平均)	ND (最大) ND (平均)	ND (最大) ND (平均)	ND (最大) ND (平均)
	代謝物F008	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.031 (最大) 0.024 (平均)
	フルキサピロキサド + 代謝物F008	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.043 (最大) 0.035 (平均)
脂肪	フルキサピロキサド	0.011 (最大) 0.011 (平均)	0.024 (最大) 0.019 (平均)	0.059 (最大) 0.045 (平均)	0.17 (最大) 0.15 (平均)
	代謝物F002	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)
	代謝物F008	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.032 (最大) 0.025 (平均)	0.13 (最大) 0.11 (平均)
	フルキサピロキサド + 代謝物F008	0.021 (最大) 0.021 (平均)	0.034 (最大) 0.029 (平均)	0.091 (最大) 0.070 (平均)	0.30 (最大) 0.26 (平均)
肝臓	フルキサピロキサド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.015 (最大) 0.013 (平均)	0.032 (最大) 0.031 (平均)	0.094 (最大) 0.085 (平均)
	代謝物F002	ND (最大) ND (平均)	ND (最大) ND (平均)	ND (最大) ND (平均)	ND (最大) ND (平均)
	代謝物F008	0.032 (最大) 0.023 (平均)	0.051 (最大) 0.038 (平均)	0.11 (最大) 0.088 (平均)	0.35 (最大) 0.26 (平均)
	フルキサピロキサド + 代謝物F008	0.042 (最大) 0.033 (平均)	0.066 (最大) 0.051 (平均)	0.142 (最大) 0.119 (平均)	0.444 (最大) 0.345 (平均)
腎臓	フルキサピロキサド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.019 (最大) 0.014 (平均)
	代謝物F002	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)
	代謝物F008	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.011 (最大) 0.011 (平均)	0.021 (最大) 0.017 (平均)	0.076 (最大) 0.050 (平均)
	フルキサピロキサド + 代謝物F008	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.021 (最大) 0.021 (平均)	0.031 (最大) 0.027 (平均)	0.095 (最大) 0.064 (平均)

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

投与群	フルキサピロキサド	3.2 ppm投与群	6.1 ppm投与群	18.2 ppm投与群	60.3 ppm投与群
	代謝物F002	0 ppm投与群	0.1 ppm投与群	0.3 ppm投与群	1.0 ppm投与群
乳 <sup>注)</sup>	フルキサピロキサド	0.0010 (平均)	0.0016 (平均)	0.0041 (平均)	0.014 (平均)
	代謝物F002	<0.002 (平均)	<0.002 (平均)	<0.002 (平均)	<0.002 (平均)
	代謝物F008	0.0012 (平均)	0.0015 (平均)	0.0035 (平均)	0.013 (平均)
	フルキサピロキサド+ 代謝物F008	0.0022 (平均)	0.0031 (平均)	0.0076 (平均)	0.027 (平均)

定量限界：筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓

フルキサピロキサド及び代謝物F008 0.01 mg/kg、代謝物F002 0.02 mg/kg

乳

フルキサピロキサド及び代謝物F008 0.001 mg/kg、代謝物F002 0.002 mg/kg

ND：検出せず(検出限界：フルキサピロキサド:0.000153 mg/kg、代謝物F002:0.0000487 mg/kg、代謝物F008:0.000232 mg/kg)

最大残留濃度は、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓では各群の個体別最大残留濃度、乳では各群の平均値の残留濃度を示す。

筋肉のNDは、LOQ=0.01 mg/kgとして代謝物F008との合計値を計算した。

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

上記の結果に関連して、JMPRは、肉牛及び乳牛の最大飼料由来負荷<sup>注1)</sup>をそれぞれ40.7及び39.2 ppm、平均的飼料由来負荷<sup>注2)</sup>をそれぞれ11.4及び9.37 ppmと評価している。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum dietary burden)：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (Mean dietary burden)：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

## ② 産卵鶏における残留試験

産卵鶏 (ISA Warren種、10羽/群) に対して、フルキサピロキサド及び代謝物F002が飼料中濃度として0.3+0.025、0.6+0.05、1.8+0.15及び6.0+0.50 ppmに相当する量を含むゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪及び肝臓に含まれるフルキサピロキサド、代謝物F002及び代謝物F008の濃度をLC-MS/MSで測定した。また、卵については、最終投与1、3、5、7、9、13、16、20、23及び27日後に採取し、フルキサピロキサド、代謝物F002及び代謝物F008の濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表2を参照。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度 (mg/kg)

投与群	フルキサピロキサド	0.3 ppm投与群	0.6 ppm投与群	1.8 ppm投与群	6.0 ppm投与群
	代謝物F002	0.025 ppm投与群	0.05 ppm投与群	0.15 ppm投与群	0.50 ppm投与群
筋肉	フルキサピロキサド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物F002	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)
	代謝物F008	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	フルキサピロキサド+ 代謝物F008	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)
脂肪	フルキサピロキサド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.028 (最大) 0.025 (平均)
	代謝物F002	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)
	代謝物F008	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.016 (最大) 0.014 (平均)
	フルキサピロキサド+ 代謝物F008	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.044 (最大) 0.039 (平均)
肝臓	フルキサピロキサド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物F002	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)
	代謝物F008	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.011 (最大) 0.010 (平均)	0.018 (最大) 0.014 (平均)
	フルキサピロキサド+ 代謝物F008	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.021 (最大) 0.020 (平均)	0.028 (最大) 0.024 (平均)
卵 (平均)	フルキサピロキサド	0.0014 (最大) 0.0010 (平均)	0.0017 (最大) 0.0011 (平均)	0.0028 (最大) 0.0015 (平均)	0.0065 (最大) 0.0041 (平均)
	代謝物F002	<0.002 (最大) <0.002 (平均)	<0.002 (最大) <0.002 (平均)	<0.002 (最大) <0.002 (平均)	<0.002 (最大) <0.002 (平均)
	代謝物F008	<0.001 (最大) <0.001 (平均)	0.0017 (最大) 0.0012 (平均)	0.0048 (最大) 0.0036 (平均)	0.013 (最大) 0.0095 (平均)
	フルキサピロキサド+ 代謝物F008	0.0024 (最大) 0.002 (平均)	0.0034 (最大) 0.0023 (平均)	0.0076 (最大) 0.0051 (平均)	0.0195 (最大) 0.0136 (平均)

定量限界：フルキサピロキサド及び代謝物F008 筋肉、脂肪及び肝臓0.01 mg/kg、卵0.001 mg/kg

代謝物F002 筋肉、脂肪及び肝臓0.02 mg/kg、卵0.002 mg/kg

上記の結果に関連して、JMPRは、産卵鶏における最大飼料由来負荷を7.1 ppm、平均的飼料由来負荷を2.10 ppmと評価している。

### (3) 推定残留濃度

牛及び鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。最大推定残留濃度については、フルキサピロキサドの濃度で示し、平均的推定残留濃度については、フルキサピロキサド及び代謝物F008をフルキサピロキサドに換算した濃度の合計濃度で示した。結果は表3-1及び表3-2を参照。なお、

国内の最大飼料由来負荷がJMPRの最大飼料由来負荷を上回らないことから、JMPRの最大飼料由来負荷又は平均的飼料由来負荷を使用した。

表3-1. 畜産物中の推定残留濃度：牛(mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.011 (<0.020)	0.114 (0.040)	0.063 (0.069)	0.014 (0.023)	0.009 (0.004)
肉用牛	0.011 (<0.020)	0.118 (0.047)	0.065 (0.081)	0.015 (0.024)	

上段：最大残留濃度\* 下段括弧内：平均的な残留濃度\*\*\*

\*：フルキサピロキサドのみを含む。

\*\*\*：フルキサピロキサド及び代謝物F008を含む。

表3-2. 畜産物中の推定残留濃度：鶏(mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
産卵鶏	0.010 (0.020)	0.033 (0.021)	0.010 (0.020)	0.007 (0.006)
肉用鶏	0.010 (0.020)	0.033 (0.021)	0.010 (0.020)	

上段：最大残留濃度\* 下段括弧内：平均的な残留濃度\*\*\*

\*：フルキサピロキサドのみを含む。

\*\*\*：フルキサピロキサド及び代謝物F008を含む。

## 6. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフルキサピロキサドに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

### (1) ADI

無毒性量：2.1 mg/kg 体重/day

(動物種) 雄ラット

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(期間) 2年間

安全係数：100

ADI：0.021 mg/kg 体重/day

ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験では、肝臓において、雌雄で肝細胞腫瘍が増加し、甲状腺において、雄で腺腫及び癌の合計が増加したが、メカニズム試験

及び遺伝毒性試験の結果から、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

(参考)

フルキサピロキサド（原体）の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣由来細胞（CHO-K1）を用いた遺伝子突然変異試験、チャイニーズハムスター肺由来細胞（V79）を用いた染色体異常試験、ラットを用いた肝細胞UDS<sup>注1)</sup>試験及びマウスを用いた小核試験が実施された。（中略）

一部の *in vitro* 染色体異常試験<sup>注2)</sup>において陽性であったが、*in vivo*でのUDS試験及び小核試験を含むその他試験では全て陰性であったことから、フルキサピロキサドに生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。

注1) 不定期DNA合成

注2) チャイニーズハムスター肺由来細胞（V79）を用いた染色体異常試験

## (2) ARfD

無毒性量：125 mg/kg体重

(動物種) ラット

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：1.2 mg/kg 体重

## 7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2012年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は小麦、大豆等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国において穀類、畜産物等に、カナダにおいて大麦、あんず等に、EUにおいて豆類、もも等に、豪州において穀類、畜産物等に、ニュージーランドにおいてりんご、大麦等に基準値が設定されている。

## 8. 残留規制

### (1) 残留の規制対象

フルキサピロキサドとする。

植物代謝試験において代謝物F002及び代謝物F048が10%TRR以上認められ、一部の作物残留試験において分析が行われているが、主要な残留物はフルキサピロキサドであること及びJMPRの評価において規制対象をフルキサピロキサドとしていることも踏まえ、これらの代謝物は農産物の規制対象に含めないこととする。



家畜代謝試験において、代謝物F004、代謝物F008、代謝物F005/代謝物F024、代謝物F008/代謝物F016及び代謝物F010/代謝物F040が10%TRR以上認められた。家畜残留試験において、代謝物F008は一部の組織でフルキサピロキサドより高い残留試験結果が認められたが、最大飼料由来負荷相当におけるフルキサピロキサド及び代謝物の残留濃度から、残留の指標としてはフルキサピロキサドのみを確認することで十分と考えられること及びJMPRの評価において規制対象をフルキサピロキサドとしていることも踏まえ、これらの代謝物を畜産物の規制対象に含めないこととする。

## (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

## 9. 暴露評価

### (1) 暴露評価対象

農産物にあってはフルキサピロキサド、代謝物F008及び代謝物F048とし、畜産物にあっては、フルキサピロキサド及び代謝物F008とする。

植物代謝試験において代謝物F002及び代謝物F048が10%TRR以上認められているが、代謝物F002は、測定されているほとんどの作物残留試験において定量限界未満であり、暴露評価対象には含めないこととする。代謝物F008及び代謝物F048は、測定されている一部の作物残留試験において残留が認められることから暴露評価対象に含めることとする。

家畜代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物F004、代謝物F008、代謝物F005/代謝物F024、代謝物F008/代謝物F016及び代謝物F010/代謝物F040であった。家畜残留試験において、代謝物F008については残留が認められたことから、畜産物の暴露評価対象へ含めることとする。また、代謝物F008以外の代謝物は、平均的飼料由来負荷相当の濃度では定量限界未満と推定されることから、畜産物の暴露評価対象には含めないこととする。

JMPRの評価においても、農産物の暴露評価対象物質をフルキサピロキサド、代謝物F008及び代謝物F048とし、畜産物の暴露評価対象物質をフルキサピロキサド及び代謝物F008としている。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中及び畜産物中の暴露評価対象物質をフルキサピロキサド（親化合物のみ）としている。

### (2) 暴露評価結果

#### ① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) <sup>注)</sup>
国民全体 (1歳以上)	38.4
幼小児 (1～6歳)	74.2
妊婦	34.8
高齢者 (65歳以上)	43.1

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

## ② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1～6歳) のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量 (ARFD) を超えていない<sup>注)</sup>。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	各化合物の残留濃度 (mg/kg) <sup>注2)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦 (脱穀種子)	3	18.3%フロアブル	1000倍散布 100 L/10 a根雪前 +140~145 L/10 a生育期	1+3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.472	圃場A:0.462/<0.012/*0.007/<0.004 (*4回, 28日)
			1000倍散布 120 L/10 a根雪前 +150 L/10 a生育期			圃場B:0.308	圃場B:0.298/<0.012/<0.006/<0.004
			1000倍散布 83 L/10 a根雪前 +150 L/10 a生育期			圃場C:0.362	圃場C:0.348/<0.012/*0.011/<0.004 (*4回, 14日)
	3	18.3%フロアブル	1000倍散布 150 L/10 a根雪前 +150 L/10 a生育期	1+3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.285	圃場A:0.272/<0.012/<0.009/<0.004
			1000倍散布 126 L/10 a根雪前 +126 L/10 a生育期			圃場B:0.825	圃場B:0.804/<0.012/<0.017/<0.004
			1000倍散布 100 L/10 a根雪前 +100 L/10 a生育期			圃場C:0.216	圃場C:0.206/<0.012/<0.006/<0.004
ばれいしょ (塊茎)	3	18.3%フロアブル	150倍浸漬処理 9 L/種芋5 kg	1	91, 98, 105	圃場A:<0.015 (*1回, 91日)	圃場A:*<0.005/*<0.012/*<0.006/*<0.004 (*1回, 91日)
			150倍浸漬処理 12 L/種芋100個			圃場B:<0.015 (*1回, 91日)	圃場B:*<0.005/*<0.012/*<0.006/*<0.004 (*1回, 91日)
			150倍浸漬処理 15 L/種芋70個		76, 83, 90	圃場C:<0.015 (*1回, 76日)	圃場C:*<0.005/*<0.012/*<0.006/*<0.004 (*1回, 76日)
てんさい (根節)	3	18.3%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.062 圃場B:0.034 (*3回, 14日) 圃場C:0.056 (*3回, 14日)	圃場A:0.052/<0.012/<0.006/<0.004 圃場B:*0.024/<0.012/<0.006/<0.004 (*3回, 14日) 圃場C:*0.046/<0.012/<0.006/<0.004 (*3回, 14日)
温州みかん (果肉)	6	26.5%フロアブル	3000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.017 (3回, 3日)	圃場A:0.012/-/-/ (3回, 3日)
			3000倍散布 600 L/10 a			圃場B:0.017	圃場B:0.012/-/-/
			3000倍散布 667 L/10 a			圃場C:0.02 (3回, 3日)	圃場C:0.014/-/-/ (3回, 3日)
	26.5%フロアブル	3000倍散布 600 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.043 (3回, 7日)	圃場A:0.030/-/-/ (3回, 7日)	
		3000倍散布 667 L/10 a			圃場B:0.066	圃場B:0.046/-/-/	
		3000倍散布 640 L/10 a			圃場C:0.129 (3回, 3日)	圃場C:0.090/-/-/ (3回, 3日)	
温州みかん (果皮)	6	26.5%フロアブル	3000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:8.215	圃場A:5.74/-/-/
			3000倍散布 600 L/10 a			圃場B:4.436	圃場B:3.10/-/-/
			3000倍散布 667 L/10 a			圃場C:5.953	圃場C:4.16/-/-/
	26.5%フロアブル	3000倍散布 600 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:6.082	圃場A:4.25/-/-/	
		3000倍散布 667 L/10 a			圃場B:11.206	圃場B:7.83/-/-/	
		3000倍散布 640 L/10 a			圃場C:15.742 (3回, 3日)	圃場C:11.0/-/-/ (3回, 3日)	
温州みかん (果実)	6	26.5%フロアブル	3000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.631 (3回, 3日)	圃場A:1.14 <sup>注3)</sup> /-/-/ (3回, 3日)
			3000倍散布 600 L/10 a			圃場B:0.972	圃場B:0.679 <sup>注3)</sup> /-/-/
			3000倍散布 667 L/10 a			圃場C:0.983 (3回, 3日)	圃場C:0.687 <sup>注3)</sup> /-/-/ (3回, 3日)
	26.5%フロアブル	3000倍散布 600 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.189	圃場A:0.831 <sup>注3)</sup> /-/-/	
		3000倍散布 667 L/10 a			圃場B:2.175	圃場B:1.52 <sup>注3)</sup> /-/-/	
		3000倍散布 640 L/10 a			圃場C:3.435 (3回, 3日)	圃場C:2.40 <sup>注3)</sup> /-/-/ (3回, 3日)	
かぼす (果実)	1	26.5%フロアブル	3000倍散布 578 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:2.147	圃場A:1.50/-/-/
すだち (果実)	1	26.5%フロアブル	3000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.916 (3回, 3日)	圃場A:0.640/-/-/ (3回, 3日)
ゆず (果実)	1	26.5%フロアブル	3000倍散布 522 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.101	圃場A:0.769/-/-/
りんご (果実)	3	7.0%フロアブル	2000倍散布 450 L/10 a	3	14, 21, 28, 45	圃場A:0.126	圃場A:0.116/<0.012/<0.006/<0.004
			2000倍散布 440 L/10 a			圃場B:0.086 (*3回, 21日)	圃場B:*0.076/<0.012/<0.006/<0.004 (*3回, 21日)
			2000倍散布 450 L/10 a			圃場C:0.225 (*3回, 21日)	圃場C:*0.202/<0.012/<0.024/<0.004 (*3回, 21日)
	3	7.0%フロアブル	2000倍散布 350 L/10 a	3	14, 21, 28, 45	圃場A:0.11	圃場A:0.100/<0.012/<0.006/<0.004
			2000倍散布 357 L/10 a			圃場B:0.056 (*3回, 28日)	圃場B:*0.046/<0.012/<0.006/<0.004 (*3回, 28日)
			2000倍散布 350 L/10 a			圃場C:0.105 (*3回, 21日)	圃場C:*0.086/<0.012/*0.019/<0.004 (*3回, 21日、**3回, 28日)
	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 350 L/10 a	3	14, 21, 28, 45	圃場A:0.192	圃場A:0.182/<0.012/<0.006/<0.004
			2000倍散布 400 L/10 a			圃場B:0.096	圃場B:0.086/<0.012/<0.006/<0.004

## フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	各化合物の残留濃度 (mg/kg) <sup>注2)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
りんご (果実)	6	26.5%フロアブル	3000倍散布 450 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.918	圃場A:1.340/-/-
			3000倍散布 458 L/10 a			圃場B:1.574 (3回, 3日)	圃場B:1.10/-/- (3回, 3日)
			3000倍散布 500 L/10 a			圃場C:1.818	圃場C:1.27/-/-
		26.5%フロアブル	3000倍散布 450 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.205 (3回, 3日)	圃場A:0.842/-/- (3回, 3日)
			3000倍散布 429 L/10 a			圃場B:0.613 (3回, 7日)	圃場B:0.428/-/- (3回, 7日)
			3000倍散布 450 L/10 a			圃場C:0.916 (3回, 3日)	圃場C:0.640/-/- (3回, 3日)
なし (果実)	3	7.0%フロアブル	2000倍散布 500 L/10 a	3	14, 21, 28, 45	圃場A:0.167	圃場A:0.157/<0.012/<0.006/<0.004
			2000倍散布 480 L/10 a			圃場B:0.126	圃場B:0.116/<0.012/<0.006/<0.004
			2000倍散布 400 L/10 a			圃場C:0.196	圃場C:0.186/<0.012/<0.006/<0.004
	3	7.0%フロアブル	2000倍散布 433 L/10 a	3	14, 21, 28, 42	圃場A:0.137 (*3回, 28日)	圃場A:*0.127/<0.012/*0.006/<0.004 (*3回, 28日、**3回, 42日)
			2000倍散布 500 L/10 a			圃場B:0.134	圃場B:0.124/<0.012/<0.006/<0.004
			2000倍散布 467~470 L/10 a			圃場C:0.302	圃場C:0.292/<0.012/<0.006/<0.004
	6	26.5%フロアブル	3000倍散布 462 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.614	圃場A:0.429/-/-
			3000倍散布 480 L/10 a			圃場B:0.395	圃場B:0.276/-/-
			3000倍散布 407 L/10 a			圃場C:0.382	圃場C:0.267/-/-
		26.5%フロアブル	3000倍散布 480 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.517	圃場A:0.361/-/-
			3000倍散布 500 L/10 a			圃場B:0.595	圃場B:0.416/-/-
			3000倍散布 460 L/10 a			圃場C:0.796 (3回, 3日)	圃場C:0.556/-/- (3回, 3日)
ネクタリン (果実)	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 350 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.580	圃場A:0.542/<0.012/*0.075/<0.004 (*2回, 14日)
			2000倍散布 333 L/10 a			圃場B:0.185	圃場B:0.169/<0.012/*0.014/<0.004 (*2回, 3日)
	2	26.5%フロアブル	3000倍散布 375 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.937	圃場A:0.655/-/-
			3000倍散布 360 L/10 a			圃場B:0.653 (3回, 3日)	圃場B:0.456/-/- (3回, 3日)
もも (果肉)	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 320 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.025 (*3回, 7日)	圃場A:*0.014/<0.012/*0.009/<0.004 (*3回, 7日、**3回, 14日)
			2000倍散布 333 L/10 a			圃場B:0.017	圃場B:0.007/<0.012/<0.006/<0.004
	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 333 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.015	圃場A:<0.005/<0.012/<0.006/<0.004
			2000倍散布 350 L/10 a			圃場B:0.069 (*3回, 3日)	圃場B:*0.039/<0.012/*0.026/<0.004 (*3回, 3日)
	3	26.5%フロアブル	3000倍散布 440 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.080 (3回, 7日)	圃場A:0.056/-/- (3回, 7日)
			3000倍散布 476 L/10 a			圃場B:0.049 (3回, 3日)	圃場B:0.034/-/- (3回, 3日)
3000倍散布 480 L/10 a	圃場C:0.029	圃場C:0.020/-/-					
もも (果皮)	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 320 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.621	圃場A:0.597/<0.012/*0.044/<0.004 (*3回, 14日)
			2000倍散布 333 L/10 a			圃場B:1.134	圃場B:1.12/<0.012/*0.024/<0.004 (*3回, 14日)
	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 333 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.444	圃場A:0.432/<0.012/*0.017/<0.004 (*3回, 14日)
			2000倍散布 350 L/10 a			圃場B:1.699 (*3回, 3日)	圃場B:*1.60/<0.012/*0.102/*0.004 (*3回, 3日、**3回, 7日、***3回, 14日)
もも (果実)	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 320 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.141 <sup>注4)</sup>	圃場A:0.129 <sup>注4)</sup> /<0.012/*0.015 <sup>注4)</sup> /<0.004 (*3回, 14日)
			2000倍散布 333 L/10 a			圃場B:0.164 <sup>注4)</sup>	圃場B:0.154 <sup>注4)</sup> /<0.012/*0.008 <sup>注4)</sup> /<0.004 (*3回, 14日)
	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 333 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.106 <sup>注4)</sup>	圃場A:0.096 <sup>注4)</sup> /<0.012/*0.007 <sup>注4)</sup> /<0.004 (*3回, 7日)
			2000倍散布 350 L/10 a			圃場B:*0.366 <sup>注4)</sup> (*3回, 3日)	圃場B:*0.325 <sup>注4)</sup> /<0.012/*0.037 <sup>注4)</sup> /<0.004 (*3回, 3日)
	3	26.5%フロアブル	3000倍散布 440 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.721 (3回, 3日)	圃場A:0.504 <sup>注4)</sup> /-/- (3回, 3日)
			3000倍散布 476 L/10 a			圃場B:0.723 (3回, 3日)	圃場B:0.505 <sup>注4)</sup> /-/- (3回, 3日)
3000倍散布 480 L/10 a			圃場C:0.495			圃場C:0.346 <sup>注4)</sup> /-/-	
うめ (果実)	3	26.5%フロアブル	3000倍散布 329 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:4.122	圃場A:2.880/-/-
			3000倍散布 333 L/10 a			圃場B:0.658	圃場B:0.460/-/-
			3000倍散布 400 L/10 a			圃場C:2.204	圃場C:1.540/-/-
すもも (果実)	2	26.5%フロアブル	3000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.249	圃場A:0.174/-/-
			3000倍散布 467 L/10 a			圃場B:0.200	圃場B:0.140/-/-

## フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	各化合物の残留濃度 (mg/kg) <sup>注2)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
おうとう (果実)	2	7.0%フロアブル	2000倍散布 462 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.371	圃場A:0.958/<0.012/*0.414/*0.009 (*3回, 7日)
			2000倍散布 450 L/10 a			圃場B:1.732	
	3	26.5%フロアブル	3000倍散布 417 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:2.991	圃場A:2.09/-/-/-
			3000倍散布 487 L/10 a			圃場B:1.488	圃場B:1.04/-/-/-
			3000倍散布 467 L/10 a			圃場C:3.864	圃場C:2.70/-/-/-
			3000倍散布 467 L/10 a				

-: 分析せず

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注1) フルキサピロキサド、代謝物F008及び代謝物F048の合計濃度(フルキサピロキサドに換算した値)を示した。温州みかん、かぼす、すだち、ゆず、りんご、なし、ネクタリン、もも、うめ、すもも及びおうとうの代謝物F008及び代謝物F048の測定値は、おうとう (PHI=1日) から得られたフルキサピロキサド、代謝物F008及び代謝物F048の残留濃度から求めた補正係数1.431を用いてこれらの残留物の合計値を算出した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。代謝物F002、代謝物F008及び代謝物F048の残留濃度は、フルキサピロキサド濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について( )内に記載した。

注3) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 果肉、果皮及び種子の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	最大残留濃度 (mg/kg) <sup>注1)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】																					
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数																							
ソルガム (穀粒)	9	6.25 w/v%乳剤	197~203 g ai/ha 茎葉処理	2	20	圃場A:0.16 圃場B:0.33 圃場C:0.14 圃場D:0.2 圃場E:0.42 圃場F:0.18 圃場G:0.31 圃場H:0.22	圃場A:0.14/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.31/<0.01/<0.01/<0.01 圃場C:0.12/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.15/<0.01/<0.04/<0.01 圃場E:0.40/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:0.16/<0.01/<0.01/<0.01 圃場G:0.24/<0.01/<0.06/<0.01 圃場H:0.20/<0.01/<0.01/<0.01																					
					21	圃場I:0.2 圃場A:0.54 圃場B:0.41	圃場I:0.18/<0.01/<0.01/<0.01 圃場A:0.52/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.38/<0.01/<0.02/<0.01																					
					22	圃場C:<0.03 圃場D:0.56 圃場E:0.41	圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.54/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:0.39/<0.01/<0.01/<0.01																					
					23	圃場F:0.55 圃場G:0.89 圃場H:1.04 圃場I:0.85 圃場J:0.53	圃場F:0.52/<0.01/<0.02/<0.01 圃場G:0.87/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:1.02/<0.01/<0.01/<0.01 圃場I:0.82/<0.01/<0.02/<0.01 圃場J:0.50/<0.01/<0.02/<0.01																					
					20, 21, 25, 27, 31	圃場K:0.45 (2回, 27日)	圃場K:*0.41/<0.01/*0.03/<0.01 (*2回, 27日、**2回, 25日)																					
					20	圃場L:1.27	圃場L:1.22/<0.01/<0.04/<0.01																					
					インゲン (乾燥子実)	11	6.25 w/v%乳剤	195~202 g ai/ha 茎葉処理	2	21	圃場A:<0.03 (#) 圃場B:<0.03 (#) 圃場C:<0.03 (#) 圃場D:0.13 (#) 圃場E:0.06 (#) 圃場F:0.04 (#) 圃場G:0.06 (#) 圃場H:0.03 (#) 圃場I:0.04 (#)	圃場A:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場D:0.10/<0.01/<0.02/<0.01 (#) 圃場E:0.04/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場F:0.02/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場G:0.04/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場H:0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場I:0.02/<0.01/<0.01/<0.01 (#)																
										22	圃場J:<0.03 (#) 圃場K:0.03 (#)	圃場J:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場K:0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)																
										11	6.25 w/v%乳剤	398~413 g ai/ha 茎葉処理	2	21	圃場A:0.03 圃場B:0.04 圃場C:0.03 圃場D:0.24 圃場E:0.07 圃場F:0.06 圃場G:0.09 圃場H:0.05 圃場I:0.06	圃場A:0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.02/<0.01/<0.01/<0.01 圃場C:0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.20/<0.01/<0.03/<0.01 圃場E:0.05/<0.01/<0.01/<0.01 圃場F:0.04/<0.01/<0.01/<0.01 圃場G:0.07/<0.01/<0.01/<0.01 圃場H:0.03/<0.01/<0.01/<0.01 圃場I:0.04/<0.01/<0.01/<0.01												
22	圃場J:0.04 圃場K:0.07	圃場J:0.02/<0.01/<0.01/<0.01 圃場K:0.04/<0.01/<0.02/<0.01																										
ラディッシュ (根)	5	6.25 w/v%乳剤	295.82 g ai/ha散布 299.75 g ai/ha散布 299.89 g ai/ha散布 302.54 g ai/ha散布 301.22 g ai/ha散布	3										7	圃場A:0.06 圃場B:0.06 圃場C:0.05 圃場D:0.12 圃場E:0.12	圃場A:0.04/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B:0.04/<0.01/<0.01/<0.01 圃場C:0.03/<0.01/<0.01/<0.01 圃場D:0.1/<0.01/<0.01/<0.01 圃場E:0.1/<0.01/<0.01/<0.01												
															キャベツ (外葉なし結球)	6	6.25 w/v%乳剤	308 g ai/ha散布 303 g ai/ha散布 303 g ai/ha散布 303 g ai/ha散布 306 g ai/ha散布 610 g ai/ha散布	3	0, 3	圃場A:0.16 圃場B:0.15 (3回, 5日) 圃場C:0.09 圃場D:0.12 圃場E:1.27 圃場F:0.09 (#)	圃場A:0.14/<0.02/<0.01/<0.01 圃場B:*0.13/<0.02/<0.01/*0.01 (*3回, 5日) 圃場C:0.07/<0.02/<0.01/<0.01 圃場D:0.10/<0.02/<0.01/<0.01 圃場E:1.23/<0.02/<0.02/<0.02 圃場F:0.07/<0.02/<0.01/<0.01 (#)						
																					1	30 w/v% 水和剤	306 g ai/ha散布	圃場G:0.24	圃場G:0.22/<0.02/<0.01/<0.01			
																					キャベツ (外葉なし結球)	6	6.25 w/v%乳剤	308 g ai/ha散布 303 g ai/ha散布 303 g ai/ha散布 303 g ai/ha散布 306 g ai/ha散布 610 g ai/ha散布	3	0, 3	圃場A:0.06 圃場B:0.03 圃場C:<0.03 圃場D:0.06 圃場E:0.09 圃場F:0.03 (#)	圃場A:0.04/<0.02/<0.01/<0.01 圃場B:0.01/<0.02/<0.01/<0.01 圃場C:<0.01/<0.02/<0.01/<0.01 圃場D:0.04/<0.02/<0.01/<0.01 圃場E:0.07/<0.02/<0.01/<0.01 圃場F:0.01/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
																											1	30 w/v% 水和剤
マスタードグ リーン (葉)	5	6.25 w/v%乳剤	303 g ai/ha散布 303 g ai/ha散布 305 g ai/ha散布 315 g ai/ha散布 305 g ai/ha散布	3		0, 3	圃場A:3.1 圃場B:2.67 圃場C:0.92 圃場D:1.68 圃場E:1.34	圃場A:1.72/<0.02/<0.42/<0.96 圃場B:1.87/<0.02/<0.36/<0.44 圃場C:0.56/<0.02/<0.18/<0.18 圃場D:0.48/<0.02/<0.24/<0.96 圃場E:0.90/<0.02/<0.22/<0.22																				

フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	最大残留濃度 (mg/kg) <sup>注1)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ブロッコリー (花蕾)	8	6.25 w/v% 乳剤	300 g ai/ha散布	3	0, 1, 3, 5, 7	圃場A: 1.45	圃場A: 1.22/<0.02/0.08/*0.16 (*3回, 5日)
			607 g ai/ha散布			圃場B: 0.3 (#)	圃場B: 0.28/<0.02/0.01/0.01 (#)
			610 g ai/ha散布			圃場C: 0.6 (#)	圃場C: 0.57/<0.02/0.02/0.01 (#)
			309 g ai/ha散布			圃場D: 0.35	圃場D: 0.32/<0.02/0.02/<0.01
		30 w/v% 水和剤	306 g ai/ha散布			圃場E: 0.1	圃場E: 0.08/<0.02/<0.01/<0.01
			308 g ai/ha散布			圃場F: 0.18	圃場F: 0.16/<0.02/<0.01/<0.01
			305 g ai/ha散布			圃場G: 0.37	圃場G: 0.35/<0.02/0.01/<0.01
			305 g ai/ha散布			圃場H: 0.12	圃場H: 0.10/<0.02/<0.01/<0.01
結球レタス (結球)	6	30 w/v% 水和剤	606 g ai/ha散布	3	0, 1	圃場A: 0.52	圃場A: 0.50/-/<0.01/<0.01
			606 g ai/ha散布			圃場B: 0.16	圃場B: 0.14/-/<0.01/<0.01
		6.25 w/v%乳剤	608 g ai/ha散布			圃場C: 1.12	圃場C: 1.10/-/<0.01/<0.01
			606 g ai/ha散布			圃場D: 1.94	圃場D: 1.92/-/<0.01/<0.01
			609 g ai/ha散布			圃場E: 0.48	圃場E: 0.46/-/<0.01/<0.01
			608 g ai/ha散布			圃場F: 1.98	圃場F: 1.96/-/<0.01/<0.01
非結球レタス (葉)	6	30 w/v% 水和剤	606 g ai/ha散布	3	0, 1	圃場A: 6.23	圃場A: 6.18/-/0.04/<0.01
			606 g ai/ha散布			圃場B: 3.43	圃場B: 3.32/-/0.10/<0.01
			612 g ai/ha散布			圃場C: 3.55	圃場C: 3.50/-/0.04/<0.01
			604 g ai/ha散布			圃場D: 4.43	圃場D: 4.40/-/0.02/<0.01
		6.25 w/v%乳剤	609 g ai/ha散布			圃場E: 2.68	圃場E: 2.66/-/*0.02/<0.01 (*3回, 3日)
			616 g ai/ha散布			圃場F: 1.98	圃場F: 1.96/-/<0.01/<0.01
グリーンオニオン (根を除く全体)	3	6.25 w/v%乳剤	624 g ai/ha散布	3	7	圃場A: 0.26	圃場A: 0.24/<0.02/<0.01/<0.01
			609 g ai/ha散布			圃場B: 0.58	圃場B: 0.56/<0.02/<0.01/<0.01
			607 g ai/ha散布			圃場C: 0.38 (3回, 14日)	圃場C: *0.36/<0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 14日)
たまねぎ (鱗茎)	6	6.25 w/v%乳剤	628 g ai/ha散布	3	7	圃場A: 0.18	圃場A: 0.16/<0.02/<0.01/<0.01
			628 g ai/ha散布			圃場B: 0.25	圃場B: 0.23/<0.02/<0.01/<0.01
			685 g ai/ha散布			圃場C: 0.05	圃場C: 0.03/<0.02/<0.01/<0.01
			602 g ai/ha散布			圃場D: 0.18	圃場D: 0.16/<0.02/<0.01/<0.01
			607 g ai/ha散布			圃場E: 0.24	圃場E: 0.22/<0.02/<0.01/<0.01
			613 g ai/ha散布			圃場F: 0.29	圃場F: 0.27/<0.02/<0.01/<0.01
にんじん (根)	7	6.25 w/v%乳剤	304.97 g ai/ha散布	3	7	圃場A: 0.12	圃場A: 0.1/<0.01/<0.01/<0.01
			301.67 g ai/ha散布			圃場B: 0.06	圃場B: 0.04/<0.01/<0.01/<0.01
			297.18 g ai/ha散布			圃場C: 0.08	圃場C: 0.06/<0.01/<0.01/<0.01
			304.8 g ai/ha散布			圃場D: 0.52	圃場D: 0.5/<0.01/<0.01/<0.01
			298.58 g ai/ha散布			圃場E: 0.12	圃場E: 0.1/<0.01/<0.01/<0.01
			301.47 g ai/ha散布			圃場F: 0.42 (3回, 10日)	圃場F: *0.4/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 10日)
			303.36 g ai/ha散布			圃場G: 0.06	圃場G: 0.04/<0.01/<0.01/<0.01
セロリ (茎葉)	6	6.25 w/v%乳剤	606 g ai/ha散布	3	0, 1	圃場A: 1.46	圃場A: 1.44/-/<0.01/<0.01
			606 g ai/ha散布			圃場B: 1.35	圃場B: 1.33/-/<0.01/<0.01
			611 g ai/ha散布			圃場C: 2.7	圃場C: 2.68/-/<0.01/<0.01
			611 g ai/ha散布			圃場D: 5.17	圃場D: 5.15/-/<0.01/<0.01
			609 g ai/ha散布			圃場E: 1.51	圃場E: 1.49/-/<0.01/<0.01
			609 g ai/ha散布			圃場F: 1.86	圃場F: 1.84/-/<0.01/<0.01
ほうれんそう	5	6.25 w/v%乳剤	608 g ai/ha散布	3	0, 1	圃場A: 6.27	圃場A: 6.03/-/0.23/<0.01
			623 g ai/ha散布			圃場B: 8.76	圃場B: 8.31/-/0.44/<0.01
			620 g ai/ha散布			圃場C: 12.22	圃場C: 11.45/-/0.76/<0.01
		30 w/v% 水和剤	609 g ai/ha散布			圃場D: 1.94	圃場D: 1.86/-/0.07/<0.01
			606 g ai/ha散布			圃場E: 4.45	圃場E: 4.39/-/0.05/<0.01
トマト (果実)	18	6.25 w/v%乳剤	293~307 g ai/ha 茎葉処理	2, 3	7, 14, 21	圃場A: 0.06 (3回, 7日)	圃場A: *0.04/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 7日、*3回, 14日、*3回, 21日)
						圃場B: 0.13 (2回, 7日)	圃場B: *0.11/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*2回, 7日、*3回, 14日、*3回, 7日)
						圃場C: 0.05 (2回, 14日)	圃場C: *0.03/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*2回, 14日、*3回, 7日)
						圃場D: 0.06 (3回, 7日)	圃場D: *0.04/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 7日)
						圃場E: 0.08 (3回, 7日)	圃場E: *0.06/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 7日)
						圃場F: 0.06 (3回, 7日)	圃場F: *0.04/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 7日)
						圃場G: 0.1 (3回, 7日)	圃場G: *0.08/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 7日)
						圃場H: 0.10 (2回, 7日)	圃場H: *0.08/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*2回, 7日、*3回, 7日、*3回, 21日)
						圃場I: 0.08 (3回, 7日)	圃場I: *0.06/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 7日、*3回, 14日)
						圃場J: 0.04 (3回, 7日)	圃場J: *0.02/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 7日、*3回, 14日)
						圃場K: 0.06 (3回, 7日)	圃場K: *0.04/*<0.01/*<0.01/*<0.01 (*3回, 7日、*3回, 14日)
						圃場L: 0.08 (2回, 7日)	圃場L: *0.06/*<0.02/*<0.01/*<0.01 (*2回, 7日、*3回, 21日、*3回, 14日)

フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	最大残留濃度 (mg/kg) <sup>注1)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
トマト	18	6.25 w/v%乳剤	293~307 g ai/ha	2, 3	7, 14, 21	圃場M: 0.1 (3回, 21日)	圃場M: *0.08/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 21日、**3回, 7日)
						圃場N: 0.06 (3回, 21日)	圃場N: *0.04/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 21日、**3回, 7日)
						圃場O: 0.09 (3回, 7日)	圃場O: *0.07/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 7日、**3回, 14日)
						圃場P: 0.46 (3回, 7日)	圃場P: *0.44/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 7日、**3回, 14日)
						圃場Q: 0.12 (3回, 7日)	圃場Q: *0.10/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 7日)
						圃場R: 0.14 (3回, 7日)	圃場R: *0.12/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 7日)
ピーマン (果実)	8	6.25 w/v%乳剤	294~309 g ai/ha 茎葉処理	2, 3	7, 14, 21	圃場A: 0.04 (3回, 7日)	圃場A: *0.01/**<0.01/**<0.02/**<0.01 (*3回, 7日)
						圃場B: 0.16 (3回, 7日)	圃場B: *0.09/**<0.02/**<0.06/**<0.01 (*3回, 7日、**3回, 21日)
						圃場C: 0.04 (3回, 7日)	圃場C: *0.02/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 7日)
						圃場D: 0.07 (2回, 7日)	圃場D: *0.02/**<0.01/**<0.02/**<0.01 (*3回, 7日、**3回, 14日)
						圃場E: 0.03 (3回, 7日)	圃場E: *0.01/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 7日、**3回, 14日)
						圃場F: 0.03 (3回, 7日)	圃場F: *0.01/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 7日、**3回, 21日)
						圃場G: 0.17 (3回, 7日)	圃場G: *0.08/**<0.01/**<0.08/**<0.01 (*3回, 7日)
						圃場H: 0.39 (3回, 7日)	圃場H: *0.24/**<0.01/**<0.14/**<0.01 (*3回, 7日)
Non-bell Pepper その他のなす科 野菜 (とうがらし) (果実)	2	6.25 w/v%乳剤	300 g ai/ha 茎葉処理	2, 3	7, 14, 21	圃場A: 0.05 (3回, 7日)	圃場A: *0.02/**<0.01/**<0.02/**<0.01 (*3回, 7日、**3回, 14日)
						圃場B: 0.33 (3回, 7日)	圃場B: *0.30/**<0.01/**<0.02/**<0.01 (*3回, 7日、**3回, 21日)
きゅうり (果実)	6	6.25 w/v%乳剤	606 g ai/ha散布	3	0	圃場A: 0.18 (#)	圃場A: 0.16/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場B: 0.1 (#)	圃場B: 0.08/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場C: 0.04 (#)	圃場C: 0.02/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場D: 0.18 (#)	圃場D: 0.16/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場E: 0.19 (#)	圃場E: 0.17/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			621 g ai/ha散布			圃場F: 0.26 (#)	圃場F: 0.24/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			621 g ai/ha散布			圃場G: 0.05 (#)	圃場G: 0.05/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
カンタロープ (果実)	6	6.25 w/v%乳剤	606 g ai/ha散布	3	0	圃場A: 0.1 (#)	圃場A: 0.08/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場B: 0.06 (#)	圃場B: 0.04/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			615 g ai/ha散布			圃場C: 0.26 (#)	圃場C: 0.24/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			601 g ai/ha散布			圃場D: 0.23 (#)	圃場D: 0.21/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			610 g ai/ha散布			圃場E: 0.08 (#)	圃場E: 0.06/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			612 g ai/ha散布			圃場F: 0.05 (#)	圃場F: 0.03/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			612 g ai/ha散布			圃場G: 0.05 (#)	圃場G: 0.03/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
サマースカッシュ (果実)	5	6.25 w/v%乳剤	624 g ai/ha散布	3	0	圃場A: 0.16 (#)	圃場A: 0.14/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場B: 0.13 (#)	圃場B: 0.11/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場C: 0.07 (#)	圃場C: 0.05/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場D: 0.08 (#)	圃場D: 0.06/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
			606 g ai/ha散布			圃場E: 0.12 (#)	圃場E: 0.10/<0.02/<0.01/<0.01 (#)
ばれいしょ (塊茎)	21	6.25 w/v%乳剤	293~323 g ai/ha 茎葉処理	3	7, 14, 21	圃場A: <0.03	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場B: 0.04 (3回, 14日)	圃場B: *0.02/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 14日)
						圃場C: <0.03	圃場C: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
					7	圃場D: <0.03	圃場D: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場E: <0.03	圃場E: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場F: 0.04	圃場F: 0.02/<0.01/<0.01/<0.01
					7, 14, 21	圃場G: <0.03	圃場G: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場H: <0.03	圃場H: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場I: <0.03 (3回, 14日)	圃場I: <0.01/<0.01/<0.01/**<0.01 (*3回, 14日)
					7, 14, 21	圃場J: <0.03 (3回, 21日)	圃場J: <0.01/**<0.01/<0.01/**<0.01 (*3回, 21日)
						圃場K: <0.03 (3回, 21日)	圃場K: <0.01/<0.01/<0.01/**<0.01 (*3回, 21日)
						圃場L: <0.03	圃場L: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場M: <0.03	圃場M: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場N: <0.03	圃場N: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場O: <0.03	圃場O: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
7, 10, 15, 21, 28	圃場P: <0.03	圃場P: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01					
	圃場Q: <0.03	圃場Q: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01					
	圃場R: <0.03 (3回, 28日)	圃場R: *0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 28日)					
7, 14, 21	圃場S: <0.03	圃場S: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01					
	圃場T: <0.03	圃場T: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01					
圃場U: <0.03 (3回, 14日)	圃場U: *0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 14日)						



フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	最大残留濃度 (mg/kg) 注1) 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
てんさい (葉)	11	6.25 w/v%乳剤	290~326 g ai/ha 茎葉処理	3	13, 21	圃場A:3.89	圃場A:3.82/<0.01/0.06/<0.01
					14, 21	圃場B:1.19	圃場B:1.16/*<0.01/0.02/<0.01 (*3回, 21日)
					13, 21	圃場C:3.84	圃場C:3.78/<0.01/*<0.06/<0.01 (*3回, 14日)
					14, 21	圃場D:2.59 (3回, 21日)	圃場D:2.56/*<0.01/*<0.04/<0.01 (*3回, 21日、**3回, 14日)
					13, 21	圃場E:0.76	圃場E:0.74/*<0.01/*<0.02/<0.01 (*3回, 21日、**3回, 13日)
					14, 21	圃場F:3.02	圃場F:2.98/*<0.01/*<0.04/<0.01 (*3回, 21日、**3回, 14日)
					8, 15, 21	圃場G:1.84 (3回, 8日)	圃場G:*1.81/*<0.01/*<0.03/*<0.01 (*3回, 8日、**3回, 21日)
					14, 21	圃場H:2.18	圃場H:2.11/<0.01/0.06/<0.01
さとうきび (cane)	8	6.25 w/v%乳剤	246 g ai/ha散布	2	14	圃場A:0.07	圃場A:0.05/<0.02/<0.01/<0.01
					圃場B:0.08	圃場B:0.06/<0.02/<0.01/<0.01	
					圃場C:0.06	圃場C:0.04/<0.02/<0.01/<0.01	
					圃場D:0.28	圃場D:0.26/<0.02/<0.01/<0.01	
					圃場E:0.59	圃場E:0.56/<0.02/0.02/<0.01	
					圃場F:1.37	圃場F:1.34/<0.02/<0.02/<0.01	
					圃場G:<0.03	圃場G:<0.01/<0.02/<0.01/<0.01	
					圃場H:0.77	圃場H:0.73/<0.02/0.03/<0.01	
チェリー (果実)	6	6.25 w/v%乳剤	377 g ai/ha 散布 (concentrated)	3	1, 7, 14	圃場A:1.38 (3回, 1日)	圃場A:*1.10/*<0.01/*<0.25/*<0.07 (*3回, 1日、**3回, 7日)
					圃場B:0.72 (3回, 1日)	圃場B:*0.55/<0.01/*<0.26/*<0.01 (*3回, 1日、**3回, 14日、***3回, 7日)	
					圃場C:0.78 (3回, 14日)	圃場C:*0.59/<0.01/*<0.23/<0.01 (*3回, 14日、**3回, 7日)	
					圃場D:1.13	圃場D:0.82/<0.01/0.30/<0.01	
					1, 7, 13	圃場E:0.73	圃場E:0.49/*<0.01/*<0.23/*<0.11 (*3回, 1日、**3回, 7日、***3回, 13日)
					1, 7, 10, 14	圃場F:0.38 (3回, 1日)	圃場F:0.19/<0.01/*<0.26/<0.01 (*3回, 10日)
	8	6.25 w/v%乳剤	374 g ai/ha 散布 (diluted)	3	1, 7, 14	圃場A:1.16	圃場A:0.86/<0.01/0.25/*<0.10 (*3回, 14日)
					圃場B:0.55 (3回, 1日)	圃場B:*0.20/<0.01/*<0.30/*<0.10 (*3回, 1日、**3回, 14日)	
					圃場C:0.54	圃場C:*0.36/<0.01/0.19/<0.01 (*3回, 1日)	
					圃場D:0.65 (3回, 1日)	圃場D:*0.41/*<0.01/*<0.29/<0.01 (*3回, 1日、**3回, 7日)	
					1, 7, 13	圃場E:0.74	圃場E:0.56/<0.01/*<0.19/*<0.10 (*3回, 7日、**3回, 13日)
					1, 7, 10, 14	圃場F:0.50	圃場F:0.31/<0.01/*<0.22/<0.01 (*3回, 7日)
					1, 7	圃場G:0.365	圃場G:0.252/<0.01/*<0.15/*<0.050 (*3回, 7日)
					圃場H:2.311	圃場H:1.864/<0.01/*<0.582/*<0.046 (*3回, 7日)	
もも (果実)	12	6.25 w/v%乳剤	374 g ai/ha 散布 (concentrated)	3	1, 7, 14	圃場A:0.39	圃場A:0.37/*<0.01/*<0.02/*<0.01 (*3回, 1日、**3回, 7日)
					圃場B:0.58	圃場B:0.55/<0.01/*<0.04/*<0.0 (*3回, 7日、**3回, 14日)	
					圃場C:0.62	圃場C:0.55/<0.01/*<0.09/*<0.01 (*3回, 14日、**3回, 7日)	
					圃場D:0.49 (3回, 1日)	圃場D:*0.45/<0.01/*<0.03/<0.01 (*3回, 1日)	
					1, 6, 13	圃場E:0.21 (3回, 1日)	圃場E:*0.19/*<0.01/*<0.02/<0.01 (*3回, 1日、**3回, 13日)
					圃場F:0.31	圃場F:0.29/<0.01/*<0.02/*<0.01 (*3回, 7日、**3回, 1日)	
					圃場G:0.26 (3回, 1日)	圃場G:*0.24/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 1日)	
					圃場H:0.55 (3回, 1日)	圃場H:*0.50/<0.01/*<0.06/*<0.01 (*3回, 1日、**3回, 14日)	
	1, 7, 10, 14	圃場I:0.62	圃場I:0.59/<0.01/0.02/<0.01				
	12	6.25 w/v%乳剤	371 g ai/ha 散布 (concentrated)	3	1, 7, 14	圃場J:0.32	圃場J:0.30/*<0.01/*<0.02/*<0.01 (*3回, 14日、*3回, 7日)
					1, 7, 10, 14	圃場K:0.32	圃場K:0.30/<0.01/*<0.03/*<0.01 (*3回, 14日、**3回, 10日)
					1, 7, 14	圃場L:0.61 (3回, 1日)	圃場L:*0.55/<0.01/*<0.05/<0.01 (*3回, 1日)

フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	最大残留濃度 (mg/kg) <sup>注1)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも (果実)	12	6.25 w/v%乳剤	375 g ai/ha 散布 (diluted)	3	0, 1, 7, 14	圃場A:0.46 (3回, 1日)	圃場A:0.43/<0.01/*0.03/<0.01 (*3回, 14日)
			376 g ai/ha 散布 (diluted)			圃場B:0.45	圃場B:0.42/*<0.01/*0.10/**0.04 (*3回, 7日、**3回, 14日)
			373 g ai/ha 散布 (diluted)			圃場C:0.63 (3回, 7日)	圃場C:*0.57/<0.01/**0.06/**0.01 (*3回, 7日、**3回, 1日、***3回, 14日)
			375 g ai/ha 散布 (diluted)			圃場D:0.36	圃場D:0.33/<0.01/*0.03/<0.01 (*3回, 7日)
			369 g ai/ha 散布 (diluted)	3	0, 1, 6, 13	圃場E:0.31	圃場E:*0.28/<0.01/0.03/<0.01 (*3回, 1日)
			373 g ai/ha 散布 (diluted)			圃場F:0.36	圃場F:0.34/<0.01/*0.02/<0.01 (*3回, 14日)
			378 g ai/ha 散布 (diluted)	3	0, 1, 7, 14	圃場G:0.34	圃場G:0.32/<0.01/*0.02/<0.01 (*3回, 14日)
			365 g ai/ha 散布 (diluted)			圃場H:0.67	圃場H:0.58/<0.01/0.08/*<0.01 (*3回, 14日)
			423 g ai/ha 散布 (diluted)			圃場I:0.67	圃場I:0.63/<0.01/*0.04/<0.01 (*3回, 14日)
			374 g ai/ha 散布 (diluted)	3	0, 1, 7, 14	圃場J:0.36 (3回, 1日)	圃場J:*0.33/<0.01/*0.02/**<0.01 (*3回, 1日、**3回, 7日)
			378 g ai/ha 散布 (diluted)			圃場K:0.30 (3回, 7日)	圃場K:0.26/<0.01/*0.05/<0.01 (*3回, 7日)
			373 g ai/ha 散布 (diluted)	3	0, 1, 7, 14	圃場L:0.64 (3回, 1日)	圃場L:*0.59/<0.01/**0.06/**0.01 (*3回, 1日、**3回, 14日)
			プラム (果実)	10	6.25 w/v%乳剤	374 g ai/ha 散布 (concentrated)	3
379 g ai/ha 散布 (concentrated)	圃場B:0.51 (3回, 7日)	圃場B:0.49/<0.01/*<0.01/<0.01 (*3回, 7日)					
364 g ai/ha 散布 (concentrated)	圃場C:0.22	圃場C:0.20/<0.01/<0.01/<0.01					
370 g ai/ha 散布 (concentrated)	圃場D:0.66	圃場D:0.64/<0.01/<0.01/<0.01					
417 g ai/ha 散布 (concentrated)	3	0, 1, 7, 10, 14				圃場E:0.4 (3回, 1日)	圃場E:*0.38/<0.01/**<0.01/<0.01 (*3回, 1日、**3回, 7日)
371 g ai/ha 散布 (concentrated)						圃場F:0.55 (3回, 7日)	圃場F:*0.53/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 7日)
374 g ai/ha 散布 (concentrated)	3	0, 1, 7, 14				圃場G:0.25 (3回, 7日)	圃場G:*0.23/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 7日)
379 g ai/ha 散布 (concentrated)						圃場H:0.29 (3回, 1日)	圃場H:*0.27/<0.01/<0.01/**<0.01 (*3回, 1日、**3回, 14日)
373 g ai/ha 散布 (concentrated)						圃場I:0.4 (3回, 1日)	圃場I:*0.37/<0.01/*0.02/**<0.01 (*3回, 1日、**3回, 14日)
377 g ai/ha 散布 (concentrated)				圃場J:0.41 (3回, 1日)	圃場J:*0.39/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 1日)		
10	6.25 w/v%乳剤	382 g ai/ha 散布 (diluteddd)		3	0, 1, 7, 14	圃場A:0.81	圃場A:0.79/<0.01/<0.01/<0.01
		379 g ai/ha 散布 (diluteddd)				圃場B:0.44	圃場B:0.42/<0.01/<0.01/<0.01
		365 g ai/ha 散布 (dilutedddd)				圃場C:0.26	圃場C:0.24/<0.01/*<0.01/<0.01 (*3回, 14日)
		373 g ai/ha 散布 (diluted)				圃場D:0.52 (3回, 7日)	圃場D:*0.49/<0.01/*0.02/<0.01 (*3回, 7日)
		420 g ai/ha 散布 (diluted)		3	0, 1, 7, 10, 14	圃場E:0.4 (3回, 1日)	圃場E:*0.38/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 1日)
		372 g ai/ha 散布 (diluted)				圃場F:0.58 (3回, 1日)	圃場F:*0.56/<0.01/*<0.01/<0.01 (*3回, 1日)
		378 g ai/ha 散布 (diluted)		3	0, 1, 7, 14	圃場G:0.2	圃場G:0.18/<0.01/<0.01/<0.01
		370 g ai/ha 散布 (diluted)				圃場H:0.16	圃場H:0.14/<0.01/<0.01/<0.01
		371 g ai/ha 散布 (diluted)				圃場I:0.29	圃場I:0.27/<0.01/<0.01/<0.01
		381 g ai/ha 散布 (diluted)	圃場J:0.57 (3回, 1日)			圃場J:*0.55/<0.01/**<0.01/<0.01 (*3回, 1日、**3回, 7日)	
ブルーベリー (果実)	6	6.25 w/v%乳剤	599 g ai/ha散布	3	0, 1, 3, 5, 7	圃場A:1.73	圃場A:1.71/<0.02/<0.01/<0.01
			600 g ai/ha散布			圃場B:2.41	圃場B:2.38/<0.02/0.02/<0.01
			601 g ai/ha散布			圃場C:1.73 (3回, 1日)	圃場C:*1.71/<0.02/**0.01/<0.01 (*3回, 1日、**3回, 3日)
			611 g ai/ha散布	3	0	圃場D:3.78	圃場D:3.76/<0.02/0.01/<0.01
			600 g ai/ha散布			圃場E:1.29	圃場E:1.27/<0.02/<0.01/<0.01
			604 g ai/ha散布			圃場F:2.45	圃場F:2.42/<0.02/0.02/<0.01

フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	最大残留濃度 (mg/kg) <sup>注1)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ぶどう <sup>注2)</sup> (果実)	6	30 w/v% 水和剤	606.6 g ai/ha 散布 (concentrated)	3	0, 1, 7, 14	圃場A:0.14	圃場A:0.12/<0.02/<0.01/<0.01
			611.5 g ai/ha 散布 (concentrated)		0, 1, 7, 14, 21	圃場B:0.29	圃場B:0.27/<0.02/<0.01/<0.01
			615.8 g ai/ha 散布 (concentrated)		0, 1, 7, 14	圃場C:0.13	圃場C:0.11/<0.02/<0.01/<0.01
			613.6 g ai/ha 散布 (concentrated)			圃場D:0.15	圃場D:0.13/<0.02/<0.01/<0.01
			598.1 g ai/ha 散布 (concentrated)			圃場E:0.53	圃場E:0.51/<0.02/<0.01/<0.01
			608.0 g ai/ha 散布 (concentrated)			圃場F:0.64	圃場F:0.62/<0.02/<0.01/<0.01
	6	30 w/v% 水和剤	602.6 g ai/ha 散布 (diluted)	3	0, 1, 7, 14, 21	圃場A:0.73 (3回, 21日)	圃場A:*0.71/<0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 21日)
			604.9 g ai/ha 散布 (diluted)		圃場B:1.38	圃場B:1.36/<0.02/<0.01/<0.01	
			605.4 g ai/ha 散布 (diluted)		圃場C:0.78	圃場C:0.76/<0.02/<0.01/<0.01	
			609.9 g ai/ha 散布 (diluted)		圃場D:0.24	圃場D:0.22/<0.02/<0.01/<0.01	
			599.7 g ai/ha 散布 (diluted)		圃場E:0.29	圃場E:0.27/<0.02/<0.01/<0.01	
			620.9 g ai/ha 散布 (diluted)		圃場F:0.44	圃場F:0.42/<0.02/<0.01/<0.01	
なたね (種子)	16	6.25 w/v%乳剤	197~208 g ai/ha 茎葉処理	2	21	圃場A:0.12	圃場A:0.09/<0.01/0.02/0.01
					22	圃場B:0.06	圃場B:0.04/<0.01/<0.01/<0.01
					21	圃場C:0.19	圃場C:0.16/<0.01/0.02/<0.01
					14, 18, 21, 24, 28	圃場D:0.26 (2回, 28日)	圃場D:*0.18/<0.01/*0.04/*0.04 (*2回, 28日)
					14, 19, 21, 25, 27	圃場E:0.83 (2回, 25日)	圃場E:*0.72/<0.01/*0.07/*0.04 (*2回, 25日)
					21	圃場F:0.04	圃場F:0.02/<0.01/<0.01/<0.01
					22	圃場G:0.04	圃場G:0.02/<0.01/<0.01/<0.01
					22	圃場H:0.04	圃場H:0.02/<0.01/<0.01/<0.01
					21	圃場I:0.26	圃場I:0.22/<0.01/0.02/0.02
						圃場J:0.28	圃場J:0.22/<0.01/0.04/0.02
						圃場K:0.27	圃場K:0.22/<0.01/0.03/0.02
						圃場L:0.11	圃場L:0.09/<0.01/0.01/0.01
圃場M:0.1	圃場M:0.08/<0.01/<0.01/<0.01						
圃場N:0.07	圃場N:0.05/<0.01/<0.01/<0.01						
圃場O:0.07	圃場O:0.05/<0.01/<0.01/<0.01						
	圃場P:0.16	圃場P:0.12/<0.01/0.02/0.02					
	圃場A:0.04	圃場A:0.02/<0.01/<0.01/<0.01					
		18, 21, 24, 28	圃場B:0.06 (2回, 24日)	圃場B:*0.04/<0.01/<0.01/<0.01 (*2回, 24日)			
			圃場C:0.14	圃場C:0.12/<0.01/<0.01/<0.01			
		21	圃場D:0.11	圃場D:0.09/<0.01/<0.01/<0.01			
			圃場E:0.08	圃場E:0.06/<0.01/<0.01/<0.01			
			圃場F:0.13	圃場F:0.11/<0.01/<0.01/<0.01			
圃場G:0.03			圃場G:0.01/<0.01/<0.01/<0.01				
圃場H:0.04			圃場H:0.02/<0.01/<0.01/<0.01				
圃場I:0.05	圃場I:0.02/<0.01/<0.01/<0.01						
ベカン (ナッツ)	5	6.25 w/v%乳剤	377 g ai/ha散布	3	14	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02/<0.01/<0.01
			372 g ai/ha散布			圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02/<0.01/<0.01
			396 g ai/ha散布			圃場C:<0.03	圃場C:<0.01/<0.02/<0.01/<0.01
			372 g ai/ha散布		14, 20, 29, 30, 37	圃場D:<0.03	圃場D:<0.01/*<0.02/*<0.01/*<0.01 (*3回, 37日)
			377 g ai/ha散布		14	圃場E:0.05	圃場E:0.03/<0.02/<0.01/<0.01
アーモンド (ナッツ)	5	6.25 w/v%乳剤	372 g ai/ha散布	3	14, 22, 27, 32, 38	圃場A:0.04 (3回, 38日)	圃場A:*0.02/<0.02/<0.01/<0.01 (*3回, 38日)
			373 g ai/ha散布			圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02/<0.01/<0.01
			375 g ai/ha散布		13	圃場C:<0.03	圃場C:<0.01/<0.02/<0.01/<0.01
			374 g ai/ha散布		14	圃場D:0.03	圃場D:0.01/<0.02/<0.01/<0.01
			375 g ai/ha散布			圃場E:<0.03	圃場E:<0.01/<0.02/<0.01/<0.01
マンゴー (果 実) <sup>注3)</sup>	4	16.7%水和 剤	267.2 g ai/ha散布	4	0, 3, 7, 10, 14	圃場A:0.15	圃場A:0.13/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場B:0.39	圃場B:0.37/<0.01/<0.01/<0.01
					7	圃場C:0.22	圃場C:0.20/<0.01/<0.01/<0.01
						圃場D:0.18	圃場D:0.16/<0.01/<0.01/<0.01

フルキサピロキサドの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) <sup>注1)</sup>	最大残留濃度 (mg/kg) <sup>注1)</sup> 【フルキサピロキサド/代謝物F002/代謝物F008/代謝物F048】	
		剤型	使用量・使用方法	回数			経過日数
コーヒー豆 <sup>注3)</sup>	21	5%乳剤	300 g ai/ha散布	3	0, 15, <u>45</u> , 50	圃場A:0.12 (3回, 50日) (#)	圃場A:*0.1/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 50日) (#)
					0, 15, 30, <u>45</u> , 50	圃場B:<0.03 (#)	圃場B:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
					<u>45</u>	圃場C:<0.03 (#)	圃場C:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
		6.25%乳剤	225 g ai/ha散布	3	29, 44, 59	圃場E:0.04 (3回, 59日) (#)	圃場E:*0.02/**<0.01/**<0.01/**<0.01 (*3回, 59日、**3回, 44日) (#)
					30, <u>45</u> , 60	圃場F:<0.03 (#)	圃場F:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
					<u>45</u>	圃場G:<0.03 (#)	圃場G:<0.01/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
		5%乳剤	300 g ai/ha散布	3	0, 15, 30, <u>45</u> , 60	圃場I:0.06 (3回, 60日) (#)	圃場I:*0.04/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 60日) (#)
					<u>45</u>	圃場J:0.05 (#)	圃場J:0.03/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
					<u>45</u>	圃場K:0.05 (#)	圃場K:0.03/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
		16.7%水和剤	300.6 g ai/ha散布	3	35, <u>45</u> , 60	圃場M:0.053 (3回, 60日)	圃場M:*0.033/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 60日)
					<u>45</u> , 60	圃場N:0.096	圃場N:0.076/<0.01/<0.01/<0.01
					35, <u>45</u> , 60	圃場O:0.041	圃場O:0.021/<0.01/<0.01/<0.01
					<u>45</u> , 60	圃場P:0.042	圃場P:0.022/<0.01/<0.01/<0.01
		16.7%水和剤	300.6 g ai/ha散布	3	35, <u>45</u> , 60	圃場Q:0.059	圃場Q:0.039/<0.01/<0.01/<0.01
					<u>45</u> , 60	圃場R:0.061	圃場R:0.041/<0.01/<0.01/<0.01
					<u>45</u> , 60	圃場S:0.04 (3回, 60日)	圃場S:*0.020/<0.01/<0.01/<0.01 (*3回, 60日)
					<u>45</u> , 60	圃場T:0.042	圃場T:0.022/<0.01/<0.01/<0.01
							<u>45</u> , 60

- : 分析せず

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) 当該農業の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。代謝物F002, 代謝物F008及び代謝物F048の残留濃度は、フルキサピロキサド濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

注2) ぶどうのconcentrated区及びdiluted区で実施された独立した試験成績より米国基準値が設定された。

注3) マンゴー、コーヒー豆は、ブラジルで実施された作物残留試験成績より米国基準値が設定された。なおコーヒー豆の5%乳剤及び6.25%乳剤の最大使用条件については、16.7%水和剤の使用条件により判断した。

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	3	3		3		※1
小麦	2	2	○	0.3		0.206~0.804(n=6)
大麦	3	3		2	3.0 米国	【<0.01~1.22(n=12)(米国大麦)】
ライ麦	3	3		0.3	3.0 米国	【大麦参照】
とうもろこし	0.2	0.2		0.15		
そば	3	3			3.0 米国	【大麦参照】
その他の穀類	3	3		2	3.0 米国	【大麦参照】
大豆	0.2	0.2		0.15		
小豆類	0.4	0.4		0.4		
えんどう	0.4	0.4		0.4		
そら豆	0.4	0.4		0.3	0.4 米国	【0.01~0.2 (n=11)(米国乾燥いんげん)】
らっかせい	0.01	0.01		0.01		
その他の豆類	0.4	0.4		0.4		
ばれいしょ	0.07	0.03	○	0.07		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.03	0.02		0.03		
かんしょ	0.03	0.02		0.03		
やまいも(長いもをいう。)	0.03	0.02		0.03		
こんにゃくいも	0.03			0.03		
その他のいも類	0.03	0.02		0.03		
てんさい	0.2	0.2	○	0.15		
さとうきび	3	3			3.0 米国	【<0.01~1.34 (n=8)(米国さとうきび)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.9	0.9		0.2	0.90 米国	【0.04~0.5(n=7)(米国にんじん)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)	8	8		8		
かぶ類の根	0.9	0.9			0.90 米国	【だいこん類(ラディッシュを含む。)
かぶ類の葉	4	4		4		の根参照】
西洋わさび	0.9	0.9			0.90 米国	【だいこん類(ラディッシュを含む。)
クレソン	30	30			30 米国	の根参照】
はくさい	4	4		4		【1.86~11.45(n=5)(米国ほうれんそう)】
キャベツ	4	4		2	4.0 米国	【0.48~1.87(n=5)(米国マスタードグリーン)】
芽キャベツ	4	4		2	4.0 米国	【キャベツ参照】
ケール	4	4		4		
こまつな	4	4		4		
きょうな	4	4		4		
チンゲンサイ	4	4		4		
カリフラワー	4	4		2	4.0 米国	【キャベツ参照】
ブロッコリー	4	4		2	4.0 米国	【キャベツ参照】
その他のあぶらな科野菜	4	4		4		
ごぼう	0.9	0.9			0.90 米国	【だいこん類(ラディッシュを含む。)
サルシフィー	0.9	0.9			0.90 米国	の根参照】
エンダイブ	30	30			30 米国	【クレソン参照】
しゅんぎく	30	30			30 米国	【クレソン参照】
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	30	30		4	30 米国	【クレソン参照】
その他のきく科野菜	30	30			30 米国	【クレソン参照】
たまねぎ	2	2		0.6	1.5 米国	【0.24, 0.36, 0.56(米国グリーンオニオン)】
ねぎ(リーキを含む。)	2	2			1.5 米国	【たまねぎ参照】
にんにく	2	2		0.6	1.5 米国	【たまねぎ参照】
にら	2	2			1.5 米国	【たまねぎ参照】
その他のゆり科野菜	2	2			1.5 米国	【たまねぎ参照】
にんじん	1	1		1		
パースニップ	1	1		1		
パセリ	30	30			30 米国	【クレソン参照】
セロリ	30	30		10	30 米国	【クレソン参照】
その他のせり科野菜	30	30			30 米国	【クレソン参照】
トマト	0.7	0.7		0.6	0.7 米国	【(0.02, 0.30¥)(米国どうがらし)】
ピーマン	0.7	0.7		0.6	0.7 米国	【トマト参照】
なす	0.7	0.7		0.6	0.7 米国	【トマト参照】
その他のなす科野菜	0.7	0.7		0.6	0.7 米国	【トマト参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	0.5		0.2	0.50 米国	【0.02~0.24(n=6)(米国きゅうり)(#)】
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.5		0.2	0.50 米国	【きゅうり(ガーキンを含む。)参照】
しろうり	0.5	0.2	IT	0.2	0.50 米国	【きゅうり(ガーキンを含む。)参照】
すいか(果皮を含む。)	0.5		IT	0.2	0.50 米国	【きゅうり(ガーキンを含む。)参照】
メロン類果実(果皮を含む。)	0.5		IT	0.2	0.50 米国	【きゅうり(ガーキンを含む。)参照】
まくわうり(果皮を含む。)	0.5		IT	0.2	0.50 米国	【きゅうり(ガーキンを含む。)参照】
その他のうり科野菜	0.5	0.5		0.2	0.50 米国	【きゅうり(ガーキンを含む。)参照】
オクラ	0.7	0.7		0.6	0.7 米国	【トマト参照】
しょうが	0.02	0.02			0.02 米国	【<0.01~0.02 (n=21)(米国ばれいしょ)】
未成熟えんどう	2	2		2		
未成熟いんげん	2	2		2		
えだまめ	2	2		1.5		
しいたけ		0.6				
その他のきのこ類		0.6				
その他の野菜	7	7		4	7.0 米国	【0.74~3.82 (n=11)(米国てんさいの葉)】
みかん(外果皮を含む。)	4		申	1		0.679~2.40(n=6)
なつみかんの果実全体	4	1	申	0.6		(みかん(外果皮を含む。)参照)
レモン	4	1	申	1		(みかん(外果皮を含む。)参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	4	1	申	1.5		(みかん(外果皮を含む。)参照)
グレープフルーツ	4	1	申	0.6		(みかん(外果皮を含む。)参照)
ライム	4	1	申	1		(みかん(外果皮を含む。)参照)
その他のかんきつ類果実	4	1	申	1.5		(みかん(外果皮を含む。)参照)
りんご	3	0.9	○・申	0.9		0.428~1.340 (n=6)
日本なし	2	0.9	○・申	0.9		0.267~0.556 (n=6)
西洋なし	2	0.9	○・申	0.9		(日本なし参照)
マルメロ	0.9	0.9		0.9		
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.9			0.9		
もも		0.2				
もも(果皮及び種子を含む。)	3		○・申	1.5	3.0 米国	【0.252~1.864 (n=8)(米国チェリー)】
ネクタリン	3	3	○・申	1.5	3.0 米国	【もも(果皮及び種子を含む。)参照】
あんず(アプリコットを含む。)	7	3	申	1.5		(うめ参照)
すもも(プルーンを含む。)	3	2		1.5	3.0 米国	【もも(果皮及び種子を含む。)参照】
うめ	7	2	申	1.5		0.460、1.540、2.880
おうとう(チェリーを含む。)	6	3	申	3		1.04、2.09、2.70
いちご	7	7		7		
ラズベリー	7	7		7		
ブラックベリー	7	7		7		
ブルーベリー	7	7		7		
クランベリー	7	7		7		
ハuckleベリー	7	7		7		
その他のベリー類果実	7	7		7		
ぶどう	3	3		3		
かき	0.9			0.9		
バナナ	3	3		3		
パパイヤ	1			1		
グアバ		7				※2
マンゴー	0.7	0.7		0.6	0.7 米国	【0.13~0.37(n=4)(米国マンゴー)】
パッションフルーツ	2	2			2.0 米国	【(0.12~1.06 (n=7))(米国ぶどう)】
その他の果実	7	7		7		
ひまわりの種子	0.9	0.9		0.8	0.9 米国	【(0.02~0.72(n=16))(米国なたね)】
ごまの種子	0.9	0.9		0.8	0.9 米国	【なたね参照】
べにばなの種子	0.9	0.9		0.8	0.9 米国	【なたね参照】
綿実	0.5	0.3		0.5		
なたね	0.9	0.9		0.8	0.9 米国	【なたね参照】
その他のオイルシード	0.9	0.9		0.8	0.9 米国	【なたね参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
ぎんなん	0.06	0.04		0.04	0.06 米国	【<0.01~0.03(n=5)(米国ペカン)】
くり	0.06	0.06		0.04	0.06 米国	【ぎんなん参照】
ペカン	0.06	0.06		0.04	0.06 米国	【ぎんなん参照】
アーモンド	0.06	0.06		0.04	0.06 米国	【ぎんなん参照】
くるみ	0.06	0.06		0.04	0.06 米国	【ぎんなん参照】
その他のナッツ類	0.8	0.8		0.8		
コーヒー豆	0.2	0.2		0.15	0.2 米国	【<0.01~0.13(n=21)(米国コーヒー豆)】
その他のスパイス	20	7	申	7		3.1~11.0(n=6)(温州みかん(外果皮))
その他のハーブ	30	30		4	30 米国	【クレソン参照】
牛の筋肉	0.2	0.2		0.2		
豚の筋肉	0.2	0.2		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2	0.2		0.2		
牛の脂肪	0.2	0.2		0.2		
豚の脂肪	0.2	0.2		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2	0.2		0.2		
牛の肝臓	0.1	0.1		0.1		
豚の肝臓	0.1	0.1		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.1	0.1		0.1		
牛の腎臓	0.1	0.1		0.1		
豚の腎臓	0.1	0.1		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.1	0.1		0.1		
牛の食用部分	0.1	0.1		0.1		
豚の食用部分	0.1	0.1		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.1	0.1		0.1		
乳	0.02	0.02		0.02		
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02		
その他の家きんの筋肉	0.02	0.02		0.02		
鶏の脂肪	0.05	0.05		0.05		
その他の家きんの脂肪	0.05	0.05		0.05		
鶏の肝臓	0.02	0.02		0.02		
その他の家きんの肝臓	0.02	0.02		0.02		
鶏の腎臓	0.02	0.02		0.02		
その他の家きんの腎臓	0.02	0.02		0.02		
鶏の食用部分	0.02	0.02		0.02		
その他の家きんの食用部分	0.02	0.02		0.02		
鶏の卵	0.02	0.02		0.02		
その他の家きんの卵	0.02	0.02		0.02		
はちみつ	0.05					※3
小麦ふすま				1		※4
とうがらし(乾燥させたもの)				6		※4

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
干しぶどう	15	15		15	⋮	

本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

食品区分を別途新設すること等に伴い、食品区分を削除したものについては、斜線で示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

「登録有無」の欄に「IT」の記載があるものは、インポートトランス申請に基づく基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥)作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

※1) 国際基準のRice, Huskedを参照した。

※2) 現行のグアバの基準値は、米国のIT申請の作物Chilean guavaからグアバに設定されていたが、当該作物はCodexではその他のベリー類果実に食品分類されることから、Codexに準じてChilean guavaをその他のベリー類果実に食品分類し、グアバの基準値を削除した。

※3) 「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和元年7月30日農薬・動物用医薬品部会(令和5年3月31日 一部改訂))の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※4) 加工食品である「小麦ふすま」及び「とうがらし(乾燥させたもの)」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。基準値が設定されていない加工食品については、原材料の基準値に基づき加工係数を考慮して適否を判断することとしている。なお、本物質について、JMPRIは小麦ふすま及びとうがらし(乾燥させたもの)の加工係数をそれぞれ2.9及び10と算出している。



フルキサピロキサドの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米(玄米をいう。)	3	0.066	492.6	10.8	257.1	5.7	315.9	6.9	540.6	11.9
小麦	2	0.411	119.6	24.6	88.6	18.2	138.0	28.4	99.8	20.5
大麦	3	0.628	15.9	3.3	13.2	2.8	26.4	5.5	13.2	2.8
ライ麦	3	0.628	0.3	0.1	0.3	0.1	1.5	0.3	0.3	0.1
とうもろこし	0.2	0.01	0.9	0.0	1.1	0.1	1.2	0.1	0.9	0.0
そば	3	0.628	3.3	0.7	1.5	0.3	5.4	1.1	3.3	0.7
その他の穀類	3	0.628	0.6	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.9	0.2
大豆	0.2	0.01	7.3	0.4	4.1	0.2	6.3	0.3	9.2	0.5
小豆類	0.4	0.04	1.0	0.1	0.3	0.0	0.3	0.0	1.6	0.2
あんず	0.4	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
から豆	0.4	0.04	0.3	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1	0.3	0.1
らっかき	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.4	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.07	0.035	2.7	1.3	2.4	1.2	2.9	1.5	2.5	1.2
さといも類(やつがしらを含む。)	0.03	0.01	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
かんしょ	0.03	0.01	0.2	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1
やまいも(長いもをいう。)	0.03	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
こんにゃく	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.03	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.2	0.04	6.3	1.3	5.5	1.1	8.2	1.6	6.3	1.3
さつまい	3	0.081	294.6	8.0	250.8	6.8	372.3	10.1	300.6	8.1
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.9	0.197	29.7	6.5	10.3	2.2	18.5	4.1	41.1	9.0
だいこん類(ラディッシュを含む。)	8	1.2	13.6	2.0	4.8	0.7	24.8	3.7	22.4	3.4
かぶ類の根	0.9	0.197	2.5	0.6	0.7	0.2	0.1	0.0	4.5	1.0
かぶ類の葉	4	1.7	1.2	0.5	0.4	0.2	0.4	0.2	2.4	1.0
西洋わさび	0.9	0.197	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
クレソン	30	6.728	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7
はくさい	4	1.7	70.8	30.1	20.4	8.7	66.4	28.2	86.4	36.7
キャベツ	4	1.942	96.4	46.8	46.4	22.5	76.0	36.9	95.2	46.2
芽キャベツ	4	1.942	0.4	0.2	0.4	0.2	0.4	0.2	0.4	0.2
ケール	4	1.7	0.8	0.3	0.4	0.2	0.4	0.2	0.5	0.3
きまつな	4	1.7	20.0	8.5	7.2	3.1	25.6	10.9	25.6	10.9
きつな	4	1.7	8.3	3.7	3.6	0.7	5.6	2.4	10.2	4.6
キンカンサイ	4	1.7	7.2	3.3	0.8	0.2	7.2	3.1	7.2	3.2
カリフラワー	4	1.942	2.0	1.0	0.8	0.4	0.4	0.2	2.0	1.0
ブロッコリー	4	1.942	20.8	10.1	13.2	6.4	22.0	10.7	22.3	11.1
その他のあぶらな科野菜	4	1.7	13.6	5.8	2.4	1.0	3.2	1.4	19.2	8.2
ごぼう	0.9	0.197	3.5	0.8	1.4	0.3	3.5	0.8	4.1	0.9
ザルシヤニ	0.9	0.197	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
エンダイブ	30	6.728	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7
しゅんぎく	30	6.728	45.0	10.1	9.0	2.0	78.0	17.5	75.0	16.8
レタス(サラダ菜及びびつしゃを含む。)	30	6.728	288.0	64.6	132.0	29.6	342.0	76.7	276.0	61.9
その他のきく科野菜	30	6.728	45.0	10.1	3.0	0.7	18.0	4.0	78.0	17.5
たまねぎ	2	0.407	62.4	12.7	45.2	9.2	70.6	14.4	55.6	11.3
ねぎ(リーキを含む。)	2	0.407	18.4	3.8	7.4	1.5	13.6	2.8	21.4	4.4
んにく	2	0.407	0.8	0.2	0.2	0.0	2.0	0.4	1.0	0.2
にら	2	0.407	4.0	0.8	1.8	0.4	3.6	0.7	4.2	0.9
その他のゆり科野菜	2	0.407	1.2	0.2	0.2	0.0	0.4	0.1	2.2	0.5
にんじん	1	0.06	18.8	1.1	14.1	0.8	22.5	1.4	18.7	1.1
パースニップ	1	0.06	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
パセリ	30	6.728	3.0	0.7	3.0	0.7	3.0	0.7	6.0	1.3
セロリ	30	6.728	36.0	8.1	18.0	4.0	9.0	2.0	36.0	8.1
その他のせり科野菜	30	6.728	6.0	1.3	3.0	0.7	9.0	2.0	9.0	2.0
トマテ	0.7	0.19	22.5	6.1	13.3	3.6	22.4	6.1	28.6	7.0
ピーマン	0.7	0.19	3.4	0.9	1.5	0.4	5.3	1.4	3.4	0.9
なす	0.7	0.19	8.4	2.3	1.5	0.4	7.0	1.9	12.0	3.2
その他のなす科野菜	0.7	0.19	0.8	0.2	0.1	0.0	0.8	0.2	0.8	0.2
きゅうり(カーキンを含む。)	0.5	0.158	10.4	3.3	4.8	1.5	7.1	2.2	12.8	4.0
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.158	4.7	1.5	1.9	0.6	4.0	1.2	6.5	2.1
しそ	0.5	0.158	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.5	0.1
すいか(果皮を含む。)	0.5	0.158	3.8	1.2	2.8	0.9	7.2	2.3	5.7	1.8
メロン類果実(果皮を含む。)	0.5	0.158	1.8	0.6	1.4	0.4	2.2	0.7	2.1	0.7
まくわうり(果皮を含む。)	0.5	0.158	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
その他のうり科野菜	0.5	0.158	1.4	0.4	0.6	0.2	0.3	0.1	1.7	0.5
オクラ	0.7	0.19	1.0	0.3	0.8	0.2	1.0	0.3	1.2	0.3
しょうが	0.02	0.031	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
未成熟えんどう	2	0.65	3.2	1.0	1.0	0.3	0.4	0.1	4.3	1.6
未成熟いんげん	2	0.65	4.8	1.6	2.2	0.7	0.2	0.1	6.4	2.1
なたまめ	2	0.24	3.4	0.4	2.0	0.2	1.2	0.1	3.4	0.6
その他の野菜	7	2.338	93.8	31.3	44.1	14.7	70.7	23.6	98.7	33.0
みかん(外果皮を含む。)	4	0.049	71.2	0.9	65.6	0.8	2.4	0.0	104.5	1.3
なつみかんの果実全体	4	1.731	5.2	2.3	6.8	1.2	19.2	8.3	32.4	9.6
レモン	4	1.731	24.0	0.9	0.4	0.2	0.3	0.3	22.4	1.0
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	4	0.049	28.0	0.3	35.4	0.7	50.0	0.6	16.3	0.2
グレープフルーツ	4	1.731	16.8	7.3	9.2	4.0	35.6	15.4	14.0	6.1
ライム	4	1.731	0.4	0.2	0.4	0.2	0.4	0.2	0.4	0.2
その他のかんまつ類果実	4	1.731	23.6	10.2	10.8	4.7	10.0	4.3	38.0	16.4
りんご	3	1.34	72.6	32.4	92.7	41.4	56.4	25.2	97.2	43.4
日本なし	2	0.55	12.8	3.5	6.8	1.9	18.2	5.0	15.6	4.3
西洋なし	2	0.55	1.2	0.3	0.4	0.1	0.2	0.1	1.0	0.3
マルメロ	0.9	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.9	0.3	0.5	0.2	0.3	0.1	1.7	0.6	0.4	0.1
もも(果皮及び種子を含む。)	3	0.99	10.2	3.4	11.1	3.7	15.9	5.2	13.2	4.4
ネクタリン	3	0.99	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
あんず(アブリコットを含む。)	7	2.33	1.4	0.5	0.7	0.2	0.7	0.2	2.3	0.9
すもも(プルーンを含む。)	3	0.99	3.3	1.1	2.1	0.7	1.8	0.6	3.3	1.1
うめ	7	2.33	9.8	3.3	2.1	0.7	4.2	1.4	12.6	4.2
おうとう(チェリーを含む。)	6	2.78	2.4	1.1	4.2	1.9	0.6	0.3	11.8	0.8
いちご	7	2.4	37.8	13.0	54.6	18.7	36.4	12.5	41.3	14.2
ラズベリー	7	2.4	0.7	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2
ブラックベリー	7	2.4	0.7	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2
ブルーベリー	7	2.4	7.7	2.6	4.9	1.7	3.5	1.2	9.8	3.4
クランベリー	7	2.4	0.7	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2
ハuckleベリー	7	2.4	0.7	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2
その他のベリー類果実	7	2.4	0.7	0.2	0.7	0.2	1.4	0.5	0.7	0.2
ぶどう	3	0.47	26.1	4.1	24.6	3.9	60.6	9.5	27.0	4.2
かき	0.9	0.3	8.9	3.0	4.5	0.5	3.5	1.2	16.4	5.5
バナナ	3	0.055	39.6	0.7	45.6	0.8	48.9	0.9	56.7	1.0
パパイヤ	1	0.054	0.2	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
マンゴ	0.7	0.235	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1
パッションフルーツ	2	0.543	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
その他の果実	7	2.4	8.4	2.9	2.8	1.0	6.3	2.2	11.9	4.1

フルキサピロキサドの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ひまわりの種子	0.9	0.181	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
芝麻の種子	0.9	0.181	0.8	0.2	0.8	0.2	0.8	0.2	0.7	0.1
ペシぼなの種子	0.9	0.181	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
蕎麥	0.5	0.08	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
なたね	0.9	0.181	5.3	1.1	3.3	0.7	4.9	1.0	4.1	0.8
その他のオイルシード	0.9	0.181	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
きんなん	0.06	0.034	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.06	0.034	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.06	0.034	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.06	0.034	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.06	0.034	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.8	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
コーヒード	0.2	0.052	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1
その他のスパイス	20	8.606	2.0	0.9	2.0	0.9	2.0	0.9	4.0	1.7
その他のハーブ	30	6.728	27.0	6.1	9.0	2.0	3.0	0.7	42.0	9.4
陸棲哺乳類の肉類	0.2	筋肉 0.02 脂肪 0.047	11.5	1.5	8.6	1.1	12.9	1.6	8.2	1.0
陸棲哺乳類の食用部分(肉類除く)	0.1	0.081	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.4	0.1	0.1
陸棲哺乳類の乳類	0.02	0.004	5.3	1.1	6.6	1.3	7.3	1.5	4.3	0.9
家禽の肉類	0.05	0.02	1.1	0.4	0.8	0.3	1.1	0.5	0.8	0.3
家禽の卵類	0.02	0.006	0.8	0.2	0.7	0.2	1.0	0.3	0.8	0.2
はちみつ	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
計			2386.2	444.5	1498.9	257.1	2258.3	427.3	2669.5	508.1
ADI比 (%)			206.2	38.4	432.6	74.2	183.8	34.8	226.6	43.1

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

EDI試算の暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるフルキサピロキサド、代謝物F008及び代謝物F048をフルキサピロキサドに換算した濃度の合計濃度を使用した。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

みかん(外果皮を含む。)及びオレンジ(ネーブルオレンジを含む。)については、果肉における作物残留試験成績を用いてEDI試算した。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉及び脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%及び20%として試算した。

米については、作物残留試験のSTMRO.94及び加工係数0.07を用いて精米のSTMRを算出した。

さとうきびについては、作物残留試験成績の平均値0.406及び加工係数0.2を用いて糖蜜中の平均値を算出した。

フルキサピロキサドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
米(玄米)	米	3	○ 0.066	0.4	0
小麦	小麦	2	○ 0.335	0.5	0
大麦	大麦	3	○ 0.545	0.5	0
	麦茶	3	○ 0.545	0.4	0
とうもろこし	スイートコーン	0.2	○ 0.080	0.9	0
そば	そば	3	○ 0.545	0.7	0
大豆	大豆	0.2	○ 0.010	0.0	0
小豆類	いんげん	0.4	○ 0.040	0.1	0
らっかせい	らっかせい	0.01	○ 0.010	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.07	○ 0.060	0.6	0
さといも類(やつがしらを含む。)	さといも	0.03	○ 0.030	0.2	0
かんしょ	かんしょ	0.03	○ 0.030	0.4	0
やまいも(長いもをいう。)	やまいも	0.03	○ 0.030	0.2	0
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.9	○ 0.520	6.0	1
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの葉	8	○ 6.000	49.6	4
かぶ類の根	かぶの根	0.9	○ 0.520	3.8	0
かぶ類の葉	かぶの葉	4	○ 3.100	8.2	1
はくさい	はくさい	4	○ 3.100	40.2	3
キャベツ	キャベツ	4	○ 3.100	29.6	2
ケール	ケール	4	○ 3.100	24.9	2
こまつな	こまつな	4	○ 3.100	13.1	1
きょうな	きょうな	4	○ 3.100	10.3	1
チンゲンサイ	チンゲンサイ	4	○ 3.100	23.0	2
カリフラワー	カリフラワー	4	○ 3.100	23.0	2
ブロッコリー	ブロッコリー	4	○ 3.100	18.6	2
その他のあぶらな科野菜	たかな	4	○ 3.100	24.3	2
	菜花	4	○ 3.100	8.6	1
ごぼう	ごぼう	0.9	○ 0.52	2.6	0
しゅんぎく	しゅんぎく	30	○ 12.22	39.9	3
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	30	○ 12.22	68.9	6
たまねぎ	たまねぎ	2	2	16.4	1
ねぎ(リーキを含む。)	ねぎ	2	2	7.6	1
にんにく	にんにく	2	2	1.3	0
にら	にら	2	2	2.7	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	2	2	3.5	0
	らっきょう	2	2	2.1	0
にんじん	にんじん	1	○ 0.5	2.2	0
	にんじんジュース	1	○ 0.06	0.4	0
パセリ	パセリ(生)	30	○ 12.22	1.9	0
	パセリ(乾燥)	30	○ 12.22	10.9	1
セロリ	セロリ	30	○ 12.22	67.4	6
その他のせり科野菜	せり	30	○ 12.22	20.0	2
トマト	トマト	0.7	1	10.9	1
ピーマン	ピーマン	0.7	1	2.6	0
なす	なす	0.7	1	6.5	1
その他のなす科野菜	とうがらし(生)	0.7	1	1.6	0
	ししとう	0.7	1	1.0	0
きゅうり(ガーキンを含む。)	きゅうり	0.5	○ 0.26	1.6	0
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.5	○ 0.26	2.6	0
	ズッキーニ	0.5	○ 0.26	1.9	0
しろりり	しろりり	0.5	○ 0.26	2.2	0
すいか(果皮を含む。)	すいか	0.5	○ 0.26	8.6	1
メロン類果実(果皮を含む。)	メロン	0.5	○ 0.26	4.4	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.5	○ 0.26	4.4	0
	にがうり	0.5	○ 0.26	2.1	0
オクラ	オクラ	0.7	1	1.5	0
しょうが	しょうが	0.02	○ 0.04	0.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう(さや)	2	○ 0.74	1.2	0
	未成熟えんどう(豆)	2	○ 0.74	1.3	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 0.74	1.4	0

## フルキサピロキサドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
えだまめ	えだまめ	2	○ 0.74	1.9	0
その他の野菜	ずいき	7	○ 3.89	39.4	3
	もやし	7	○ 3.89	8.9	1
	れんこん	7	○ 3.89	24.2	2
	そら豆(生)	7	○ 3.89	11.4	1
	みかん(外果皮を含む。)	みかん	4	○ 0.129	1.2
なつみかんの果実全体	なつみかん	4	○ 3.44	42.8	4
レモン	レモン	4	○ 3.44	7.2	1
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	4	○ 0.129	1.2	0
	オレンジ果汁	4	○ 0.031	0.3	0
グレープフルーツ	グレープフルーツ	4	○ 3.44	59.2	5
その他のかんきつ類果実	きんかん	4	○ 3.44	8.2	1
	ぼんかん	4	○ 3.44	36.2	3
	ゆず	4	○ 3.44	5.4	0
	すだち	4	○ 3.44	5.4	0
	りんご	りんご	3	○ 1.918	27.4
	りんご果汁	3	○ 1.39	14.7	1
日本なし	日本なし	2	○ 0.796	12.0	1
西洋なし	西洋なし	2	○ 0.796	11.2	1
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	びわ	0.9	○ 0.47	3.4	0
もも(果皮及び種子を含む。)	もも	3	○ 2.311	31.3	3
すもも(ブルーベリーを含む。)	ブルーベリー	3	○ 2.311	13.5	1
うめ	うめ	7	10	13.7	1
おうとう(チェリーを含む。)	おうとう	6	9	22.5	2
いちご	いちご	7	○ 3.9	14.9	1
ブルーベリー	ブルーベリー	7	○ 3.9	5.6	0
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.4	18.9	2
かき	かき	0.9	○ 0.47	6.7	1
バナナ	バナナ	3	○ 0.1	1.1	0
マンゴー	マンゴー	0.7	○ 0.39	5.3	0
その他の果実	いちじく	7	○ 3.9	29.9	2
ごまの種子	ごまの種子	0.9	○ 0.115	0.0	0
ぎんなん	ぎんなん	0.06	○ 0.03	0.0	0
くり	くり	0.06	○ 0.03	0.1	0
アーモンド	アーモンド	0.06	○ 0.03	0.0	0
くるみ	くるみ	0.06	○ 0.03	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁(値が100を超える場合は有効数字2桁)とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度(HR)又は中央値(STMR)を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値または、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるフルキサピロキサド、代謝物F008及び代謝物F048に換算した濃度の合計濃度を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

米については、作物残留試験のSTMR0.94及び加工係数0.07を用いて精米のSTMRを算出した。

みかん(外果皮を含む。)及びオレンジ(ネーブルオレンジを含む。)については、果肉の作物残留試験結果を用いて短期摂取量を推計した。

## フルキサピロキサドの推定摂取量（短期）：幼小児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	3	○ 0.066	0.7	0
小麦	小麦	2	○ 0.335	1.0	0
大麦	大麦	3	○ 0.545	0.4	0
	麦茶	3	○ 0.545	1.0	0
とうもろこし	スイートコーン	0.2	○ 0.08	1.9	0
大豆	大豆	0.2	○ 0.01	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.01	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.07	○ 0.06	1.4	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.03	○ 0.03	0.4	0
かんしょ	かんしょ	0.03	○ 0.03	0.8	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.03	○ 0.03	0.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.9	○ 0.52	11.4	1
はくさい	はくさい	4	○ 3.1	48.6	4
キャベツ	キャベツ	4	○ 3.1	48.5	4
こまつな	こまつな	4	○ 3.1	27.5	2
ブロッコリー	ブロッコリー	4	○ 3.1	44.7	4
ごぼう	ごぼう	0.9	○ 0.52	3.3	0
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	レタス類	30	○ 12.22	120.1	10
たまねぎ	たまねぎ	2	2	35.1	3
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	2	13.0	1
にんにく	にんにく	2	2	1.5	0
にら	にら	2	2	4.2	0
にんじん	にんじん	1	○ 0.5	5.2	0
パセリ	パセリ（生）	30	○ 12.22	2.1	0
トマト	トマト	0.7	1	27.2	2
ピーマン	ピーマン	0.7	1	6.5	1
なす	なす	0.7	1	15.6	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.5	○ 0.26	3.8	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	○ 0.26	4.2	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.5	○ 0.26	22.5	2
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.5	○ 0.26	7.6	1
オクラ	オクラ	0.7	1	4.3	0
しょうが	しょうが	0.02	0.04	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2	○ 0.74	0.9	0
	未成熟えんどう（豆）	2	○ 0.74	1.3	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 0.74	3.0	0
えだまめ	えだまめ	2	○ 0.74	2.1	0
その他の野菜	もやし	7	○ 3.89	16.3	1
	れんこん	7	○ 3.89	40.0	3
みかん（外果皮を含む。）	みかん	4	○ 0.129	3.5	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	4	○ 0.129	3.5	0
	オレンジ果汁	4	○ 0.031	0.6	0
りんご	りんご	3	○ 1.918	61.6	5
	りんご果汁	3	○ 1.39	46.9	4
日本なし	日本なし	2	○ 0.796	22.9	2
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	3	○ 2.311	98.0	8
うめ	うめ	7	10	34.1	3
いちご	いちご	7	○ 3.9	42.1	4
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.4	42.9	4
かき	かき	0.9	○ 0.47	9.8	1
バナナ	バナナ	3	○ 0.1	3.8	0
ごまの種子	ごまの種子	0.9	○ 0.115	0.1	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STM）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値または、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるフルキサピロキサド、代謝物F008及び代謝物F048に換算した濃度の合計濃度を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

米については、作物残留試験のSTM0.94及び加工係数0.07を用いて精米のSTMを算出した。

みかん(外果皮を含む。)については、果肉の作物残留試験結果を用いて短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

平成24年	7月10日	インポートトレランス申請（大麦、ばれいしょ等）
平成24年	8月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康響評価について要請
平成25年	4月1日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康響評価について通知
平成25年	11月29日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成26年	10月3日	残留農薬基準告示
平成26年	7月23日	インポートトレランス申請（いちご、ブルーベリー等）
平成26年	9月9日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康響評価について要請
平成27年	3月3日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康響評価について通知
平成27年	6月3日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成27年	12月22日	残留農薬基準告示
平成28年	11月8日	農林水産大臣から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦及びもも）
平成29年	2月2日	インポートトレランス申請（オレンジ、バナナ等）
平成29年	8月30日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康響評価について要請
平成29年	12月12日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康響評価について通知
平成30年	3月23日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成31年	1月22日	残留農薬基準告示
令和4年	6月28日	インポートトレランス設定の要請（しろうり、すいか等）
令和4年	7月15日	農林水産大臣から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（新規：りんご、なし等）
令和4年	10月19日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和4年	12月14日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康響評価について通知
令和5年	3月7日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和5年	5月22日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- ◎ 穂山 浩 学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授  
井之上 浩一 学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授  
大山 和俊 一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長  
○ 折戸 謙介 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授  
加藤 くみ子 学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授  
神田 真軌 東京都健康安全研究センター食品化学部副参事研究員  
魏 民 公立大学法人大阪大阪公立大学大学院医学研究科  
環境リスク評価学准教授  
佐藤 洋 国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授  
佐野 元彦 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授  
須恵 雅之 学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科  
生物有機化学研究室教授  
瀧本 秀美 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事  
田口 貴章 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長  
中島 美紀 国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所  
薬物代謝安全性学研究室教授  
根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部主任研究官  
野田 隆志 一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問  
二村 睦子 日本生活協同組合連合会常務理事

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

フルキサピロキサド

今回残留基準値を設定する「フルキサピロキサド」の規制対象は、フルキサピロキサドのみとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	3
小麦	2
大麦	3
ライ麦	3
とうもろこし	0.2
そば	3
その他の穀類 <sup>注1)</sup>	3
大豆	0.2
小豆類 <sup>注2)</sup>	0.4
えんどう	0.4
そら豆	0.4
らっかせい	0.01
その他の豆類 <sup>注3)</sup>	0.4
ばれいしょ	0.07
さといも類（やつがしらを含む。）	0.03
かんしょ	0.03
やまいも（長いもをいう。）	0.03
こんにゃくいも	0.03
その他のいも類 <sup>注4)</sup>	0.03
てんさい	0.2
さとうきび	3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.9
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	8
かぶ類の根	0.9
かぶ類の葉	4
西洋わさび	0.9
クレソン	30
はくさい	4
キャベツ	4
芽キャベツ	4
ケール	4
こまつな	4
きょうな	4
チンゲンサイ	4
カリフラワー	4
ブロッコリー	4
その他のあぶらな科野菜 <sup>注5)</sup>	4
ごぼう	0.9



食品名	残留基準値 ppm
サルシフィー	0.9
エンダイブ	30
しゅんぎく	30
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	30
その他のきく科野菜 <sup>注6)</sup>	30
たまねぎ	2
ねぎ（リーキを含む。）	2
にんにく	2
にら	2
その他のゆり科野菜 <sup>注7)</sup>	2
にんじん	1
パースニップ	1
パセリ	30
セロリ	30
その他のせり科野菜 <sup>注8)</sup>	30
トマト	0.7
ピーマン	0.7
なす	0.7
その他のなす科野菜 <sup>注9)</sup>	0.7
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.5
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5
しろうり	0.5
すいか（果皮を含む。）	0.5
メロン類果実（果皮を含む。）	0.5
まくわうり（果皮を含む。）	0.5
その他のうり科野菜 <sup>注10)</sup>	0.5
オクラ	0.7
しょうが	0.02
未成熟えんどう	2
未成熟いんげん	2
えだまめ	2
その他の野菜 <sup>注11)</sup>	7
みかん（外果皮を含む。）	4
なつみかんの果実全体	4
レモン	4
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	4
グレープフルーツ	4
ライム	4
その他のかんきつ類果実 <sup>注12)</sup>	4
りんご	3
日本なし	2
西洋なし	2
マルメロ	0.9

食品名	残留基準値 ppm
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.9
もも（果皮及び種子を含む。）	3
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	7
すもも（プルーンを含む。）	3
うめ	7
おうとう（チェリーを含む。）	6
いちご	7
ラズベリー	7
ブラックベリー	7
ブルーベリー	7
クランベリー	7
ハックルベリー	7
その他のベリー類果実 <sup>注13)</sup>	7
ぶどう	3
かき	0.9
バナナ	3
パパイヤ	1
マンゴー	0.7
パッションフルーツ	2
その他の果実 <sup>注14)</sup>	7
ひまわりの種子	0.9
ごまの種子	0.9
べにばなの種子	0.9
綿実	0.5
なたね	0.9
その他のオイルシード <sup>注15)</sup>	0.9
ぎんなん	0.06
くり	0.06
ペカン	0.06
アーモンド	0.06
くるみ	0.06
その他のナッツ類 <sup>注16)</sup>	0.8
コーヒー豆	0.2
その他のスパイス <sup>注17)</sup>	20
その他のハーブ <sup>注18)</sup>	30
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物 <sup>注19)</sup> の筋肉	0.2
牛の脂肪	0.2
豚の脂肪	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.2

食品名	残留基準値 ppm
牛の肝臓	0.1
豚の肝臓	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.1
牛の腎臓	0.1
豚の腎臓	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.1
牛の食用部分 <sup>注20)</sup>	0.1
豚の食用部分	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.1
乳	0.02
鶏の筋肉	0.02
その他の家きん <sup>注21)</sup> の筋肉	0.02
鶏の脂肪	0.05
その他の家きんの脂肪	0.05
鶏の肝臓	0.02
その他の家きんの肝臓	0.02
鶏の腎臓	0.02
その他の家きんの腎臓	0.02
鶏の食用部分	0.02
その他の家きんの食用部分	0.02
鶏の卵	0.02
その他の家きんの卵	0.02
はちみつ	0.05
干しぶどう	15

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにやくいも以外のものをいう。

注5) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びびなす以外のものをいう。

注10) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注13) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パインナッブル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注15) 「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注16) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

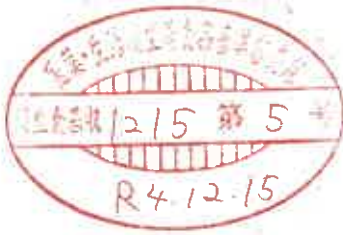
注17) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注18) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注19) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注20) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注21) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。



府 食 第 688 号  
令和 4 年 12 月 14 日

厚生労働大臣  
加藤 勝信 殿

食品安全委員会  
委員長 山本 茂貴

### 食品健康影響評価の結果の通知について

令和 4 年 10 月 19 日付け厚生労働省発生食 1019 第 10 号をもって厚生労働大臣から食品安全委員会に意見を求められたフルキサピロキサドに係る食品健康影響評価の結果は下記のとおりですので、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 23 条第 2 項の規定に基づき通知します。

なお、食品健康影響評価の詳細は別添のとおりです。

### 記

フルキサピロキサドの許容一日摂取量を 0.021 mg/kg 体重/日、急性参照用量を 1.2 mg/kg 体重と設定する。

# 農薬評価書

## フルキサピロキサド

(第4版)

令和4年(2022年)12月

食品安全委員会

## 目 次

	頁
○ 審議の経緯.....	4
○ 食品安全委員会委員名簿.....	5
○ 食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿.....	6
○ 要 約.....	9
I. 評価対象農薬の概要.....	10
1. 用途.....	10
2. 有効成分の一般名.....	10
3. 化学名.....	10
4. 分子式.....	10
5. 分子量.....	10
6. 構造式.....	10
7. 開発の経緯.....	10
II. 安全性に係る試験の概要.....	12
1. 動物体内運命試験.....	12
(1) ラット.....	12
(2) ヤギ.....	18
(3) ニワトリ.....	20
2. 植物体内運命試験.....	21
(1) トマト.....	21
(2) だいず.....	21
(3) 小麦①.....	22
(4) 小麦②.....	24
3. 土壌中運命試験.....	25
(1) 好氣的土壌中運命試験①.....	25
(2) 好氣的土壌中運命試験②.....	26
(3) 好氣的土壌中運命試験③.....	26
(4) 好氣的／嫌氣的土壌中運命試験.....	27
(5) 土壌吸脱着試験.....	27
4. 水中運命試験.....	27
(1) 加水分解試験（緩衝液）.....	27
(2) 水中光分解試験（緩衝液）.....	28
(3) 水中光分解試験（自然水）.....	28
5. 土壌残留試験.....	28
6. 作物等残留試験.....	29

(1) 作物残留試験	29
(2) 畜産物残留試験	29
(3) 推定摂取量	30
7. 一般薬理試験	30
8. 急性毒性試験	31
(1) 急性毒性試験	31
(2) 急性神経毒性試験	32
9. 眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験	32
10. 亜急性毒性試験	33
(1) 90日間亜急性毒性試験(ラット)	33
(2) 90日間亜急性毒性試験(マウス)	34
(3) 90日間亜急性毒性試験(イヌ)	35
(4) 90日間亜急性神経毒性試験(ラット)	36
(5) 90日間亜急性毒性試験(ラット、代謝物F001)	37
(6) 90日間亜急性毒性試験(ラット、代謝物F002)	37
(7) 28日間亜急性毒性試験(ラット、代謝物F048)	37
11. 慢性毒性試験及び発がん性試験	38
(1) 1年間慢性毒性試験(イヌ)	38
(2) 2年間慢性毒性/発がん性併合試験(ラット)	39
(3) 18か月間発がん性試験(マウス)	41
12. 生殖発生毒性試験	42
(1) 2世代繁殖試験(ラット)	42
(2) 発生毒性試験(ラット)	44
(3) 発生毒性試験(ウサギ)	45
(4) 発生毒性試験(ウサギ、代謝物F001)	45
(5) 発生毒性試験(ウサギ、代謝物F002)	46
(6) 発生毒性試験(ウサギ、代謝物F048)	46
13. 遺伝毒性試験	46
14. その他の試験	51
(1) 肝酵素誘導試験(ラット)	51
(2) 甲状腺機能試験(ラット)	52
(3) 肝細胞増殖反応試験(ラット)	53
(4) 28日間免疫毒性試験(マウス)	55
III. 食品健康影響評価	57
・別紙1: 代謝物/分解物略称	64
・別紙2: 検査値等略称	67



・別紙 3 : 作物残留試験成績 (国内) .....	69
・別紙 4 : 作物残留試験成績 (海外) .....	85
・別紙 5 : 畜産物残留試験 (海外) .....	223
・別紙 6 : 推定摂取量 .....	233
・参照 .....	235

## ＜審議の経緯＞

### －第1版関係－

- 2012年 7月 10日 インポートトレランス設定の要請（だいず、小麦等）
- 2012年 8月 21日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発食安 0821 第3号）、関係書類の接受（参照 1～63）
- 2012年 8月 27日 第444回食品安全委員会（要請事項説明）
- 2012年 11月 9日 第19回農薬専門調査会評価第二部会
- 2012年 12月 5日 第20回農薬専門調査会評価第二部会
- 2013年 1月 25日 第90回農薬専門調査会幹事会
- 2013年 2月 18日 第463回食品安全委員会（報告）
- 2013年 2月 19日 から3月20日まで 国民からの意見・情報の募集
- 2013年 3月 25日 農薬専門調査会座長から食品安全委員会委員長へ報告
- 2013年 4月 1日 第469回食品安全委員会（報告）  
（同日付け厚生労働大臣へ通知）（参照 64）
- 2013年 6月 13日 初回農薬登録（日本芝及び西洋芝）
- 2014年 10月 3日 残留農薬基準告示（参照 65）

### －第2版関係－

- 2014年 7月 23日 インポートトレランス設定の要請（いちご、ブルーベリー等）
- 2014年 9月 9日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発食安 0909 第6号）、関係書類の接受（参照 66～69）
- 2014年 9月 16日 第530回食品安全委員会（要請事項説明）
- 2014年 11月 5日 第116回農薬専門調査会幹事会
- 2014年 12月 3日 第117回農薬専門調査会幹事会
- 2014年 12月 16日 第542回食品安全委員会（報告）
- 2014年 12月 17日 から2015年1月15日まで 国民からの意見・情報の募集
- 2015年 2月 16日 第119回農薬専門調査会幹事会
- 2015年 2月 19日 農薬専門調査会座長から食品安全委員会委員長へ報告
- 2015年 3月 3日 第551回食品安全委員会（報告）  
（同日付け厚生労働大臣へ通知）（参照 70）
- 2015年 12月 22日 残留農薬基準告示（参照 71）

### －第3版関係－

- 2016年 11月 8日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：小麦及びもも）
- 2017年 2月 2日 インポートトレランス設定の要請（オレンジ、バナナ等）

- 2017年 8月 30日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発生食 0830 第 9 号）、関係書類の接受（参照 72～92）
- 2017年 9月 5日 第 664 回食品安全委員会（要請事項説明）
- 2017年 11月 9日 追加資料受理（参照 93）
- 2017年 12月 1日 第 154 回農薬専門調査会幹事会
- 2017年 12月 6日 農薬専門調査会座長から食品安全委員会委員長へ報告
- 2017年 12月 12日 第 677 回食品安全委員会（報告）  
（同日付け厚生労働大臣へ通知）（参照 97）
- 2019年 1月 22日 残留農薬基準告示（参照 98）

－第 4 版関係－

- 2022年 6月 28日 インポートトレランス設定の要請（しろうり、すいか等）
- 2022年 7月 15日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（新規：りんご、なし等）
- 2022年 10月 19日 厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発生食 1019 第 10 号）、関係書類の接受（参照 99～115）
- 2022年 10月 25日 第 877 回食品安全委員会（要請事項説明）
- 2022年 12月 13日 第 882 回食品安全委員会（審議）  
（12月 14日付け厚生労働大臣へ通知）

**<食品安全委員会委員名簿>**

(2015年 6月 30日まで)	(2018年 6月 30日まで)
熊谷 進（委員長）	佐藤 洋（委員長）
佐藤 洋（委員長代理）	山添 康（委員代理）
山添 康（委員長代理）	吉田 緑
三森国敏（委員長代理）	山本茂貴
石井克枝	石井克枝
上安平冽子	堀口逸子
村田容常	村田容常

(2021年 7月 1日から)

山本茂貴（委員長）  
 浅野 哲（委員長代理 第一順位）  
 川西 徹（委員長代理 第二順位）  
 脇 昌子（委員長代理 第三順位）  
 香西みどり  
 松永和紀  
 吉田 充

<食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿>

(2014年3月31日まで)

- ・幹事会
 

納屋聖人（座長）	上路雅子	松本清司
西川秋佳*（座長代理）	永田 清	山手丈至**
三枝順三（座長代理**）	長野嘉介	吉田 緑
赤池昭紀	本間正充	
- ・評価第一部会
 

上路雅子（座長）	津田修治	山崎浩史
赤池昭紀（座長代理）	福井義浩	義澤克彦
相磯成敏	堀本政夫	若栗 忍
- ・評価第二部会
 

吉田 緑（座長）	栗形麻樹子	藤本成明
松本清司（座長代理）	腰岡政二	細川正清
泉 啓介	根岸友恵	本間正充
- ・評価第三部会
 

三枝順三（座長）	小野 敦	永田 清
納屋聖人（座長代理）	佐々木有	八田稔久
浅野 哲	田村廣人	増村健一
- ・評価第四部会
 

西川秋佳*（座長）	川口博明	根本信雄
長野嘉介（座長代理*; 座長**）	代田眞理子	森田 健
山手丈至（座長代理**）	玉井郁巳	與語靖洋
井上 薫**		* : 2013年9月30日まで ** : 2013年10月1日から

(2016年3月31日まで)

- ・幹事会
 

西川秋佳（座長）	小澤正吾	林 真
納屋聖人（座長代理）	三枝順三	本間正充
赤池昭紀	代田眞理子	松本清司
浅野 哲	永田 清	與語靖洋
上路雅子	長野嘉介	吉田 緑*
- ・評価第一部会
 

上路雅子（座長）	清家伸康	藤本成明
赤池昭紀（座長代理）	林 真	堀本政夫
相磯成敏	平塚 明	山崎浩史
浅野 哲	福井義浩	若栗 忍
篠原厚子		
- ・評価第二部会
 

吉田 緑（座長）*	腰岡政二	細川正清
松本清司（座長代理）	佐藤 洋	本間正充

小澤正吾 川口博明 栞形麻樹子	杉原数美 根岸友恵	山本雅子 吉田 充
・評価第三部会 三枝順三（座長） 納屋聖人（座長代理） 太田敏博 小野 敦	高木篤也 田村廣人 中島美紀 永田 清	中山真義 八田稔久 増村健一 義澤克彦
・評価第四部会 西川秋佳（座長） 長野嘉介（座長代理） 井上 薫** 加藤美紀	佐々木有 代田眞理子 玉井郁巳 中塚敏夫	本多一郎 森田 健 山手丈至 與語靖洋 *：2015年6月30日まで **：2015年9月30日まで

(2018年3月31日まで)

・幹事会 西川秋佳（座長） 納屋聖人（座長代理） 浅野 哲 小野 敦	三枝順三 代田眞理子 清家伸康 中島美紀	長野嘉介 林 真 本間正充* 與語靖洋
・評価第一部会 浅野 哲（座長） 平塚 明（座長代理） 堀本政夫（座長代理） 相磯成敏 小澤正吾	栞形麻樹子 佐藤 洋 清家伸康 豊田武士 林 真	平林容子 本多一郎 森田 健 山本雅子 若栗 忍
・評価第二部会 三枝順三（座長） 小野 敦（座長代理） 納屋聖人（座長代理） 腰岡政二 杉原数美	高木篤也 中島美紀 中島裕司 中山真義 根岸友恵	八田稔久 福井義浩 本間正充* 美谷島克宏 義澤克彦
・評価第三部会 西川秋佳（座長） 長野嘉介（座長代理） 與語靖洋（座長代理） 石井雄二 太田敏博	加藤美紀 川口博明 久野壽也 篠原厚子 代田眞理子	高橋祐次 塚原伸治 中塚敏夫 増村健一 吉田 充 *：2017年9月30日まで

**<第 19 回農薬専門調査会評価第二部会専門参考人名簿>**

小澤正吾

長尾哲二

**<第 20 回農薬専門調査会評価第二部会専門参考人名簿>**

小澤正吾

長尾哲二

**<第 90 回農薬専門調査会幹事会専門参考人名簿>**

小澤正吾

林 真

**<第 154 回農薬専門調査会幹事会専門参考人名簿>**

赤池昭紀

永田 清

松本清司

上路雅子

本間正充

## 要 約

カルボキシアミド系の殺菌剤「フルキサピロキサド」(CAS No. 907204-31-3)について、各種資料を用いて食品健康影響評価を実施した。第4版の改訂に当たっては、厚生労働省から、作物残留試験(りんご、なし等)の成績等が新たに提出された。

評価に用いた試験成績は、動物体内運命(ラット、ヤギ及びニワトリ)、植物体内運命(小麦、トマト等)、作物等残留、急性神経毒性(ラット)、亜急性毒性(ラット、マウス及びイヌ)、亜急性神経毒性(ラット)、慢性毒性(イヌ)、慢性毒性/発がん性併合(ラット)、発がん性(マウス)、2世代繁殖(ラット)、発生毒性(ラット及びウサギ)、遺伝毒性等である。

各種毒性試験結果から、フルキサピロキサド投与による影響は主に肝臓(小葉中心性肝細胞肥大、脂肪化:マウス、肝細胞色素沈着:イヌ)、甲状腺(ろ胞細胞肥大/過形成:ラット)、骨(骨化過剰:ラット)及び歯(白変:ラット及びマウス)に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性、生体において問題となる遺伝毒性及び免疫毒性は認められなかった。

ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験では、肝臓において、雌雄で肝細胞腫瘍が増加し、甲状腺において、雄で腺腫及び癌の合計が増加したが、メカニズム試験及び遺伝毒性試験の結果から、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

各種試験結果から、農産物及び畜産物中のばく露評価対象物質をフルキサピロキサド(親化合物のみ)と設定した。

ラットを用いた90日間亜急性毒性試験の雄、90日間亜急性神経毒性試験の雌及び2世代繁殖試験の親動物の雌雄では無毒性量が設定できなかったが、これらに比し、より低用量かつ長期間行われたラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験では無毒性量2.1 mg/kg 体重/日が得られており、2.1 mg/kg 体重/日がラットの無毒性量として妥当と考えられた。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験の2.1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した0.021 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量(ADI)と設定した。

また、フルキサピロキサドの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の125 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した1.2 mg/kg 体重を急性参照用量(ARfD)と設定した。

## I. 評価対象農薬の概要

### 1. 用途

殺菌剤

### 2. 有効成分の一般名

和名：フルキサピロキサド

英名：fluxapyroxad (ISO 名)

### 3. 化学名

#### IUPAC

和名：3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-(3',4',5'-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1*H*ピラゾール-4-カルボキサミド

英名：3-(difluoromethyl)-1-methyl-*N*-(3',4',5'-trifluorobiphenyl-2-yl)-1*H*pyrazole-4-carboxamide

#### CAS (No. 907204-31-3)

和名：3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-(3',4',5'-トリフルオロ[1,1'-ビフェニル]-2-イル)-1*H*ピラゾール-4-カルボキサミド

英名：3-(difluoromethyl)-1-methyl-*N*-(3',4',5'-trifluoro[1,1'-biphenyl]-2-yl)-1*H*pyrazole-4-carboxamide

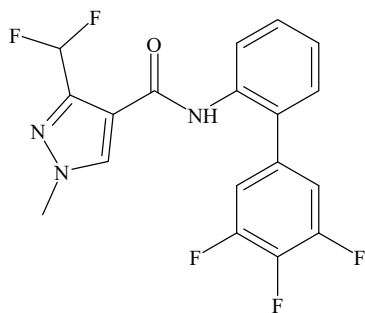
### 4. 分子式

$C_{18}H_{12}F_5N_3O$

### 5. 分子量

381.3

### 6. 構造式



### 7. 開発の経緯

フルキサピロキサドは、BASF 社によって開発されたカルボキサミド系の殺



菌剤で、ミトコンドリア内呼吸鎖複合体Ⅱに作用し殺菌効果を示すと考えられている。

日本では 2013 年に初回農薬登録され、海外では米国及び欧州で登録されている。

第 4 版では、農薬取締法に基づく農薬登録申請（新規：りんご、なし等）及びインポートトレランス設定の要請（しろうり、すいか等）がなされている。

## II. 安全性に係る試験の概要

各種運命試験 [II. 1～4] はフルキサピロキサドのピラゾール環 4 位の炭素を  $^{14}\text{C}$  で標識したもの（以下「[pyr- $^{14}\text{C}$ ]フルキサピロキサド」という。）、アニリンのフェニル基を  $^{14}\text{C}$  で均一に標識したもの（以下「[phe- $^{14}\text{C}$ ]フルキサピロキサド」という。）及びトリフルオロフェニル基のフェニル基を  $^{14}\text{C}$  で均一に標識したもの（以下「[tri- $^{14}\text{C}$ ]フルキサピロキサド」という。）を用いて実施された。放射能濃度及び代謝物濃度は、特に断りがない場合は比放射能（質量放射能）からフルキサピロキサドの濃度に換算した値（mg/kg 又は  $\mu\text{g/g}$ ）として示した。

代謝物/分解物略称及び検査値等略称は別紙 1 及び 2 に示されている。

### 1. 動物体内運命試験

#### (1) ラット

##### ① 吸収

##### a. 血中濃度推移

Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に [phe- $^{14}\text{C}$ ]フルキサピロキサドを 5、50 又は 500 mg/kg 体重で単回経口投与し、血中濃度推移について検討された。

各投与群における血漿中薬物動態学的パラメータは表 1 に示されている。

AUC は 500 mg/kg 体重投与群では雌の方が雄よりも高値を示した。（参照 1、2）

表 1 血漿中薬物動態学的パラメータ

投与量	5 mg/kg 体重		50 mg/kg 体重		500 mg/kg 体重	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
$C_{\max}(\mu\text{g/g})$	1.85	1.57	13.4	11.8	65.3	66.1
$T_{\max}(\text{hr})$	1	1	8	8	24	24
$T_{1/2}(\text{hr})$	34.3	30.1	37.2	36.0	53.2	38.5
AUC(hr · $\mu\text{g/g}$ )	45.4	35.7	435	532	4,220	5,670

##### b. 吸収率

胆汁中排泄試験 [1.(1)④b] における低用量投与群の尿、胆汁及び組織中の放射能から推定した吸収率は、少なくとも 72%であった。（参照 1、2）

##### ② 分布

Wistar ラット（一群雌雄各 3 又は 4 匹）に [phe- $^{14}\text{C}$ ]フルキサピロキサドを 7.5 mg/kg 体重（以下 [1.(1)] において「低用量」という。）若しくは 150 mg/kg 体重（以下 [1.(1)] において「高用量」という。）で単回経口投与、又は高用量のフルキサピロキサドを 14 日間反復経口投与後、15 日目に [phe- $^{14}\text{C}$ ]フルキサピロキサドを高用量で単回経口投与（以下 [1.(1)] において「14 日間反復投与」という。）して、体内分布試験が実施された。

単回投与群の主要組織における残留放射能濃度は表 2 に示されている。

胃、副腎、肝臓及び甲状腺で高い放射能分布が認められた。また、投与 48、72 又は 80 時間後では、約 90%TAR 以上が排泄された。

最終投与 168 時間後の組織中の残留放射能の合計は単回投与及び 14 日間反復投与のいずれにおいても 0.25%TAR~0.68%TAR と僅かであった。(参照 1、2)

表 2 単回投与群の主要組織における残留放射能濃度 (µg/g)

投与量	性別	T <sub>max</sub> 付近 <sup>a</sup>	48、72 又は 80 時間後 <sup>b</sup>
7.5 mg/kg 体重	雄	胃(34.2)、副腎(13.6)、肝臓(11.9)、甲状腺(9.91)、腸(9.51)、膵臓(5.91)、腎臓(4.98)、脂肪組織(4.80)、心臓(4.40)、肺(3.98)、脳(2.96)、骨髄(2.61)、皮膚(2.41)、脾臓(2.39)、血漿(2.28)	腸(1.02)、肝臓(0.57)、甲状腺(0.37)、腎臓(0.17)、副腎(0.17)、血漿(0.12)
	雌	胃(33.3)、副腎(21.0)、肝臓(13.7)、腸(12.2)、甲状腺(10.7)、膵臓(9.30)、脂肪組織(6.82)、卵巣(6.61)、肺(6.13)、腎臓(5.80)、心臓(5.10)、脳(4.45)、皮膚(4.09)、カーカス <sup>1</sup> (3.79)、骨髄(3.23)、脾臓(3.10)、筋肉(2.51)、血漿(2.15)	腸(2.04)、脂肪組織(0.90)、肝臓(0.85)、副腎(0.52)、甲状腺(0.48)、卵巣(0.44)、腎臓(0.30)、胃(0.29)、膵臓(0.28)、骨髄(0.23)、血漿(0.22)
150 mg/kg 体重	雄	胃(143)、腸(84.4)、肝臓(38.1)、脂肪組織(33.4)、副腎(18.4)、甲状腺(17.0)、血漿(14.5)	肝臓(7.94)、腎臓(2.88)、甲状腺(1.98)、腸(1.52)、胃(1.06)、血漿(1.06)
	雌	胃(369)、腸(188)、肝臓(72.3)、脂肪組織(70.8)、副腎(53.1)、甲状腺(52.7)、膵臓(38.6)、卵巣(36.8)、腎臓(24.6)、心臓(23.5)、血漿(23.4)	腸(16.8)、肝臓(11.5)、血漿(3.93)

a : 雌雄とも低用量群は投与 1 時間後、高用量群では投与 16 時間後

b : 低用量群は雌雄とも投与 48 時間後、高用量群の雄は 72 時間後、雌は 80 時間後

### ③ 代謝

排泄試験 [1.(1)④] で得られた尿、糞及び胆汁並びに Wistar ラット (一群雌雄各 4 匹) に [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを高用量で単回経口投与して得られた尿及び糞並びに [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを低用量又は高用量で単回経口投与して得られた肝臓、腎臓、血漿及び脂肪を用いて、代謝物同定・定量試験が実施された。

各投与群の尿、糞及び胆汁中の代謝物は表 3 に示されている。

尿中には未変化のフルキサピロキサドは認められず、抱合体を含む多数の代

<sup>1</sup> 組織・臓器を取り除いた残渣のことをカーカスという (以下同じ。)

謝物が認められた。糞中には未変化のフルキサピロキサド及び 7 種の代謝物が検出された。尿及び糞で認められた主要な代謝物に性別、投与量及び投与回数による差は認められなかったが、代謝物の組成には投与量と雌雄間で量的変動が認められた。胆汁中には未変化のフルキサピロキサドは認められず、ほとんどがグルクロン酸又はグルタチオン由来の抱合体であった。

[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド投与群において、低用量では 1 時間後、高用量では 16 時間後の肝臓、腎臓、血漿及び脂肪中に認められた未変化のフルキサピロキサドは、低用量群の雌雄の肝臓で 3.03%**TAR**～3.66%**TAR**、高用量群及び低用量群の雌の脂肪で 1.55%**TAR**～2.72%**TAR** 認められたほかはいずれも 0.5%**TAR** 以下と僅かであった。組織中に認められた代謝物はいずれも 1%**TAR** 未満と僅かであり、尿、糞及び胆汁中に認められた代謝物と同様であった。

フルキサピロキサドのラット体内における主な代謝経路は、①ビフェニル環の水酸化、②ビフェニル環のフッ素原子の消失、③ピラゾール環の *N*-脱メチル化、④水酸基のグルクロン酸、グルタチオン誘導体又は硫酸との抱合、であると考えられた。(参照 1、3)

表3 各投与群の尿、糞及び胆汁中の代謝物 (%TAR)

標識化合物	群	投与量	性別	試料	投与後時間	フルキサピロキサド	代謝物
[phe- <sup>14</sup> C]	単回	7.5 mg/kg 体重	雄	尿	120	ND	F014(3.09)、F004(1.61)、F015(1.41)、F005/F024(1.12)、F009/F028(1.03)、F020(0.13)、F011(0.05)、F023(0.03)
			雌			ND	F014(8.60)、F009(3.70)、F004(0.63)、F061(0.63)、F015(0.45)、F020(0.20)、F011(0.14)、F016(0.07)
			雄	糞	144	2.51	F009(22.2)、F006(13.3)、F016(11.8)、F005(9.44)、F010(4.83)、F024(2.90)、F008(0.61)
			雌			3.32	F009(53.0)、F005(8.70)、F006(3.42)、F016(3.31)、F024(3.13)、F010(2.34)、F008(1.69)
			雄	胆汁	72	ND	F004(14.0)、F009/F125(9.85)、F005/F024(9.83)、F014/F122(5.41)、F015/F123(3.27)、F118(3.14)、F117(2.20)、F120/F121(1.73)、F113(1.26)、F006(0.97)、F042(0.73)、F115/F116(0.61)、F032(0.37)、F124(0.24)
			雌			ND	F014/F122(22.0)、F009/F125(13.2)、F004(10.8)、F005/F024(4.23)、F015/F123(3.91)、F117(1.59)、F042(1.26)、F113(1.25)、F118(0.85)、F115/F116(0.33)、F006(0.16)、F120/F121(0.14)、F124(0.06)、F032(0.03)
[phe- <sup>14</sup> C]	単回	150 mg/kg 体重	雄	尿	96	ND	F005/F024(0.76)、F009/F028(0.51)、F014(0.40)、F015(0.40)、F004(0.30)、F016(0.10)、F020(0.04)、F023(0.01)
			雌			ND	F009(3.34)、F014(2.26)、F061(1.22)、F004(0.39)、F015(0.17)、F011(0.08)、F020(0.05)、F016(0.02)
			雄	糞	43.8	F009(7.63)、F006(6.69)、F016(5.43)、F005(3.53)、F024(2.62)、F010(2.49)	
			雌		33.6	F009(18.2)、F024(4.90)、F005(4.50)、F006(4.45)、F016(2.91)、F010(2.26)、F008(0.55)	
[phe- <sup>14</sup> C]			雄	胆汁	60	ND	F004(21.2)、F014/F122(9.64)、F015/F123(6.66)、F009/F125(4.18)、F117(3.80)、F005/F024(3.36)、F118(3.01)、F113(2.20)、F120/F121(1.98)、F115/F116(0.75)、F042(0.32)、F006(0.18)、F032(0.11)

標識化合物	群	投与量	性別	試料	投与後時間	フルキサピロキサド	代謝物			
			雌		72	ND	F004(19.5)、F014/F122(10.9)、F015/F123(10.1)、F113(8.62)、F009/F125(7.25)、F005/F024(4.58)、F117(4.32)、F118(1.10)、F120/F121(0.95)、F115/F116(0.71)、F006(0.31)、F124(0.31)、F042(0.26)、F032(0.25)			
[phe- <sup>14</sup> C]	単回	150 mg/kg 体重	雄	尿	168	ND	F014(0.94)、F015(0.82)、F004(0.58)、F009/F028(0.55)、F005/F024(0.39)、F016(0.25)、F020(0.09)、F011(0.04)、F023(0.01)			
			雌			ND	F014(2.86)、F009(1.35)、F015(0.62)、F004(0.25)、F061(0.23)、F011(0.06)、F020(0.06)			
			雄	糞		30.2	F009(11.4)、F006(7.13)、F016(6.89)、F005(5.49)、F010(3.14)、F024(2.22)、F008(0.78)			
			雌			23.4	F009(19.2)、F006(5.47)、F024(5.01)、F005(4.94)、F010(2.41)、F016(1.98)、F008(0.90)			
[pyr- <sup>14</sup> C]			150 mg/kg 体重	雄		尿	168	ND	F014(1.20)、F004(0.72)、F015(0.71)、F009/F028(0.56)、F001(0.20)、F005/F024(0.16)、F002(0.07)、F011(0.07)、F020(0.06)、F026/F027(0.06)、F023(0.04)、F016(0.03)、F025(0.01)	
				雌				ND	F014(4.82)、F015(0.97)、F009(0.84)、F004(0.82)、F061(0.23)、F001(0.12)、F011(0.05)、F016(0.05)、F002(0.04)、F020(0.04)	
				雄		糞		96	18.6	F009(14.1)、F006(9.16)、F016(8.72)、F005(6.08)、F010(3.91)、F024(2.58)、F008(1.09)
				雌				168	26.3	F009(22.5)、F005(6.82)、F006(5.88)、F024(4.54)、F010(2.43)、F016(2.24)、F008(1.12)
[phe- <sup>14</sup> C]	反復	150 mg/kg 体重 /日		雄	尿	120		ND	F015(2.14)、F014(0.99)、F005/F024(0.82)、F004(0.58)、F009/F028(0.42)、F020(0.27)、F011(0.18)、F016(0.04)	
				雌				ND	F009(3.47)、F061(1.95)、F014(0.56)、F004(0.53)、F015(0.48)、F016(0.36)、F011(0.08)、F020(0.05)	

標識化合物	群	投与量	性別	試料	投与後時間	フルキサピロキサド	代謝物
			雄	糞		30.5	F016(9.46)、F009(8.95)、F006(7.76)、F024(3.40)、F010(3.23)、F005(2.72)、F008(0.34)
			雌			30.7	F009(10.6)、F024(7.30)、F006(6.20)、F005(5.22)、F016(4.17)、F010(1.86)、F008(0.34)

ND：検出されず

[phe-<sup>14</sup>C]：[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド      [pyr-<sup>14</sup>C]：[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

#### ④ 排泄

##### a. 尿及び糞中排泄

Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを低用量若しくは高用量で単回経口投与又は高用量で反復経口投与し、尿、糞及び呼気中排泄試験が実施された。

投与後 72 時間（単回投与群）及び最終投与後 168 時間（反復投与群）の尿及び糞中排泄率は表 4 に示されている。

尿及び糞中排泄率は単回投与群では投与後 72 時間で 87.3%TAR～108%TAR、反復投与群では最終投与後 168 時間で 93.2%TAR 以上であり、主に糞中へ排泄された。

単回投与群の雄 2 匹について、投与後 48 時間の呼気中の放射能濃度が測定されたが、呼気中への排泄率はいずれも 2%TAR 未満と僅かであった。（参照 1、2）

表 4 投与後 72 時間（単回投与群）及び最終投与後 168 時間（反復投与群）の尿及び糞中排泄率（%TAR）

群	単回				反復	
	7.5 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重/日	
性別	雄	雌	雄	雌	雄	雌
尿	9.72	16.0	3.22	8.31	6.82	9.39
糞	87.5	91.9	84.1	81.6	86.4	84.4
排泄合計	97.2	108	87.3	89.9	93.2	93.8
組織残留 <sup>a</sup>	0.69	0.67	0.26	0.30	0.45	0.41
合計	98.8	110	88.4	91.0	94.3	95.2

<sup>a</sup>：投与 168 時間後の脳、心臓、脂肪組織、肝臓、肺、筋肉、胃/内容物、腸/内容物、脾臓、腎臓、膵臓、甲状腺、副腎、精巣、卵巣、子宮、皮膚、骨、骨髄、血球、血漿及びカーカス

##### b. 胆汁中排泄

胆管カニューレを挿入した Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを低用量又は高用量で単回経口投与し、胆汁中排泄試験が実

施された。

投与後 72 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率は表 5 に示されている。

放射能は投与後 72 時間で 70.8%TAR～82.3%TAR が尿、糞及び胆汁中へ排泄され、主に胆汁を介し糞中へ排泄された。

胆汁中への排泄は、雄で投与後 48 時間に 53.6%TAR～58.2%TAR、雌で 49.4%TAR～56.6%TAR であった。（参照 1、2）

表 5 投与後 72 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率 (%TAR)

投与量	7.5 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重	
	雄	雌	雄	雌
尿	11.5	20.6	3.08	2.94
糞	3.29	5.01	18.8	16.2
胆汁	56.0	55.8	58.9 <sup>a</sup>	63.2
排泄合計	70.8	81.4	80.8	82.3
胃腸管合計 <sup>b</sup>	8.62	6.39	13.4	5.54
カーカス	3.88	2.99	2.21	0.95
合計	83.3	90.8	96.4	88.8

a : 高用量群の雄では投与後 60 時間の胆汁が測定された。

b : 胃内容物、胃、腸内容物及び腸の合計

## (2) ヤギ

泌乳期ヤギ (Deutsche Bunte Edelziege 系、雌 2 頭) に [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 8 日間反復強制経口投与 (原体 : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドで 0.42 mg/kg 体重/日、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドで 0.41 mg/kg 体重/日) して、動物体内運命試験が実施された。

投与後 8 日の乳汁及び最終投与 23 時間後の組織における総残留放射能濃度及び代謝物は表 6 に示されている。

乳汁中の残留放射能濃度は、投与 8 日後まで 0.008～0.042 µg/g の範囲で推移した。肝臓では抽出残渣に 68.4%TRR～74.4%TRR の放射能が検出されたが、加水分解後に代謝物の分析を行ったところ、表 6 に示す試料で同定された代謝物は認められなかった。

投与後 8 日の尿及び糞中への排泄率は、79.8%TAR～83.3%TAR であり、約 60%TAR が糞中へ排泄された。

尿、糞及び胆汁中の総残留放射能濃度及び代謝物は表 7 に示されている。

フルキサピロキサドの主な代謝経路はラットと同様で、ピラゾール環の脱メチル化及びビフェニル環の水酸化であり、その後、脱メチル化及び酸化抱合化を受けると考えられた。標識化合物による代謝物の差はほとんど認められなかった。（参照 1、4、5）



表6 投与後8日の乳汁及び最終投与23時間後の組織における総残留放射能濃度及び代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 (µg/g)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	肝臓	0.348	3.2	F008(16.7)、F005(6.4)、F009(2.3)、F004(1.9)、F010/F040(0.7)	76.6
	腎臓	0.036	7.0	F008(25.6)、F004(13.1)、F038/F039/F111(9.0)、F034/F036(5.2)、F005/F024(5.2)、F015(5.2)、F014(3.5)、F010/F040(3.1)、F046/F047(3.1)、F009(2.0)	16.5
	筋肉	0.007	12.0	F008(54.7)	22.9
	脂肪	0.021	43.6	F008(25.9)、F005/F024(3.4)	不明
	乳汁	0.011	13.0	F008(23.9)、F010/F040(12.3)、F009(5.5)	2.8
[pyr- <sup>14</sup> C]	肝臓	0.555	3.7	F008(12.8)、F005(8.3)、F004(2.6)、F009(2.5)	68.4
	腎臓	0.078	5.4	F008(22.5)、F005/F024(19.2)、F004(12.3)、F038/F039/F111(5.1)、F034/F036(4.9)、F046/F047(4.4)、F015(4.1)、F010/F040(4.0)、F009(3.6)、F014(3.0)	8.5
	筋肉	0.009	ND	F008(82.9)	11.5
	脂肪	0.025	34.1	F008(25.8)、F005/F024(13.7)、F004(6.1)、F010/F040(3.7)	10.1
	乳汁	0.017	19.8	F008(25.4)、F010/F040(15.0)、F009(5.7)	4.9

ND：検出されず

[phe-<sup>14</sup>C]：[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C]：[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

表7 尿、糞及び胆汁中の総残留放射能濃度及び代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 (µg/g)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	尿 <sup>a</sup>	1.86	ND	F008/F006(35.8)、F005/F024(32.6)、F046/F047(9.3)、F009(8.8)、F041/F042/F043/F044(2.6)、F010/F040(2.6)、F038/F039/F111(2.5)、F034/F036(1.3)	
	糞 <sup>a</sup>	1.92	4.0	F005/F024(35.1)、F009(20.2)、F008/F006(9.5)、F010(2.7)、F033(1.9)	18.6
	胆汁 <sup>b</sup>	7.33	ND	F004(55.3)、F014(25.1)、F015(10.2)、F112(0.8)	
[pyr- <sup>14</sup> C]	尿 <sup>a</sup>	4.28	ND	F005/F024(34.4)、F008/F006(13.7)、F046/F047(10.3)、F009(8.4)、F034/F036(6.2)、F010/F040(3.0)、F038/F039/F111(2.8)、F041/F042/F043/F044(1.4)、F004(1.3)	
	糞 <sup>a</sup>	1.76	2.0	F005/F024(50.5)、F009(18.0)、F008/F006(7.8)、F010(3.8)、F033(1.4)	16.8
	胆汁 <sup>b</sup>	6.56			

注) 尿及び胆汁試料は抽出せずに分析された。

ND : 検出されず

/ : なし

a : 投与後 8 日の試料

b : 最終投与 23 時間後に採取

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

### (3) ニワトリ

産卵期ニワトリ (褐色レグホン種、雌 12 羽) に [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 12 日間反復強制経口投与 (原体 : 0.76 mg/kg 体重/日) して、動物体内運命試験が実施された。

最終投与 23 時間後の組織中総残留放射能は、肝臓で 0.238 µg/g (0.06%TAR)、胃腸管内容物及び胃腸管組織で 0.795 µg/g (0.22%TAR) 及び 0.152 µg/g (0.09%TAR) と高い残留が認められた。血液、腿肉、胸肉及び脂肪中の残留放射能は、0.010~0.060 µg/g (0.02%TAR 以下) であった。卵は投与 12 日後まで 0.004~0.079 µg/g の範囲で推移し、投与 12 日後が最大であった。

組織及び卵中の残留放射能濃度及び代謝物は表 8 に示されている。

投与後 12 日の排泄物中に 86.1%TAR が回収され、放射能の成分には未変化のフルキサピロキサド及び組織中に認められた代謝物と同様な代謝物が検出された。(参照 1、6、7)

表 8 組織及び卵中の総残留放射能濃度及び代謝物

試料	総残留放射能濃度 ( $\mu\text{g/g}$ )	フルキサピロキサド		代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
		( $\mu\text{g/g}$ )	(%TRR)		
肝臓	0.210	0.002	1.0	F024(7.3)、F009/F038(5.6)、 F063(5.0)、F005(4.4)、 F008/F016(4.3)、F047(1.7)	4.7 <sup>a</sup>
腿肉	0.010	0.0011	17.6	F008/F016(25.7)、F005(4.3)	27.5
脂肪	0.059	0.023	63.3	F008(25.3)、F005(1.7)	0.3
卵	0.077	0.009	13.5	F008 (49.9)、F005(7.6)、 F009/F038(5.7)、F004(4.8)	9.0

注) 組織は最終投与 23 時間後に採取、卵は投与 7~12 日後に採取、均質化された。

a : 抽出残渣をプロナーゼ処理した最終残渣

## 2. 植物体内運命試験

### (1) トマト

トマト (品種 : Cedel) をポットに移植し、乳剤に調製した [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを約 100 g ai/ha の用量で植え付け 55、62 及び 69 日後の計 3 回葉面処理し、最終処理 3 日後の茎葉及び成熟果実を採取して、植物体内運命試験が実施された。

最終処理 3 日後の試料中の総残留放射能及び代謝物は表 9 に示されている。茎葉及び果実中で 10%TRR を超えて認められた代謝物は存在しなかった。(参照 1、8)

表 9 最終処理 3 日後の試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	茎葉	6.70	90.1	F008(2.7)、F075/F076(1.4)、 F048(0.8)	1.7
	果実	0.166	94.4	F008(1.4)	1.7
[pyr- <sup>14</sup> C]	茎葉	4.46	92.0	F008(2.8)、F075/F076(0.1)	1.4
	果実	0.112	98.5	ND	0.8

ND : 検出されず

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

### (2) だいず

だいず (品種 : Pioneer 9091) をポットに移植し、乳剤に調製した [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを約 600 g ai/ha の用量で播種 143、150 及び 164 日後の計 3 回葉面処理し、1 回目処理直後、2 回目処理 14 日後、最終処理 22、29 及び 34 日後に試料を採取して、植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 10 に示されている。

種皮及び子実の抽出残渣の可溶化処理によって、種皮からは未変化のフルキサピロキサドが 0.2%TRR～1.5%TRR 検出された。だいで子実における主要代謝物として[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で F048 が 19.9%TRR (0.023 mg/kg)、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で F002 が 33.4%TRR (0.087 mg/kg) 認められた。(参照 1、9)

表 10 各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日 (処理後 日数)	総残留 放射能 濃度 (mg/kg)	フルキサ ピロ キサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出 残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	1 回目処理 直後	6.41	97.7	F006/F008(0.6)	1.0
	青刈り 茎葉	2 回目処理 14 日後	5.09	93.8	F006/F008(1.2)、F048(0.6)	2.9
	落葉	3 回目処理 22-34 日後	61.2	88.6	F048(1.6)、F006/F008(0.9)	4.1
	稈	3 回目処理 34 日後	1.01	92.5	F048(0.8)、F006/F008(0.8)	4.9
	種皮		2.74	62.6	F006/F008(4.2)、F048(2.6)	19.0
	子実		0.115	21.2	F048(19.9)、 F006/F008(4.0)	22.3
[pyr- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	1 回目処理 直後	4.37	97.6	F006/F008(1.5)	0.8
	青刈り 茎葉	2 回目処理 14 日後	4.67	91.7	F006/F008(2.4)、F048(1.2)	3.1
	落葉	3 回目処理 22-34 日後	54.3	86.4	F048(2.2)、F006/F008(1.1)	4.8
	稈	3 回目処理 34 日後	0.837	89.5	F006/F008(1.2)	6.7
	種皮		2.24	53.8	F006/F008(5.5)、 F048(3.2)、F002(2.0)	21.4
	子実		0.260	7.4	F002(33.4)、F048(8.8)、 F006/F008(1.0)	7.7

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

### (3) 小麦①

春小麦 (品種 : Thasos) をポットに播種し、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 125 g ai/ha の用量で播種 42 及び 91 日後の計 2 回茎葉に噴霧処理し、1 回目処理 36 日後、2 回目処理 4 日後及び 2 回目処理 34 又は 35 日後に試料を採取して、植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 11 に示されている。

各試料中に 10%TRR を超える代謝物は認められなかった。もみ殻の抽出残渣中には可溶化処理後に未変化のフルキサピロキサドが 1.9%TRR～4.3%TRR 検出された。(参照 1、10)

表 11 各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日 (処理後 日数)	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出 残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	1回目 処理 36日後	0.885	91.3	F008/F043/F041/F006(4.2)、 F048/F057(0.5)、F074(0.3)、 F042/F024/F005(0.3)、 F058(0.3)、F059/F060(0.2)	2.9
	乾燥 茎葉	2回目 処理 4日後	10.2	89.4	F008/F043/F041/F006(2.4)、 F048/F057(0.5)、 F042/F024/F005(0.3)、 F134/F133(0.3)、F074(0.2)、 F058(0.2)、F059/F060(0.1)	2.3
	わら	2回目 処理 35日後	19.3	83.8	F008/F043/F041/F006(2.8)、 F042/F024/F005(0.7)、 F048/F057(0.6)、F074(0.3)、 F058(0.3)、F059/F060(0.3)、 F134/F133(0.3)、 F131/F041/F0130/F058(0.2)	5.4
	もみ殻		6.73	80.1	F008/F043/F041/F006(6.2)、 F048/F057(0.6)、 F042/F024/F005(0.6)、 F074(0.4)、F134/F133(0.4)、 F058(0.3)、F059/F060(0.1)、 F082(0.1)	7.3
	子実		0.045	63.0	F008/F043/F041/F006(6.5)、 F131/F041/F0130/F058(0.3)	24.5
[pyr- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	1回目 処理 36日後	1.06	87.3	F008/F043/F041/F006(5.8)、 F058(1.2)、F048/F057(1.1)、 F036/F132(0.6)、F074(0.6)、 F007/F002(0.5)	4.0
	乾燥 茎葉	2回目 処理 4日後	10.3	86.6	F008/F043/F041/F006(3.3)、 F048/F057(0.6)、 F042/F024/F005(0.6)、 F058(0.4)、F007/F002(0.3)、 F074(0.3)、F134/F133(0.2)、 F036/F132(0.1)、F082(0.1)、 F059/F060(0.1)	2.5
	わら	2回目 処理 34日後	17.4	85.6	F008/F043/F041/F006(3.7)、 F042/F024/F005(0.7)、 F007/F002(0.5)、 F048/F057(0.5)、F058(0.4)、 F134/F133(0.4)、F074(0.3)、 F059/F060(0.2)、F082(0.2)、 F001(0.1)	5.2

標識化合物	試料	採取日 (処理後 日数)	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出 残渣 (%TRR)
	もみ殻		7.40	76.2	F008/F043/F041/F006(5.8)、 F042/F024/F005(0.7)、 F134/F133(0.6)、 F007/F002(0.5)、 F048/F057(0.5)、F001(0.3)、 F074(0.2)、F082(0.2)、 F058(0.1)	12.3
	子実		0.057	60.2	F008/F043/F041/F006(6.5)、 F131/F041/F0130/F058(0.6)、 F007/F002(0.5)	15.4

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

#### (4) 小麦②

春小麦（品種：Thasos）の種子に[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.75 g ai/kg 種子（135 g ai/ha に相当）で処理し、処理 1 日後にポットに播種し、処理 93、112 及び 161 又は 162 日後に試料を採取して、植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 12 に示されている。

[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区の処理 112 日後の乾燥茎葉中に F008 が 10.6%TRR 認められたほかに 10%TRR を超える代謝物は認められなかった。各試料中の抽出残渣の可溶化処理によって、最終残渣は 3.2%TRR～18.5%TRR となったが、遊離した成分中で同定された化合物は認められなかった。（参照 1、11）

表 12 各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日 (処理後 日数)	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出 残渣 (%TRR)
[phe- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	処理 93 日後	0.285	78.8	F008(9.0)、F058(2.6)、 F048/F057(2.0)、 F042/F005(1.5)、F074(1.2)、 F036(0.8)	4.1
	乾燥 茎葉	処理 112 日 後	1.12	70.8	F008(10.6)、F058(3.4)、 F074(2.0)、F048/F057(2.0)、 F036(1.8)、F042/ F005(1.0)	7.6
	わら	処理 162 日 後	1.67	63.1	F008(8.0)、F058(3.2)、 F048/F057(2.3)、F036(1.7)、 F074(1.1)	12.3
	もみ殻		0.307	63.3	F008(9.5)、F042/ F005(0.7)、 F074(0.6)	25.9
	子実		0.019	16.8	F008(4.5)	61.0
[pyr- <sup>14</sup> C]	青刈り 茎葉	処理 93 日後	0.288	70.3	F008(8.4)、F058(3.3)、 F074(2.2)、F048/F057(2.0)、 F036(1.6)、F059 (1.2)、 F007(1.1)、F042/F005(0.8)	5.7
	乾燥 茎葉	処理 112 日 後	0.886	58.7	F008(8.1)、F058(3.6)、 F048/F057(3.5)、F074(2.1)、 F036(1.9)、F059(1.2)、F042/ F005(1.1)	10.1
	わら	処理 161 日 後	1.87	65.1	F008(6.1)、F058(4.2)、 F074(2.4)、F036(2.3)、 F048/F057(1.9)、F059 (1.5)	11.0
	もみ殻		0.261	58.3	F008(9.6)	19.8
	子実		0.0322	7.1	F008(2.2)	64.1

[phe-<sup>14</sup>C] : [phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

[pyr-<sup>14</sup>C] : [pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド

植物体中におけるフルキサピロキサドの代謝は、①ピラゾール環の脱メチル化、②カルボキサミド結合の加水分解による開裂、③ビフェニル環の水酸化、④ピラゾール環メチル基の水酸化、⑤ピラゾール分枝の *N*-グルコシル化により代謝され、次いで、抱合体を形成すると考えられた。

### 3. 土壌中運命試験

#### (1) 好氣的土壌中運命試験①

砂壤土（ドイツ）の土壌水分を最大容水量の 40%に調整し、常温暗所下で 3 日間プレインキュベートした後、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、加湿した CO<sub>2</sub> を通気した暗所下 20℃で 120 日間インキュベートする好氣的土壌中運命試験が実施された。

推定半減期は、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 71.9 日、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 68.8 日であった。

処理 120 日後に未変化のフルキサピロキサドは、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 35.4%TAR、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 30.7%TAR 認められた。試験期間中に[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で分解物 F008 が最大で 1.2%TAR、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で分解物 F001、F002 及び F008 がそれぞれ最大で 12.1、38.5 及び 0.3%TAR 認められた。

フルキサピロキサドの吸着率はインキュベーション期間に相関して高くなり、Freundlich の吸着係数  $K_{ads}$  は 6.85~29.1、有機炭素含有率により補正した吸着係数  $K_{ads_{oc}}$  は 311~1,330 であった。(参照 1、12)

## (2) 好氣的土壤中運命試験②

砂壤土（ドイツ）を 2 週間常温暗所でプレインキュベートした後、土壤水分を最大容水量の 40%に調整し、[tri-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、加湿した空気を通気した暗所下 20°C で 120 日間インキュベートする好氣的土壤中運命試験が実施された。

推定半減期は、144 日であった。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、54.0%TAR 認められた。(参照 1、13)

## (3) 好氣的土壤中運命試験③

シルト質埴壤土（スペイン）、壤土（ドイツ）及びシルト質壤土（ドイツ）を最大容水量の 40%に調整し、20°C で 4 日間プレインキュベートした後、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、暗所下 20/10°C<sup>2</sup> で 120 日間インキュベートする好氣的土壤中運命試験が実施された。

推定半減期は表 13 に示されている。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、71.7%TRR~90.2%TAR 認められた。分解物 F001 及び F002 が検出されたが、いずれも 2%TAR 未満であった。

フルキサピロキサドの吸着率は、壤土及びシルト質壤土でインキュベーション期間に相関して高くなり、Freundlich の吸着係数  $K_{ads}$  は壤土で 13.2~20.0、シルト質壤土で 21.6~40.0、有機炭素含有率により補正した吸着係数  $K_{ads_{oc}}$  は壤土で 831~1,260、シルト質壤土で 1,290~2,360 であった。シルト質埴壤土では、Freundlich の吸着係数  $K_{ads}$  は 12.1~16.3、有機炭素含有率により補正し

<sup>2</sup> インキュベーション温度は、シルト質壤土のみ 20 及び 10°C、シルト質埴壤土及び壤土では 20°C のみ。



た吸着係数  $K_{ads_{oc}}$  は 410～555 であった。(参照 1、14)

表 13 フルキサピロキサドの推定半減期

土性	温度(°C)	半減期(日)
シルト質埴壌土	20	357
壤土	20	689
シルト質壤土	20	599
	10	810

#### (4) 好氣的／嫌氣的土壤中運命試験

砂壤土（ドイツ）の土壤水分を最大容水量の 40%に調整し、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、加湿した空気を通気した暗所下 20°Cで 30 日間プレインキュベートした後、脱イオン水を添加し、窒素で置換し嫌気条件に変換後の暗所下 20°Cで 90 日間インキュベートする好氣的／嫌氣的土壤中運命試験が実施された。

推定半減期は、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 301 日、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 224 日であった。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 62.2%TAR、[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で 57.5%TAR 認められた。[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド処理区で分解物 F001 及び F002 が最大 19.8 及び 7.2%TAR 認められた。(参照 1、15)

#### (5) 土壤吸脱着試験

[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを用いて、8 点で採取した 5 種類の土壤 [砂壤土（米国、スペイン及び北海道）、シルト質埴壌土（スペイン）、壤質砂土（スペイン）、砂土（スペイン）及びシルト質壤土（米国及びドイツ）] における土壤吸脱着試験が実施された。

Freundlich の吸着係数  $K_{ads}$  は 2.47～17.9、有機炭素含有率により補正した吸着係数  $K_{ads_{oc}}$  は 320～1,100、脱着係数  $K_{des}$  は 4.15～51.9、有機炭素含有率により補正した脱着係数  $K_{des_{oc}}$  は 486～6,330 で移動性は低いと考えられた。(参照 1、16)

### 4. 水中運命試験

#### (1) 加水分解試験（緩衝液）

pH 4 及び pH 5（クエン酸）、pH 7（リン酸）並びに pH 9（ホウ酸）の各滅菌緩衝液に[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを 1 mg/L となるように添加した後、

50℃の暗所下で5日間インキュベートする加水分解試験が実施された。

回収率は99.9% TAR～105% TARであり、未変化のフルキサピロキサドのみ認められ、分解物は検出されなかった。フルキサピロキサドは、pH 4、5、7及び9で安定であり、25℃での半減期は1年以上と考えられた。（参照1、17）

## (2) 水中光分解試験（緩衝液）

pH 7の滅菌緩衝液（リン酸）に[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを1 mg/Lとなるように添加し、21.1～22.4℃で最長15日間キセノン光（光強度：28～30.8 W/m<sup>2</sup>、波長：290 nm以下をフィルターでカット）を照射して水中光分解試験が実施された。

回収率は94.2% TAR～108% TARであり、未変化のフルキサピロキサドが93.0% TAR～108% TAR認められ、ほかに同定された分解物はなかった。同様な結果が暗所対照区で得られた。フルキサピロキサドはpH 7の緩衝液中で光の有無にかかわらず安定であると考えられた。（参照1、18）

## (3) 水中光分解試験（自然水）

滅菌自然水（池水、ドイツ）に[phe-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサド又は[pyr-<sup>14</sup>C]フルキサピロキサドを1 mg/Lとなるように添加し、21.0～22.6℃で最長15日間キセノン光（光強度：28.0～29.9 W/m<sup>2</sup>、波長：290 nm以下をフィルターでカット）を照射して水中光分解試験が実施された。

回収率は94.2% TAR～103% TARであり、未変化のフルキサピロキサドは91.4% TAR～101% TAR、分解物 F001 及び F007 が最大で6.99% TAR 及び4.05% TAR認められた。

暗所対照区では安定に存在した。フルキサピロキサドはpH 7の滅菌自然水中で光の有無にかかわらず、安定であった。（参照1、19）

## 5. 土壌残留試験

火山灰土・壤土（茨城）及び沖積土・壤土（高知）を用いて、フルキサピロキサド並びに分解物 F001 及び F002 を分析対象化合物とした土壌残留試験が実施された。

結果は表14に示されている。（参照73、74）

表14 土壌残留試験成績

試験	濃度	土壌	推定半減期(日)	
			フルキサピロキサド	フルキサピロキサド+ 分解物 F001 及び F002
ほ場試験	663 g ai/ha* (4回)	火山灰土・壤土	41.9	45.0
		沖積土・壤土	24.0	25.2

\*：26.5%水和剤使用

## 6. 作物等残留試験

### (1) 作物残留試験

国内において、穀類、果実等を用いてフルキサピロキサド並びに代謝物 F002、F008 及び F048 を分析対象化合物とした作物残留試験が実施された。

結果は別紙 3 に示されている。

フルキサピロキサドの最大残留値は、最終散布 3 日後に収穫した温州みかん（果皮）の 11.1 mg/kg、代謝物 F008 の最大残留値は、最終散布 1 日後に収穫したおうとう（果実）の 0.410 mg/kg、F048 の最大残留値は、最終散布 7 日後に収穫したおうとう（果実）の 0.035 mg/kg であった。代謝物 F002 はいずれの試料においても定量限界（0.005 mg/kg）未満であった。

海外において、穀類、果実等を用いて、フルキサピロキサド並びに代謝物 F002、F008 及び F048 を分析対象化合物とした作物残留試験が実施された。

結果は別紙 4 に示されている。

フルキサピロキサドの最大残留値は、最終散布当日に収穫した非結球レタス（葉）の 9.53 mg/kg、代謝物 F002 の最大残留値は、最終散布 15 日後に収穫したただいず（未成熟子実）の 0.03 mg/kg、F008 の最大残留値は、最終散布 7 日後に収穫したラディッシュ（葉）の 0.9 mg/kg、F048 の最大残留値は、最終散布当日に収穫したマスタードグリーン（葉）の 1.50 mg/kg であった。（参照 1、65、66、73、75、93、100～115）

### (2) 畜産物残留試験

#### ① ウシ

泌乳牛（ホルスタイン・フリージアン種、各 3 又は 6 頭）に 28 日間カプセル経口投与 [原体：0、3、6、18 及び 60 mg/kg 飼料、代謝物 F002：0、0.1、0.3 及び 1.0 mg/kg 飼料（飼料中濃度相当量～10 倍相当量）：平均検体摂取量は表 15 参照] し、乳汁、脱脂乳、乳脂及び組織（筋肉、肝臓、腎臓及び脂肪）中のフルキサピロキサド並びに代謝物 F008 及び F002 を分析対象化合物とした海外の畜産物残留試験について、別紙 5 に示されている。

表 15 畜産物残留試験（ウシ）の平均検体摂取量

フルキサピロキサド		代謝物 F002	
投与群 (mg/kg 飼料)	平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	投与群 (mg/kg 飼料)	平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)
3	0.086		
6	0.171	0.1	0.003
18	0.512	0.3	0.008
60	1.56	1.0	0.025

飼料中濃度相当量を投与した場合、フルキサピロキサド及び F008 の最高値はそれぞれ脂肪で 0.0193 µg/g、肝臓で 0.0379 µg/g であった。F002 は投与期間を通していずれの臓器及び組織においても定量限界未満 (0.01 µg/g 未満) であった。飼料中濃度 10 倍相当量を投与した場合、休薬 4 日後以降は、フルキサピロキサド並びに代謝物 F008 及び F002 はいずれにおいても定量限界未満であった。(参照 1、20)

## ② ニワトリ

産卵期ニワトリ (ISA Warren、一群雌 10 羽) に 28 日間カプセル経口投与 (原体 : 0、0.3、0.6、1.8 及び 6.0 mg/kg 飼料、代謝物 F002 : 0、0.025、0.05、0.15 及び 0.50 mg/kg 飼料 (飼料中濃度相当量~10 倍相当量) : 平均検体摂取量は不明) し、卵及び組織 (筋肉、肝臓、皮膚及び脂肪) 中のフルキサピロキサド並びに代謝物 F008 及び F002 を分析対象とした海外の畜産物残留試験について、別紙 5 に示されている。

飼料中濃度相当量及び飼料中濃度 3 倍相当量を投与した場合、フルキサピロキサド並びに代謝物 F008 及び F002 は、投与期間を通していずれの臓器及び組織においても 0.01 µg/g 未満であった。飼料中濃度 10 倍相当量を投与した場合、フルキサピロキサド及び F008 が脂肪から検出されたが、休薬 3 日後以降は、0.01 µg/g 未満であった。(参照 1、21)

## (3) 推定摂取量

別紙 3 の作物残留試験及び別紙 5 の畜産物残留試験の分析値に基づき、フルキサピロキサドをばく露評価対象物質とした際に食品中から摂取される推定摂取量が表 16 に示されている (別紙 6)。

なお、本推定摂取量の算定は、登録又は申請された使用方法からフルキサピロキサドが最大の残留を示す使用条件で、全ての適用作物に使用され、かつ、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

表 16 食品中から摂取されるフルキサピロキサドの推定摂取量

	国民平均 (体重 : 55.1kg)	小児(1~6 歳) (体重 : 16.5kg)	妊婦 (体重 : 58.5kg)	高齢者(65 歳以上) (体重 : 56.1kg)
摂取量 (µg/人/日)	105	91.8	97.4	116

## 7. 一般薬理試験

ラット及びマウスを用いた一般薬理試験が実施された。結果は表 17 に示されている。(参照 1、22)

表 17 一般薬理試験概要

試験の種類		動物種	動物数 /群	投与量 (mg/kg 体重) (投与経路)	最大無作用量 (mg/kg 体重)	最小作用量 (mg/kg 体重)	結果の概要
中枢神経系	一般状態 (Irwin 法)	SD ラット	雄 5	0、200、 600、2,000 (経口)	600	2,000	2,000 mg/kg 体重で軟便・ 下痢 (投与 6 時間後)
		ICR マウス	雄 6	0、200、 600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし
	自発運動量	ICR マウス	雄 6	0、200、 600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし
	電撃誘発性 痙攣	ICR マウス	雄 6	0、200、 600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし
循環器系	呼吸数・血 圧・心拍数	SD ラット (無麻酔)	雄 5	0、200、 600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし
腎機能	尿量・電解 質・浸透圧	SD ラット	雄 5	0、200、 600、2,000 (経口)	2,000	-	影響なし

注) いずれの試験でも検体は 0.5%CMC に懸濁した。

-: 最小作用量は設定されなかった。

## 8. 急性毒性試験

### (1) 急性毒性試験

フルキサピロキサド (原体) を用いた急性毒性試験が実施された。結果は表 18 に示されている。(参照 1、23、24、25、61、62)

表 18 急性毒性試験概要 (原体)

投与経路	動物種 性別・匹数	LD <sub>50</sub> (mg/kg 体重)		観察された症状
		雄	雌	
経口	SD ラット 雌 6 匹	/		1 例で活動低下及び立毛 (投与後 2~4 時間) 死亡例なし
経皮	SD ラット 雌雄各 5 匹	>2,000	>2,000	症状及び死亡例なし
吸入	Wistar ラット 雌雄各 5 匹	LC <sub>50</sub> (mg/L)		雌雄: 腹式呼吸、立毛、呼吸促迫 及びうずくまり姿勢 死亡例なし
		>5.1	>5.1	

/: なし

フルキサピロキサドの代謝物 F001、F002 及び F048 を用いた急性毒性試験が実施された。結果は表 19 に示されている。（参照 1、26、27、28、61、62）

表 19 急性毒性試験結果概要（代謝物 F001、F002 及び F048）

代謝物	投与経路	動物種 性別・匹数	LD <sub>50</sub> (mg/kg 体重)		観察された症状
			雄	雌	
F001	経口	Wistar ラット 一群雌 6 匹	/	>2,000	一般状態の抑制、呼吸困難、立毛及び糞減少 死亡例なし
F002		Wistar ラット 一群雌 6 匹		>2,000	一般状態の悪化、呼吸困難及び立毛 死亡例なし
F048		Wistar ラット 一群雌 6 匹		>2,000	一般状態の抑制、呼吸困難、立毛、下痢、脱水症状及び糞減少 死亡例なし

/: なし

## （2）急性神経毒性試験

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた単回経口投与（原体：0、125、500 及び 2,000 mg/kg 体重）による急性神経毒性試験が実施された。

投与日の検査において、2,000 mg/kg 体重投与群の雄で着地開脚幅増加、500 mg/kg 体重以上投与群の雌雄で自発運動量低下及び同群の雄で立ち上がり回数の減少が認められた。

雄では投与日に全ての投与群でオープンフィールド観察の探索活動の低下が認められたが、用量相関性がないことから、毒性学的に意義のない変化であると考えられた。また、2,000 mg/kg 体重投与群の雄 1 例で遠位脛骨神経の軸索変性が認められたが、近位脛骨神経を含む末梢神経系及び中枢神経系には異常が認められなかったことから、検体投与の影響ではないと判断した。

本試験において、500 mg/kg 体重以上投与群の雌雄で自発運動量低下等が認められたことから、急性神経毒性に関する無毒性量は、雌雄で 125 mg/kg 体重であると考えられた。（参照 1、29、61、62）

## 9. 眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験

NZW ウサギを用いた眼及び皮膚刺激性試験が実施された。眼及び皮膚に対して軽度の刺激が認められた。

Hartley モルモットを用いた皮膚感作性試験（Maximization 法）が実施され、結果は陰性であった。（参照 1、30、31、32、61、62）

## 10. 亜急性毒性試験

### (1) 90日間亜急性毒性試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌投与（原体：0、100、500、2,000 及び 6,000 ppm：平均検体摂取量は表 20 参照）による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 20 90 日間亜急性毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	500 ppm	2,000 ppm	6,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	6.1	31.2	126	407
	雌	7.3	35.1	144	424

各投与群で認められた毒性所見は表 21 に示されている。

投与終了時に行われた FOB においては、6,000 ppm 投与群の雌で着地開脚幅の減少が認められたが、対照群の値が最も高かったこと及び試験実施施設における背景データの範囲内であることから、検体投与による影響とは考えられなかった。また、同群の雌では自発運動量の減少が認められたが、1 セッションのみの変動であることから、検体投与による影響ではないと考えられた。

血液生化学的検査においては、100 ppm 投与群雌で Chol 増加が認められたが、背景データの範囲内であり、毒性学的意義は低いと考えられた。

本試験において、100 ppm 以上投与群の雄で T<sub>3</sub> 増加、500 ppm 以上投与群の雌で甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成等が認められたことから、無毒性量は雄で 100 ppm 未満（6.1 mg/kg 体重/日未満）、雌で 100 ppm（7.3 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、33、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1)~(3)] を参照。）

表 21 90 日間亜急性毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
6,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制(投与 7 日以降)</li> <li>・ GGT 及び TG 増加</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞凝固壊死</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制(投与 28 日以降)及び摂餌量減少<sup>a</sup></li> <li>・ GGT、無機リン及び Alb 増加</li> <li>・ Glu 減少</li> <li>・ 尿細管上皮色素沈着</li> <li>・ カルシウム増加</li> </ul>
2,000 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ure、TP、Alb、Glob、無機リン及び Chol 増加</li> <li>・ クロール及び Glu 減少</li> <li>・ 甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成</li> <li>・ カルシウム増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TP、TG、T<sub>3</sub> 及び TSH 増加</li> <li>・ クロール減少</li> </ul>
500 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝絶対及び比重量<sup>3</sup>増加</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ PT 短縮</li> <li>・ Chol、Glob 及び T<sub>4</sub> 増加</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・ 甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成</li> </ul>
100 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ T<sub>3</sub> 増加</li> </ul>	100 ppm 毒性所見なし

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

a : 統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

## (2) 90 日間亜急性毒性試験（マウス）

C57BL マウス（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌投与（原体：0、100、400、2,000 及び 6,000 ppm：平均検体摂取量は表 22 参照）による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 22 90 日間亜急性毒性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	400 ppm	2,000 ppm	6,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	21	77	390	1,140
	雌	32	128	610	1,660

各投与群で認められた毒性所見は表 23 に示されている。

本試験において、400 ppm 以上投与群の雄で TG 及び Chol 減少、2,000 ppm 以上投与群の雌で肝絶対及び比重量増加等が認められたことから、無毒性量は雄で 100 ppm (21 mg/kg 体重/日)、雌で 400 ppm (128 mg/kg 体重/日) であると考えられた。(参照 1、34、61、62)

<sup>3</sup> 体重比重量を比重量という（以下同じ。）。



表 23 90 日間亜急性毒性試験（マウス）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
6,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制(投与 70 日以降)</li> <li>・副腎絶対及び比重量増加</li> <li>・ALT、ALP 及び Ure 増加</li> <li>・TP 及び Alb 減少</li> <li>・多巣性肝細胞壊死</li> </ul>	
2,000 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・肝臓のび慢性脂肪化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・Chol 減少</li> </ul>
400 ppm 以上	・TG 及び Chol 減少	400 ppm 以下
100 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

### (3) 90 日間亜急性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬（一群雌雄各 5 匹）を用いた混餌投与（原体：0、300、1,500 及び 10,000/7,500 ppm<sup>4</sup>：平均検体摂取量は表 24 参照）による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 24 90 日間亜急性毒性試験（イヌ）の平均検体摂取量

投与群		300 ppm	1,500 ppm	7,500 ppm	10,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	9	45	/	295
	雌	10	51	238	/

/：該当なし

各投与群で認められた毒性所見は表 25 に示されている。

本試験において、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で Chol 減少等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 300 ppm（雄：9 mg/kg 体重/日、雌：10 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、35、61）

表 25 90 日間亜急性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
10,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALP、GGT、無機リン及び TG 増加</li> <li>・カルシウム減少</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> </ul>	/
7,500 ppm	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALP 及び GGT 増加</li> <li>・カルシウム減少</li> <li>・肝絶対<sup>a</sup>及び比重量増加</li> </ul>
1,500 ppm 以上	・TP、Alb 及び Chol 減少	・TP、Alb 及び Chol 減少
300 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

/：該当なし

<sup>a</sup>：統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

<sup>4</sup> 最高用量群は、雄で 10,000 ppm、雌で 7,500 ppm。

#### (4) 90日間亜急性神経毒性試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌投与（原体：0、200、1,000 及び 5,000 ppm：平均検体摂取量は表 26 参照）による 90 日間亜急性神経毒性試験が実施された。

表 26 90 日間亜急性神経毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		200 ppm	1,000 ppm	5,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	11.5	57.7	302
	雌	13.4	67.2	338

各投与群で認められた毒性所見は表 27 に示されている。

FOB においては、5,000 ppm 投与群の雌で前肢握力の増加が投与 1 日目に観察されたが、減少ではなく増加であること及びラットの 90 日間亜急性毒性試験 [10. (1)] で同様の変化は認められなかったことから、検体投与による影響と考えられなかった。病理組織学的検査において 5,000 ppm 投与群雄で近位坐骨神経軸索変性が 2 例に認められ、同所見は、雌では対照群の 1 例でも認められた。その他の神経において同様の所見は認められなかったことから、5,000 ppm 投与群で観察された同所見は検体投与の影響とは考えられなかった。

本試験において、1,000 ppm 以上投与群の雄で小葉中心性肝細胞肥大等、200 ppm 以上投与群の雌で甲状腺絶対及び比重量増加が認められたことから、一般毒性に対する無毒性量は雄で 200 ppm (11.5 mg/kg 体重/日)、雌で 200 ppm 未満 (13.4 mg/kg 体重/日未満) であると考えられた。亜急性神経毒性は認められなかった。(参照 1、36、61、62)

(甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1)~(3)] を参照。)

表 27 90 日間亜急性神経毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
5,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>下顎切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>Glu 減少</li> <li>TP、Alb、GGT 及び Chol 増加</li> <li>甲状腺絶対及び比重量増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下顎切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>体重増加抑制(投与 35 日以降)</li> <li>TP、Alb 及び TG 増加</li> </ul>
1,000 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>無機リン及び Glob 増加</li> <li>肝絶対及び比重量増加</li> <li>小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ure、Cre、Glob 及び Chol 増加</li> <li>肝絶対及び比重量増加</li> <li>小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>
200 ppm 以上	200 ppm 毒性所見なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲状腺絶対及び比重量増加</li> </ul>

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

<sup>a</sup>: 病理組織学的検査を実施していないが、2 世代繁殖試験 [12. (1)] での結果よりエナメル芽細胞及びエナメル層外層中の鉄含有色素の減少であると考えられた。

#### (5) 90日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 F001）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた代謝物 F001 の混餌投与（0、100、300 及び 1,000 mg/kg 体重/日：平均検体摂取量は表 28 参照）による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 28 90日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 F001）の平均検体摂取量

投与群(mg/kg 体重/日)		100	300	1,000
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	94.6	286	954
	雌	98.8	295	983

本試験において、いずれの投与群においても検体投与による影響は認められなかったことから、無毒性量は雌雄とも本試験の最高用量 1,000 mg/kg 体重/日（雄：954 mg/kg 体重/日、雌：983 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 61、73、76）

#### (6) 90日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 F002）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた代謝物 F002 の混餌投与（0、100、300 及び 1,000 mg/kg 体重/日：平均検体摂取量は表 29 参照）による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 29 90日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 F002）の平均検体摂取量

投与群(mg/kg 体重/日)		100	300	1,000
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	95.1	285	958
	雌	98.0	300	983

本試験において、いずれの投与群においても検体投与による影響は認められなかったことから、無毒性量は雌雄とも本試験の最高用量 1,000 mg/kg 体重/日（雄：958 mg/kg 体重/日、雌：983 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 61、73、77）

#### (7) 28日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 F048）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた代謝物 F048 の混餌投与（0、50、200 及び 1,000 mg/kg 体重/日：平均検体摂取量は表 30 参照）による 28 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 30 28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 F048）の平均検体摂取量

投与群(mg/kg 体重/日)		50	200	1,000
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	47.1	189	— <sup>a</sup>
	雌	51.4	208	1,480 <sup>b</sup>

a : 投与期間中、継続的に餌の掻きこぼしがあり信頼できる摂餌量を記録できなかったことから、検体摂取量を算出できなかった。

b : 餌の掻きこぼしにより正確な摂餌量を測定できていないため、実際より高い値となっている可能性がある。

各投与群で認められた毒性所見は表 31 に示されている。

本試験において、1,000 mg/kg 体重/日投与群の雌雄で体重増加抑制等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 200 mg/kg 体重/日（雄：189 mg/kg 体重/日、雌：208 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 73、78）

表 31 28 日間亜急性毒性試験（ラット、代謝物 F048）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
1,000 mg/kg 体重/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ 胆汁酸減少</li> <li>・ 尿中シュウ酸塩結晶増加</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・ 甲状腺び慢性ろ胞細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ 胆汁酸減少</li> <li>・ 尿中シュウ酸塩結晶増加</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>
200 mg/kg 体重/日以下	毒性所見なし	毒性所見なし

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

## 1 1. 慢性毒性試験及び発がん性試験

### (1) 1 年間慢性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬（一群雌雄各 5 匹）を用いた混餌投与（原体：0、300、1,500 及び 12,000/9,000 ppm<sup>5</sup>：平均検体摂取量は表 32 参照）による 1 年間慢性毒性試験が実施された。

表 32 1 年間慢性毒性試験（イヌ）の平均検体摂取量

投与群		300 ppm	1,500 ppm	9,000 ppm	12,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	8	39	/	335
	雌	9	43		257

/: 該当なし

各投与群で認められた毒性所見は表 33 に示されている。

本試験において、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で肝細胞色素沈着（鉄陽性）

<sup>5</sup> 最高用量群は、雄で 12,000 ppm、雌で 9,000 ppm。

等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 300 ppm（雄：8 mg/kg 体重/日、雌：9 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、37、61、62）

表 33 1 年間慢性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
12,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘔吐 a(投与日)</li> <li>・体重増加抑制 a(全投与期間)及び摂餌量減少 a(投与 1 日以降)</li> <li>・ALP、ALT、GGT 及び TG 増加</li> <li>・Chol 減少</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・脾絶対及び比重量減少</li> <li>・前立腺絶対及び比重量減少</li> <li>・肝臓の多巣性線維化</li> <li>・赤脾髄萎縮</li> <li>・前立腺の萎縮</li> </ul>	
9,000 ppm		<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘔吐 a(投与日)</li> <li>・体重増加抑制(投与 7 日以降)及び摂餌量減少 a(全投与期間)</li> <li>・ALP 及び GGT 増加</li> <li>・カルシウム及び Chol 減少</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・赤脾髄萎縮</li> </ul>
1,500 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ure、TP、Alb 及びカルシウム減少</li> <li>・肝細胞色素沈着(鉄陽性)</li> <li>・胆嚢上皮褐色色素沈着</li> <li>・脾臓の結合組織色素沈着(鉄陽性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TP 及び Alb 減少</li> <li>・肝細胞色素沈着(鉄陽性)及び肝臓の多巣性線維化症</li> <li>・胆嚢上皮褐色色素沈着</li> <li>・脾臓の結合組織色素沈着(鉄陽性)</li> </ul>
300 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

/: 該当なし

a: 統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

## (2) 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）

Wistar ラット（発がん性試験群：一群雌雄各 50 匹、慢性毒性試験群：一群雌雄各 10 匹）を用いた、混餌投与（原体：0、50、250、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 34 参照）による 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験が実施された。

表 34 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	2.1	11	68	145
	雌	2.7	14	82	182

各投与群で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）は表 35、投与により増加し

た腫瘍性病変の発生頻度は表 36、肝臓及び甲状腺の腫瘍性病変の背景データは表 37 に示されている。

肝臓において、3,000 ppm 投与群の雄で肝細胞癌、3,000 ppm 投与群の雌で肝細胞腺腫、1,500 ppm 以上投与群の雄で肝細胞腺腫並びに肝細胞腺腫及び癌の合計が有意に増加し投与の影響であると考えられた。

250 ppm 投与群の雄及び 1,500 ppm 投与群の雌においても、肝細胞腺腫が増加したが、有意差が認められなかったことから、食品安全委員会は投与の影響とは考えられないと判断した。

甲状腺において、3,000 ppm 投与群の雄で腺腫及び癌の合計が増加した。

本試験において、250 ppm 以上投与群の雌雄で小葉中心性肝細胞肥大等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 50 ppm (雄：2.1 mg/kg 体重/日、雌：2.7 mg/kg 体重/日) であると考えられた。(参照 1、39、61、62)

(甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1)～(3)] を参照。)

表 35 2年間慢性毒性/発がん性併合試験(ラット)で認められた毒性所見  
(非腫瘍性病変)

投与群	雄	雌
3,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制(投与 2 週以降)</li> <li>・ 無機リン増加</li> <li>・ 変異肝細胞巢(好塩基性)</li> <li>・ 前頭骨骨化過剰症</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG 増加</li> <li>・ 変異肝細胞巢(好酸性)</li> <li>・ 前頭骨骨化過剰症及び頂頭骨骨化過剰症</li> </ul>
1,500 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PT 短縮</li> <li>・ GGT、カルシウム<sup>a</sup>、TP 及び Glob 増加</li> <li>・ 腎絶対及び比重量増加</li> <li>・ 甲状腺のろ胞細胞過形成及び変性コロイド</li> <li>・ 肝臓のび慢性色素沈着及び海綿状変性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PT 短縮</li> <li>・ カルシウム、TP 及び Chol 増加</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 甲状腺のろ胞細胞過形成及び変性コロイド</li> <li>・ 肝臓のび慢性色素沈着</li> </ul>
250 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Glu 減少</li> <li>・ Chol 増加</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 切歯の白変<sup>b</sup></li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・ 大腿骨色素沈着(鉄陽性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制(投与 21 週以降)</li> <li>・ Glob 増加</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>・ 切歯の白変<sup>b</sup></li> <li>・ 大腿骨色素沈着(鉄陽性)</li> </ul>
50 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注) 肉眼的病理検査は統計検定が実施されていない。

a : 統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

b : 250 ppm 投与群では雄で 50 例中 2 例、雌で 50 例中 1 例 (病理組織学的検査は実施されていない。)

表 36 肝臓及び甲状腺での腫瘍性病変発生頻度

性別		雄					雌				
投与量 (ppm)		0	50	250	1,500	3,000	0	50	250	1,500	3,000
肝臓	検査動物数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	肝細胞腺腫	0 (0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0↑)	15** (30.0↑)	0 (0)	2 (4.0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0↑)
	肝細胞癌	1 (2.0)	0 (0)	1 (2.0)	3 (6.0)	9** (18.0↑)	1 (2.0)	1 (2.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	腺腫/癌発生動物数	1 (2.0)	0 (0)	5 (10.0)	10** (20.0↑)	21** <sup>1)</sup> (42.0↑)	1 (2.0)	3 (6.0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0↑)
甲状腺	検査動物数	50	50	50	50	50	50	49	50	48	50
	ろ胞細胞腺腫	3 (6.0)	2 (4.0)	4 (8.0)	8 (16.0)	9 (18.0)	0 (0)	3 (6.1)	1 (2.0)	3 (6.3)	2 (4.0)
	ろ胞細胞癌	0 (0)	0 (0)	1 (2.0)	1 (2.0)	3 (6.0)	2 (4.0)	0 (0)	1 (2.0)	0 (0)	1 (2.0)
	腺腫/癌発生動物数	3 (6.0)	2 (4.0)	5 (10.0)	9 (18.0)	11** <sup>2)</sup> (22.0↑)	2 (4.0)	3 (6.1)	2 (4.0)	3 (6.3)	3 (6.0)

注) 上段は腫瘍発生数、下段は腫瘍発生率 (%) を示す。

<sup>1)</sup> は 3 動物、<sup>2)</sup> は 1 動物が腺腫と癌の両方を有していた。

Dunnet 多重比較検定 (両側) \* : p<0.05 \*\* : p<0.01

Fisher 直接確率検定 (片側) ↑↓ : p<0.05、↑↓ : p<0.01

表 37 肝臓及び甲状腺の腫瘍性病変背景データ

臓器	腫瘍	雄			雌		
		腫瘍発生動物数 / 供試動物数	腫瘍発生率%		腫瘍発生動物数 / 供試動物数	腫瘍発生率%	
			平均	範囲		平均	範囲
肝臓	肝細胞腺腫	8/400	2.0	0-4	3/400	0.8	0-6
	肝細胞癌	6/400	1.5	0-6	7/400	1.8	0-6
	腺腫/癌発生動物数	14/400	3.5	0-8	10/400	2.5	0-6
甲状腺	ろ胞細胞腺腫	52/400	13.0	4-28	—	—	—
	ろ胞細胞癌	9/400	2.3	0-4	—	—	—
	腺腫/癌発生動物数	60/400	15.0	4-30	—	—	—

注) 試験当たり各 50 匹、8 試験の発生率

— : データなし

### (3) 18 か月間発がん性試験 (マウス)

C57BL マウス (発がん性試験群 : 一群雌雄各 50 匹、9 か月後と殺群<sup>6</sup> : 一群雌雄各 10 匹) を用いた、混餌投与 (原体 : 0、150、750、3,000 及び 6,000 ppm : 平均検体摂取量は表 38 参照) による 18 か月間発がん性試験が実施され

<sup>6</sup> 血液検査及び病理検査用に 0 及び 6,000 ppm 投与群が設定された。

た。

表 38 18 か月間発がん性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群		150 ppm	750 ppm	3,000 ppm	6,000 ppm
検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	21	107	468	996
	雌	33	158	652	1,310

各投与群で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）は表 39 に示されている。

検体投与により発生頻度の増加した腫瘍性病変は認められなかった。

本試験において、750 ppm 以上投与群の雌雄で肝臓の大滴性脂肪化等が認められたことから、無毒性量は雌雄とも 150 ppm（雄：21 mg/kg 体重/日、雌：33 mg/kg 体重/日）であると考えられた。発がん性は認められなかった。（参照 1、38、61、62）

表 39 18 か月間発がん性試験（マウス）で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
6,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG 及び Chol 減少</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG<sup>a</sup> 及び Chol 減少</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> </ul>
3,000 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制(投与 14 日以降)</li> <li>・ 切歯白変<sup>b</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 切歯白変<sup>b</sup></li> <li>・ 門脈周囲性肝細胞肥大</li> </ul>
750 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 肝臓の脂肪化(大滴性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肝臓の脂肪化(大滴性)</li> </ul>
150 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

a：統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

b：統計検定は実施されていないが投与の影響と判断した。

## 1 2. 生殖発生毒性試験

### (1) 2 世代繁殖試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 25 匹）を用いた混餌投与（原体：0、10、50 及び 300 mg/kg 体重/日：平均検体摂取量は表 40 を参照）による 2 世代繁殖試験が実施された。

表 40 2 世代繁殖試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群(mg/kg 体重/日)		10	50	300	
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	P 世代	雄	9.5	47.6	285
		雌	9.8	48.8	293
	F <sub>1</sub> 世代	雄	9.6	47.7	286
		雌	9.6	47.9	289

各投与群で認められた毒性所見は表 41 に示されている。

親動物の 300 mg/kg 体重/日投与群雌雄で認められた切歯の白変は、病理組織



学的検査の結果、エナメル芽細胞及びエナメル層外層中の鉄含有色素の減少であると考えられた。

親動物では P 世代の 50 mg/kg 体重/日以上投与群の雌で妊娠期間の短縮（対照群の 22.5 日に対し、50 及び 300 mg/kg 体重/日投与群では 22.1 日）が認められたが、背景データ（21.5～22.3 日）の範囲内であったこと及び分娩等の繁殖指標に変化が認められなかったことから、毒性学的意義のある差とは考えられなかった。本試験において、親動物では 10 mg/kg 体重/日以上投与群の雄で小葉中心性肝細胞肥大等、雌で肝絶対及び比重量増加が認められ、児動物では 50 mg/kg 体重/日以上投与群の雌雄で体重増加抑制が認められたことから、無毒性量は親動物の P 雄：9.5 mg/kg 体重/日未満、P 雌：9.8 mg/kg 体重/日未満、F<sub>1</sub> 雄：9.6 mg/kg 体重/日未満、F<sub>1</sub> 雌：9.6 mg/kg 体重/日未満、児動物の P 雄：9.5 mg/kg 体重/日、P 雌：9.8 mg/kg 体重/日、F<sub>1</sub> 雄：9.6 mg/kg 体重/日、F<sub>1</sub> 雌：9.6 mg/kg 体重/日であると考えられた。繁殖能に対する影響は認められなかった。（参照 1、40、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1)～(3)] を参照。）

表 41 2 世代繁殖試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群		親：P、児：F <sub>1</sub>		親：F <sub>1</sub> 、児：F <sub>2</sub>	
		雄	雌	雄	雌
親動物	300 mg/kg 体重/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制（生育期、3 週以降）</li> <li>・切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>・副腎絶対及び比重量増加</li> <li>・甲状腺比重量増加</li> <li>・肝細胞壊死</li> <li>・副腎皮質肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>・甲状腺比重量増加</li> <li>・副腎皮質肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> <li>・切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>・副腎皮質肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> <li>・切歯の白変<sup>a</sup></li> <li>・甲状腺比重量増加</li> <li>・副腎皮質肥大</li> </ul>
	50 mg/kg 体重/日以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・甲状腺のび慢性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇</li> <li>・肝細胞細胞質空胞化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制（生育期、4 週以降）</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・甲状腺のび慢性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺絶対及び比重量増加</li> <li>・甲状腺のび慢性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺のび慢性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>
	10 mg/kg 体重/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝比重量増加</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	毒性所見なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> </ul>
児動物	300 mg/kg 体重/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包皮分離日遅延</li> <li>・胸腺及び脾絶対及び比重量減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脾絶対及び比重量減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> <li>・脾絶対及び比重量減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> </ul>
	50 mg/kg 体重/日以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> </ul>	50 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし	50 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし
	10 mg/kg 体重/日	毒性所見なし	毒性所見なし		

<sup>a</sup>：統計検定は実施されていないが投与の影響と判断した。

## （2）発生毒性試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌 25 匹）の妊娠 6～19 日に強制経口投与（原体：0、25、200 及び 1,000 mg/kg 体重/日、溶媒：0.5%CMC）して発生毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 42 に示されている。

本試験において、母動物では 200 mg/kg 体重/日以上投与群で甲状腺絶対及び比重量増加等が認められた。胎児では生存性及び発育に影響は認められず、また形態異常及び変異の増加も認められなかったことから、無毒性量は母動物で 25 mg/kg 体重/日、胎児で本試験の最高用量 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 1、41、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は [14. (1)～(3)] を参照。）

表 42 発生毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	母動物	胎児
1,000 mg/kg 体重/日	・肝絶対及び比重量増加 ・カルシウム及び TP 増加	1,000 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし
200 mg/kg 体重/日以上	・甲状腺絶対及び比重量増加 ・Alb 増加	
25 mg/kg 体重/日	毒性所見なし	

### (3) 発生毒性試験（ウサギ）

Himalayan ウサギ（一群雌 25 匹）の妊娠 6～28 日に強制経口投与（原体：0、10、25 及び 60 mg/kg 体重/日、溶媒：0.5%CMC）して、発生毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 43 に示されている。

60 mg/kg 体重/日投与群で認められた子宮重量減少、早期胚吸収数及び着床後胚死亡率増加は、着床数 1 の 2 例に全胚死亡があった結果、死亡率 100%となったものであり、胎児の生存率に影響がなかったことから、毒性学的意義は低いと考えられた。

本試験において、母動物では 60 mg/kg 体重/日投与群で体重増加抑制等、胎児では 60 mg/kg 体重/日投与群で肢過屈曲増加が認められたことから、無毒性量は母動物及び胎児とも 25 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 1、42、61、62）

表 43 発生毒性試験（ウサギ）で認められた毒性所見

投与群	母動物	胎児
60 mg/kg 体重/日	・無糞/糞量減少 <sup>a</sup> ・体重増加抑制（妊娠 9 日以降）	・肢過屈曲増加
25 mg/kg 体重/日 以下	毒性所見なし	毒性所見なし

<sup>a</sup>：統計検定が実施されていないが、投与の影響と判断した。

### (4) 発生毒性試験（ウサギ、代謝物 F001）

NZW ウサギ（投与群：一群雌 31 匹、対照群：32 匹）の妊娠 6～28 日に代

謝物 F001 を強制経口投与（0、40、100 及び 250 mg/kg 体重/日、溶媒：1%CMC）して、発生毒性試験が実施された。

本試験において、いずれの投与群においても検体投与による影響は認められなかったことから、無毒性量は母動物及び胎児とも本試験の最高用量 250 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61、73、79）

#### （5）発生毒性試験（ウサギ、代謝物 F002）

NZW ウサギ（投与群：一群雌 25～35 匹、対照群：雌 60 匹）の妊娠 6～28 日に代謝物 F002 を強制経口投与（0、100、300 及び 1,000 mg/kg 体重/日、溶媒：1%CMC）して、発生毒性試験が実施された。

本試験において、母動物では 1,000 mg/kg 体重/日投与群で死亡率及び流産の増加が認められ、胎児では検体投与による影響は認められなかったことから、無毒性量は母動物で 300 mg/kg 体重/日、胎児で本試験の最高用量 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61、73、80）

#### （6）発生毒性試験（ウサギ、代謝物 F048）

NZW ウサギ（一群雌 31～32 匹）の妊娠 6～28 日に代謝物 F048 を強制経口投与（0、10、30 及び 100 mg/kg 体重/日、溶媒：Tween 80 添加 1%CMC）して、発生毒性試験が実施された。

母動物では 100 mg/kg 体重/日投与群で流産及び吸収胚の増加、体重増加抑制並びに摂餌量減少が認められた。胎児では 100 mg/kg 体重/日投与群で後期吸収胚が認められたが、胚死亡率に有意差は認められなかったことから、検体投与による影響とは考えられなかった。

本試験における無毒性量は母動物では 30 mg/kg 体重/日、胎児では 100 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61、73、81）

### 1 3. 遺伝毒性試験

フルキサピロキサド（原体）の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣由来細胞（CHO-K1）を用いた遺伝子突然変異試験、チャイニーズハムスター肺由来細胞（V79）を用いた染色体異常試験、ラットを用いた肝細胞 UDS 試験及びマウスを用いた小核試験が実施された。

結果は表 44 に示されている。

一部の *in vitro* 染色体異常試験において陽性であったが、*in vivo* での UDS 試験及び小核試験を含むその他試験では全て陰性であったことから、フルキサピロキサドに生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。（参照 1、

表 44 遺伝毒性試験概要 (原体)

試験	対象	処理濃度・投与量	結果	
<i>in vitro</i>	<i>Salmonella typhimurium</i> (TA98, TA100、 TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート(+/-S9)	陰性	
		②プレインキュベート法： 20～5,000 µg/プレート(+/-S9)		
	復帰突然変異試験	<i>Escherichia coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート(+/-S9)	陰性
			②プレインキュベート法： 20～5,000 µg/プレート(+/-S9)	
		<i>S. typhimurium</i> (TA98, TA100、 TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 21～5,300 µg/プレート(+/-S9)	陰性
			②プレインキュベート法： (TA100、TA1535 株) 21～5,300 µg/プレート(+/-S9)	
<i>E. coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	③プレインキュベート法： (TA1537 株) 11～2,650 µg/プレート(+/-S9)	陰性		
	④プレインキュベート法： (TA98 株) 2～530 µg/プレート(+/-S9)			
遺伝子突然変異試験 ( <i>Hprt</i> 遺伝子)	チャイニーズハムスター 一卵巣由来細胞 (CHO-K1)	①5.0～100 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理)	陰性	
		②6.3～100 µg/mL (-S9 ; 24 時間処理、+S9 ; 4 時間処理)		
		①6.3～125 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理)	陰性	
		②6.3～125 µg/mL (-S9 ; 24 時間処理) 40.0～160 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理)		
		③25.0～150 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理)		

試験	対象	処理濃度・投与量	結果	
染色体異常試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞(V79)	①15.6～62.5 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作成) ②7.8～31.3 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、直後に標本作成) 62.5 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、10 時間後に標本作成) 7.8～31.5 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、24 時間後に標本作成) ③60.0～80.0 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作成)	① 陰性(-S9) 陽性(+S9)  ② 陰性  ③ 陽性(+/-S9)	
		①12.5～50.0 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作成) ②12.5～50.0 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、直後に標本作成) 50.0 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、10 時間後に標本作成) 12.5～50.0 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、24 時間後に標本作成)	陰性	
<i>in vivo</i>	UDS 試験	Wistar ラット (肝細胞) (一群雄 3 匹)	1,000、2,000 mg/kg 体重 (単回経口投与)	陰性
		Wistar ラット (肝細胞) (一群雄 3 匹)	2.5、5.0 mg/kg 体重 (静脈内投与)	陰性
	小核試験	NMRI マウス (骨髄細胞) (一群雄 5 匹)	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 (2 回経口投与)	陰性
		NMRI マウス (骨髄細胞) (一群雄 5 匹)	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 (単回腹腔内投与)	陰性

注) +/-S9 : 代謝活性化系存在下及び非存在下

フルキサピロキサドの代謝物 F001 及び F002 (動物、植物及び土壌由来) 並びに F048 (植物由来) の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣由来細胞 (CHO-K1) を用いた遺伝子突然変異試験、チャイニーズハムスター肺由来細胞 (V79) を用いた染色体異常試験、ラットを用いた肝細胞 UDS 試験及びマウスを用いた小核試験が実施された。

結果は表 45 に示されている。

代謝物 F048 を用いた *in vitro* の染色体異常試験の代謝活性化系存在下で陽性であった。しかし、代謝物 F048 の細菌を用いた復帰突然変異試験、遺伝子突然変異試験、*in vivo* の小核試験及び UDS 試験では全て陰性であった。(参照 1、53、54、55、61、73、82～91)

表 45 遺伝毒性試験概要 (代謝物 F001、F002 及び F048)

代謝物	試験		対象	処理濃度・投与量	結果
F001	<i>in vitro</i>	復帰突然変異試験	<i>S. typhimurium</i> (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート(+/-S9) ②プレインキュベート法： 313～5,000 µg/プレート(+/-S9)	陰性
			<i>S. typhimurium</i> (TA1535 株)	プレインキュベート法： 10～2,500 µg/プレート(+/-S9)	陰性
			<i>E. coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート(+/-S9) ②プレインキュベート法： 313～5,000 µg/プレート(+/-S9)	陰性
		遺伝子突然変異試験 ( <i>Hprt</i> 遺伝子)	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞(CHO-K1)	①250～2,000 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理) ②250～2,000 µg/mL (-S9 ; 24 時間処理、+S9 ; 4 時間処理)	陰性
	染色体異常試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞(V79)	①500～2,000 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作製) ②250～1,000 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、直後に標本作製) 500～2,000 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、24 時間培養標本作製) ③2,000 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、10 時間培養標本作製)	陰性	
<i>in vivo</i>	小核試験	NMRI マウス (骨髄細胞) (一群雄 5 匹)	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 (単回経口投与)	陰性	
F002	<i>in vitro</i>	復帰突然変異試験	<i>S. typhimurium</i> (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート(+/-S9) ②プレインキュベート法： 313～5,000 µg/プレート(+/-S9)	陰性

代謝物	試験		対象	処理濃度・投与量	結果
			<i>E. coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	①標準プレート法： 20～5,000 µg/プレート(+/-S9) ②プレインキュベート法： 313～5,000 µg/プレート(+/-S9)	陰性
		遺伝子突然変異試験( <i>Hprt</i> 遺伝子)	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞(CHO-K1)	①500～1,650 µg/mL (-S9 ; 4 時間処理) 125～1,650 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理) ②500～1,650 µg/mL (-S9 ; 24 時間処理) 1,100～1,650 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理) ③400～1,650 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理)	陰性
		染色体異常試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞(V79)	①400～1,600 µg/mL (+/-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作製) ②800～1,600 µg/mL (-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作製) ③400～1,600 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、直後に標本作製) 1,600 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、10 時間培養標本作製) 400～1,600 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、24 時間培養標本作製)	陰性
	<i>in vivo</i>	小核試験	NMRI マウス (骨髄細胞) (一群雄 5 匹)	375、750、1,500 mg/kg 体重 (単回経口投与)	陰性
F048	<i>in vitro</i>	復帰突然変異試験	<i>S. typhimurium</i> (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株)	①標準プレート法： 22～5,500 µg/プレート(+/-S9) ②プレインキュベート法： 22～5,500 µg/プレート(+/-S9)	陰性
			<i>E. coli</i> (WP2 <i>uvrA</i> 株)	①標準プレート法： 22～5,500 µg/プレート(+/-S9) ②プレインキュベート法： 22～5,500 µg/プレート(+/-S9)	陰性



代謝物	試験		対象	処理濃度・投与量	結果
		遺伝子突然変異試験( <i>Hprt</i> 遺伝子)	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞(CHO-K1)	①62.5~500 µg/mL (-S9 ; 4 時間処理) 250~1,000 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理) ②125~750 µg/mL (-S9 ; 24 時間処理) 375~1,250 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理)	陰性
		染色体異常試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞(V79)	①375~750 µg/mL (-S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作製) 500~1,000 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、14 時間培養標本作製) ②125~375 µg/mL (-S9 ; 18 時間処理、直後に標本作製) 500 µg/mL (S9 ; 18 時間処理、10 時間培養標本作製) 500~1,000 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、24 時間培養標本作製) ③800~1,200 µg/mL (+S9 ; 4 時間処理、24 時間培養標本作製)	陽性 (+S9)
	<i>in vivo</i>	UDS 試験	Wistar ラット (肝細胞) (一群雄 3 匹)	1,000、2,000 mg/kg 体重 (単回経口投与)	陰性
	小核試験	NMRI マウス (骨髓細胞) (一群雄 5 匹)	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 (単回経口投与)	陰性	

注) +/- S9 : 代謝活性化系存在下及び非存在下

#### 14. その他の試験

90 日間亜急性毒性試験 (ラット) [10.(1)]、90 日間亜急性神経毒性試験 (ラット) [10.(4)] 等で、甲状腺の重量変化及び病理組織学的変化が認められたため、そのメカニズムを明らかにするための検討が実施された。

##### (1) 肝酵素誘導試験 (ラット)

甲状腺ホルモンの代謝及び恒常性を検討するため、Wistar ラット (投与群 : 一群雌雄各 10 匹、回復群<sup>7</sup> : 一群雌雄各 10 匹) に 2 週間混餌投与 (原体 : 0、

<sup>7</sup> 対照群及び 3,000 ppm 投与群で構成され、2 週間の混餌投与後、4 週間の休薬期間が設定された。

250、1,500 及び 3,000 ppm : 平均検体摂取量は表 46 参照) する肝酵素誘導試験が実施された。

表 46 肝酵素誘導試験 (ラット) の平均検体摂取量

投与群		250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	16	96	192
	雌	19	126	234

各投与群で認められた変化は表 47 に示されている。

検体投与による影響として、250 ppm 以上投与群の雌雄で小葉中心性肝細胞肥大、甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成並びに肝ミクロソームの薬物代謝酵素 (P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT) の誘導が認められ、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で T<sub>4</sub>-UDP-GT の誘導が認められた。また、雄では用量相関性のある TSH 増加が認められ、3,000 ppm 投与群では統計学的に有意であった。肝臓における T<sub>4</sub>-UDP-GT の亢進によって T<sub>4</sub> の代謝が誘発されたことが関与して (血中 T<sub>3</sub> 及び T<sub>4</sub> 値の低下は観察されなかったが)、TSH の増加、さらに標的細胞である甲状腺ろ胞細胞の過形成が誘発されたと考えられた。これらの影響は、4 週間の休薬後にはほとんど認められなかったことから、回復性のある変化であることが示唆された。(参照 1、56、61、62)

表 47 肝酵素誘導試験 (ラット) で認められた影響

群		雄	雌
投与群	3,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲状腺の変性コロイド</li> <li>TSH 増加</li> </ul>	
	1,500 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲状腺絶対及び比重量増加<sup>a</sup></li> <li>T<sub>4</sub>-UDP-GT 増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝絶対重量増加</li> <li>甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成</li> <li>T<sub>4</sub>-UDP-GT 増加</li> </ul>
	250 ppm 以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝絶対及び比重量増加</li> <li>小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成</li> <li>P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT 増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝比重量増加</li> <li>小葉中心性肝細胞肥大</li> <li>P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT 増加</li> </ul>
回復群	3,000 ppm	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝絶対及び比重量増加</li> <li>MUF-GT 増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲状腺絶対及び比重量増加</li> <li>EROD 及び BROD 増加</li> </ul>
	対照群	変化なし	変化なし

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

<sup>a</sup> : 3,000 ppm 投与群では比重量のみ統計学的有意差あり

## (2) 甲状腺機能試験 (ラット)

本剤の甲状腺に対する作用が直接的又は間接的のいずれかを検討するため、Wistar ラット (一群雌雄各 6 匹) に 2 週間混餌投与 (原体 : 0 及び 3,000

ppm : 平均検体摂取量は表 48 参照) して、パークロレート放出試験が実施された。なお、陽性対照として甲状腺機能に直接作用する PTU 及び間接的に作用する PB が 2 週間混餌投与 (PTU ; 2,000 ppm、PB ; 1,000 ppm、平均検体摂取量は表 47 参照) された。

表 48 甲状腺機能試験 (ラット) の平均検体摂取量

投与群		フルキサピロキサド	PTU	PB
		3,000 ppm	2,000 ppm	1,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	雄	283	231	89
	雌	247	192	97

結果は表 49 に示されている。

本試験において、フルキサピロキサド投与群は陽性対照である PB 投与群と類似した所見が認められたことから、甲状腺への直接的な影響ではないと考えられた。(参照 1、57、61、62)

表 49 甲状腺機能試験概要

性別 投与群	雄	雌
フルキサピロキサド	・ 甲状腺へのヨード取込上昇	
PTU	・ 体重増加抑制 ・ 甲状腺絶対重量増加 ・ 甲状腺へのヨード取込低下 ・ 甲状腺でのヨード有機化低下	・ 体重増加抑制 ・ 甲状腺絶対重量増加 ・ 甲状腺へのヨード取込低下
PB	・ 甲状腺絶対重量増加 ・ 甲状腺へのヨード取込上昇	・ 甲状腺中の放射能濃度増加

### (3) 肝細胞増殖反応試験 (ラット)

#### ① 肝細胞増殖反応試験 (ラット) - 1

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット (一群雌雄各 10 匹) に 1、4 又は 13 週間混餌投与 (原体 : 0、250、1,500 及び 3,000 ppm : 平均検体摂取量は表 50 参照) して、BrdU の取り込みが検討された。また、3,000 ppm 投与群の雌雄については、4 週投与後に 4 週間の休薬期間を設定し、肝細胞の増殖活性を検索した。

表 50 肝細胞増殖反応試験（ラット）- 1 の平均検体摂取量

性別	雄			雌		
投与群	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
投与期間	平均検体摂取量(mg/kg 体重/日)					
13 週	13	80	163	17	106	190
4 週	12	79	122	15	87	173
1 週	12	61	104	15	79	137

投与 1 週後から 13 週後に 1,500 ppm 以上投与群の雌雄で肝細胞の増殖亢進が認められた。また、4 週投与後に 4 週間の休薬期間を設定した場合には増殖の亢進が認められなかったことから、肝細胞への増殖亢進作用は可逆的であると推察された。（参照 1、58、61、62）

## ② 肝細胞増殖反応試験（ラット）- 2

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）に最長 13 週間混餌投与（原体：0 及び 50 ppm：平均検体摂取量は表 51 参照）して、BrdU の取り込みが検討された。

表 51 肝細胞増殖反応試験（ラット）- 2 の平均検体摂取量

性別	雄	雌
投与群	50 ppm	
投与期間	平均検体摂取量(mg/kg 体重/日)	
13 週	3.0	3.5
4 週	2.5	3.1
1 週	2.5	2.9

肝細胞の増殖亢進はいずれにおいても認められなかったことから、50 ppm 投与により、肝細胞の増殖亢進は生じないことが示された。（参照 1、59、61、62）

## ③ 肝細胞増殖反応試験（ラット）- 3

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）に最長 2 週間混餌投与（原体：0、50、250、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 52 参照）して、BrdU の取り込みが検討された。

表 52 肝細胞増殖反応試験（ラット）- 3 の平均検体摂取量

性別	雄				雌			
投与群	50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm	50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
投与期間	平均検体摂取量(mg/kg 体重/日)							
14 日	4.0	17	106	201	3.5	20	104	214
7 日	3.3	16	100	183	3.5	17	92	195
3 日	3.0	16	93	176	3.2	15	82	186
1 日	3.0	15	86	150	3.6	17	91	146

結果は表 53 に示されている。

肝細胞の増殖活性亢進は、3 及び 7 日間投与群では雌雄とも全野で認められたが、14 日投与群では雄では中心静脈域のみであり、雌では門脈域及び中心静脈域で認められた。

本試験において、フルキサピロキサドは肝細胞の細胞増殖亢進作用を有すると考えられた。（参照 1、60～62）

表 53 肝細胞増殖反応試験（ラット）で認められた影響

性別 投与群	雄	雌
3,000 ppm		・小葉中心性肝細胞肥大(3 及び 7 日投与)
1,500 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加(3 及び 7 日投与) ・小葉中心性肝細胞肥大(7 及び 14 日投与) ・肝細胞増殖活性亢進(3、7 及び 14 日投与)	・肝絶対及び比重量増加(3、7 及び 14 日投与) ・小葉中心性肝細胞肥大(14 日投与)
250 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加(14 日投与)	・肝細胞増殖活性亢進(3 及び 14 日投与)
50 ppm 以上	・甲状腺絶対及び比重量増加(3、7 及び 14 日投与)	・肝細胞増殖活性亢進(7 日投与)

注) 病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

ラットを用いた種々の試験 [14. (1)～(3)] 結果より、本剤の投与により肝ミクロソームの薬物代謝酵素が誘導され、T<sub>4</sub>-UDP-GT 亢進による甲状腺ホルモンの代謝が活性化することが関与して TSH が増加し、標的細胞である甲状腺細胞の過形成及び甲状腺腫瘍が誘発されることが考えられた。また、本剤は、肝細胞に対し分裂亢進作用を有すると考えられた。

#### (4) 28 日間免疫毒性試験（マウス）

C57BL/6JRj マウス（一群雄 8 匹）を用いた混餌投与（原体：0、500、2,000

及び 6,000 ppm：平均検体摂取量は表 54 参照）による 28 日間免疫毒性試験が実施された。

表 54 28 日間免疫毒性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群	500 ppm	2,000 ppm	6,000 ppm
平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	106	450	1,320

いずれの投与群でも検体投与による影響は認められなかった。本試験条件下において免疫毒性は認められなかった。（参照 73、92）

### Ⅲ. 食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて、農薬「フルキサピロキサド」の食品健康影響評価を実施した。第4版の改訂に当たっては、厚生労働省から、作物残留試験（りんご、なし等）の成績等が新たに提出された。

<sup>14</sup>Cで標識されたフルキサピロキサドのラットを用いた動物体内運命試験において、胆汁中排泄率から推定された消化管からの吸収率は、少なくとも72%であった。放射能の排泄は速やかであり、単回投与後72時間の尿及び糞中排泄率は、87.3%<sup>TAR</sup>～108%<sup>TAR</sup>であり、主に糞中へ排泄された。

<sup>14</sup>Cで標識したフルキサピロキサドの畜産動物（ヤギ及びニワトリ）を用いた動物体内運命試験の結果、筋肉、組織等で10%<sup>TRR</sup>を超えて検出された代謝物は、F004、F005、F008、F010、F016、F024及びF040であり、F040は、ラットで認められない代謝物であった。

<sup>14</sup>Cで標識されたフルキサピロキサドを用いた植物体内運命試験の結果、小麦（茎葉）で代謝物F008が10.6%<sup>TRR</sup>、だいで（子実）でF002が33.4%<sup>TRR</sup>及びF048が19.9%<sup>TRR</sup>検出された。

国内における作物残留試験の結果、フルキサピロキサドの最大残留値は、温州みかん（果皮）の11.1 mg/kg、代謝物F008の最大残留値は、おうとう（果実）の0.410 mg/kg、F048の最大残留値は、おうとう（果実）の0.035 mg/kgであった。代謝物F002はいずれの試料においても定量限界（0.005 mg/kg）未満であった。

海外における作物残留試験の結果、フルキサピロキサドの最大残留値は、非結球レタス（葉）の9.53 mg/kg、代謝物F002の最大残留値は、だいで（未成熟子実）の0.03 mg/kg、F008の最大残留値は、ラディッシュ（葉）の0.9 mg/kg、F048の最大残留値は、マスタードグリーン（葉）の1.50 mg/kgであった。

フルキサピロキサド並びに代謝物F008及びF002を分析対象化合物とした海外における畜産物残留試験では、飼料中濃度相当量を投与した場合のそれぞれの最大残留値は、フルキサピロキサドがウシの脂肪で0.0193 µg/g、代謝物F008がウシの肝臓で0.0379 µg/gであった。代謝物F002はいずれにおいても定量限界未満であった。

各種毒性試験結果から、フルキサピロキサド投与による影響は主に肝臓（小葉中心性肝細胞肥大、脂肪化：マウス、肝細胞色素沈着：イヌ）、甲状腺（ろ胞細胞肥大/過形成：ラット）、骨（骨化過剰：ラット及びマウス）及び歯（白変：ラット及びマウス）に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性、生体において問題となる遺伝毒性及び免疫毒性は認められなかった。

ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験では、肝臓において、雌雄で肝細胞腫瘍が増加し、甲状腺において、雄で腺腫及び癌の合計が増加したが、メカニズム試験及び遺伝毒性試験の結果から、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考え

られた。

各種試験結果から、ばく露評価対象物質は、農産物及び畜産物中でフルキサピロキサド（親化合物のみ）と設定した。

各試験における無毒性量等は表 55 に、単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響等は表 56 にそれぞれ示されている。

ラットを用いた 90 日間亜急性毒性試験の雄、90 日間亜急性神経毒性試験の雌及び 2 世代繁殖試験の親動物の雌雄では無毒性量が設定できなかったが、これらに比し、より低用量かつ長期間行われたラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験では無毒性量 2.1 mg/kg 体重/日が得られており、2.1 mg/kg 体重/日がラットの無毒性量として妥当と考えられた。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験の 2.1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.021 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。

また、フルキサピロキサドの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の 125 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 1.2 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

ADI	0.021 mg/kg 体重/日
（ADI 設定根拠資料）	慢性毒性/発がん性併合試験
（動物種）	ラット
（期間）	2 年間
（投与方法）	混餌
（無毒性量）	2.1 mg/kg 体重/日
（安全係数）	100
ARfD	1.2 mg/kg 体重
（ARfD 設定根拠資料）	急性神経毒性試験
（動物種）	ラット
（期間）	単回
（投与方法）	強制経口
（無毒性量）	125 mg/kg 体重
（安全係数）	100



<参考>

<JMPR、2012年>

ADI	0.02 mg/kg 体重/日
(ADI 設定根拠資料)	慢性毒性/発がん性併合試験
(動物種)	ラット
(期間)	2年間
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	2.1 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

ARfD	0.3 mg/kg 体重
(ARfD 設定根拠資料①)	発生毒性試験
(動物種)	ラット
(期間)	妊娠 6~19 日
(投与方法)	強制経口

(ARfD 設定根拠資料②)	発生毒性試験
(動物種)	ウサギ
(期間)	妊娠 6~28 日
(投与方法)	強制経口

(無毒性量)	25 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

<EPA、2012年>

cRfD	0.021 mg/kg 体重/日
(cRfD 設定根拠資料)	慢性毒性/発がん性併合試験
(動物種)	ラット
(期間)	2年間
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	2.1 mg/kg 体重/日
(不確実係数)	100

aRfD	1.25 mg/kg 体重
(aRfD 設定根拠資料)	急性神経毒性試験
(動物種)	ラット
(期間)	単回
(投与方法)	強制経口
(無毒性量)	125 mg/kg 体重
(不確実係数)	100

< EFSA、2012年 >

ADI	0.02 mg/kg 体重/日
(ADI 設定根拠資料)	慢性毒性/発がん性併合試験
(動物種)	ラット
(期間)	2年間
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	2.1 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

ARfD	0.25 mg/kg 体重
(ARfD 設定根拠資料①)	発生毒性試験
(動物種)	ラット
(期間)	妊娠 6～19 日
(投与方法)	強制経口

(ARfD 設定根拠資料②)	発生毒性試験
(動物種)	ウサギ
(期間)	妊娠 6～28 日
(投与方法)	強制経口

(無毒性量)	25 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

(参照 61、62、94、95)

表 55 各試験における無毒性量等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 <sup>1)</sup>
ラット	90 日間 亜急性 毒性試験	0、100、500、2,000、 6,000 ppm	雄：－ 雌：7.3	雄：6.1 雌：35.1	雄：T <sub>3</sub> 増加 雌：甲状腺ろ胞細胞肥大/ 過形成等
		雄：0、6.1、31.2、 126、407 雌：0、7.3、35.1、 144、424			
	90 日間 亜急性 神経毒性 試験	0、200、1,000、5,000 ppm	雄：11.5 雌：－	雄：57.7 雌：13.4	雄：小葉中心性肝細胞肥 大等 雌：甲状腺絶対及び比重 量増加  (亜急性神経毒性は認め られない)
		雄：0、11.5、57.7、 302 雌：0、13.4、67.2、 338			
	2 年間 慢性毒性/ 発がん性 併合試験	0、50、250、1,500、 3,000 ppm	雄：2.1 雌：2.7	雄：11 雌：14	雌雄：小葉中心性肝細胞 肥大等  (3,000 ppm 投与群の雄 で肝細胞癌、3,000 ppm 投与群の雌で肝細胞腺 腫、1,500 ppm 以上投与 群の雄で肝細胞腺腫並び に肝細胞腺腫及び癌の合 計が増加)
2 世代 繁殖試験	P 雄：0、9.5、47.6、 285 P 雌：0、9.8、48.8、 293 F <sub>1</sub> 雄：0、9.6、47.7、 286 F <sub>1</sub> 雌：0、9.6、47.9、 289	親動物 P 雄：－ P 雌：－ F <sub>1</sub> 雄：－ F <sub>1</sub> 雌：－	親動物 P 雄：9.5 P 雌：9.8 F <sub>1</sub> 雄：9.6 F <sub>1</sub> 雌：9.6	親動物 雄：小葉中心性肝細胞肥 大等 雌：肝絶対及び比重量増 加	
		児動物 P 雄：9.5 P 雌：9.8 F <sub>1</sub> 雄：9.6 F <sub>1</sub> 雌：9.6	児動物 P 雄：47.6 P 雌：48.8 F <sub>1</sub> 雄：47.7 F <sub>1</sub> 雌：47.9	児動物 雌雄：体重増加抑制  (繁殖能に対する影響は 認められない)	
発生毒性 試験	0、25、200、1,000	母動物：25 胎児：1,000	母動物： 200 胎児：－	母動物：甲状腺絶対及び 比重量増加等  胎児：毒性所見なし  (催奇形性は認められな い)	

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 <sup>1)</sup>
マウス	90日間 亜急性毒 性試験	0、100、400、2,000、 6,000 ppm ----- 雄：0、21、77、390、 1,140 雌：0、32、128、610、 1,660	雄：21 雌：128	雄：77 雌：610	雄：TG 及び Chol 減少 雌：肝絶対及び比重量増 加等
	18か月間 発がん性 試験	0、150、750、3,000、 6,000 ppm ----- 雄：0、21、107、468、 996 雌：0、33、158、652、 1,310	雄：21 雌：33	雄：107 雌：158	雌雄：肝臓の大滴性脂肪 化等  (発がん性は認められな い)
ウサギ	発生毒性 試験	0、10、25、60	母動物及び 胎児：25	母動物及び 胎児：60	母動物：体重増加抑制等  胎児：肢過屈曲増加  (催奇形性は認められな い)
イヌ	90日間 亜急性 毒性試験	雄：0、300、1,500、 10,000 ppm 雌：0、300、1,500、 7,500 ppm ----- 雄：0、9、45、295 雌：0、10、51、238	雄：9 雌：10	雄：45 雌：51	雌雄：Chol 減少等
	1年間 慢性毒性 試験	雄：0、300、1,500、 12,000 ppm 雌：0、300、1,500、 9,000 ppm ----- 雄：0、8、39、335 雌：0、9、43、257	雄：8 雌：9	雄：39 雌：43	雌雄：肝細胞色素沈着 (鉄陽性)等
ADI			NOAEL：2.1 SF：100 ADI：0.021		
ADI 設定根拠資料			ラット2年間慢性毒性/発がん性併合試験		

ADI：許容一日摂取量 SF：安全係数 NOAEL：無毒性量

<sup>1)</sup>：備考に最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

－：無毒性量又は最小毒性量は設定できなかった。

表 56 単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重)	無毒性量及び急性参照用量設定に関連するエンドポイント <sup>1)</sup> (mg/kg 体重)
ラット	一般薬理試験 (Irwin 法)	0、200、600、2,000	雄：600 雄：軟便・下痢(投与 6 時間後)
	急性神経毒性 試験	0、125、500、2,000	雌雄：125 雄：自発運動量低下(投与日)及び立ち上がり回数減少 雌：自発運動量低下(投与日)
ARfD			NOAEL：125 SF：100 ARfD：1.2
ARfD 設定根拠資料			ラット急性神経毒性試験

ARfD：急性参照用量 SF：安全係数 NOAEL：無毒性量

<sup>1)</sup>：最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

<別紙1：代謝物/分解物略称>

略称	化学名
F001	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボン酸
F002	3-(ジフルオロメチル)-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボン酸
F004	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F005	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [5-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F006	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F007	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F008	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F009 F036	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F010	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F011	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-(1-グルクロニル)オキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F014	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F015	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F016	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [メチルチオ-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F020	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F023	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F024 F040	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F025	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [(ヒドロキシスルホニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F026	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(ヒドロキシスルホニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F027	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(ヒドロキシスルホニル)オキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F028	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [メチルチオ-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F032 F046	3-(ヒドロキシカルボニル)- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ピラゾール-4-カルボキサミド
F033 F047	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> -ヒドロキシピラゾール-4-カルボキサミド

略称	化学名
F034 F111	3-(ジフルオロメチル)-1-グルクロニル- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F038	3-(ジフルオロメチル)- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F039	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ジヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F042	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F043	3-(ヒドロキシカルボニル)-1-メチル- <i>N</i> [ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F044	3-(ヒドロキシカルボニル)-1-メチル- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F048	3-(ジフルオロメチル)-1-グルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F057	3-(ジフルオロメチル)-1-メトキシグルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F058 F130	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [(マロニルグルコシドオキシ)3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F059	3-(ジフルオロメチル)-1-メトキシマロニルグルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F060	3-(ジフルオロメチル)-1-マロニルグルコシド- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F061	3-(ジフルオロメチル)-5-(1-グルクロニル)オキシ- <i>N</i> [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F063	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F074 F075	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>O</i> -グルコシド)-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F082	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> (ベンゼン-2-カルボキシル)-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F113	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>C</i> -グリシル)-( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F114	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-(1-グルクロニル)オキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F115	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>C</i> -グリシル)-( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F116	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F117	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は5']-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド
F118	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル- <i>N</i> [( <i>S</i> -システイニル)-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1 <i>H</i> ピラゾール-4-カルボキサミド

略称	化学名
F120	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N[(S-システイニル)-3', 4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド
F121	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N[(S-システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド
F122	3-(ジフルオロメチル)-N[(S-システイニル)-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド
F123	3-(ジフルオロメチル)-N[(1-グルクロニル)オキシ-3',4', 5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド
F124	3-(ジフルオロメチル)-N[2'-(1-グルクロニル)オキシ-3', 4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド
F125	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N[2'-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド
F131	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N[2'-(1-フェルロイルグルコシド)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド
F132	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N[ベンゼン-2-(2-アルキルジカルボキシル)]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド
F133 F134	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N[3',[4 又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1Hピラゾール-4-カルボキサミド



<別紙2：検査値等略称>

略称	名称
ai	有効成分量 (active ingredient)
Alb	アルブミン
ALP	アルカリホスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ [=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ (GPT) ]
AUC	薬物濃度曲線下面積
BrdU	5-プロモ-2'-デオキシウリジン
BROD	ベンジルオキシレゾルフィン <i>O</i> -デペンチラーゼ
Chol	コレステロール
Cre	クレアチニン
EFSA	欧州食品安全機関
EPA	米国環境保護庁
EROD	エトキシレゾルフィン <i>O</i> -デエチラーゼ
FOB	機能観察総合検査
GGT	$\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ [= $\gamma$ -グルタミルトランスペプチダーゼ ( $\gamma$ -GTP) ]
Glob	グロブリン
Glu	グルコース (血糖)
C <sub>max</sub>	最高濃度
CMC	カルボキシメチルセルロース
HOBIGT	4-ヒドロキシビフェニルグルクロニルトランスフェラーゼ
JMPR	FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議
LC <sub>50</sub>	半数致死濃度
LD <sub>50</sub>	半数致死量
MUF-GT	4-メチルウンベリフェロングルクロニルトランスフェラーゼ
P450	チトクローム P450
PB	フェノバルビタール (ナトリウム)
PHI	最終使用から収穫までの日数
PROD	ペントキシレゾルフィン <i>O</i> -デペンチラーゼ
PT	プロトロンビン時間
PTU	プロピルチオウラシル
T <sub>1/2</sub>	消失半減期
T <sub>3</sub>	トリヨードサイロニン
T <sub>4</sub>	サイロキシン
T <sub>4</sub> -UDP-GT	T <sub>4</sub> -UDP-グルクロノシルトランスフェラーゼ
T.Bil	総ビリルビン
TG	トリグリセリド

略称	名称
TP	総蛋白質
T <sub>max</sub>	最高濃度到達時間
TAR	総投与（処理）放射能
TRR	総残留放射能
TSH	甲状腺刺激ホルモン
UDS	不定期 DNA 合成
Ure	尿素





作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		合量値
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
温州みかん (施設) (果肉) 2019年度	1	442WP3	3	1	0.006	0.006							
				3	0.012	0.012							
				7	0.006	0.006							
	1	530WP3	3	1	0.012	0.012							
				3	0.009	0.009							
				7	0.007	0.007							
	1	589WP3	3	1	0.006	0.006							
				3	0.014	0.014							
				7	0.010	0.010							
温州みかん (施設) (果肉) 2020年度	1	530WP3	3	1	0.006	0.006							
				3	0.019	0.018							
				7	0.032	0.030							
	1	589WP3	3	1	0.047	0.046							
				3	0.037	0.037							
				7	0.017	0.016							
	1	565WP3	3	1	0.025	0.024							
				3	0.094	0.090							
				7	0.054	0.054							
温州みかん (施設) (果皮) 2019年度	1	442WP3	3	1	5.84	5.74							
				3	5.58	5.52							
				7	4.61	4.56							
	1	530WP3	3	1	3.13	3.10							
				3	3.08	3.08							
				7	3.02	3.01							
	1	589WP3	3	1	4.22	4.16							
				3	4.16	4.15							
				7	4.02	4.02							

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		合量値
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
温州みかん (施設) (果皮) 2020年度	1	530 <sup>WP3</sup>	3	1	4.28	4.25							
				3	3.55	3.54							
				7	3.34	3.24							
	1	589 <sup>WP3</sup>	3	1	7.88	7.83							
				3	5.86	5.72							
				7	6.19	6.02							
	1	565 <sup>WP3</sup>	3	1	10.6	10.6							
				3	11.1	11.0							
				7	10.0	9.94							
温州みかん (施設) (果実全体 a) 2019年度	1	442 <sup>WP3</sup>	3	1	1.14	1.12							
				3	1.15	1.14							
				7	0.937	0.926							
	1	530 <sup>WP3</sup>	3	1	0.685	0.679							
				3	0.663	0.663							
				7	0.676	0.674							
	1	589 <sup>WP3</sup>	3	1	0.666	0.657							
				3	0.688	0.687							
				7	0.626	0.626							
温州みかん (施設) (果実全体 a) 2020年度	1	530 <sup>WP3</sup>	3	1	0.837	0.831							
				3	0.715	0.712							
				7	0.686	0.665							
	1	589 <sup>WP3</sup>	3	1	1.53	1.52							
				3	1.19	1.17							
				7	1.21	1.17							
	1	565 <sup>WP3</sup>	3	1	2.13	2.13							
				3	2.42	2.40							
				7	2.31	2.30							

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)										
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		合量値		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
かぼす (露地) (果実) 2019年度	1	511WP3	3	1 3 7	1.51 1.07 1.07	1.50 1.06 1.06	/	/	/	/	/	/	/		
すだち (露地) (果実) 2019年度	1	442WP3	3	1 3 7	0.637 0.640 0.256	0.637 0.640 0.255	/	/	/	/	/	/	/		
ゆず (露地) (果実) 2019年度	1	461WP3	3	1 3 7	0.789 0.618 0.653	0.769 0.614 0.633	/	/	/	/	/	/	/		
りんご (露地) (果実) 2012年度	1	158WP2	3	14	0.117	0.116	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.14	
				21	0.099	0.094	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.12
				28	0.057	0.054	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.08
				45	0.043	0.041	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.06
	1	154WP2	3	14	0.062	0.059	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.08	
				21	0.083	0.076	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.10	
				28	0.071	0.066	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.09	
				45	0.023	0.022	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.04	
	1	158WP2	3	14	0.171	0.166	<0.005	<0.005	0.025	0.023	<0.005	<0.005	<0.005	0.21	
				21	0.210	0.202	<0.005	<0.005	0.018	0.018	<0.005	<0.005	<0.005	0.24	
				28	0.080	0.076	<0.005	<0.005	0.016	0.015	<0.005	<0.005	<0.005	0.11	
				45	0.048	0.045	<0.005	<0.005	0.020	0.018	<0.005	<0.005	<0.005	0.08	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								合量値
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
りんご (露地) (花おち、芯 及び果梗の 基部) 2012年度	1	158WP2	3	14	0.064	0.064	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.09
				21	0.120	0.115	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.14
				28	0.117	0.117	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.14
				45	0.057	0.056	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.08
	1	154WP2	3	14	0.225	0.210	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.23
				21	0.157	0.156	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.18
				28	0.067	0.066	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.09
				45	0.036	0.036	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.06
	1	158WP2	3	14	0.159	0.158	<0.005	<0.005	0.020	0.020	<0.005	<0.005	0.20
				21	0.111	0.110	<0.005	<0.005	0.020	0.020	<0.005	<0.005	0.15
				28	0.086	0.086	<0.005	<0.005	0.023	0.022	<0.005	<0.005	0.13
				45	0.139	0.138	<0.005	<0.005	0.027	0.027	<0.005	<0.005	0.18
りんご (露地) (果実) 2013年度	1	123WP2	3	14	0.101	0.100	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.12
				21	0.070	0.068	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.09
				28	0.094	0.092	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.11
				45	0.039	0.038	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.06
	1	125WP2	3	14	0.032	0.031	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
				21	0.035	0.032	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
				28	0.047	0.046	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.07
				45	0.047	0.046	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.07
	1	123WP2	3	14	0.071	0.070	<0.005	<0.005	0.009	0.009	<0.005	<0.005	0.10
				21	0.087	0.086	<0.005	<0.005	0.015	0.014	<0.005	<0.005	0.12
				28	0.074	0.073	<0.005	<0.005	0.020	0.018	<0.005	<0.005	0.11
				45	0.035	0.034	<0.005	<0.005	0.013	0.012	<0.005	<0.005	0.06



作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								含量値
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
りんご (露地) (花おち、芯 及び果梗の 基部) 2013 年度	1	123WP2	3	14	0.106	0.104	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.13
				21	0.098	0.095	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.12
				28	0.122	0.114	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.14
				45	0.085	0.082	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.10
	1	125WP2	3	14	0.087	0.081	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.10
				21	0.083	0.082	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.10
				28	0.084	0.082	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.10
				45	0.089	0.086	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.11
	1	123WP2	3	14	0.073	0.072	<0.005	<0.005	0.013	0.012	<0.005	<0.005	0.10
				21	0.048	0.046	<0.005	<0.005	0.016	0.016	<0.005	<0.005	0.08
				28	0.057	0.055	<0.005	<0.005	0.020	0.018	<0.005	<0.005	0.09
				45	0.040	0.038	<0.005	<0.005	0.013	0.012	<0.005	<0.005	0.07
りんご (露地) (果実) 2014 年度	1	123WP2	3	14	0.183	0.182	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.20
				21	0.062	0.060	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.08
				28	0.092	0.084	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.11
				45	0.041	0.040	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.06
	1	140WP2	3	14	0.086	0.086	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.11
				21	0.044	0.042	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.06
				28	0.054	0.053	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.08
				45	0.041	0.040	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.06
りんご (露地) (花おち、芯 及び果梗の 基部) 2014 年度	1	123WP2	3	14	0.149	0.140	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.16
				21	0.126	0.124	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.15
				28	0.082	0.082	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.10
				45	0.032	0.030	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
	1	140WP2	3	14	0.100	0.098	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.12
				21	0.067	0.064	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005	0.09
				28	0.046	0.046	<0.005	<0.005	0.006	0.006	<0.005	<0.005	0.07
				45	0.041	0.040	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005	0.06

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		合量値
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
りんご (露地) (果実) 2018年度	1	398WP3	3	1	1.35	1.34							
				3	1.29	1.27							
				7	0.960	0.958							
				14	0.880	0.870							
	1	405WP3	3	1	0.961	0.958							
				3	1.11	1.10							
				7	0.958	0.932							
				14	0.649	0.626							
	1	442WP3	3	1	1.32	1.27							
3				1.20	1.18								
7				1.13	1.12								
14				1.06	1.05								
りんご (露地) (果実) 2019年度	1	398WP3	3	1	0.634	0.631							
				3	0.864	0.842							
				7	0.633	0.616							
				16	0.343	0.337							
	1	379WP3	3	1	0.305	0.300							
				3	0.266	0.263							
				7	0.438	0.428							
				14	0.408	0.402							
	1	398WP3	3	1	0.593	0.588							
				3	0.653	0.640							
				7	0.552	0.528							
				14	0.534	0.522							





作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		合量値
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
日本なし (露地) (果実) 2018年度	1	408WP3	3	1	0.432	0.429							
				3	0.385	0.380							
				7	0.281	0.280							
				14	0.237	0.228							
	1	424WP3	3	1	0.278	0.276							
				3	0.152	0.152							
				7	0.079	0.078							
				14	0.047	0.047							
	1	360WP3	3	1	0.267	0.267							
3				0.266	0.261								
6				0.264	0.262								
14				0.137	0.136								
日本なし (露地) (果実) 2019年度	1	424WP3	3	1	0.364	0.361							
				3	0.260	0.256							
				7	0.192	0.190							
				14	0.218	0.216							
	1	442WP3	3	1	0.423	0.416							
				3	0.338	0.336							
				7	0.336	0.322							
				14	0.208	0.200							
	1	406WP3	3	1	0.452	0.446							
				3	0.575	0.556							
				7	0.406	0.402							
				14	0.530	0.512							

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								合量値
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
もも (露地) (果肉) 2012 年度	1	112WP2	3	1	0.010	0.010	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03
				3	0.011	0.010	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03
				7	0.014	0.014	<0.005	<0.005	0.007	0.006	<0.005	<0.005	0.04
				14	0.011	0.010	<0.005	<0.005	0.011	0.009	<0.005	<0.005	0.04
	1	117WP2	3	1	0.007	0.007	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03
				3	0.007	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03
				7	0.007	0.007	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03
				14	0.004	0.004	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03
もも (露地) (果皮) 2012 年度	1	112WP2	3	1	0.622	0.597	<0.005	<0.005	0.020	0.018	<0.005	<0.005	0.63
				3	0.540	0.522	<0.005	<0.005	0.022	0.022	<0.005	<0.005	0.56
				7	0.480	0.469	<0.005	<0.005	0.026	0.024	<0.005	<0.005	0.51
				14	0.562	0.537	<0.005	<0.005	0.047	0.042	<0.005	<0.005	0.60
	1	117WP2	3	1	1.14	1.12	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005	1.15
				3	0.600	0.596	<0.005	<0.005	0.012	0.012	<0.005	<0.005	0.62
				7	0.431	0.420	<0.005	<0.005	0.018	0.017	<0.005	<0.005	0.45
				14	0.260	0.255	<0.005	<0.005	0.024	0.023	<0.005	<0.005	0.30
もも (露地) (果肉) 2013 年度	1	117WP2	3	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.03
				3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.03
				7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.03
				14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.03
	1	123WP2	3	1	0.021	0.020	<0.005	<0.005	0.007	0.007	<0.005	<0.005	0.04
				3	0.040	0.039	<0.005	<0.005	0.026	0.025	<0.005	<0.005	0.08
				7	0.025	0.025	<0.005	<0.005	0.025	0.025	<0.005	<0.005	0.07
				14	0.014	0.014	<0.005	<0.005	0.019	0.019	<0.005	<0.005	0.05

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								含量値
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
もも (露地) (果皮) 2013 年度	1	117WP2	3	1	0.447	0.432	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.46
				3	0.345	0.342	<0.005	<0.005	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.37
				7	0.355	0.350	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005	0.38
				14	0.144	0.142	<0.005	<0.005	0.016	0.016	<0.005	<0.005	0.18
	1	123WP2	3	1	1.29	1.26	<0.005	<0.005	0.029	0.028	<0.005	<0.005	1.31
				3	1.64	1.60	<0.005	<0.005	0.095	0.091	<0.005	<0.005	1.71
				7	1.11	1.08	<0.005	<0.005	0.099	0.098	<0.005	<0.005	1.20
				14	0.405	0.388	<0.005	<0.005	0.080	0.079	0.007	0.006	0.49
もも (露地) (果実 <sup>b</sup> ) 2019 年度	1	389WP3	3	1	0.426	0.420							
				3	0.507	0.504							
				7	0.342	0.340							
	1	420WP3	3	1	0.390	0.378							
				3	0.527	0.505							
				7	0.164	0.159							
	1	424WP3	3	1	0.350	0.346							
				3	0.299	0.298							
				7	0.191	0.188							
もも (露地) (果肉) 2019 年度	1	389WP3	3	1	0.035	0.034							
				3	0.048	0.048							
				7	0.057	0.056							
	1	420WP3	3	1	0.023	0.022							
				3	0.034	0.034							
				7	0.015	0.015							
	1	424WP3	3	1	0.020	0.020							
				3	0.019	0.019							
				7	0.014	0.014							

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								含量値
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
ネクタリン (露地) (果実) 2012 年度	1	123WP2	2	1	0.543	0.542	<0.005	<0.005	0.033	0.032	<0.005	<0.005	0.59
				3	0.418	0.410	<0.005	<0.005	0.033	0.033	<0.005	<0.005	0.46
				7	0.405	0.387	<0.005	<0.005	0.054	0.054	<0.005	<0.005	0.46
				14	0.242	0.237	<0.005	<0.005	0.072	0.072	<0.005	<0.005	0.33
	1	117WP2	2	1	0.179	0.169	<0.005	<0.005	0.011	0.010	<0.005	<0.005	0.20
				3	0.113	0.111	<0.005	<0.005	0.014	0.014	<0.005	<0.005	0.14
				7	0.071	0.070	<0.005	<0.005	0.014	0.014	<0.005	<0.005	0.10
				14	0.047	0.046	<0.005	<0.005	0.013	0.013	<0.005	<0.005	0.08
ネクタリン (露地) (果実) 2019 年度	1	331WP3	3	1	0.658	0.655							
				3	0.494	0.492							
				7	0.317	0.314							
	1	318WP3	3	1	0.403	0.398							
				3	0.459	0.456							
				7	0.257	0.251							
すもも (露地) (果実) 2019 年度	1	442WP3	3	1	0.182	0.174							
				3	0.053	0.050							
				7	0.046	0.045							
	1	413WP3	3	1	0.142	0.140							
				3	0.102	0.100							
				7	0.065	0.064							



作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年	試験 ほ場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	分析結果 (mg/kg)								
					フルキサピロ キサド		代謝物 F002		代謝物 F008		代謝物 F048		合量値
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
うめ (露地) (果実) 2019年度	1	291WP3	3	1	2.94	2.88	/	/	/	/	/	/	/
				3	2.25	2.24	/	/	/	/	/	/	/
				7	2.10	2.08	/	/	/	/	/	/	/
				14	0.885	0.870	/	/	/	/	/	/	/
	1	294WP3	3	1	0.467	0.460	/	/	/	/	/	/	/
				3	0.273	0.266	/	/	/	/	/	/	
				7	0.201	0.196	/	/	/	/	/	/	
				14	0.077	0.074	/	/	/	/	/	/	
	1	353WP3	3	1	1.55	1.54	/	/	/	/	/	/	/
3				1.15	1.14	/	/	/	/	/	/		
6				0.765	0.760	/	/	/	/	/	/		
14				0.429	0.426	/	/	/	/	/	/		
おうとう (施設) (果実) 2013年度	1	162WP2	3	1	0.980	0.958	<0.005	<0.005	0.410	0.392	0.007	0.007	1.38
				3	0.738	0.708	<0.005	<0.005	0.363	0.362	0.007	0.007	1.10
				7	0.482	0.470	<0.005	<0.005	0.402	0.398	0.012	0.012	0.91
	1	158WP2	3	1	1.47	1.44	<0.005	<0.005	0.279	0.269	0.017	0.017	1.74
				3	0.978	0.974	<0.005	<0.005	0.287	0.280	0.023	0.022	1.29
				7	0.997	0.996	<0.005	<0.005	0.367	0.359	0.035	0.035	1.41
おうとう (施設) (果実) 2019年度	1	368WP3	3	1	2.12	2.09	/	/	/	/	/	/	/
				3	1.93	1.91	/	/	/	/	/	/	/
				7	1.97	1.94	/	/	/	/	/	/	/
	1	430WP3	3	1	1.05	1.04	/	/	/	/	/	/	/
				3	0.791	0.788	/	/	/	/	/	/	/
				7	0.517	0.516	/	/	/	/	/	/	/
	1	413WP3	3	1	2.73	2.70	/	/	/	/	/	/	/
				3	1.34	1.34	/	/	/	/	/	/	/
				7	1.49	1.49	/	/	/	/	/	/	/

WP1 : 18.3%水和剤、WP2 : 7.0%水和剤、WP3 : 26.5%水和剤、/ : 該当なし

- 全てのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均にくを付して記載した。
- 含量値は各平均値を合計した値であり、代謝物については平均値に係数を乗じたフルキサピロキサド換算値（F002：×2.35、F008：×1.04、F048：×0.72）を用いた。
- a：みかんの果実全体は果肉と果実の重量比から算出した。
- b：ももの果実は種子を無残留として算出した。

<別紙4：作物残留試験成績（海外）>

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
とう もろ こし	6.25% EC	Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
			2	7	101	202	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
						102	201	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	201	穀粒*	7	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08		
						101	200	穀粒*	7	0.09	<LOD	<LOQ	<LOD	0.10	
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	201	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
						8	100	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	99	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
						100	200	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
		Clarke, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	98	197	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
								穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
		MD of Taber, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	9	101	200	穀粒*	5	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
								穀粒*	5	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	99	197	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	
						穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			
Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	2	7	102	202	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			
						穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			
Hood River, OR, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	2	7	99	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			
						穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			

EC：乳剤

-：該当なし

\*穀粒+外皮を除いた穂軸

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
とう もろ こし	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					105	205	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					101	200	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					8	100	198	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					7	101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					100	200	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	104	204	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					6	102	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
2	7		102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
			102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
Steele, MN, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	104	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
			6	102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
とう もろ こし	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
			2	7	99	198	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
					100	200	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
		Clinton, IL, 米国	2	7	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
					99	198	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
		98	195	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
												RM of Grey, MB, カナダ	-	-	-
		2	7	100	195	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01			
				104	205	穀粒	21	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
		Wharton, TX, 米国	2	7	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
101	202				穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
8	104	206	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
小麦	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	101	201	穀粒	22	0.06	<LOD	<LOQ	<LOD	0.07	
				7	99	196	穀粒	22	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06	
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	100	199	穀粒	21	0.14	<LOD	0.03	<LOD	0.17	
		7		100	199	穀粒	21	0.10	<LOD	0.02	<LOD	0.12		
		Polk, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	8	102	202	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08	
		7		100	199	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08		
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	100	200	穀粒	20	0.02	<LOD	<LOQ	<LOD	0.03	
		101			198	穀粒	20	0.03	<LOD	<LOQ	<LOD	0.04		
		Kent, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	99	198	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06	
		7		100	198	穀粒	21	0.04	<LOD	0.01	<LOD	0.05		
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	102	202	穀粒	20	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08	
		8		101	201	穀粒	20	0.04	<LOD	<LOD	<LOD	0.04		
		Hall, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	103	204	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08	
		101			201	穀粒	21	0.08	<LOD	0.02	<LOD	0.10		
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	8	102	204	穀粒	7	0.40	<LOD	0.05	<LOQ	0.46	
								14	0.28	<LOD	0.05	<LOQ	0.34	
								21	0.11	<LOD	0.02	<LOD	0.13	
								28	0.09	<LOD	0.02	<LOD	0.11	
					7	101	201	穀粒	7	0.38	<LOD	0.05	<LOQ	0.44
					14				0.27	<LOD	0.05	<LOQ	0.33	
					21				0.10	<LOD	0.02	<LOD	0.12	
		28	0.09	<LOD	0.02				<LOD	0.11				
RM of Vanscoy, SK, カガ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	2	7	102	203	穀粒	20	0.04	<LOD	<LOQ	<LOD	0.05			
100			200	穀粒	20	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08				

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関 : BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
小麦	6.25% EC	Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	204	穀粒	20	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
					102	203	穀粒	20	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	195	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
		100			197	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06	
		Taber, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	104	202	穀粒	27	0.08	<LOD	<LOQ	<LOD	0.09
		105			205	穀粒	27	0.08	<LOD	<LOQ	<LOD	0.09	
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	198	穀粒	25	0.02	<LOD	<LOD	<LOD	0.02
		8			97	穀粒	25	0.02	<LOD	<LOQ	<LOD	0.03	
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	199	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
		7			102	穀粒	21	0.14	<LOD	<LOQ	<LOD	0.15	
		Barton, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	21	<LOQ	<LOD	<LOQ	<LOD	<0.01
		100			201	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06	
		Washita, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12
		8			102	穀粒	21	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08	
		Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOD	<LOD	0.05
		101			201	穀粒	21	0.04	<LOD	<LOD	<LOD	0.04	
		RM of Laird, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	20	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
		8			100	穀粒	20	0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16	
		RM of Laird, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
2	7		100	200	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20		
		8	99	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20			
RM of Whitewater, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	104	206	穀粒	21	0.05	<LOD	0.04	<LOD	0.09		
101			203	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06			

EC : 乳剤

- : 該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビ°ロ キナト°	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
小麦	6.25% EC	RM of Rosthern, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	穀粒	21	0.10	<LOD	<LOQ	<LOD	0.11
				6	102	203	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
		RM of Rosthern, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	202	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12
		6		103	202	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12	
		RM of Dundurn, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	196	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
		100			200	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13	
		Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	20	0.11	<LOD	0.02	<LOD	0.13
		8		102	202	穀粒	20	0.08	<LOD	0.01	<LOD	0.09	
		Strathcona, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	穀粒	7	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
							穀粒	13	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
							穀粒	20	0.21	<LOD	<LOQ	<LOD	0.22
							穀粒	27	0.21	<LOD	<LOQ	<LOD	0.22
			99	197	穀粒	7	0.18	<LOD	<LOQ	<LOD	0.19		
穀粒	13				0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16				
穀粒	20	0.16			<LOD	<LOQ	<LOD	0.17					
穀粒	27	0.20	<LOD	<LOQ	<LOD	0.21							

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOQ: <0.01 mg/kg

<LOD: <0.002 mg/kg



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
ソル ガム	6.25% EC	Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.13	<LOD	<LOQ	<LOD	0.14
					101	201	穀粒	21	0.12	<LOD	0.01	<LOD	0.13
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	20	0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16
					100	199	穀粒	20	0.14	<LOD	<LOQ	<LOD	0.15
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	穀粒	21	0.13	<LOD	0.04	<LOQ	0.18
					7	100	200	穀粒	21	0.17	<LOD	0.05	<LOQ
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	99	197	穀粒	23	0.18	<LOD	<LOQ	<LOD	0.19
					6	102	201	穀粒	23	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	201	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
					7	101	201	穀粒	20	0.43	<LOD	0.01	<LOQ
		Clarke, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	198	穀粒	21	0.41	<LOD	<LOQ	<LOD	0.42
					101	201	穀粒	21	0.38	<LOD	<LOQ	<LOD	0.39
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	22	0.21	<LOD	0.01	<LOQ	0.23
					100	199	穀粒	22	0.20	<LOD	0.01	<LOQ	0.22
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	穀粒	21	0.16	<LOD	<LOQ	<LOD	0.17
					100	199	穀粒	21	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	101	200	穀粒	21	0.30	<LOD	0.08	<LOQ	0.39		
			104	201	穀粒	21	0.17	<LOD	0.04	<LOQ	0.22		

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOQ: <0.01 mg/kg

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関 : BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
稲	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	22	0.50	<LOD	0.02	<LOD	0.52
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	201	穀粒	22	0.67	<LOD	0.02	<LOQ	0.70
		Pima, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	21	0.08	<LOD	<LOQ	<LOQ	0.09
		Clay, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	200	穀粒	21	0.35	<LOD	<LOQ	<LOD	0.36
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	197	穀粒	20	0.51	<LOD	<LOQ	<LOD	0.52
		Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	21	1.58	<LOD	<LOQ	<LOD	1.59
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	-*	-*	-*	-
			2	6	101	200	穀粒	21	1.21	<LOD	0.03	<LOQ	1.25
			穀粒	21	1.51	<LOD	0.03	<LOQ	1.55				
			穀粒	22	1.25	<LOD	0.03	<LOQ	1.29				
			穀粒	22	1.16	<LOD	0.03	<LOQ	1.20				
			穀粒	24	1.43	<LOD	0.03	<LOQ	1.47				
			穀粒	24	1.29	<LOD	0.03	<LOQ	1.33				
			穀粒	28	1.29	<LOD	0.03	<LOQ	1.33				
			穀粒	28	1.26	<LOD	0.03	<LOQ	1.30				
穀粒	30		1.33	<LOD	0.03	<LOQ	1.37						
Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	102	204	穀粒	21	1.28	<LOD	<LOQ	<LOD	1.29		
穀粒	21	1.05	<LOD	<LOQ	<LOD	1.06							

EC : 乳剤

- : 該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
稲	6.25% EC	Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	20	1.17	<LOD	0.01	<LOQ	1.19
							穀粒	20	1.18	<LOD	0.01	<LOQ	1.20
		Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	20	1.19	<LOD	0.02	<LOQ	1.22
		Washington MS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	21	0.65	<LOD	<LOQ	<LOQ	0.66
		Washington MS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	26	0.36	<LOD	<LOQ	<LOD	0.37
						穀粒	26	0.40	<LOQ	<LOQ	<LOD	0.42	

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*:この分析は2連で行われなかった。

<LOQ: <0.01 mg/kg

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
大麦	6.25% EC	Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	103	204	穀粒	21	0.49	<LOD	<LOQ	<LOD	0.50
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	21	0.42	<LOD	0.02	<LOQ	0.45
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	0.77	<LOD	<LOQ	<LOD	-
			2	8	102	202	穀粒	20	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		RM of Dundurn, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	21	0.53	<LOD	<LOQ	<LOD	0.54
		RM of Vanscoy, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	20	0.36	<LOD	<LOQ	<LOD	0.37
		Hall, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	202	穀粒	21	0.51	<LOD	0.02	<LOD	0.53
		MD of Lethbridge, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.86	<LOD	<LOQ	<LOD	0.87
		MD of Taber, AB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	10	102	200	穀粒	21	1.09	<LOD	<LOQ	<LOD	1.10
		RM of Laird, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	203	穀粒	22	0.82	<LOD	0.02	<LOD	0.84
		RM of Rosthern, SK, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	204	穀粒	21	0.54	<LOD	0.02	<LOD	0.56
							穀粒	21	0.45	<LOD	0.01	<LOD	0.46

EC：乳剤

-：該当なし

\*:この分析は行われなかった。

<LOQ: <0.01 mg/kg

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
大麦	6.25% EC	RM of Coldwell, MB, カタダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
			2	7	102	198	穀粒	20	0.38	<LOD	0.03	<LOD	0.41		
							穀粒	20	0.28	<LOD	0.02	<LOD	0.30		
							穀粒	21	0.27	<LOD	0.02	<LOD	0.29		
							穀粒	21	0.37	<LOD	0.02	<LOD	0.39		
							穀粒	25	0.41	<LOD	0.03	<LOD	0.44		
							穀粒	25	0.38	<LOD	0.03	<LOD	0.41		
							穀粒	27	**	**	**	**	**		
							穀粒	27	0.41	<LOD	0.03	<LOD	0.44		
							穀粒	31	0.37	<LOD	0.03	<LOD	0.40		
						穀粒	31	0.37	<LOD	0.03	<LOD	0.40			
				RM of Woodlands, MB, カタダ	-	-	-	-	穀粒	-	0.03	<LOD	<LOD	<LOD	-
					2	8	103	202	穀粒	20	1.65	<LOD	0.06	<LOD	1.72
							穀粒	20	0.78	<LOD	0.03	<LOD	0.81		

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*\*：容器破損のためサンプル分析を行わなかった。

<LOQ: <0.01 mg/kg

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
エンド ウ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	子実*	7	0.49	ND	0.01	ND	0.51
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	204	子実*	6	0.75	<0.01	<0.01	ND	0.77
		Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	201	子実*	7	0.63	ND	0.02	ND	0.66
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	207	子実*	4	0.97	<0.01	<0.01	<0.01	0.99
		Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	子実*	0	1.04	ND	<0.01	ND	1.05
			子実*	0	0.75	ND	<0.01	ND	0.76				
			子実*	4	0.71	ND	<0.01	ND	0.72				
			子実*	4	0.68	ND	<0.01	ND	0.69				
			子実*	7	0.78	ND	<0.01	<0.01	0.79				
			子実*	7	0.67	ND	<0.01	<0.01	0.68				
			子実*	13	0.13	ND	ND	ND	0.14				
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実*	7	0.21	ND	0.01	<0.01	0.23
		子実*	7	0.25	ND	0.01	<0.01	0.27					
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	子実*	7	0.66	ND	ND	ND	0.67
		子実*	7	0.63	ND	ND	ND	0.64					
		Jerome, ID, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	200	子実*	7	0.26	ND	0.02	<0.01	0.29
子実*	7	0.17	ND	0.02	<0.01	0.20							

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

\*: さやつき未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 mg/kg

LOD: 0.003125 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
エンド ウ	6.25% EC	Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
			2	7	100	200	子実*	0	0.91	ND	<0.01	ND	0.92		
							子実*	0	1.04	ND	<0.01	ND	1.05		
							子実*	4	0.27	ND	0.01	ND	0.29		
							子実*	4	0.25	ND	<0.01	ND	0.26		
							子実*	7	0.17	ND	<0.01	ND	0.18		
							子実*	7	0.16	ND	<0.01	<0.01	0.17		
							子実*	14	0.09	ND	<0.01	ND	0.10		
						子実*	14	0.08	ND	<0.01	<0.01	0.09			
				Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	7		100	199	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05		
								子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05	
				Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	6		102	204	子実**	6	0.03	<0.01	ND	ND	0.04		
								子実**	6	0.03	<0.01	ND	ND	0.04	
				Portage la Prairie, MB, カダ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	6		102	201	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05		
								子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04	
				Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	7		105	207	子実**	4	0.04	ND	ND	ND	0.05		
								子実**	4	0.05	ND	ND	ND	0.06	
				Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
		2	7		102	202	子実**	0	0.03	ND	ND	ND	0.04		
							子実**	0	0.08	ND	ND	ND	0.09		
							子実**	4	0.06	ND	ND	ND	0.07		
							子実**	4	0.05	ND	ND	ND	0.06		
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04		
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04		
							子実**	13	0.03	ND	ND	ND	0.04		
						子実**	13	0.02	ND	ND	ND	0.03			
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
2	7		101	201	子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04				
						子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04			

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 回 数 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付 け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
エンド ウ	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	0.01
							子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	0.01
		Jerome, ID, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	200	子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
		Grant, WA, 米国	2	7	100	200	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
							子実**	0	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	0	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	4	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	4	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	7	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	7	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	14	0.02	ND	ND	ND	0.03
		子実**	14	0.02	ND	ND	ND	0.03					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*: さやつき未成熟子実。

\*\* : さやなし未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 mg/kg

LOD: 0.003125 mg/kg



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
エンド ウ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	0.12	ND	<0.01	ND	0.13
							乾燥子実	21	0.20	ND	<0.01	ND	0.21
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	203	乾燥子実	21	0.02	<0.01	ND	ND	0.03
							乾燥子実	21	0.02	<0.01	ND	ND	0.03
		Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	乾燥子実	21	0.12	<0.01	<0.01	ND	0.14
							乾燥子実	21	0.09	ND	<0.01	ND	0.10
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	207	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	195	乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04
							乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
		RM 403, SK, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	104	206	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		RM 404, SK, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
							乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
		Red Deer, AB, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	195	乾燥子実	21	0.15	<0.01	<0.01	ND	0.17
							乾燥子実	21	0.14	<0.01	<0.01	ND	0.16
Red Deer, AB, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	102	200	乾燥子実	22	0.10	ND	ND	ND	0.11		
					乾燥子実	22	0.08	ND	ND	ND	0.09		

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND: <LOD, <0.003125 mg/kg

LOD: 0.003125 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
インゲン	6.25% EC	RM of Whitewater MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
			2	7	201	401	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		乾燥子実					22	0.02	ND	ND	ND	0.03	
		Dane, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
			2	7	205	403	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
		乾燥子実					21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
		Brant, ON, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	195	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
			2	6	208	404	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
		乾燥子実					21	0.03	ND	ND	ND	0.04	
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
			2	7	202	401	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
		乾燥子実					21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	101	201	乾燥子実	21	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09
							乾燥子実	21	0.14	ND	0.02	<0.01	0.17
			2	6	202	398	乾燥子実	21	0.21	ND	0.03	0.01	0.25
乾燥子実	21	0.20					ND	0.03	0.01	0.24			
Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	9	100	199	乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04		
					乾燥子実	21	0.06	ND	ND	ND	0.07		
	2	9	210	413	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05		
乾燥子実					21	0.06	ND	<0.01	ND	0.07			

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
インゲン	6.25% EC	LaMoire, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<0.03	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	9	102	200	乾燥子実	21	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04
			208	410	乾燥子実	21	0.05	ND	ND	ND	0.06		
		乾燥子実			21	0.04	ND	ND	ND	0.05			
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	21	0.05	ND	ND	ND	0.06
			202	405	乾燥子実	21	0.07	<0.01	ND	<0.01	0.09		
		乾燥子実			21	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.09			
		Cache, UT, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	乾燥子実	22	0.01	ND	<0.01	ND	0.02
							乾燥子実	22	0.01	ND	<0.01	<0.01	0.02
			205	406	乾燥子実	22	0.04	ND	0.02	0.01	0.07		
		乾燥子実			22	0.03	ND	0.01	<0.01	0.05			
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
							乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
			201	401	乾燥子実	21	0.03	ND	<0.01	ND	0.04		
		乾燥子実			21	0.03	ND	<0.01	ND	0.04			
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
							乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
			201	401	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05		
乾燥子実	21	0.03			ND	ND	ND	0.04					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND: <LOD, <0.003125 mg/kg

LOD: 0.003125 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付 け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
だいず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	101	201	子実*	7	0.30	ND	0.02	<0.01	0.33	
								子実*	7	0.28	ND	0.01	ND	0.30
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	99	198	子実*	7	0.15	<0.01	0.01	<0.01	0.18	
								子実*	7	0.24	<0.01	0.01	<0.01	0.27
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	8	100	199	子実*	6	0.85	<0.01	0.04	0.01	0.91	
								子実*	6	0.52	<0.01	0.04	0.01	0.58
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	100	200	子実*	7	0.69	<0.01	0.02	<0.01	0.73	
								子実*	7	0.68	<0.01	0.02	<0.01	0.72
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	201	子実*	7	0.24	<0.01	0.04	0.01	0.30	
								子実*	7	0.33	<0.01	0.05	0.01	0.40
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	101	201	子実*	8	0.09	<0.01	0.01	<0.01	0.12	
								子実*	8	0.13	<0.01	0.02	<0.01	0.17
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	
			2	6	100	197	子実*	8	0.11	<0.01	0.01	<0.01	0.14	
								子実*	8	0.25	ND	0.02	<0.01	0.28
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	102	198	子実*	7	0.27	ND	0.01	<0.01	0.29	
								子実*	7	0.26	ND	0.02	<0.01	0.29
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	103	204	子実*	7	0.10	<0.01	0.02	<0.01	0.14	
								子実*	7	0.10	<0.01	0.02	<0.01	0.14
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
2	7		103	204	子実*	7	0.12	<0.01	0.02	<0.01	0.16			
						子実*	7	0.07	ND	<0.01	ND	0.08		
Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-			
	2	7	102	202	子実*	28	0.04	0.01	<0.01	<0.01	0.07			
						子実*	28	0.04	0.01	<0.01	<0.01	0.07		

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	100	199	子実*	8	0.53	<0.01	0.06	0.03	0.63	
								子実*	8	0.38	<0.01	0.03	0.02	0.44
		Grey, MB, カタ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	99	198	子実*	8	0.10	ND	0.01	<0.01	0.12	
								子実*	8	0.11	ND	0.01	<0.01	0.13
		Grey, MB, カタ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	6	102	204	子実*	0	0.77	ND	<0.01	ND	0.78	
							子実*	0	0.65	ND	<0.01	ND	0.66	
							子実*	4	0.15	ND	<0.01	ND	0.16	
							子実*	4	0.12	ND	<0.01	ND	0.13	
							子実*	7	0.10	ND	<0.01	ND	0.11	
							子実*	7	0.12	ND	0.01	<0.01	0.14	
							子実*	13	0.07	ND	<0.01	<0.01	0.08	
							子実*	13	0.05	ND	<0.01	<0.01	0.06	
							子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
		Portage la Prairie, MB, カタ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	8	99	192	子実*	0	1.31	<0.01	0.05	<0.01	1.38	
							子実*	0	1.40	<0.01	0.05	<0.01	1.47	
							子実*	5	1.15	0.02	0.12	0.03	1.34	
					子実*	5	1.11	0.02	0.12	0.02	1.30			
					子実*	8	0.20	0.02	0.03	<0.01	0.28			
					子実*	8	0.21	0.01	0.04	<0.01	0.28			
					子実*	15	0.15	0.03	0.06	0.02	0.30			
				子実*	15	0.19	0.03	0.06	0.02	0.34				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*: さやつき未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 mg/kg

LOD: 0.003125 mg/kg

LOQ: 0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
だい ず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	101	201	子実**	7	0.01	ND	ND	ND	0.02
						子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
						子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02	
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	子実**	6	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
						子実**	6	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	子実**	7	0.35	<0.01	ND	ND	0.36
						子実**	7	0.38	<0.01	<0.01	ND	ND	0.40
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実**	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
						子実**	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実**	8	0.09	<0.01	0.01	<0.01	0.12
						子実**	8	0.12	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.16
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	197	子実**	8	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
						子実**	8	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.01	<0.02
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	198	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05
						子実**	7	0.03	ND	ND	ND	ND	0.04
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.02
						子実**	7	0.01	<0.01	ND	ND	ND	0.02
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
2	7		103	204	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02		
				子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02	<0.02		
Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	102	202	子実**	28	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.05		
				子実**	28	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06		

EC：乳剤

-：該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	199	子実**	8	0.02	<0.01	0.01	0.02	0.06
		Grey, MB, カナダ	-	-	-	-	子実**	-	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	子実**	8	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.01
		Grey, MB, カナダ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	204	子実**	0	0.05	ND	ND	ND	0.06
			子実**	0	0.03	ND	ND	ND	0.04				
			子実**	4	0.01	ND	ND	ND	0.02				
			子実**	4	0.01	ND	ND	ND	0.02				
			子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.01				
			子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.01				
			子実**	13	ND	ND	ND	ND	<0.01				
			子実**	13	ND	ND	ND	ND	<0.01				
			Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		2		8	99	192	子実**	5	0.03	<0.01	ND	ND	0.04
		子実**		5	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.06				
		子実**		8	0.03	<0.01	ND	<0.01	0.05				
		子実**		8	0.03	0.01	<0.01	<0.01	0.06				
		子実**		15	0.02	<0.01	ND	<0.01	0.04				
		子実**	15	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.02					

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

\*\*：さやなし未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 mg/kg

LOD: 0.003125 mg/kg

LOQ: 0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
だいず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	198	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	201	乾燥子実	22	-*	-*	-*	-*	-*
							乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	21	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.09
							乾燥子実	21	0.13	<0.01	<0.01	0.01	0.15
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	197	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	94	186	乾燥子実	20	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	20	0.02	ND	ND	ND	0.03
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	196	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	2	7	100	200	乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01		
					乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01		

EC：乳剤

－：該当なし



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			2	7	100	200	乾燥子実	20	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01	
		RM of Grey, MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	196	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
							乾燥子実	21	ND	ND	ND	ND	<0.01	
		RM of Grey, MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	195	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01	
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05	
							乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05	

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

-\*:この分析は行われなかった。

ND: <LOD, <0.003125 mg/kg

LOD: 0.003125 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	処理量 (g ai/100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
							フルキサ ピロ キタド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
綿	30% SC	Turner, GA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		100	綿実	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
					ND	ND	ND	ND	<0.0051		
		Monroe, AR, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	162	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Woodruff, AR, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	161	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Washington, MS, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	155	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Wilbarger, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Gray, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
				100	綿実	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Armstrong, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
ND	ND	ND					ND	<0.0051			
Carson, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-		
	1	20	綿実	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
ND					ND	ND	<0.01	<0.0080			
Marshall, OK, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-		
	1	20	綿実	186	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
ND					ND	ND	ND	<0.0051			

SC：フロアブル剤

-：該当なし

種子処理

綿実：繊維を取らない状態の綿実

ND: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	処理量 (g ai/100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
							フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
綿	30% SC	Yuma, AZ, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	174	ND	ND	ND	<0.01	<0.0080
		Fresno, CA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	172	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Madera, CA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	176	ND	ND	ND	ND	<0.0051
						ND	ND	ND	ND	<0.0051	

SC：フロアブル剤

-：該当なし

種子処理

綿実：繊維を取らない状態の綿実

ND: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	処理量 (g ai/100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
							フルキサ ピロ キタド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
綿	30% SC	Turner, GA, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
			1	100	***	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
			Wilbarger, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	0.002
		1		20	***	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
			ND				ND	ND	ND	<0.0051	
		Gray, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
			1	100	***	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Armstrong, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Carson, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Yuma, AZ, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
		ND					ND	ND	ND	<0.0051	
		Fresno, CA, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	172	ND	ND	ND	ND	<0.0051
ND	ND	ND					ND	<0.0051			

SC：フロアブル剤

-：該当なし

種子処理

\*\*\*: Gin byproducts

ND: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC (米国 ジョージア州)													
ラッカ セイ	6.25% EC	Worth, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14 13	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
			子実	14	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
					<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
			子実	21	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
		<0.01			<LOD	<LOD	<LOD	<0.01					
		Colquit, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14	100	302	子実	0	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
			子実	4	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
					<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	<0.01				
			子実	7	<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01				
					<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01				
			子実	14	<0.01	<LOD	<0.01	<0.01	0.02				
					<0.01	<LOD	<0.01	<0.01	0.02				
			子実	21	<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01				
					<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01				
			Turner, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		3		14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		子実		14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
					<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
		子実		21	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01				
<0.01	<LOD		<LOD		<LOD	<0.01							
Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-		
	3	14 13	100	302	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD		
							<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01		
	子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD						
			<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD						
	子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD						
<LOD			<LOD	<LOD	<LOD	<LOD							

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC (米国 ジョージア州)														
ラッカ セイ	6.25% EC	Jasper, SC, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	100	302	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
			子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD		
					<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
			子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD			
		<LOD			<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD					
		Hampton, SC, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
			子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD			
					<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
			子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD			
		<LOD			<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD					
		Dale, AL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	13 14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
			子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD			
					<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD				
			子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD			
		<LOD			<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD					
		Houston, AL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
子実	14		<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD					
			<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01						
子実	21		<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD					
		<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD							

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC (米国 ジョージア州)														
ラッカ セイ	6.25% EC	Madison, FL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	15 14	100	301	子実	3	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
										<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	10	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	17	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	0.02
		Marshall, OK, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	13 14	102	307	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Wilbarger, TX, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	105	310	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Collingsworth, TX, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-	
			3	14	102	306	子実	7	<LOD	<LOD	0.07	<LOD	0.08	
									<LOD	<LOD	0.09	<LOD	0.10	
					子実	14	<LOD	<LOD	0.04	<LOD	0.05			
							<LOD	<LOD	0.09	<LOD	0.10			
					子実	21	<LOD	<LOD	0.05	<LOD	0.06			
						<LOD	<LOD	0.04	<LOD	0.05				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)										
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計						
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																			
トマト	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-						
			2	6	100	201	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034						
										0.04	ND	ND	ND	<0.044					
									14	0.02	ND	ND	ND	<0.024					
										0.03	ND	<0.01	<0.01	<0.041					
									21	0.02	ND	ND	<0.01	<0.027					
										0.02	ND	<0.01	<0.01	<0.031					
			3	8 6	102	303	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034						
										0.06	ND	ND	ND	<0.064					
									14	0.03	ND	<0.01	ND	<0.038					
										0.03	ND	ND	ND	<0.034					
									21	0.01	ND	ND	ND	<0.014					
									0.02	ND	ND	<0.01	<0.027						
										<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-					
				Tift, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-				
					2	6	101	201	果実	7	0.12	ND	ND	ND	<0.124				
											0.10	ND	ND	ND	<0.104				
									14	ND	ND	ND	ND	<0.005					
											<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026				
									21	0.02	ND	ND	ND	<0.024					
											ND	ND	ND	ND	<0.005				
									3	7 6	101	302	果実	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026
														<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
									14	ND	ND	ND	ND	<0.005					
									<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.037						
							21	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.041							
								<0.01	ND	ND	ND	<0.009							

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計				
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																	
トマト	6.25% EC	Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-				
			2	7	102	203	果実	7	ND	ND	ND	ND	<0.005				
										<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026			
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034			
										0.03	ND	ND	ND	<0.024			
									21	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.031			
										0.02	ND	ND	ND	<0.024			
					3	7	102	302	果実	7	ND	ND	ND	ND	<0.005		
											ND	ND	ND	ND	<0.005		
									14	ND	ND	ND	ND	<0.005			
										ND	ND	ND	ND	<0.005			
								21	ND	ND	ND	ND	<0.005				
										ND	ND	ND	ND	<0.005			
				Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
					2	7	100	200	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024		
											0.02	ND	ND	ND	<0.024		
									14	0.01	ND	ND	ND	<0.014			
											0.01	ND	ND	ND	<0.014		
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009			
											<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
							3	7	103	304	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044
													0.05	ND	ND	ND	<0.054
							14	0.02	ND	ND	ND	ND	<0.024				
								0.02	ND	ND	ND	<0.024					
						21	<0.01	ND	ND	ND	ND	<0.009					
								0.01	ND	ND	ND	<0.014					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
トマト	6.25% EC	Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	101	202	果実	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
										0.02	ND	ND	<0.01	<0.024
									14	0.01	<0.01	ND	ND	<0.024
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									21	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.009
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009
			3	6 7	103	307	果実	7	0.07	<0.01	<0.01	ND	<0.088	
										0.04	ND	ND	ND	<0.044
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.02	ND	ND	ND	<0.024	
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014	
									0.02	<0.01	<0.01	ND	<0.038	
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	6	103	202	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024	
										0.02	ND	ND	ND	<0.024
									14	0.01	ND	ND	ND	<0.014
										0.02	ND	ND	ND	<0.024
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009
3	8 6		102	304	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044			
								0.03	ND	ND	ND	<0.034		
							14	0.02	ND	ND	ND	<0.024		
							0.01	ND	ND	ND	<0.014			
						21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009			
							<0.01	ND	ND	ND	<0.009			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)									
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計					
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																		
トマト	6.25% EC	RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-					
			2	7	100	199	果実	7	0.05	ND	ND	ND	<0.054					
										0.06	ND	ND	ND	<0.064				
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034				
										0.03	ND	ND	ND	<0.034				
									21	0.02	ND	ND	ND	<0.024				
										0.03	ND	<0.01	ND	<0.038				
			3	6 7	100	296	果実	7	0.08	ND	<0.01	ND	<0.088					
										0.07	ND	<0.01	ND	<0.078				
									14	0.04	ND	<0.01	ND	<0.048				
										0.04	ND	<0.01	ND	<0.048				
									21	0.04	ND	<0.01	ND	<0.048				
									0.04	ND	<0.01	ND	<0.048					
									<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-					
								2	7	100	200	果実	7	0.09	ND	ND	ND	<0.094
														0.08	ND	<0.01	ND	<0.088
										14	0.06	ND	<0.01	ND	<0.068			
											0.05	ND	ND	ND	<0.054			
										21	0.03	ND	ND	ND	<0.034			
											0.04	ND	<0.01	ND	<0.048			
								3	6 7	101	300	果実	7	0.06	ND	<0.01	ND	<0.068
														0.07	ND	<0.01	ND	<0.078
										14	0.04	ND	ND	ND	<0.044			
											0.04	ND	<0.01	ND	<0.048			
								21	0.05	ND	<0.01	<0.01	<0.061					
									0.06	ND	<0.01	<0.01	<0.071					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
トマト	6.25% EC	Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	7	100	200	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014		
										0.03	ND	ND	ND	<0.034	
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
									21	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019	
										ND	<0.01	ND	ND	<0.015	
					3	7	105	307	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024
											0.11	ND	ND	ND	<0.114
									14	0.03	<0.01	ND	ND	<0.044	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009	
										ND	<0.01	ND	ND	<0.015	
				Vercheres, QC, カナダ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
					2	7	99	195	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014
											0.02	ND	ND	ND	<0.024
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014		
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009		
			3		6 7	105	307	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024	
									0.02	ND	ND	ND	<0.024		
							14	0.01	<0.01	ND	ND	<0.024			
								0.01	0.01	<0.01	ND	<0.039			
							21	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019			
								<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)														
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計										
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																							
トマト	6.25% EC	Vercheres, QC, カタ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-										
			2	6	101	200	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024										
										0.02	ND	ND	ND	<0.024									
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009									
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009									
									21	0.01	ND	ND	ND	<0.014									
										<0.01	ND	ND	ND	<0.009									
			3	7 6	100	295	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044										
										0.03	ND	ND	ND	<0.034									
									14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034									
									0.01	ND	ND	ND	<0.014										
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.024										
									0.01	ND	ND	ND	<0.014										
										<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-									
								2	7	100	199	果実	7	0.09	<0.01	ND	ND	<0.104					
														0.04	ND	ND	ND	<0.044					
														0.04	ND	<0.01	ND	<0.048					
														0.03	ND	<0.01	ND	<0.038					
														0.01	ND	ND	ND	<0.014					
														0.03	ND	<0.01	ND	<0.038					
												3	7	103	306	果実	7	0.05	ND	ND	ND	<0.054	
																	0.04	ND	ND	ND	<0.044		
																	14	0.03	ND	<0.01	ND	<0.038	
																		0.02	<0.01	<0.01	ND	<0.038	
																		21	0.01	0.02	<0.01	ND	<0.063
																		0.02	ND	<0.01	ND	<0.028	

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
トマト	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	6	101	200	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044	
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									14	0.04	ND	ND	ND	<0.044
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									21	0.04	ND	ND	ND	<0.044
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
			3	8 6	100	299	果実	7	0.06	ND	ND	ND	<0.064	
										0.06	ND	ND	ND	<0.064
									14	0.05	ND	ND	ND	<0.054
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									21	0.08	ND	ND	ND	<0.084
									0.07	ND	ND	ND	<0.074	
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	8	101	201	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034	
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
										0.05	ND	ND	ND	<0.054
									21	0.03	ND	ND	ND	<0.034
										0.04	ND	ND	ND	<0.044
			3	6 8	101	300	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034	
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
										0.03	ND	ND	ND	<0.034
							21	0.03	ND	ND	ND	<0.034		
							0.04	ND	ND	ND	<0.044			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
トマト	6.25% EC	Tehama, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	98	195	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014	
										0.04	ND	ND	ND	<0.054
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
										<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019
									21	ND	<0.01	ND	ND	<0.015
										ND	<0.01	ND	ND	<0.015
			3	7	99	294	果実	7	0.12	ND	ND	ND	<0.124	
										0.02	ND	ND	ND	<0.024
									14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034
										0.02	ND	ND	ND	<0.024
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015	
		Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	98	196	果実	7	0.16	ND	ND	ND	<0.164	
										0.19	ND	<0.01	ND	<0.198
									14	0.14	ND	<0.01	ND	<0.148
										0.13	ND	ND	<0.01	<0.137
									21	0.19	ND	ND	<0.01	<0.197
										0.15	ND	ND	<0.01	<0.157
			3	7	98	293	果実	7	0.41	ND	<0.01	ND	<0.418	
										0.46	ND	<0.01	ND	<0.468
									14	0.33	ND	ND	<0.01	<0.337
										0.29	ND	<0.01	<0.01	<0.301
							21	0.22	ND	ND	<0.01	<0.227		
							0.15	ND	ND	<0.01	<0.157			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
トマト	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	101	201	果実	7	0.06	ND	ND	ND	<0.064	
										0.11	ND	ND	ND	<0.114
									14	0.09	ND	ND	ND	<0.094
										0.09	ND	ND	ND	<0.094
									21	0.06	ND	ND	ND	<0.064
										0.06	ND	ND	ND	<0.064
			3	7	100	300	果実	7	0.11	ND	ND	ND	<0.114	
										0.08	ND	ND	ND	<0.084
									14	0.08	ND	ND	ND	<0.084
										0.07	ND	ND	ND	<0.074
									21	0.08	ND	ND	ND	<0.084
									0.12	ND	ND	ND	<0.124	
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
			2	7	101	200	果実	7	0.13	ND	ND	ND	<0.134	
										0.10	ND	ND	ND	<0.104
									14	0.05	ND	ND	ND	<0.054
										0.07	ND	ND	ND	<0.074
									21	0.09	ND	ND	ND	<0.094
										0.06	ND	ND	ND	<0.064
			3	7	101	300	果実	7	0.15	ND	ND	ND	<0.154	
										0.10	ND	ND	ND	<0.104
									14	0.09	ND	ND	ND	<0.094
										0.08	ND	ND	ND	<0.084
							21	0.08	ND	ND	ND	<0.084		
							0.07	ND	ND	ND	<0.074			

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
チェリー トマト	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	8	100	200	果実	7	0.13	ND	ND	ND	<0.134		
										0.12	ND	ND	ND	<0.124	
									14	0.11	ND	ND	ND	<0.114	
										0.11	ND	ND	ND	<0.114	
									21	0.20	ND	ND	ND	<0.204	
										0.10	ND	ND	ND	<0.104	
			3	7 8	100	300	果実	7	0.25	ND	ND	ND	<0.254		
										0.22	ND	ND	ND	<0.224	
									14	0.28	ND	ND	ND	<0.284	
									0.25	ND	ND	ND	<0.254		
								21	0.16	ND	ND	ND	<0.164		
									0.16	ND	ND	ND	<0.164		
				Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
					2	7	100	200	果実	7	0.10	ND	ND	ND	<0.104
										0.04	ND	ND	ND	<0.044	
									14	0.02	ND	ND	ND	<0.024	
										0.03	ND	ND	ND	<0.034	
									21	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034	
										0.02	<0.01	ND	ND	<0.034	
			3	7	100	299	果実	7	0.09	ND	ND	ND	<0.094		
								0.05	ND	ND	ND	<0.054			
							14	0.06	ND	ND	ND	<0.064			
								0.05	ND	ND	ND	<0.054			
							21	0.04	ND	ND	ND	<0.044			
								0.06	ND	ND	ND	<0.064			

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ピーマン	6.25% EC	Tift, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	6	99	197	果実	7	0.01	ND	0.02	ND	<0.034		
										0.01	ND	0.02	ND	<0.034	
									14	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
										<0.01	ND	0.01	ND	<0.018	
									21	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
										ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
			3	7 6	100	299	果実	7	0.01	ND	0.02	ND	<0.034		
										0.01	ND	0.01	ND	<0.023	
									14	<0.01	ND	0.01	ND	<0.018	
									<0.01	ND	0.01	ND	<0.018		
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
				Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
					2	7	103	203	果実	7	0.07	ND	0.04	ND	<0.115
										0.08	ND	0.04	ND	<0.125	
									14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054	
										0.02	ND	0.04	ND	<0.065	
									21	<0.01	<0.01	0.02	ND	<0.038	
										<0.01	<0.01	0.01	ND	<0.028	
			3	7	100	298	果実	7	0.09	<0.01	0.05	<0.01	<0.157		
								0.09	ND	0.06	<0.01	<0.158			
							14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054			
								0.02	ND	0.04	ND	<0.065			
							21	<0.01	<0.01	0.01	ND	<0.028			
								<0.01	0.02	0.01	ND	<0.063			

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ピーマン	6.25% EC	Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	7	101	201	果実	7	0.01	ND	<0.01	ND	<0.018		
										<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									14	0.01	ND	0.01	ND	<0.023	
										<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
										ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
			3	7	102	301	果実	7	0.03	ND	0.01	ND	<0.043		
										0.01	ND	0.01	ND	<0.023	
									14	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013		
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
								-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
				PM of Portage la Prairie, MB, カナダ	2	7	100	199	果実	7	0.04	ND	0.03	ND	<0.074
										0.03	ND	0.02	ND	<0.054	
									14	<0.01	ND	0.01	ND	<0.018	
										<0.01	ND	0.01	ND	<0.018	
									21	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029	
										<0.01	ND	0.02	<0.01	<0.032	
3	6 7	101	299		果実	7	0.02	ND	0.02	ND	<0.044				
								0.03	ND	0.02	ND	<0.054			
							14	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029			
								0.01	ND	0.02	<0.01	<0.037			
						21	0.01	ND	0.02	ND	<0.034				
							<0.01	ND	0.02	ND	<0.029				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
ピーマン	6.25% EC	Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-			
			2	7	106	209	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013			
										ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
									14	ND	ND	<0.01	ND	<0.009		
										0.01	ND	<0.01	ND	<0.018		
									21	ND	ND	ND	ND	<0.005		
										ND	<0.01	ND	ND	<0.015		
						3	7	105	309	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
											<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
									14	ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019		
										ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019		
									21	ND	<0.01	ND	ND	<0.015		
										ND	<0.01	ND	ND	<0.015		
				Vercheres, QC, カナダ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-	
					2	6	103	202	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
											<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013	
										14	ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
											ND	ND	<0.01	ND	<0.009	
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009			
									ND	ND	ND	ND	<0.005			
			3		7 6	101	299	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013		
									<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023			
							14	<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023				
								ND	ND	<0.01	ND	<0.009				
							21	ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019				
								<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ピーマン	6.25% EC	Cass, ND, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
			2	7	103	201	果実	7	0.07	ND	0.06	ND	<0.135		
										0.08	ND	0.06	ND	<0.145	
									14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054	
										0.03	ND	0.04	ND	<0.075	
									21	<0.01	ND	0.03	ND	<0.039	
										<0.01	ND	0.02	ND	<0.029	
									3	0.10	ND	0.09	<0.01	<0.119	
										0.07	ND	0.06	<0.01	<0.138	
									14	0.04	ND	0.06	<0.01	<0.108	
									0.04	ND	0.06	<0.01	<0.108		
								21	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029		
									0.02	ND	0.04	ND	<0.065		
				Tehama, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
					2	7	99	197	果実	7	0.12	ND	0.07	<0.01	<0.199
											0.07	ND	0.05	<0.01	<0.128
										14	0.03	ND	0.03	<0.01	<0.067
											0.04	ND	0.03	<0.01	<0.077
										21	0.01	ND	0.01	ND	<0.023
											<0.01	ND	<0.01	<0.01	<0.016
								3	0.29	ND	0.15	<0.01	<0.452		
									0.18	ND	0.12	<0.01	<0.311		
								14	0.09	ND	0.08	<0.01	<0.179		
								0.14	ND	0.09	<0.01	<0.239			
							21	<0.01	ND	0.01	<0.01	<0.021			
								<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト	F002	F008	F048	合計				
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																	
その他の なす 科野菜	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-				
			2	7	100	200	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013				
										0.01	ND	<0.01	ND	<0.018			
									14	<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023			
										<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023			
									21	<0.01	0.01	<0.01	ND	<0.034			
										<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013			
					3	7	100	300	果実	7	0.02	ND	0.02	ND	<0.044		
											0.01	<0.01	0.01	ND	<0.033		
									14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026			
										0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.048			
								21	0.01	ND	<0.01	<0.01	<0.021				
										<0.01	ND	0.01	<0.01	<0.021			
				Uvalde, TX, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-		
					2	7	100	199	果実	7	0.19	ND	<0.01	ND	<0.198		
											0.19	ND	<0.01	ND	<0.198		
									14	0.17	ND	<0.01	ND	<0.178			
											0.14	ND	<0.01	ND	<0.148		
									21	0.09	ND	0.01	ND	<0.103			
											0.05	ND	0.02	<0.01	<0.077		
							3	7	101	301	果実	7	0.28	ND	0.02	ND	<0.304
													0.31	ND	0.02	ND	<0.334
							14	0.25	ND	0.02	ND	<0.274					
												0.23	ND	0.02	ND	<0.254	
						21	0.05	ND	0.02	<0.01	<0.077						
												0.07	ND	0.02	ND	<0.094	

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
ばれい しよ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 7	101	303	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
			14	ND	ND	ND	ND	<0.0051					
				<0.01	ND	ND	ND	<0.0091					
				21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091				
		ND			ND	ND	ND	<0.0051					
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 7	101	302	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
			14	0.02	ND	ND	ND	<0.0241					
				0.02	ND	ND	ND	<0.0241					
				21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241				
		0.02			ND	ND	ND	<0.0241					
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 8	104	308	塊茎	7	ND	<0.01	ND	ND	<0.0145
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
			14	ND	ND	ND	ND	<0.0051					
				ND	ND	ND	ND	<0.0051					
				21	ND	ND	ND	ND	<0.0051				
		ND			ND	ND	ND	<0.0051					
		Queens, PEI, カナダ	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7 6	102	294	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
		<0.01							ND	ND	ND	<0.0091	
Queens, PEI, カナダ	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
	3	7 6	100	295	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
<0.01							ND	ND	ND	<0.0091			

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ばれい しょ	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
			3	6 7	120	319	塊茎	7	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0335		
										0.01	<0.01	ND	ND	<0.0235	
									14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0335	
										0.01	<0.01	ND	ND	<0.0235	
									21	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0235	
									<0.01	<0.01	ND	ND	<0.0185		
				Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
		3	7		101	301	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									ND	ND	ND	ND	<0.0051		
				Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
		3	6 7		102	305	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
				Cass, ND, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
		3	6 8		105	313	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
							14	ND	ND	ND	ND	<0.0051			
								ND	ND	ND	<0.01	<0.0080			
							21	ND	ND	ND	ND	<0.0051			
								ND	ND	ND	ND	<0.0051			
							28	ND	ND	ND	ND	<0.0051			
							ND	ND	ND	ND	<0.0051				

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg





農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
ばれい しょ	6.25% EC	Cache, UT, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	102	303	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051	
		Sacrament o CA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	99	296	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	<0.0051	
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051	
		Payette, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	6 8	102	301	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	<0.0051	
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
										ND	ND	ND	ND	<0.0051
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051	
		Washingto n ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	102	305	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	<0.0051	
							14	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
								ND	ND	ND	ND	<0.0051		
							21	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
							ND	ND	ND	ND	<0.0051			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ばれい しょ	6.25% EC	Bingham, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
			3	6 7	103	308	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									10	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									15	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									21	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
								28	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
				Power, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
					3	8 6	99	293	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
									14	ND	ND	ND	ND	<0.0051	
										ND	ND	ND	ND	<0.0051	
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
				Benton, OR, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
					3	7	102	300	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
									14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
										<0.01	ND	ND	ND	<0.0091	
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091		
							ND	ND	ND	ND	<0.0051				
		Strathcon a, AB, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
			3	7	104	308	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051		
								<0.01	ND	ND	ND	<0.0091			
							14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091			
								<0.01	ND	ND	ND	<0.0091			
						21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091				
							<0.01	ND	ND	ND	<0.0091				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
てんさい	6.25% EC	Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	101	302	根	7	0.06	ND	ND	ND	<0.0641	
										0.06	ND	ND	ND	<0.0641
									13	0.05	ND	ND	ND	<0.0541
										0.03	<0.01	ND	ND	<0.0435
									21	0.03	<0.01	ND	ND	<0.0435
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	6 8	100	297	根	7	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
								0.02	ND	ND	ND	<0.0241		
		Jefferson, IA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	104	303	根	7	0.05	ND	ND	ND	<0.0541	
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
								14	0.05	ND	ND	ND	<0.0541	
									0.06	<0.01	ND	ND	<0.0735	
								21	0.04	<0.01	ND	ND	<0.0535	
								0.06	<0.01	ND	ND	<0.0735		
		Strathcon a, AB, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
			3	7	103	308	根	7	0.01	ND	ND	ND	<0.0141	
									0.01	ND	ND	ND	<0.0141	
						14	0.03	ND	ND	ND	<0.0341			
							0.04	ND	ND	ND	<0.0441			
						21	0.03	ND	ND	ND	<0.0341			
						0.03	ND	ND	ND	<0.0341				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg



農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PH I (日)	残留濃度(mg/kg)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
てん さい	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-			
			3	7	100	290	根	7	0.03	ND	ND	ND	<0.0341			
										0.04	ND	ND	ND	<0.0441		
									14	0.03	ND	ND	ND	<0.0341		
										0.03	ND	ND	ND	<0.0341		
									21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241		
										0.03	ND	ND	ND	<0.0341		
									根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
						3	7	101	297	根	7	0.07	ND	ND	ND	<0.0741
											0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
										10	0.03	ND	ND	ND	<0.0341	
											0.04	ND	ND	ND	<0.0441	
									15	0.05	ND	ND	ND	<0.0541		
										0.01	ND	ND	ND	<0.0141		
									21	0.04	ND	ND	ND	<0.0441		
										0.04	ND	ND	ND	<0.0441		
									28	0.02	ND	ND	ND	<0.0241		
										0.02	ND	ND	ND	<0.0241		
				Bingham, ID, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-	
					3	7	103	300	根	8	0.01	ND	ND	ND	<0.0141	
											0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
										15	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
											0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
										21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241	
								0.03	ND	ND	ND	<0.0341				
		RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-			
			3	9 7	120	326	根	8	0.05	ND	ND	ND	<0.0541			
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441			
								15	0.02	ND	ND	ND	<0.0241			
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441			
								20	0.02	ND	ND	ND	<0.0241			
								0.03	ND	ND	ND	<0.0341				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
てん さい	6.25% EC	LaMoure, ND, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	304	葉	7	0.70	ND	0.01	ND	0.71
									0.79	ND	0.01	ND	0.80
			13	7	102	304	葉	13	0.59	ND	0.01	ND	0.60
									0.49	<0.01	0.02	ND	0.52
			21	7	102	304	葉	21	0.38	<0.01	0.01	ND	0.40
		0.47							<0.01	0.01	ND	0.49	
		Hockley, TX, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	8 6	102	302	葉	7	2.95	ND	0.03	ND	2.98
									3.00	ND	0.03	<0.01	3.04
			14	8 6	102	302	葉	14	1.38	ND	0.04	ND	1.42
									1.29	ND	0.03	ND	1.32
			21	8 6	102	302	葉	21	0.76	ND	0.02	ND	0.78
		0.75							<0.01	0.02	ND	0.78	
		Cache, UT, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	103	307	葉	8	1.93	ND	0.03	ND	1.96
									1.69	ND	0.02	ND	1.71
			15	7	103	307	葉	15	0.82	ND	0.03	ND	0.85
									0.81	ND	0.02	ND	0.83
			21	7	103	307	葉	21	0.80	<0.01	0.03	ND	0.84
		0.72							ND	0.03	ND	0.75	
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	100	290	葉	7	1.65	<0.01	0.05	ND	1.71
									2.57	<0.01	0.07	ND	2.66
14	7		100	290	葉	14	1.28	<0.01	0.05	ND	1.34		
							1.66	<0.01	0.06	ND	1.73		
21	7		100	290	葉	21	0.83	<0.01	0.03	ND	0.87		
		0.73					<0.01	0.03	ND	0.77			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実 施場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キタ <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
てんさい EC	6.25%	Power, ID, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-		
			3	7	101	297	葉	7	2.37	ND	0.04	ND	2.41		
										1.77	ND	0.03	ND	1.80	
									10	1.28	ND	0.04	ND	1.32	
										1.70	ND	0.04	ND	1.74	
									15	0.98	<0.01	0.03	ND	1.02	
										1.31	<0.01	0.04	ND	1.36	
									21	0.90	<0.01	0.04	ND	0.95	
										0.87	ND	0.03	ND	0.90	
								28	0.79	<0.01	0.05	ND	0.85		
									0.64	<0.01	0.04	ND	0.69		
				Bingham , ID, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
		3	7		103	300	葉	8	0.84	ND	<0.01	ND	0.85		
										0.83	ND	<0.01	ND	0.84	
									15	0.69	ND	0.01	ND	0.70	
										0.69	ND	0.01	ND	0.70	
								21	0.85	<0.01	0.02	ND	0.88		
									0.60	ND	0.01	ND	0.61		
				RM of Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
		3	9 7		120	326	葉	8	3.89	ND	0.03	ND	3.92		
										2.92	ND	0.02	ND	2.94	
							15	2.32	ND	0.02	ND	2.34			
								2.02	<0.01	0.02	ND	2.05			
						20	2.05	<0.01	0.03	ND	2.09				
							1.83	ND	0.02	ND	1.85				

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
チェリー	6.25% EC	Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-	
			3	6	129 *	377 *	果実	0	1.05	ND	0.21	0.05	1.31	
								1	1.10	ND	0.24	0.04	1.38	
								7	0.32	ND	0.25	0.07	0.63	
								14	0.09	ND	0.18	0.07	0.33	
			3	6	129 **	377 **	果実	0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16	
								1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09	
								7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63	
								14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36	
			Niagara, ON, カナダ	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				3	8 6	127 *	378 *	果実	0	0.43	ND	0.17	<0.01	0.61
									1	0.55	ND	0.16	<0.01	0.72
		7							0.40	ND	0.19	0.01	0.61	
		14							0.14	ND	0.26	<0.01	0.42	
		3		8 6	126 **	374 **	果実	0	0.05	ND	0.17	0.03	0.25	
								1	0.20	ND	0.30	0.05	0.55	
								7	0.02	ND	0.11	0.06	0.18	
								14	0.06	ND	0.14	0.10	0.28	
		Ottawa, MI, 米国		-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
				3	6 7	125 *	375 *	果実	0	0.53	ND	0.17	<0.01	0.71
									1	0.51	ND	0.17	<0.01	0.69
			7						0.18	ND	0.23	<0.01	0.42	
			14						0.59	ND	0.18	<0.01	0.78	
			3	6 7	125 **	371 **	果実	0	0.34	ND	0.19	<0.01	0.54	
1	0.36							ND	0.17	<0.01	0.54			
7	0.12							ND	0.19	<0.01	0.32			
14	0.02	ND						0.16	<0.01	0.19				

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 mg/kg



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
もも	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-		
			3	8 6	125 *	374 *	果実	0	0.37	ND	0.01	ND	0.38		
								1	0.29	<0.01	0.02	ND	0.32		
								7	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09		
								14	0.05	ND	0.01	ND	0.06		
								0	0.43	ND	0.01	ND	0.44		
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45		
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12		
								14	0.08	ND	0.03	ND	0.11		
								0	0.43	ND	0.01	ND	0.44		
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45		
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12		
							14	0.08	ND	0.03	ND	0.11			
							0	0.43	ND	0.01	ND	0.44			
							1	0.43	ND	0.02	ND	0.45			
							7	0.10	ND	0.02	ND	0.12			
							14	0.08	ND	0.03	ND	0.11			
				Tift, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
					3	7	124 *	372 *	果実	0	0.55	ND	0.02	0.01	0.58
									1	0.43	ND	0.03	0.01	0.47	
									7	0.31	ND	0.04	0.03	0.38	
									14	0.29	ND	0.03	0.04	0.35	
									0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45	
									1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40	
							7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42			
							14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38			
							0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45			
							1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40			
							7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42			
							14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38			
		Brooks, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7	126 *	376 *	果実	0	0.55	ND	0.06	ND	0.62		
							1	0.29	ND	0.04	ND	0.33			
							7	0.22	ND	0.08	<0.01	0.31			
							14	0.11	ND	0.09	<0.01	0.21			
							0	0.18	ND	0.04	ND	0.22			
							1	0.47	ND	0.06	ND	0.54			
							7	0.57	ND	0.05	ND	0.62			
							14	0.12	ND	0.05	<0.01	0.18			

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 mg/kg







農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キトド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ブラム	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7 6	125 *	374 *	果実	0	0.95	ND	ND	ND	0.95		
								1	0.32	ND	ND	ND	0.32		
								7	0.46	ND	ND	ND	0.46		
								14	0.43	ND	ND	ND	0.43		
								0	0.79	ND	ND	ND	0.79		
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29		
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40		
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09		
								0	0.79	ND	ND	ND	0.79		
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29		
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40		
							14	0.09	ND	ND	ND	0.09			
							0	0.79	ND	ND	ND	0.79			
							1	0.29	ND	ND	ND	0.29			
							7	0.40	ND	ND	ND	0.40			
							14	0.09	ND	ND	ND	0.09			
				Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
					3	6	131 *	379 *	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49
										1	0.46	ND	ND	ND	0.46
										7	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
										14	0.17	ND	ND	ND	0.17
										0	0.42	ND	ND	ND	0.42
										1	0.34	ND	ND	ND	0.34
								7	0.26	ND	ND	ND	0.26		
								14	0.20	ND	ND	ND	0.20		
								0	0.42	ND	ND	ND	0.42		
								1	0.34	ND	ND	ND	0.34		
								7	0.26	ND	ND	ND	0.26		
							14	0.20	ND	ND	ND	0.20			
		Niagara, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7	123 *	364 *	果実	0	0.20	ND	ND	ND	0.20		
								1	0.17	ND	ND	ND	0.17		
								7	0.11	ND	ND	ND	0.11		
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09		
								0	0.24	ND	ND	ND	0.24		
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24		
								7	0.14	ND	ND	ND	0.14		
								14	0.10	ND	0.01	ND	0.11		
								0	0.24	ND	ND	ND	0.24		
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24		
								7	0.14	ND	ND	ND	0.14		
							14	0.10	ND	0.01	ND	0.11			

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 mg/kg





農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計				
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																	
ブラム	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-				
							3	7	125 *	374 *	果実	0	0.20	ND	<0.01	ND	0.21
											1	0.18	ND	ND	ND	0.18	
									7	0.23	ND	ND	ND	0.23			
			14	0.09	ND	ND			ND	0.09							
			126 **	378 **	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18						
					1	0.17	ND	ND	ND	0.17							
					7	0.17	ND	ND	ND	0.17							
		14			0.08	ND	ND	ND	0.08								
		Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-				
							3	7	128 *	379 *	果実	0	0.24	ND	<0.01	ND	0.25
											1	0.27	ND	ND	ND	0.27	
									7	0.16	ND	ND	ND	0.16			
			14	0.12	ND	<0.01			<0.01	0.13							
			125 **	370 **	果実	0	0.14	ND	ND	ND	0.14						
					1	0.13	ND	ND	ND	0.13							
					7	0.13	ND	ND	ND	0.13							
		14			0.12	ND	ND	ND	0.12								
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-				
							3	7	125 *	373 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
											1	0.37	ND	0.02	ND	0.39	
									7	0.15	ND	<0.01	ND	0.16			
			14	0.20	ND	<0.01			<0.01	0.21							
			125 **	371 **	果実	0	0.27	ND	<0.01	ND	0.28						
1	0.15				ND	<0.01	ND	0.16									
7	0.17				ND	<0.01	ND	0.18									
14	0.13	ND			<0.01	ND	0.14										

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
ブラム	6.25% EC	Polk, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-			
			3	7	127 *	377 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31			
								1	0.39	ND	ND	ND	0.39			
								7	0.37	ND	ND	ND	0.37			
								14	0.27	ND	<0.01	ND	0.28			
								129 **	381 **	果実	0	0.31	ND	ND	ND	0.31
								1	0.55	ND	ND	ND	0.55			
								7	0.48	ND	<0.01	ND	0.49			
								14	0.29	ND	<0.01	ND	0.30			

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
りんご	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
			4	8 7 7	100*	399*	果実	0	0.16	ND	ND	ND	0.16	
								1	0.16	ND	ND	ND	0.16	
								7	0.11	ND	ND	<0.01	0.12	
								14	0.08	ND	ND	ND	0.08	
			101**	401**	果実	0	0.15	ND	ND	<0.01	0.16			
						1	0.14	ND	ND	<0.01	0.15			
						7	0.12	ND	ND	ND	0.12			
						14	0.10	ND	ND	ND	0.10			
			Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-
				4	7	101*	400*	果実	0	0.28	ND	0.08	ND	0.37
									1	0.13	ND	ND	ND	0.13
		7							0.14	ND	ND	<0.01	0.15	
		14							0.09	ND	ND	<0.01	0.10	
		101**		400**	果実	0	0.18	ND	ND	<0.01	0.19			
						1	0.15	ND	ND	ND	0.15			
						7	0.12	ND	ND	ND	0.12			
						14	0.10	ND	ND	<0.01	0.11			
		Wayne, NY, 米国		-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				4	7	100*	397*	果実	0	0.08	ND	ND	ND	0.08
									1	0.06	ND	ND	ND	0.06
			7						0.06	ND	ND	ND	0.06	
			10						0.05	ND	ND	ND	0.05	
			101**	402**	果実	0	0.08	ND	ND	ND	0.08			
1	0.07					ND	ND	ND	0.07					
7	0.06					ND	ND	ND	0.06					
10	0.06					ND	ND	ND	0.06					
14	0.05		ND	ND	ND	0.05								

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
りんご	6.25% EC	Lenawee, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-		
			4	7	102*	401*	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18		
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24		
								7	0.23	ND	ND	<0.01	0.23		
								14	0.15	ND	ND	ND	0.15		
					103**	406**	果実	0	0.15	ND	ND	<0.01	0.16		
								1	0.12	ND	ND	ND	0.12		
								7	0.12	ND	ND	<0.01	0.13		
								14	0.10	ND	ND	ND	0.10		
				Marion, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-
		4	7		102*	401*	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21		
								1	0.20	ND	ND	ND	0.20		
								7	0.15	ND	ND	ND	0.15		
								14	0.07	ND	ND	ND	0.07		
					107**	406**	果実	0	0.19	ND	0.01	0.01	0.21		
								1	0.21	ND	ND	ND	0.21		
								7	0.13	ND	ND	ND	0.13		
								14	0.06	ND	ND	ND	0.06		
					Simcoe, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND
4	7 7 6	103*	399*	果実		0	0.15	ND	<0.01	ND	0.16				
						1	0.08	ND	ND	ND	0.08				
						7	0.06	ND	ND	ND	0.06				
						14	0.08	ND	ND	ND	0.08				
		102**	396**	果実		0	0.08	ND	ND	ND	0.08				
						1	0.09	ND	ND	ND	0.09				
						7	0.07	ND	ND	ND	0.07				
					14	0.07	ND	ND	ND	0.07					

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キチド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
りんご	6.25% EC	Brant, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			4	7	101*	396*	果実	0	0.12	ND	ND	ND	0.12		
								1	0.14	ND	ND	ND	0.14		
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10		
								12	0.09	ND	ND	ND	0.09		
					102**	397**	果実	0	0.14	ND	ND	ND	0.14		
								1	0.14	ND	<0.01	ND	0.15		
								7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12		
							12	0.08	ND	ND	ND	0.08			
				Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
		4	7 8 6		100*	398*	果実	0	0.27	ND	ND	ND	0.27		
								1	0.36	ND	ND	ND	0.36		
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10		
								14	0.15	ND	<0.01	ND	0.16		
					101**	401**	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21		
								1	0.13	ND	ND	ND	0.13		
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10		
							14	0.15	ND	ND	ND	0.15			
				Cache, UT, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
		4	7		103*	400*	果実	0	0.31	ND	ND	ND	0.31		
								1	0.24	ND	ND	ND	0.25		
								7	0.08	ND	<0.01	ND	0.09		
								14	0.03	ND	ND	ND	0.03		
					103**	401**	果実	0	0.22	ND	ND	ND	0.22		
						1	0.15	ND	ND	ND	0.15				
						7	0.05	ND	ND	ND	0.05				
					14	0.04	ND	ND	ND	0.04					

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
りんご	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
			4	7 7 6	102*	402*	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18	
									0.17	<0.01	ND	ND	0.18	
			1	7	102*	402*	果実	1	0.08	ND	ND	ND	0.08	
									0.09	ND	ND	ND	0.09	
			7	7	102*	402*	果実	7	0.20	ND	ND	ND	0.20	
									0.23	ND	ND	ND	0.23	
			14	7	102*	402*	果実	14	0.22	ND	ND	ND	0.22	
									0.13	ND	ND	ND	0.13	
			-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-	
		Power, ID, 米国	6	4	7	101**	398**	果実	0	0.11	ND	ND	<0.01	0.12
										0.11	ND	ND	ND	0.11
				1	7	101**	398**	果実	1	0.08	ND	ND	ND	0.08
										0.09	ND	ND	ND	0.09
				7	7	101**	398**	果実	7	0.26	<0.01	ND	ND	0.27
										0.25	ND	ND	ND	0.25
				14	7	101**	398**	果実	14	0.20	ND	ND	ND	0.20
										0.17	<0.01	ND	ND	0.18
				-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				103**	7	4	7	103*	404*	果実	0	0.19	ND	ND
0.21	ND	ND	ND									0.21		
7	7	103*	404*			果実	7	0.16	ND	ND	ND	0.16		
								0.09	ND	ND	ND	0.09		
14	7	103**	400**			果実	0	0.24	ND	ND	ND	0.24		
								0.25	ND	ND	<0.01	0.26		
7	7	103**	400**			果実	7	0.18	ND	ND	ND	0.18		
				0.14	ND			ND	<0.01	0.15				

EC：乳剤

－：該当なし  
全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
りんご	6.25% EC	Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			4	7	100*	391*	果実	0	0.3	ND	ND	ND	0.30		
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29		
								7	0.27	ND	ND	ND	0.27		
								14	0.19	ND	ND	ND	0.19		
					99**	396**	果実	0	0.23	ND	ND	ND	0.23		
								1	0.26	ND	ND	ND	0.26		
								7	0.23	ND	ND	ND	0.23		
								14	0.19	ND	ND	ND	0.19		
					Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND
				4		7	102*	400*	果実	0	0.32	ND	ND	ND	0.32
										1	0.35	ND	ND	ND	0.35
										7	0.29	ND	ND	ND	0.29
										14	0.18	ND	ND	ND	0.18
							99**	395**	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21
										1	0.22	ND	ND	ND	0.22
										7	0.16	ND	ND	ND	0.16
										14	0.19	ND	ND	ND	0.19
				Washington ID, 米国		-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND
					4	6 7 7	104*	408*	果実	0	0.37	ND	ND	ND	0.37
								1	0.31	ND	ND	ND	0.31		
								7	0.25	ND	ND	ND	0.25		
								10	0.27	ND	ND	ND	0.27		
								14	0.24	ND	ND	ND	0.24		
					101**	400**	果実	0	0.27	ND	ND	ND	0.27		
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24		
							7	0.19	ND	ND	ND	0.19			
							10	0.30	ND	ND	ND	0.30			
							14	0.19	ND	ND	ND	0.19			

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
なし	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	9 6 8	100*	398*	果実	0	0.21	ND	<0.01	ND	0.22
								1	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
								7	0.15	ND	0.01	ND	0.16
								14	0.10	ND	<0.01	ND	0.11
			8 6 8	100**	400**	果実	0	0.18	ND	<0.01	ND	0.19	
							1	0.16	ND	<0.01	ND	0.17	
							7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12	
		14					0.09	ND	<0.01	ND	0.10		
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	102*	406*	果実	0	0.26	ND	<0.01	ND	0.27
								1	0.24	ND	<0.01	<0.01	0.25
								7	0.27	ND	<0.01	ND	0.28
								14	0.19	ND	<0.01	ND	0.20
			103**	405**	果実	0	0.34	ND	<0.01	ND	0.35		
						1	0.34	ND	<0.01	ND	0.35		
						7	0.31	ND	<0.01	ND	0.32		
		14				0.19	ND	<0.01	ND	0.20			
		Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	103*	405*	果実	0	0.18	ND	<0.01	ND	0.19
								1	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
								7	0.19	ND	<0.01	ND	0.20
								14	0.11	ND	0.01	ND	0.12
			102**	404**	果実	0	0.21	ND	<0.01	ND	0.22		
1	0.29					ND	0.01	ND	0.30				
7	0.14					ND	<0.01	ND	0.15				
14	0.06	ND				<0.01	ND	0.07					

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関 : BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
なし	6.25% EC	Simcoe, ON, カナダ	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7 7 6	99*	388*	果実	0	0.13	ND	<0.01	ND	0.14
								1	0.16	ND	<0.01	ND	0.17
								7	0.05	ND	<0.01	ND	0.06
								14	0.04	ND	<0.01	ND	0.05
			101 **	397 **	果実	0	0.17	ND	<0.01	ND	0.18		
						1	0.18	ND	<0.01	ND	0.19		
						7	0.12	ND	<0.01	ND	0.13		
		14				0.05	ND	<0.01	ND	0.06			
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	101*	400*	果実	0	0.38	ND	<0.01	ND	0.39
								1	0.29	ND	0.01	ND	0.30
								7	0.21	ND	<0.01	ND	0.22
								14	0.18	ND	0.01	ND	0.19
			100 **	400 **	果実	0	0.29	ND	<0.01	ND	0.30		
						1	0.20	ND	<0.01	ND	0.21		
7	0.19					ND	<0.01	ND	0.20				
14	0.17	ND				0.01	ND	0.18					

EC : 乳剤

- : 該当なし

全て地上散布。

\* : concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計				
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																	
なし	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-				
			4	7	100*	400*	果実	0	0.13	ND	<0.01	ND	0.14				
								0	0.11	ND	ND	ND	0.11				
								1	0.08	ND	ND	ND	0.08				
									0.08	ND	ND	ND	0.08				
								7	0.05	ND	ND	ND	0.05				
									0.07	ND	ND	ND	0.07				
			14	0.05	ND	ND	ND	0.05									
				0.04	ND	<0.01	ND	0.05									
			-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-				
			4	7	101**	397**	果実	0	0.19	ND	<0.01	ND	0.20				
								0	0.21	ND	<0.01	ND	0.22				
		1						0.15	ND	ND	ND	0.15					
								0.14	ND	ND	ND	0.14					
		7						0.15	ND	ND	ND	0.15					
								0.12	ND	ND	ND	0.12					
		14						0.11	ND	ND	ND	0.11					
								0.09	ND	ND	ND	0.09					
		Madera, CA, 米国						7	101*	404*	果実	0	0.23	ND	<0.01	ND	0.24
												1	0.14	ND	ND	ND	0.14
												7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12
												10	0.12	ND	<0.01	ND	0.13
			14	0.10	ND	<0.01	ND					0.11					
			100**	399**	果実	0	0.22					ND	ND	ND	0.22		
1	0.19					ND	ND					ND	0.19				
7	0.04					ND	ND					ND	0.04				
10	0.14					ND	<0.01					ND	0.15				
14	0.06					ND	<0.01					ND	0.07				

EC：乳剤

－：該当なし  
全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)							
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																
なし	6.25% EC	Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-			
			4	7	100*	398*	果実	0	0.47	ND	ND	ND	0.47			
								1	0.36	ND	ND	ND	0.36			
								7	0.41	ND	<0.01	ND	0.42			
								14	0.31	ND	<0.01	ND	0.32			
					99**	395**	果実	0	0.4	ND	ND	ND	0.40			
								1	0.42	ND	ND	0.04	0.45			
								7	0.42	ND	<0.01	ND	0.43			
								14	0.26	ND	ND	ND	0.26			
					Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7		101*	400*	果実	0	0.22	ND	0.01	ND	0.23		
									1	0.17	ND	<0.01	ND	0.18		
									7	0.17	ND	0.02	ND	0.19		
									14	ND	ND	<0.01	ND	0.01		
				100**		397**	果実	0	0.23	ND	<0.01	ND	0.24			
								1	0.2	ND	0.01	ND	0.21			
								7	0.13	ND	0.01	ND	0.14			
								14	0.09	ND	0.02	ND	0.11			
				Hood River, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-	
		4	7		109*	410*	果実	0	0.1	ND	0.01	ND	0.11			
								1	0.09	ND	<0.01	ND	0.10			
								7	0.04	ND	<0.01	ND	0.05			
								14	0.03	ND	<0.01	ND	0.04			
					111**	414**	果実	0	0.45	ND	0.01	ND	0.46			
								1	0.09	ND	0.01	ND	0.10			
								7	0.05	ND	0.01	ND	0.06			
							14	0.02	ND	0.01	ND	0.03				

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha,

\*\*：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ビロ キサト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
なたね	6.25% EC	Macon, GA, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	105	208	種子	21	0.11	ND	0.02	0.01	0.14
							種子	21	0.07	ND	0.01	<LOQ	0.09
		Portage la Prairie, MB, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	198	種子	22	0.04	ND	<LOQ	<LOQ	0.05
							種子	22	0.03	ND	<LOQ	<LOQ	0.04
		RM 314, SK, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	199	種子	21	0.13	<LOQ	0.02	<LOQ	0.17
							種子	21	0.18	ND	0.03	<LOQ	0.22
		Power, ID, 米国	-	-	-	-	種子	(14)	0.01	ND	ND	ND	-
			-	-	-	-	種子	(21)	ND	ND	ND	ND	-
			2	13	104	202	種子	14	0.29	ND	0.10	0.10	0.47
							種子	14	0.20	ND	0.08	0.04	0.31
							種子	18	0.27	ND	0.10	0.12	0.46
							種子	18	0.26	ND	0.10	0.10	0.44
							種子	21	0.11	ND	0.03	0.02	0.16
							種子	21	0.11	ND	ND	<LOQ	0.12
							種子	24	0.12	ND	0.02	0.02	0.16
							種子	24	0.12	ND	0.03	0.02	0.17
		RM 404, SK, カナダ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	99	197	種子	14	0.21	ND	0.03	0.01	0.25
							種子	14	0.08	ND	0.01	<LOQ	0.10
							種子	19	0.15	ND	0.02	0.01	0.18
							種子	19	0.11	ND	0.01	<LOQ	0.13
					種子	21	0.14	ND	0.01	<LOQ	0.16		
					種子	21	0.24	ND	0.02	0.01	0.27		
					種子	25	0.81	ND	0.09	0.05	0.94		
					種子	25	0.64	<LOQ	0.05	0.04	0.73		
					種子	27	0.11	ND	0.02	0.01	0.14		
				種子	27	0.18	ND	0.02	0.01	0.21			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
なたね	6.25% EC	Franklin, ID, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	<0.01	-
			2	14	102	202	種子	21	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03
							種子	21	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03
		North Cypress, MB, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	100	198	種子	22	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03
						種子	22	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03	
		North Cypress, MB, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	99	198	種子	22	0.02	ND	<LOQ	ND	0.03
						種子	22	0.01	ND	<LOQ	ND	0.02	
		RM 404, SK, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	99	198	種子	21	0.27	ND	0.02	0.02	0.31
						種子	21	0.18	ND	0.02	0.01	0.21	
		RM 402, SK, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	100	199	種子	21	0.19	ND	0.04	0.02	0.25
						種子	21	0.24	ND	0.04	0.02	0.30	
		RM 402, SK, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	100	199	種子	21	0.20	ND	0.03	0.03	0.26
						種子	21	0.24	ND	0.03	0.02	0.29	
		Strathcona, AB, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			2	14	101	197	種子	21	0.09	ND	0.01	0.01	0.11
						種子	21	0.09	ND	0.01	<LOQ	0.11	
		Strathcona, AB, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	0.06	ND	ND	ND	-
			2	15	103	200	種子	21	0.04	ND	<LOQ	<LOQ	0.05
						種子	21	0.12	ND	<LOQ	<LOQ	0.13	
		Lamont, AB, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			2	14	101	202	種子	21	0.06	ND	<LOQ	<LOQ	0.07
						種子	21	0.04	ND	<LOQ	<LOQ	0.05	
		Lamont, AB, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			2	14	103	205	種子	21	0.05	ND	<LOQ	<LOQ	0.06
						種子	21	0.05	<LOQ	<LOQ	<LOQ	0.07	
RM 434, SK, カナダ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-		
	2	14	100	200	種子	21	0.12	<LOQ	0.02	0.02	0.17		
				種子	21	0.11	ND	0.02	0.01	0.14			

EC：乳剤

-：該当なし

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キサド <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
ひまわり	6.25% EC	Portage la Prairie, MB, カタ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	<0.01	ND	-	
			2	15	102	204	種子	21	0.02	ND	ND	ND	0.02	
						種子	21	<LOQ	ND	ND	ND	ND	0.01	
		Rice, KS, カタ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	(14)	ND	ND	ND	ND	ND	-
			-	-	-	-	種子	(21)	0.01	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	102	203	種子	14	0.06	ND	ND	ND	ND	0.06
							種子	14	0.06	ND	ND	ND	0.06	
							種子	18	0.02	ND	ND	ND	0.02	
							種子	18	0.04	ND	ND	ND	0.04	
							種子	21	<LOQ	ND	ND	ND	0.01	
							種子	21	0.01	ND	ND	ND	0.01	
							種子	24	0.04	ND	ND	ND	0.04	
							種子	24	0.05	ND	ND	ND	0.05	
							種子	28	0.03	ND	ND	ND	0.03	
							種子	28	0.02	ND	ND	ND	0.02	
		RM 314, SK, カタ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	0.02	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	199	種子	21	0.15	ND	ND	ND	0.15	
						種子	21	0.10	ND	ND	ND	ND	0.10	
		RM 314, SK, カタ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	101	199	種子	21	0.09	ND	ND	ND	0.09	
						種子	21	0.09	ND	ND	ND	ND	0.09	
		RM 283, SK, カタ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
			2	13	100	199	種子	21	0.06	ND	ND	ND	0.06	
						種子	21	0.06	ND	ND	ND	ND	0.06	
		Hockley, TX, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	99	197	種子	21	0.10	ND	ND	ND	0.10	
						種子	21	0.12	ND	ND	ND	ND	0.12	
		North Cypress, MB, カタ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	ND	-
2	15		101	201	種子	21	0.01	ND	ND	ND	0.01			
				種子	21	0.01	ND	ND	ND	ND	0.01			
North Cypress, MB, カタ <sup>®</sup>	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	ND	-		
	2	15	101	202	種子	21	0.02	ND	ND	ND	0.02			
				種子	21	0.02	ND	ND	ND	ND	0.02			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

<LOQ:<0.01 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサビ <sup>®</sup> ロキサト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	
試験実施機関 : ABC Laboratories, Inc. (米国 ミズーリ州)													
稲	30% SC	Prairie, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			2	7	149- 152	302	穀粒	28	0.62	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.59	<0.005	<0.01	<0.001
		Lonoke, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
			2	7	152- 156	308	穀粒	28	0.34	<0.005	0.01	<0.01	
										0.34	<0.005	<0.01	<0.01
		St. Landry Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			2	7	151- 157	308	穀粒	28	1.63	<0.005	0.02	<0.01	
										1.71	<0.005	0.02	<0.01
		Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			2	7	140- 148	288	穀粒	28	1.32	<0.005	0.02	<0.01	
										0.84	<0.005	0.03	<0.01
		Randolph, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			2	8	150- 151	302	穀粒	28	0.80	<0.005	0.03	<0.01	
										0.79	<0.005	0.03	<0.01
		Greene, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			2	8	147- 156	302	穀粒	28	0.48	<0.005	0.02	<0.01	
										0.46	<0.005	0.02	<0.01
		Clay, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.01/<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			2	6	148- 149	297	穀粒	0	5.36	<0.005	<0.01	<0.001	
										5.20	<0.005	<0.01	<0.001
								14	0.56	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.65	<0.005	<0.01	<0.001
								28	0.46	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.71	<0.005	<0.01	<0.001
								30	0.55	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.56	<0.005	<0.01	<0.001
								36	0.61	<0.005	<0.01	<0.001	
									0.46	<0.005	<0.01	<0.001	
		Dunklin, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
2	8		148- 149	297	穀粒	28	0.34	<0.005	<0.01	<0.001			
								0.40	<0.005	<0.01	<0.001		

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサビロキサト	F002	F008	F048			
試験実施機関 : ABC Laboratories, Inc. (米国 ミズーリ州)															
稲	30% SC	Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
			2	8	150- 151	302	穀粒	0	4.26	<0.005	<0.01	<0.001			
										3.98	<0.005	<0.01	<0.001		
									14	1.04	<0.005	<0.01	<0.001		
										0.92	<0.005	<0.01	<0.001		
									28	0.88	<0.005	<0.01	<0.001		
										0.83	<0.005	<0.01	<0.001		
									30	1.00	<0.005	<0.01	<0.001		
										0.88	<0.005	<0.01	<0.001		
									35	0.81	<0.005	0.01	<0.01		
										0.74	<0.005	<0.01	<0.001		
									穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
						2	7	151- 155	306	穀粒	29	0.62	<0.005	0.01	<0.001
											0.58	<0.005	0.02	<0.001	
				Dunklin, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
					2	6	147- 154	300	穀粒	28	0.29	<0.005	0.01	<0.001	
										0.22	<0.005	0.01	<0.01		
				Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
					2	7	151- 152	304	穀粒	28	0.91	<0.005	0.03	<0.01	
										0.93	<0.005	0.03	<0.01		
				Metagorda, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
					2	7	154- 156	309	穀粒	28	0.93	<0.005	0.04	<0.01	
										0.91	<0.005	0.04	<0.01		
				Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
					2	7	148- 154	302	穀粒	28	1.28	<0.005	0.03	<0.01	
										1.04	<0.005	0.03	<0.01		
				Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
					2	6	147- 148	296	穀粒	29	1.19	<0.005	0.02	<0.001	
								1.24	<0.005	0.03	<0.001				
		Sutter, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
			2	7	148- 149	297	穀粒	29	3.84	<0.005	<0.01	<0.001			
								3.61	<0.005	<0.01	<0.001				

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。



農作物	濃度、 剤形)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサト ロキサト	F002	F008	F048					
試験実施機関：GLP Technologies, Inc. (米国 テキサス州)、BASF S.A. (ブラジル サンパウロ州)																	
さとう きび	6.25% EC	Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.05	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.05	<0.005	<0.002	<0.001				
		Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.03	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.09	<0.005	<0.002	<0.001				
		Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.05	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.03	<0.005	<0.002	<0.001				
		Raymondville , TX, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.19	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.33	<0.005	<0.01	<0.001				
		Homestead, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	0.30	<0.005	0.01	<0.001					
										0.82	<0.005	0.02	<0.01				
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	2.17	<0.005	<0.01	<0.001					
										0.50	<0.005	0.02	<0.01				
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND					
			2	14	123	246	cane	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001					
								<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND							
	2	14	123	246	cane	14	1.14	<0.005	0.04	<0.01							
								0.32	<0.005	0.02	<0.001						
	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND							
								2	14	627- 639	1266	cane	14	1.50	<0.005	0.10	0.01
														2.67	<0.005	<0.01	<0.001

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関 : American Agricultural Services, Inc. (米国 ノースカロライナ州)													
ラディ ッシュ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.72- 100.28	295.82	根	7	0.04 0.05	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.04 0.05
		Martin, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.26- 100.39	299.75	根	7	0.04 0.04	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.04 0.04
		Palm Beach, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.62- 100.36	299.89	根	7	0.03 0.03	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.03 0.03
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	6 7	100.61- 101.25	302.54	根	7	0.09 0.1	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.09 0.1
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	100.15- 100.91	301.22	根	7	0.1 0.1	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	<0.01 <0.01	0.1 0.1
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.72- 100.28	295.82	葉	7	0.7 0.6	<0.01 <0.01	0.3 0.3	0.3 0.3	1.2 1.1
		Martin, FL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.26- 100.39	299.75	葉	7	0.2 0.2	<0.01 <0.01	0.2 0.2	0.3 0.3	0.6 0.6
		Palm Beach, FL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.62- 100.36	299.89	葉	7	0.2 0.1	<0.01 <0.01	0.2 0.1	0.1 0.1	0.5 0.3
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	-
			3	6 7	100.61- 101.25	302.54	葉	7	4 4	<0.01 <0.01	0.8 0.9	0.7 0.8	4.8 5.4
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	-	-	-
			3	7	100.15- 100.91	301.22	葉	7	1 1	<0.01 <0.01	0.5 0.5	0.3 0.3	1.7 1.7

EC : 乳剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関 : American Agricultural Services, Inc. (米国 ノースカロライナ州)														
にんじ ん	6.25% EC	Hillsboroug h, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	-	-	-	-	
			3	7	100.18- 102.40	304.97	根	7	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1	
										0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
		Jefferson, IA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.07- 102.33	301.67	根	7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	
										0.05	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7 6	96.83- 100.82	297.18	根	7	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	
										0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	101.31- 102.18	304.8	根	7	0.5	<0.01	<0.01	<0.01	0.5	
										0.5	<0.01	<0.01	<0.01	0.5
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.63- 100.67	298.58	根	7	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1	
										0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	-	-	-	-	-
			3	7	100.46- 100.52	301.47	根	0	0.2	<0.01	<0.01	<0.01	0.2	
										0.2	<0.01	<0.01	<0.01	0.2
								3	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3	
										0.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.4
								7	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3	
										0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
								10	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3	
									0.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.4	
Grant, WA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-		
	3	7	101.03- 101.20	303.36	根	7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04			
								0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04		

EC : 乳剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネパ <sup>®</sup> キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : SGS North America Inc. (米国ジョージア州) 、BASF Corporation (米国 ノースカロライナ州)														
ブロッ コリー	6.25% EC	Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	98- 103	300	花蕾	0	1.10	<0.005	0.03	0.04		
										1.89	<0.005	0.05	0.19	
									1	1.68	<0.005	0.09	0.15	
										2.13	<0.02	0.08	0.14	
									3	1.45	<0.02	0.09	0.16	
										0.99	<0.02	0.08	0.14	
									5	0.86	<0.02	0.06	0.14	
										1.09	<0.005	0.06	0.18	
									7	0.85	<0.02	0.05	0.17	
									0.86	<0.02	0.05	0.09		
				Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		3	7		201- 204	607	花蕾	0	0.53	<0.005	<0.01	<0.01		
										0.45	<0.005	<0.01	<0.01	
								3	0.28	<0.005	0.01	<0.01		
										0.27	<0.005	0.01	0.01	
				Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		3	7		201- 205	610	花蕾	0	0.53	<0.02	<0.01	<0.01		
										0.39	<0.005	<0.01	<0.01	
								3	0.44	<0.005	0.02	0.01		
										0.70	<0.005	0.03	0.01	
				Grants Pass, OR, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		3	7		102- 105	309	花蕾	0	0.38	<0.005	<0.01	<0.01		
										0.52	<0.005	<0.01	<0.01	
						3	0.37	<0.005	0.02	<0.01				
								0.27	<0.005	0.01	<0.01			

EC : 乳剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関： SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国 ノースカロライナ州)												
ブロッ コリー	30% SC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	100- 104	306	花蕾	0	0.22	<0.005	<0.002	<0.001
									0.23	<0.005	<0.01	<0.001
			3	7	100- 104	306	花蕾	0	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
		0.05							<0.005	<0.01	<0.001	
		Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101- 105	308	花蕾	0	0.47	<0.005	<0.01	<0.001
									0.27	<0.005	<0.01	<0.001
			3	7	101- 105	308	花蕾	0	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
		0.21							<0.005	<0.01	<0.01	
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101- 103	305	花蕾	0	0.10	<0.02	<0.01	<0.01
									0.08	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	101- 103	305	花蕾	0	0.28	<0.005	<0.01	<0.01
		0.42							<0.005	0.01	<0.01	
		Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101- 102	305	花蕾	0	0.50	<0.005	<0.01	<0.01
									0.48	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	101- 102	305	花蕾	0	0.11	<0.005	<0.01	<0.01
		0.09							<0.005	<0.01	<0.001	

SC：フロアブル剤

-：該当なし

全て茎葉処理。



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キサト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国 ノースカロライナ州)														
キャ ベツ	6.25% EC	Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
							2*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	6, 7	101	303	外葉あり結球	0	0.13	<0.005	<0.002	<0.001		
											0.17	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉なし結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001		
											0.01	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	3	0.09	<0.005	<0.002	<0.001		
											0.05	<0.005	<0.002	<0.001
		3				外葉なし結球	3	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001			
										<0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
		Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	6, 7	101	303	外葉あり結球	0	0.34	<0.005	<0.01	<0.01		
											0.43	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉なし結球	0	0.04	<0.005	<0.002	<0.001		
											0.04	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	3	0.12	<0.005	<0.01	<0.001		
											0.09	<0.005	<0.002	<0.001
			3				外葉なし結球	3	0.04	<0.005	<0.002	<0.001		
										0.05	<0.005	<0.002	<0.001	
		Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	2*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	100- 104	306	外葉あり結球	0	1.86	<0.005	0.02	0.02		
									1.13	<0.005	0.02	0.02		
外葉なし結球	0						0.18	<0.005	<0.01	<0.01				
									0.22	<0.005	<0.01	<0.01		
外葉あり結球	3						1.24	<0.005	0.02	0.02				
									1.22	<0.005	0.02	0.02		
3					外葉なし結球	3	0.07	<0.005	<0.01	<0.001				
								0.07	<0.005	<0.01	<0.001			

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

1\*：外葉あり結球

2\*：外葉なし結球

\*：外葉あり/なし結球

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピ ロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国 ノースカロライナ州)												
キャ ベツ	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
							2*		<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203- 204	610	外葉あ り結球	0	0.13	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉な し結球	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉あ り結球	0	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉な し結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あ り結球	3	0.07	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉な し結球	3	0.07	<0.005	<0.002	<0.01
	30% SC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
							2*		<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	100- 104	306	外葉あ り結球	0	0.35	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉あ り結球	0	0.43	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉な し結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉な し結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
						外葉あ り結球	3	0.28	<0.005	<0.01	<0.01	
						外葉あ り結球	3	0.16	<0.005	<0.01	<0.01	
				外葉な し結球	3	0.04	<0.005	<0.01	<0.001			
				外葉な し結球	3	0.04	<0.005	<0.002	<0.001			

EC：乳剤

SC；フロアブル剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

1\*：外葉あり結球

2\*：外葉なし結球



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> キナド	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Corporation (米国ノースカロライナ州)												
マスタード グリーン	6.25% EC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101	303		葉	0	4.80	<0.005	0.28
			3	7	101	303	葉	0	4.29	<0.005	0.26	0.63
									1	3.10	<0.005	0.28
								3	2.37	<0.005	0.30	0.53
									1.80	<0.005	0.41	0.90
								5	1.63	<0.005	0.43	1.02
									1.04	<0.005	0.33	0.86
			7	0.95	<0.005	0.26	0.87					
				0.80	<0.005	0.23	0.89					
			3	7	101	303	葉	0	0.85	<0.02	0.23	0.88
									-	<0.002	<0.005	<0.002
		3						4.37	<0.02	0.10	0.38	
								3.34	<0.02	0.10	0.41	
		3	7	101	303	葉	3	1.87	<0.005	0.34	0.44	
								1.87	<0.02	0.38	0.45	
		3	7	102- 106	310	葉	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
								3.50	<0.005	0.12	0.10	
							3	3.97	<0.005	0.12	0.07	
								0.55	<0.005	0.19	0.19	
		3	7	103- 106	314	葉	0	0.58	<0.005	0.18	0.17	
								<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
							3	7.08	<0.005	0.54	1.50	
								6.54	<0.005	0.59	1.12	
3	7	103- 106	314	葉	3	0.51	<0.02	0.27	0.93			
						0.44	<0.02	0.22	1.00			
					3	<0.002	<0.005	<0.01	<0.001			
						2.19	<0.005	0.09	0.14			
3	7, 8	101- 102	305	葉	0	1.82	<0.005	0.07	0.13			
						0.84	<0.005	0.21	0.21			
					3	0.95	<0.005	0.24	0.23			
						0.95	<0.005	0.24	0.23			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキハ <sup>o</sup> キハ <sup>o</sup>	F008	F048	
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
セロリ	6.25% EC	Gregory, MI, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001	
			3	7	202	606	茎葉	0	1.01	<0.002	<0.001	
										1.36	<0.002	<0.001
								1	1.42	<0.002	<0.001	
									1.45	<0.002	<0.001	
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001	
			3	6, 7	202	606	茎葉	0	1.81	<0.002	<0.001	
									2.56	<0.002	<0.001	
								1	1.02	<0.002	<0.001	
									1.64	<0.002	<0.001	
		Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.01	<0.002	<0.001	
			3	7	202- 205	611	茎葉	0	1.78	<0.002	<0.001	
									3.16	<0.002	<0.001	
								1	2.72	<0.002	<0.001	
									2.64	<0.002	<0.001	
		Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001	
			3	7	203- 205	611	茎葉	0	4.39	<0.01	<0.001	
									6.08	<0.01	<0.001	
								1	4.78	<0.01	<0.001	
									5.52	<0.01	<0.001	
Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001			
	3	7	202- 204	609	茎葉	0	1.78	<0.002	<0.001			
							1.20	<0.01	<0.001			
						1	1.13	<0.01	<0.001			
							1.85	<0.01	<0.001			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)		
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサビ <sup>®</sup> キッド <sup>®</sup>	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)											
セロリ	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202- 205	609	茎葉	0	1.85	<0.01	<0.001
									2.07	<0.01	<0.001
			1	7	202- 205	609	茎葉	1	1.70	<0.01	<0.001
									1.99	<0.01	<0.001
			3	7	202- 205	609	茎葉	3	1.35	<0.01	<0.001
									1.37	<0.01	<0.001
			5	7	202- 205	609	茎葉	5	1.14	<0.01	<0.001
									1.14	<0.002	<0.001
			7	7	202- 205	609	茎葉	7	1.09	<0.01	<0.001
0.97	<0.01	<0.001									
結球レ タス	30% SC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	結球*	0	0.46	<0.002	<0.001
									0.43	<0.002	<0.001
			1	7	202	606	結球*	1	0.56	<0.002	<0.001
		0.45							<0.002	<0.001	
		Belle Glade, FL, 米国	3	6, 7	202	606	結球*	0	0.38	<0.002	<0.001
	0.28								<0.002	<0.001	
	1	7	202	606	結球*	1	0.10	<0.002	<0.001		
							0.18	<0.002	<0.001		
	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202- 203	608	結球*	0	1.87	<0.002	<0.001
									1.47	<0.01	<0.001
1			7	202- 203	608	結球*	1	0.74	<0.002	<0.001	
		1.47						<0.002	<0.001		
Guadalupe, CA, 米国		3	7	201- 203	606	結球*	0	3.42	<0.01	<0.001	
	3.58							<0.01	<0.001		
1	7	201- 203	606	結球*	1	1.95	<0.01	<0.001			
						1.89	<0.01	<0.001			

EC：乳剤

SD：フロアブル剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネビ キト <sup>®</sup>	F008	F048		
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
結球レ タス	6.25% EC	Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001		
			3	7	201- 204	609	結球*	0	0.75	<0.002	<0.001		
								1	0.38	<0.002	<0.001		
									0.55	<0.002	<0.001		
		Orcutt, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001		
			3	7	202- 203	608	結球*	0	2.57	<0.01	<0.001		
								1	1.90	<0.01	<0.001		
									2.01	<0.01	<0.001		
								3	0.48	<0.002	<0.001		
									0.60	<0.01	<0.001		
								5	0.46	<0.01	<0.001		
									0.86	<0.01	<0.001		
							7	0.15	<0.002	<0.001			
								0.40	<0.01	<0.001			
		非結球 レタス	30% SC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
					3	7	202	606	葉	0	9.20	0.05	<0.001
								1	9.53	0.07	<0.01		
									6.46	0.05	<0.001		
Belle Glade, FL, 米国	-			-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001		
	3			6, 7	202	606	葉	0	3.79	0.10	<0.01		
								1	4.12	0.12	<0.01		
									4.21	0.11	<0.01		
								2.42	0.08	<0.01			
Santa Maria, CA, 米国	-			-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001		
	3			7	204	612	葉	0	4.35	0.04	<0.001		
									4.33	0.04	<0.001		
								1	2.76	0.04	<0.001		
								4.24	0.04	<0.001			

EC：乳剤

SC：フロアブル剤

-：該当なし

全て茎葉処理。 \*：外葉あり結球

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネピロ キト <sup>®</sup>	F008	F048	
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
非結球 レタス	30% SC	Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01, <0.002	<0.002	<0.001	
			3	7	201- 203	604	葉	0	4.12	0.02	<0.001	
										4.79	0.02	<0.001
								1	4.85	0.02	<0.001	
									3.96	0.02	<0.001	
		Guadalup e, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001	
			3	7	201- 205	609	葉	0	3.35	<0.01	<0.001	
									3.01	<0.01	<0.001	
								1	2.69	0.01	<0.001	
									2.64	0.01	<0.001	
								3	0.44	0.01	<0.001	
									0.44	0.02	<0.001	
								5	0.35	0.02	<0.001	
									0.31	0.01	<0.001	
								7	0.26	0.01	<0.001	
								0.22	0.02	<0.001		
		Guadalup e, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001	
			3	6, 7	202- 211	616	葉	0	2.15	<0.01	<0.001	
									2.11	<0.01	<0.001	
							1	2.01	<0.01	<0.001		
						1.91	<0.01	<0.001				

SC：フロアブル剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

\*：外葉あり結球

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
グリーン ネオン	6.25% EC	Pilot Point, TX, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	204- 212	624	全体*	7	0.24	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202- 204	609	全体*	7	0.38	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201- 203	607	全体*	0	0.33	<0.005	<0.002	<0.001
									0.33	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201- 203	607	全体*	3	0.31	<0.005	<0.002	<0.001
									0.34	<0.005	<0.002	<0.001
			7	7	201- 203	607	全体*	7	0.29	<0.005	<0.002	<0.001
									0.29	<0.005	<0.002	<0.001
			10	7	201- 203	607	全体*	10	0.21	<0.005	<0.002	<0.001
									0.28	<0.005	<0.002	<0.001
			14	7	201- 203	607	全体*	14	0.34	<0.005	<0.002	<0.001
0.37	<0.005	<0.002							<0.001			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

\*:根を除く全体。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ プロ キッド	F002	F008	F048			
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
たまね ぎ	6.25% EC	Germansville, PA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
			3	7, 6	208- 210	628	鱗茎	7	0.19	<0.005	<0.002	<0.001			
		Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	-	鱗茎	(0)	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
									(3)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
									(7)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
									(10)	0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
									(14)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7	208- 212	628	鱗茎	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001			
									0.21	<0.005	<0.002	<0.001			
								3	0.17	<0.005	<0.002	<0.001			
									0.15	<0.005	<0.002	<0.001			
								7	0.21	<0.005	<0.002	<0.001			
		10	0.09	<0.005	<0.002	<0.001	0.06	<0.005	<0.002	<0.001					
											14	0.13	<0.005	<0.002	<0.001
												0.14	<0.005	<0.002	<0.001
											Claude, TX, 米国	-	-	-	-
		3	8, 7	202- 277	685	鱗茎	7	0.03	<0.005	<0.002					
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
									3	7	199- 202	602	鱗茎	7	0.16
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
									3	7	202- 203	607	鱗茎	7	0.23
		Malin, OR, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
									3	7	203- 206	613	鱗茎	7	0.28
										0.26	<0.005	<0.002	<0.001		

EC：乳剤

－：該当なし  
全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)								
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キッド <sup>®</sup>	F002	F008	F048					
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)																	
きゅ うり	6.25% EC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001					
			3	7	202	606	果実	0	0.20	<0.005	<0.002	<0.001					
										0.13	<0.005	<0.002	<0.001				
										1	0.10	<0.005	<0.002	<0.001			
											0.08	<0.02	<0.002	<0.001			
											3	0.09	<0.005	<0.002	<0.001		
												0.09	<0.02	<0.002	<0.001		
												5	0.07	<0.005	<0.002	<0.001	
													0.07	<0.02	<0.002	<0.001	
													7	0.09	<0.02	<0.002	<0.001
														0.05	<0.02	<0.002	<0.001
					Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
					3	7	202	606	果実	0	0.10	<0.005	<0.002	<0.001			
											0.06	<0.005	<0.002	<0.001			
				Gainesvill e, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
					3	7	202- 224	606	果実	0	0.02	<0.005	<0.002	<0.001			
											0.03	<0.005	<0.002	<0.001			
				Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
					3	7, 6	202	606	果実	0	0.12	<0.005	<0.002	<0.001			
											0.19	<0.005	<0.002	<0.001			
				Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
					3	7, 6	202	606	果実	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001			
											0.16	<0.005	<0.002	<0.001			
				Madill, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
			3	6, 7	205- 211	621	果実	0	0.25	<0.005	<0.002	<0.001					
									0.22	<0.005	<0.002	<0.001					

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
カンタロ ー <sup>®</sup>	6.25% EC	Chula, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	果実	0	0.08	<0.005	<0.002	<0.001
									0.08	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202	606	果実	0	0.05	<0.005	<0.002	<0.001
									0.04	<0.005	<0.002	<0.001
		Madill, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	204- 206	615	果実	0	0.25	<0.005	<0.002	<0.001
									0.22	<0.005	<0.002	<0.001
		Guadalup e, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200- 224	601	果実	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									0.24	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203- 204	610	果実	0	0.10	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba city, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203- 205	612	果実	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
			1						0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
			3						0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.02	<0.005	<0.002	<0.001
			5						0.02	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
7							0.04	<0.005	<0.002	<0.001		
							0.02	<0.005	<0.002	<0.001		

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散 布 間 隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部 位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサビ <sup>®</sup> キタ <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
サマ スカッシュ	6.25% EC	Germansville, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	8, 6	205- 210	624	果実	0	0.11	<0.005	<0.002	<0.001
		Sycamore, GA, 米国	3	7	202	606	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									0.13	<0.005	<0.002	<0.001
			1	0.08	<0.005	<0.002	<0.001					
				0.09	<0.005	<0.002	<0.001					
			3	0.08	<0.005	<0.002	<0.001					
				0.06	<0.005	<0.002	<0.001					
			5	0.06	<0.005	<0.002	<0.001					
				0.07	<0.005	<0.002	<0.001					
			7	0.03	<0.005	<0.002	<0.001					
				0.02	<0.005	<0.002	<0.001					
		Gainesville, FL, 米国	3	7	202	606	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	3	7, 6	202	606	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	3	7	202- 204	606	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									0.07	<0.005	<0.002	<0.001
									0.12	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
チェリー	6.25% EC	Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-	
			3	6	121- 129 *	377 *	果実	0	1.05	ND	0.21	0.05	1.31	
							1	1.10	ND	0.24	0.04	1.38		
							7	0.32	ND	0.25	0.07	0.63		
							14	0.09	ND	0.18	0.07	0.33		
			3	6	119- 129 **	377 **	果実	0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16	
							1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09		
							7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63		
							14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36		
			Niagara, ON, カナダ	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				3	8 6	125- 127 *	378 *	果実	0	0.43	ND	0.17	<0.01	0.61
								1	0.55	ND	0.16	<0.01	0.72	
		7						0.40	ND	0.19	0.01	0.61		
		14						0.14	ND	0.26	<0.01	0.42		
		3		6	124- 126 **	374 **	果実	0	0.05	ND	0.17	0.03	0.25	
							1	0.20	ND	0.30	0.05	0.55		
							7	0.02	ND	0.11	0.06	0.18		
							14	0.06	ND	0.14	0.10	0.28		
		Ottawa, MI, 米国		-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
				3	6 7	125 *	375 *	果実	0	0.53	ND	0.17	<0.01	0.71
								1	0.51	ND	0.17	<0.01	0.69	
			7					0.18	ND	0.23	<0.01	0.42		
			14					0.59	ND	0.18	<0.01	0.78		
			3	7	123- 125 **	371 **	果実	0	0.34	ND	0.19	<0.01	0.54	
1	0.36						ND	0.17	<0.01	0.54				
7	0.12						ND	0.19	<0.01	0.32				
14	0.02	ND					0.16	<0.01	0.19					

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
チェリー	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-		
			3	7	123- 124 *	371 *	果実	0	0.82	<0.01	0.30	<0.01	1.15		
									1	0.37	ND	0.24	<0.01	0.63	
									7	0.12	ND	0.30	<0.01	0.44	
									14	0.07	ND	0.28	<0.01	0.37	
									0	0.39	ND	0.22	<0.01	0.62	
									1	0.41	<0.01	0.23	<0.01	0.66	
									7	0.16	<0.01	0.29	<0.01	0.48	
									14	0.14	<0.01	0.29	<0.01	0.46	
									0	0.39	ND	0.22	<0.01	0.62	
									1	0.41	<0.01	0.23	<0.01	0.66	
									7	0.16	<0.01	0.29	<0.01	0.48	
								14	0.14	<0.01	0.29	<0.01	0.46		
				Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
					3	7	125 *	374 *	果実	0	0.49	ND	0.16	0.08	0.72
									1	0.38	<0.01	0.17	0.07	0.62	
									7	0.19	ND	0.23	0.08	0.49	
									13	0.10	ND	0.16	0.11	0.35	
									0	0.56	ND	0.13	0.05	0.73	
									1	0.49	ND	0.15	0.05	0.68	
									7	0.33	ND	0.19	0.08	0.59	
									13	0.30	ND	0.15	0.10	0.53	
									0	0.56	ND	0.13	0.05	0.73	
									1	0.49	ND	0.15	0.05	0.68	
							7	0.33	ND	0.19	0.08	0.59			
						13	0.30	ND	0.15	0.10	0.53				
		Wasco, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-		
			3	8 6	125- 127 *	378 *	果実	0	0.19	ND	0.16	<0.01	0.36		
							1	0.19	ND	0.18	ND	0.38			
							7	0.08	ND	0.21	<0.01	0.30			
							10	0.06	ND	0.26	<0.01	0.34			
							14	0.04	ND	0.13	<0.01	0.18			
							0	0.31	ND	0.18	<0.01	0.50			
							1	0.20	ND	0.19	<0.01	0.40			
							7	0.18	ND	0.22	<0.01	0.41			
							10	0.11	ND	0.22	<0.01	0.34			
							14	0.05	ND	0.11	<0.01	0.17			

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
もも	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-		
			3	8 6	124- 125 *	374 *	果実	0	0.37	ND	0.01	ND	0.38		
								1	0.29	<0.01	0.02	ND	0.32		
								7	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09		
								14	0.05	ND	0.01	ND	0.06		
								0	0.43	ND	0.01	ND	0.44		
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45		
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12		
								14	0.08	ND	0.03	ND	0.11		
								0	0.43	ND	0.01	ND	0.44		
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45		
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12		
							14	0.08	ND	0.03	ND	0.11			
							0	0.43	ND	0.01	ND	0.44			
							1	0.43	ND	0.02	ND	0.45			
							7	0.10	ND	0.02	ND	0.12			
							14	0.08	ND	0.03	ND	0.11			
				Tift, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
					3	7	124 *	372 *	果実	0	0.55	ND	0.02	0.01	0.58
									1	0.43	ND	0.03	0.01	0.47	
									7	0.31	ND	0.04	0.03	0.38	
									14	0.29	ND	0.03	0.04	0.35	
									0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45	
									1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40	
							7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42			
							14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38			
		Brooks, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7	124- 126 *	376 *	果実	0	0.55	ND	0.06	ND	0.62		
							1	0.29	ND	0.04	ND	0.33			
							7	0.22	ND	0.08	<0.01	0.31			
							14	0.11	ND	0.09	<0.01	0.21			
							0	0.18	ND	0.04	ND	0.22			
							1	0.47	ND	0.06	ND	0.54			
							7	0.57	ND	0.05	ND	0.62			
							14	0.12	ND	0.05	<0.01	0.18			

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
もも	6.25% EC	Lenawee, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	123- 126 *	374 *	果実	0	0.39	ND	0.02	<0.01	0.42
								1	0.45	ND	0.03	<0.01	0.49
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19
								14	0.16	ND	0.03	<0.01	0.20
								0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36
								1	0.26	ND	0.02	ND	0.28
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19
								14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16
								0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36
								1	0.26	ND	0.02	ND	0.28
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19
							14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16	
							0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36	
							1	0.26	ND	0.02	ND	0.28	
							7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19	
							14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16	
							0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36	
							1	0.26	ND	0.02	ND	0.28	
							7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19	
							14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16	
							0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36	
							1	0.26	ND	0.02	ND	0.28	
							7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19	
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36			
					1	0.26	ND	0.02	ND	0.28			
					7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19			
					14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16			
					0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36</			

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
もも	6.25% EC	Marion, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	126- 133 *	388 *	果実	0	0.17	<0.01	<0.01	ND	0.19
								1	0.24	ND	<0.01	ND	0.25
								7	0.08	<0.01	<0.01	ND	0.10
								14	0.08	ND	<0.01	ND	0.09
								0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34
								1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23
								7	0.15	ND	0.01	ND	0.16
								14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11
								0	0.58	ND	0.08	ND	0.67
								1	0.42	ND	0.04	ND	0.46
								7	0.33	ND	0.04	ND	0.37
							14	0.26	ND	0.06	<0.01	0.33	
							0	0.59	ND	0.02	ND	0.61	
							1	0.22	ND	0.02	ND	0.24	
							7	0.13	ND	0.02	ND	0.15	
							10	0.26	ND	0.02	ND	0.28	
							14	0.08	ND	0.02	ND	0.10	
							0	0.63	ND	0.03	ND	0.66	
							1	0.39	ND	0.03	ND	0.42	
							7	0.23	ND	0.03	ND	0.26	
							10	0.13	ND	0.03	ND	0.16	
							14	0.14	ND	0.04	ND	0.18	
				Pontotoc, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND
		3	6 7		119- 126 *	368 *	果実	0	0.44	ND	0.04	ND	0.48
							1	0.50	ND	0.04	ND	0.54	
							7	0.33	ND	0.05	ND	0.38	
							14	0.25	ND	0.06	<0.01	0.32	
							0	0.58	ND	0.08	ND	0.67	
							1	0.42	ND	0.04	ND	0.46	
							7	0.33	ND	0.04	ND	0.37	
							14	0.26	ND	0.06	<0.01	0.33	
							0	0.59	ND	0.02	ND	0.61	
							1	0.22	ND	0.02	ND	0.24	
							7	0.13	ND	0.02	ND	0.15	
						10	0.26	ND	0.02	ND	0.28		
						14	0.08	ND	0.02	ND	0.10		
						0	0.63	ND	0.03	ND	0.66		
						1	0.39	ND	0.03	ND	0.42		
						7	0.23	ND	0.03	ND	0.26		
						10	0.13	ND	0.03	ND	0.16		
						14	0.14	ND	0.04	ND	0.18		
		Kings, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	6 7	140- 141 *	421 *	果実	0	0.59	ND	0.02	ND	0.61
							1	0.22	ND	0.02	ND	0.24	
							7	0.13	ND	0.02	ND	0.15	
							10	0.26	ND	0.02	ND	0.28	
							14	0.08	ND	0.02	ND	0.10	
							0	0.63	ND	0.03	ND	0.66	
							1	0.39	ND	0.03	ND	0.42	
							7	0.23	ND	0.03	ND	0.26	
							10	0.13	ND	0.03	ND	0.16	
							14	0.14	ND	0.04	ND	0.18	

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 mg/kg





農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ブラム	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
			3	7 6	124- 125 *	374 *	果実	0	0.95	ND	ND	ND	0.95		
								1	0.32	ND	ND	ND	0.32		
								7	0.46	ND	ND	ND	0.46		
								14	0.43	ND	ND	ND	0.43		
								0	0.79	ND	ND	ND	0.79		
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29		
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40		
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09		
								0	0.79	ND	ND	ND	0.79		
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29		
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40		
							14	0.09	ND	ND	ND	0.09			
							0	0.79	ND	ND	ND	0.79			
							1	0.29	ND	ND	ND	0.29			
							7	0.40	ND	ND	ND	0.40			
							14	0.09	ND	ND	ND	0.09			
				Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
		3	6		121- 131 *	379 *	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49		
								1	0.46	ND	ND	ND	0.46		
								7	0.30	ND	<0.01	ND	0.31		
								14	0.17	ND	ND	ND	0.17		
								0	0.42	ND	ND	ND	0.42		
								1	0.34	ND	ND	ND	0.34		
						7	0.26	ND	ND	ND	0.26				
						14	0.20	ND	ND	ND	0.20				
						0	0.42	ND	ND	ND	0.42				
						1	0.34	ND	ND	ND	0.34				
						7	0.26	ND	ND	ND	0.26				
					14	0.20	ND	ND	ND	0.20					
		Niagara, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-		
3	7		120- 123 *	364 *	果実	0	0.20	ND	ND	ND	0.20				
						1	0.17	ND	ND	ND	0.17				
						7	0.11	ND	ND	ND	0.11				
						14	0.09	ND	ND	ND	0.09				
						0	0.24	ND	ND	ND	0.24				
						1	0.24	ND	ND	ND	0.24				
						7	0.14	ND	ND	ND	0.14				
						14	0.10	ND	0.01	ND	0.11				
						0	0.24	ND	ND	ND	0.24				
						1	0.24	ND	ND	ND	0.24				
						7	0.14	ND	ND	ND	0.14				
					14	0.10	ND	0.01	ND	0.11					

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)						
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ビロ キッド	F002	F008	F048	合計		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)															
ブラム	6.25% EC	Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-		
			3	7	123- 124 *	370 *	果実	0	0.64	ND	ND	ND	0.64		
								1	0.62	ND	ND	ND	0.62		
								7	0.59	ND	ND	ND	0.59		
								14	0.49	ND	ND	ND	0.49		
								0	0.44	ND	ND	ND	0.44		
								1	0.42	ND	ND	ND	0.42		
								7	0.49	ND	0.02	ND	0.51		
								14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38		
								0	0.44	ND	ND	ND	0.44		
								1	0.42	ND	ND	ND	0.42		
								7	0.49	ND	0.02	ND	0.51		
							14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
							0	0.44	ND	ND	ND	0.44			
							1	0.42	ND	ND	ND	0.42			
							7	0.49	ND	0.02	ND	0.51			
							14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38			
				Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
					3	7	138- 140 *	417 *	果実	0	0.37	ND	ND	ND	0.37
									1	0.38	ND	ND	ND	0.38	
									7	0.29	ND	<0.01	ND	0.30	
									10	0.26	ND	ND	ND	0.26	
									14	0.26	ND	ND	ND	0.26	
									0	0.32	ND	ND	ND	0.32	
							1	0.38	ND	ND	ND	0.38			
							7	0.32	ND	ND	ND	0.32			
							10	0.24	ND	ND	ND	0.24			
							14	0.28	ND	ND	ND	0.28			
		Stanislaus, CA, 米国	-		-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
			3	7	123- 124 *	371 *	果実	0	0.48	ND	<0.01	ND	0.49		
							1	0.47	ND	<0.01	ND	0.48			
							7	0.53	ND	ND	ND	0.53			
							14	0.51	ND	ND	ND	0.51			
							0	0.49	ND	ND	ND	0.49			
							1	0.56	ND	<0.01	ND	0.57			
							7	0.47	ND	ND	ND	0.47			
							14	0.54	ND	ND	ND	0.54			
							0	0.49	ND	ND	ND	0.49			
							1	0.56	ND	<0.01	ND	0.57			
							7	0.47	ND	ND	ND	0.47			
						14	0.54	ND	ND	ND	0.54				

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当 り	1作 付け 当 り			フルサ ビロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計	
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
プラム	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-	
			3	7	124- 125 *	374 *	果実	0	0.20	ND	<0.01	ND	0.21	
							1	0.18	ND	ND	ND	0.18		
							7	0.23	ND	ND	ND	0.23		
							14	0.09	ND	ND	ND	0.09		
			125- 126 **	378 **	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18			
					1	0.17	ND	ND	ND	0.17				
					7	0.17	ND	ND	ND	0.17				
					14	0.08	ND	ND	ND	0.08				
			Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				3	7	125- 128 *	379 *	果実	0	0.24	ND	<0.01	ND	0.25
								1	0.27	ND	ND	ND	0.27	
		7						0.16	ND	ND	ND	0.16		
		14						0.12	ND	<0.01	<0.01	0.13		
		122- 125 **		370 **	果実	0	0.14	ND	ND	ND	0.14			
					1	0.13	ND	ND	ND	0.13				
					7	0.13	ND	ND	ND	0.13				
					14	0.12	ND	ND	ND	0.12				
		Grant, WA, 米国		-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
				3	7	123- 125 *	373 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
								1	0.37	ND	0.02	ND	0.39	
			7					0.15	ND	<0.01	ND	0.16		
			14					0.20	ND	<0.01	<0.01	0.21		
			123- 125 **	371 **	果実	0	0.27	ND	<0.01	ND	0.28			
1	0.15				ND	<0.01	ND	0.16						
7	0.17				ND	<0.01	ND	0.18						
14	0.13	ND			<0.01	ND	0.14							

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当 り	1作 付 け 当 り			フルサ ビロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)													
プラム	6.25% EC	Polk, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	7	124	377	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
					-	*		1	0.39	ND	ND	ND	0.39
					127	*		7	0.37	ND	ND	ND	0.37
								14	0.27	ND	<0.01	ND	0.28
					124	381	果実	0	0.31	ND	ND	ND	0.31
					-	**		1	0.55	ND	ND	ND	0.55
					129	**		7	0.48	ND	<0.01	ND	0.49
								14	0.29	ND	<0.01	ND	0.30

EC：乳剤

-：該当なし

全て地上散布。

\*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

\*\*：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：SGS Northe America Inc. (米国 ジョージア州)、BASF Agricultural Research Center (米国ノースカロライナ州)													
チェリー	6.25% EC	Fennville, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	7	124	372	果実	0	0.255	<LOQ	0.100	0.028	0.393
									0.250	<LOQ	0.074	0.023	0.132
			1	7	124	372	果実	1	0.286	<LOQ	0.098	0.030	0.424
									0.204	<LOQ	0.085	0.026	0.325
			7	7	124	372	果実	7	0.145	<LOQ	0.132	0.048	0.335
		0.177							<LOQ	0.167	0.052	0.406	
		Hotchkiss, CO, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	7, 6	123- 126	373	果実	0	1.932	<LOQ	0.417	0.022	2.381
									1.796	<LOQ	0.433	0.021	2.260
			1	7, 6	123- 126	373	果実	1	1.029	<LOQ	0.344	0.024	1.407
									1.443	<LOQ	0.382	0.027	1.862
			7	7, 6	123- 126	373	果実	7	0.817	<LOQ	0.519	0.045	1.391
									0.746	<LOQ	0.644	0.046	1.446

EC：乳剤

－：該当なし

全てエアブラスト散布。

LOQ = 0.01 mg/kg,

LOD = 0.002 mg/kg

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関：Eurofins Agrosience Services, Inc. (米国 ジョージア州)												
イチ ゴ	6.25% EC	New Tripoli, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201- 210	615	果実	0	0.23	<0.005	<0.01	<0.001
		Winter Garden, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	198- 202	601	果実	0	2.17	<0.005	0.01	<0.001
		Sparta, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197- 200	597	果実	0	0.28	<0.005	<0.002	<0.001
		Guadalup, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	206- 210	624	果実	0	0.80	<0.005	<0.01	<0.001
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197- 202	599	果実	0	0.89	<0.005	<0.01	<0.001
									0.84	<0.005	<0.01	<0.001
			1	7	197- 202	599	果実	0	0.80	<0.005	<0.01	<0.001
									0.87	<0.005	<0.01	<0.001
			3	7	197- 202	599	果実	0	0.80	<0.005	<0.01	<0.001
									0.81	<0.005	<0.01	<0.001
			5	7	197- 202	599	果実	0	0.63	<0.005	<0.01	<0.001
									0.65	<0.005	<0.01	<0.001
			7	7	197- 202	599	果実	0	0.34	<0.005	<0.01	<0.001
		0.61							<0.005	<0.01	<0.001	
		Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199- 202	603	果実	0	1.03	<0.005	<0.01	<0.001
							0.90	<0.005	<0.01	<0.001		

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	
試験実施機関：Eurofins Agroscience Services, Inc. (米国 ジョージア州)													
イチ ゴ	6.25% EC	Sorrento, FL, 米国	3	7	201- 215	618	果実  果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.67	<0.005	<0.01	<0.001	
									0.85	<0.005	<0.01	<0.001	
									1	0.64	<0.005	<0.01	<0.001
		Sanger, CA, 米国	3	7	195- 204	600	果実  果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.87	<0.005	<0.01	<0.001	
									1	0.91	<0.005	<0.01	<0.001
									1.10	<0.005	0.0111	<0.01	

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関： Eurofins Agrosience Services, Inc. (米国 ジョージア州)												
ブルー ベリー	6.25% EC	New Tripoli, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	195- 203	599	果実	0	1.71	<0.005	<0.01	<0.001
		Oglethorpe, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197- 202	600	果実	0	2.17	<0.005	0.01	<0.001
		Oglethorpe, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199- 202	601	果実	0	1.74	<0.005	<0.01	<0.001
									1.52	<0.005	<0.01	<0.001
			1	1.84	<0.005	<0.01	<0.01					
								1.58	<0.005	<0.01	<0.01	
			3	1.02	<0.005	<0.01	<0.01					
								1.33	<0.005	0.01	<0.01	
			5	0.80	<0.005	<0.01	<0.01					
								1.01	<0.005	<0.01	<0.01	
		7	0.59	<0.02	0.01	<0.01						
							0.63	<0.005	<0.01	<0.01		
		White Heath, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202- 206	611	果実	0	3.90	<0.02	0.01	<0.01
		Fremont, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199- 201	600	果実	0	1.16	<0.005	<0.01	<0.001
		Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199- 203	604	果実	0	2.51	<0.005	0.02	<0.001
								2.32	<0.005	0.02	<0.001	

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。



農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関： Eurofins Agrosience Services, Inc. (米国 ジョージア州)												
ブラック ベリー	6.25% EC	Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	198- 203	600	果実	0	1.23	<0.005	<0.01	<0.001
									1.53	<0.005	<0.01	<0.001
ラス ベリー	6.25% EC	Conklin, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200- 201	602	果実	0	1.25	<0.005	<0.01	<0.001
		Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200- 207	609	果実	0	2.05	<0.005	<0.01	<0.001
									1.91	<0.005	<0.01	<0.001
			1						1.42	<0.005	<0.01	<0.001
									1.84	<0.005	<0.01	<0.001
			3						1.07	<0.005	<0.01	<0.001
									1.08	<0.005	<0.01	<0.001
			5						1.03	<0.005	<0.01	<0.001
									1.09	<0.005	<0.01	<0.001
7						0.59	<0.005	<0.01	<0.001			
						0.73	<0.005	<0.01	<0.01			

EC：乳剤

-：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネビ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : Eurofins Agroscience Services, Inc. (米国 ジョージア州)														
ぶど う	30% SC	Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	10	199.5- 204.3	606.6*	果実	0	0.29	<0.005	<0.002	<0.001		
										0.24	<0.005	<0.002	<0.001	
									1	0.21	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.28	<0.005	<0.002	<0.001	
									7	0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.17	<0.005	<0.002	<0.001	
									14	0.11	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.14	<0.005	<0.002	<0.001	
				Yates, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	10, 11	200.6- 201.0	602.6 **	果実	0	0.89	<0.005	<0.002	<0.001
											0.84	<0.005	<0.002	<0.001
									1	0.69	<0.005	<0.002	<0.001	
											0.62	<0.005	<0.002	<0.001
									7	0.80	<0.005	<0.002	<0.001	
											0.70	<0.005	<0.002	<0.001
									14	0.41	<0.005	<0.002	<0.001	
											0.78	<0.005	<0.002	<0.001
				Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	10	199.4- 208.9	611. 5*	果実	0	0.22	<0.005	<0.002	<0.001
											0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									1	0.24	<0.005	<0.002	<0.001	
											0.26	<0.005	<0.002	<0.001
									7	0.19	<0.005	<0.002	<0.001	
											0.19	<0.005	<0.002	<0.001
									14	0.20	<0.005	<0.002	<0.001	
											0.34	<0.005	<0.002	<0.001
						21	0.24	<0.005	<0.002	<0.001				
								0.28	<0.005	<0.002	<0.001			

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

\* : concentrated spray volume, 水 187-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネビ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : Eurofins Agrosience Services, Inc. (米国 ジョージア州)														
ぶど う	30% SC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	10	200.5- 202.7	604.9 **	果実	0	1.67	<0.005	<0.01	<0.001		
										1.23	<0.005	<0.01	<0.001	
									1	1.45	<0.005	<0.01	<0.001	
										1.52	<0.005	<0.002	<0.001	
									7	1.66	<0.005	<0.01	<0.001	
										1.34	<0.005	<0.01	<0.001	
									14	1.31	<0.005	<0.01	<0.001	
										1.40	<0.005	<0.01	<0.001	
				Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	10	203.9- 207.1	615.8*	果実	0	0.20	<0.005	<0.002	<0.001
										0.22	<0.005	<0.002	<0.001	
									1	0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.14	<0.005	<0.002	<0.001	
									7	0.12	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.13	<0.005	<0.002	<0.001	
									14	0.13	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.09	<0.005	<0.002	<0.001	
				Fresono, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	10	201.4- 202.4	605.4 **	果実	0	0.82	<0.005	<0.01	<0.001
										0.81	<0.005	<0.01	<0.001	
							1	0.90	<0.005	<0.01	<0.001			
								0.80	<0.005	<0.01	<0.001			
							7	0.64	<0.005	<0.01	<0.01			
								0.60	<0.005	<0.01	<0.001			
							14	0.73	<0.005	<0.01	<0.01			
								0.78	<0.005	<0.01	<0.01			

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

\* : concentrated spray volume, 水 187-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネビ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048	
試験実施機関 : Eurofins Agroscience Services, Inc. (米国 ジョージア州)													
ぶど う	30% SC	San Luis Obispo, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			3	11, 10	200.7- 210.7	613.6*	果実	0	0.27	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
			1						0.19	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.21	<0.005	<0.002	<0.001	
			7						0.15	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
			14						0.18	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.08	<0.005	<0.002	<0.001	
			San Luis Obispo, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
				3	14, 13	201.7- 204.3	609.9 **	果実	0	0.66	<0.005	<0.002	<0.001
										0.64	<0.005	<0.002	<0.001
		1							0.75	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.66	<0.005	<0.002	<0.001	
		7							0.30	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.48	<0.005	<0.01	<0.001	
		14							0.34	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.11	<0.005	<0.002	<0.001	
		Tulare, CA, 米国		-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
				3	10	198.3- 200.5	598.1*	果実	0	0.63	<0.005	<0.01	<0.001
										0.54	<0.005	<0.002	<0.001
			1						0.57	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.48	<0.005	<0.002	<0.001	
			7						0.50	<0.005	<0.002	<0.001	
0.39	<0.005								<0.002	<0.001			
14							0.43	<0.005	<0.002	<0.001			
		0.59					<0.005	<0.01	<0.001				

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

\* : concentrated spray volume, 水 187-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネビ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : Eurofins Agroscience Services, Inc. (米国 ジョージア州)														
ぶど う	30% SC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	10	198.7- 200.6	599.7 **	果実	0	0.46	<0.005	<0.01	<0.001		
										0.43	<0.005	<0.01	<0.001	
									1	0.48	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.38	<0.005	<0.01	<0.001	
									7	0.42	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.43	<0.005	<0.01	<0.001	
									14	0.28	<0.005	<0.01	<0.001	
										0.26	<0.005	<0.01	<0.001	
					Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002
				3		10	206.5- 207.3	620.9 **	果実	0	0.59	<0.005	<0.002	<0.001
											0.54	<0.005	<0.002	<0.001
									1	0.50	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.44	<0.005	<0.002	<0.001	
									7	0.56	<0.005	<0.002	<0.001	
										0.39	<0.005	<0.002	<0.001	
									14	0.43	<0.005	<0.002	<0.001	
									0.42	<0.005	<0.002	<0.001		
				Washingto n, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	7	201.4- 204.2	608.0*	果実	0	0.79	<0.005	<0.002	<0.001
											0.91	<0.005	<0.002	<0.001
									1	0.92	<0.005	<0.002	<0.001	
								0.79	<0.005	<0.002	<0.001			
							7	0.71	<0.005	<0.002	<0.001			
								1.10	<0.005	<0.002	<0.001			
							14	0.63	<0.005	<0.002	<0.001			
							0.61	<0.005	<0.002	<0.001				

SC : フロアブル剤

- : 該当なし

全て茎葉処理。

\* : concentrated spray volume, 水 187-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネパ <sup>®</sup> キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)														
アー モンド	6.25% EC	Strathmore  CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001		
			3	7, 8	122- 127	372	ナッツ	14	0.01	<0.005	<0.002	<0.001		
										0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
										22	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
										0.02	<0.005	<0.002	<0.001	
										27	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
										0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
										32	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
										0.01	<0.005	<0.002	<0.001	
										38	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
										0.02	<0.005	<0.002	<0.001	
					Dinuba, CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.002	<0.005	<0.002
					3	7	123- 126	373	ナッツ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
											<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
				Poplar, CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	7, 8	124- 126	375	ナッツ	13	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
											<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
				Wasco, CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					3	8, 6	124- 126	374	ナッツ	14	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
											0.01	<0.005	<0.002	<0.001
				Buttonwill ow, CA, 米国	-	-	-	-	ナッツ	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
					3	7	124- 126	375	ナッツ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
											<0.01	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤

-：該当なし

全てエアブラスト散布。

農作物	濃度、 剤形	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルネオ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF Agricultural Research Center (米国 ノースカロライナ州)												
ペカ ン	6.25% EC	Bailey, NC, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7, 6	124- 127	377	ナツ	14	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		Mystic, GA, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	120- 128	372	ナツ	14	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		Alexandria, LA, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	129- 135	396	ナツ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Pearsall, TX, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	123- 124	372	ナツ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		20	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
			<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
			29	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001					
			<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
		30	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001						
			<0.002	<0.005	<0.002	<0.001						
		37	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01						
			<0.01	<0.005	<0.002	<0.001						
		Anton, TX, 米国	-	-	-	-	ナツ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	124- 127	377	ナツ	14	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
			0.03	<0.005	<0.002	<0.001						

EC : 乳剤

- : 該当なし

全てエアブラスト散布。

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048
試験実施機関 : Stewart Agricultural Research Services, Inc. (米国 ミズーリ州)												
オレンジ	6.25% EC	Oviedo, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.010	<0.001
			4	10 11 9	109- 145*	505 *	果実	0	0.139	<0.005	<0.002	<0.001
					108- 137**	491 **	果実	0	0.158	<0.005	<0.002	<0.001
		Chuluota, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10 11 9	110- 139*	498 *	果実	0	0.438	<0.005	<0.002	<0.001
					106- 137**	491 **	果実	0	0.505	<0.005	<0.002	<0.001
		Holopaw, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10 11 9	111- 142*	503 *	果実	0	0.263	<0.005	<0.002	<0.001
					108- 138**	496 **	果実	0	0.521	<0.005	<0.002	<0.001
		Clermont, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10 11 9	109- 140*	495 *	果実	0	0.256	<0.005	<0.002	<0.001
					107- 136**	488 **	果実	0	0.436	<0.005	<0.002	<0.001
		Winter Garden, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10 11 9	111- 143*	502 *	果実	0	0.282	<0.005	<0.010	<0.001
107- 136**	492 **				果実	0	0.385	<0.005	<0.010	<0.001		

全て葉面散布

\* : concentrated spray volume, 水 468-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha



農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048
試験実施機関 : Stewart Agricultural Research Services, Inc. (米国 ミズーリ州)												
オレンジ	6.25% EC	Groveland, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.010	<0.001
			4	10	107- 144*	494 *	果実	0	0.533	<0.005	<0.010	<0.001
					104- 144**	487 **	果実	0	0.583	<0.005	<0.010	<0.001
		Clermont, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	107- 138*	490 *	果実	0	0.356	<0.005	<0.010	<0.001
					106- 137**	483 **	果実	0	0.254	<0.005	<0.010	<0.001
		Inverness, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.010	<0.005	<0.010	<0.001
			4	10	109- 142*	501 *	果実	0	0.370	<0.005	<0.010	<0.001
					106- 140**	493 **	果実	0	0.093	<0.005	<0.002	<0.001
		Raymondville, TX, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	110- 140*	503 *	果実	0	0.183	<0.005	<0.002	<0.001
					111- 140**	501 **	果実	0	0.136	<0.005	<0.002	<0.001

全て葉面散布

\* : concentrated spray volume, 水 468-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048
試験実施機関 : Stewart Agricultural Research Services, Inc. (米国 ミズーリ州)												
オレンジ	6.25% EC	Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	109- 134*	487 *	果実	0	0.331	<0.005	<0.002	<0.001
							7	0.298	<0.005	<0.002	<0.001	
							10	0.333	<0.005	<0.002	<0.001	
							14	0.320	<0.005	<0.002	<0.001	
							21	0.314	<0.005	<0.002	<0.001	
			110- 141**	504 **	果実	0	0.256	<0.005	<0.002	<0.001		
					7	0.195	<0.005	<0.002	<0.001			
					10	0.200	<0.005	<0.002	<0.001			
					14	0.144	<0.005	<0.002	<0.001			
		21			0.146	<0.005	<0.002	<0.001				
		Orland, CA, 米国	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001	
			4	9 12 9	110- 138*	495 *	果実	0	0.334	<0.005	<0.002	<0.001
							果実	0	0.187	<0.005	<0.002	<0.001
Arroyo Grande, CA, 米国	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001			
	4	10 10 11	108- 135*	491 *	果実	0	0.265	<0.005	<0.002	<0.001		
					果実	0	0.324	<0.005	<0.002	<0.001		

全て葉面散布

\* : concentrated spray volume, 水 468-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048
試験実施機関 : Stewart Agricultural Research Services, Inc. (米国 ミズーリ州)												
レモン	6.25% EC	Clermont, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	109- 138*	494 *	果実	0	0.335	<0.005	<0.002	<0.001
					108- 137**	491 **	果実	0	0.354	<0.005	<0.002	<0.001
		Clermont, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	9 10 10	108- 138*	492 *	果実	0	0.397	<0.005	<0.010	<0.001
					107- 138**	491 **	果実	0	0.254	<0.005	<0.010	<0.001
		Winter Garden, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	108- 138*	491 *	果実	0	0.379	<0.005	<0.002	<0.001
					109- 138**	494 **	果実	0	0.380	<0.005	<0.002	<0.001
		Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	109- 135*	488 *	果実	0	0.426	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.096	<0.005	0.101	0.069
								10	0.400	<0.005	<0.010	<0.001
								14	0.381	<0.005	<0.002	<0.001
								21	0.336	<0.005	<0.002	<0.001
					109- 140**	498 **	果実	0	0.287	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.407	<0.005	<0.002	<0.001
								10	0.451	<0.005	<0.010	<0.001
14	0.371	<0.005	<0.002	<0.001								
21	0.352	<0.005	<0.002	<0.001								

全て葉面散布

\* : concentrated spray volume, 水 468-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キナド	F002	F008	F048
試験実施機関 : Stewart Agricultural Research Services, Inc. (米国 ミズーリ州)												
レモン	6.25% EC	Newman, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	107- 138*	491 *	果実	0	0.268	<0.005	<0.002	<0.001
					110- 145**	499 **	果実	0	0.400	<0.005	<0.002	<0.001
		Nipoma, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	111- 137*	497 *	果実	0	0.151	<0.005	<0.002	<0.001
					113- 137**	497 **	果実	0	0.141	<0.005	<0.002	<0.001
		San Luis Obispo, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	8 12 10	107- 140*	502 *	果実	0	0.090	<0.005	<0.002	<0.001
					106- 136**	489 **	果実	0	0.156	<0.005	<0.002	<0.001
		Reedley, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	109- 137*	493 *	果実	0	0.374	<0.005	<0.002	<0.001
					110- 137**	494 **	果実	0	0.362	<0.005	<0.010	<0.001

全て葉面散布

\* : concentrated spray volume, 水 468-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルサ ピロ キッド	F002	F008	F048
試験実施機関 : Stewart Agricultural Research Services, Inc. (米国 ミズーリ州)												
グレープフルーツ	6.25% EC	Clermont, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	111- 141*	502 *	果実	0	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
					108- 141**	497 **	果実	0	0.175	<0.005	<0.002	<0.001
		Clermont, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	108- 140*	493 *	果実	0	0.237	<0.005	<0.002	<0.001
					109- 139**	490 **	果実	0	0.168	<0.005	<0.002	<0.001
		Inverness, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	108- 143*	503 *	果実	0	0.269	<0.005	<0.002	<0.001
					107- 144**	498 **	果実	0	0.129	<0.005	<0.002	<0.001
		Raymondville, TX, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	111- 141*	504 *	果実	0	0.086	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.127	<0.005	<0.002	<0.001
								10	0.111	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.134	<0.005	<0.002	<0.001
								21	0.097	<0.005	<0.002	<0.001
			111- 139**	500 **	果実	0	0.142	<0.005	<0.002	<0.001		
7	0.153		<0.005	<0.002	<0.001							
10	0.125	<0.005	<0.002	<0.001								
14	0.121	<0.005	<0.002	<0.001								
21	0.122	<0.005	<0.002	<0.001								

全て葉面処理

\* : concentrated spray volume, 水 468-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ ピロ キチド	F002	F008	F048
試験実施機関 : Stewart Agricultural Research Services, Inc. (米国 ミズーリ州)												
グレープフル ーツ	6.25% EC	Newman, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	10	109- 139*	496 *	果実	0	0.102	<0.005	<0.002	<0.001
					108- 138**	490 **	果実	0	0.081	<0.005	<0.002	<0.001
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			4	12 9 9	108- 137*	489 *	果実	0	0.150	<0.005	<0.002	<0.001
					109- 138**	494 **	果実	0	0.087	<0.005	<0.002	<0.001

全て葉面処理

\* : concentrated spray volume, 水 468-935 L/ha

\*\* : dilute spray volume, 水 935-3741 L/ha

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ プロキ サド <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)												
バナ ナ	30% SC	Sao Francisco, サンパウロ州, ブラジル	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	0.12	ND	ND	ND
								1	0.04	ND	ND	ND
								5	0.03	ND	ND	<0.01
								10	<0.01	ND	ND	ND
		Palmeira d'Oeste, サンパウロ州, ブラジル	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND-<0.01	ND
			4	12	150	600	果実*	0	0.13	ND	<0.01	ND
								1	0.06	ND	<0.01	ND
								5	0.04	ND	ND	ND
								10	0.03	ND	ND	ND
		Londrina, パラナ州, ブラジル	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	<0.01	ND	ND	ND
								1	ND	ND	ND	ND
								5	<0.01	ND	ND	ND
								10	ND	ND	ND	ND
		Ibipora, パラナ州, ブラジル	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	ND	ND	ND	ND
								1	ND	ND	ND	ND
								5	ND	ND	ND	ND
								10	ND	ND	ND	ND

全て葉面散布

\*Bagged samples

ND = < 0.002 mg/kg

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ プロキ サド <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)												
バナ ナ	30% SC	Sao Francisco, サンパウロ州, ブラジル	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND<0.01	ND
			4	12	150	600	果実**	0	0.22	ND	ND	ND
								1	0.36	ND	<0.01	ND
								5	0.30	ND	<0.01	<0.01
							10	0.21	ND	<0.01	ND	
		Palmeira d'Oeste, サンパウロ州, ブラジル	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND<0.01	ND
			4	12	150	600	果実**	0	0.77	ND	<0.01	ND
								1	0.56	ND	<0.01	ND
								5	0.63	ND	<0.01	ND
							10	0.46	ND	<0.01	ND	
		Londrina, パラナ州, ブラジル	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実**	0	0.04	ND	ND	ND
								1	0.06	ND	ND	ND
								5	0.07	ND	ND	ND
							10	0.02	ND	ND	ND	
		Ibipora, パラナ州, ブラジル	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND	ND
4	12		150	600	果実**	0	0.14	ND	ND	ND		
						1	<0.01	ND	ND	ND		
						5	ND	ND	ND	ND		
					10	0.01	ND	ND	ND			

全て葉面散布

\*Unbagged samples

ND = < 0.002 mg/kg



農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロキサド <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)												
バナナ	30% SC	Pococi, リモン州, コスタリカ	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	<0.01	ND	ND	ND
								1	0.01	ND	ND	ND
								5	0.02	ND	ND	ND
							10	0.01	ND	ND	ND	
		Matina, リモン州, コスタリカ	-	-	-	-	果実*	-	<0.01	ND	ND	ND
							果皮*	-	ND	ND	ND	ND
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	0.02	ND	ND	ND
							果皮*	0	0.03	ND	ND	ND
							果肉*	0	<0.01	ND	ND	ND
		Matina, リモン州, コスタリカ	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND
							果皮*	-	ND	ND	ND	ND
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	0.02	ND	ND	ND
							果皮*	0	0.02	ND	ND	ND
							果肉*	0	<0.01	ND	ND	ND
		Bucay, Guayas 県, エクアドル	-	-	-	-	果実*	-	<0.01	ND	ND	ND
							果皮*	-	ND	ND	ND	ND
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	0.03	ND	ND	ND
							果皮*	0	0.12	ND	ND	ND
							果肉*	0	<0.01	ND	ND	ND
		Bucay, Guayas 県, エクアドル	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND
					果皮*	-	<0.01	ND	ND	ND		
					果肉*	-	ND	ND	ND	ND		
4	12		150	600	果実*	0	<0.01	ND	ND	ND		
					果皮*	0	<0.01	ND	ND	ND		
					果肉*	0	ND	ND	ND	ND		

全て葉面散布

\*Unbagged samples

ND = < 0.002 mg/kg

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ プロキ サド <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)												
バナ ナ	30% SC	Troncal, Canar 県, エクアドル	-	-	-	-	果実*	-	<0.01	ND	ND	ND
							果皮*	-	<0.01	ND	ND	ND
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	<0.01	ND	ND	ND
							果皮*	0	0.04	ND	ND	ND
							果肉*	0	<0.01	ND	ND	ND
		Rio Frio, Zona Bananera, コロンビア	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND
							果皮*	-	<0.01	ND	ND	ND
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実*	0	<0.01	ND	ND	ND
							果皮*	0	0.02	ND	ND	ND
							果肉*	0	ND	ND	ND	ND
		Macondo, Zona Bananera, コロンビア	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND
							果皮*	-	<0.01	ND	ND	ND
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND
4	12		150	600	果実*	0	0.02	ND	ND	ND		
					果皮*	0	0.05	ND	ND	ND		
					果肉*	0	<0.01	ND	ND	ND		

全て葉面散布

\*Unbagged samples

ND = < 0.002 mg/kg

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロキサド <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)												
バナナ	30% SC	Pococi, リモン州, コスタリカ	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実**	0	0.07	ND	ND	ND
								1	0.07	ND	ND	ND
								5	0.08	ND	ND	ND
							10	0.05	ND	ND	ND	
		Matina, リモン州, コスタリカ	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND	ND
							果皮**	-	ND	ND	ND	ND
							果肉**	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実**	0	0.10	ND	ND	ND
							果皮**	0	0.85	ND	ND	ND
							果肉**	0	0.06	ND	ND	ND
		Matina, リモン州, コスタリカ	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND	ND
							果皮**	-	<0.01	ND	ND	ND
							果肉**	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実**	0	0.06	ND	ND	ND
							果皮**	0	0.10	ND	ND	ND
							果肉**	0	0.03	ND	ND	ND
		Bucay, Guayas 県, エクアドル	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND	ND
							果皮**	-	ND	ND	ND	ND
							果肉**	-	ND	ND	ND	ND
			4	12	150	600	果実**	0	1.60	ND	ND	ND
							果皮**	0	1.03	ND	ND	ND
							果肉**	0	0.09	ND	ND	ND
		Bucay, Guayas 県, エクアドル	-	-	-	-	果実**	-	ND	ND	ND	ND
					果皮**	-	<0.01	ND	ND	ND		
					果肉**	-	ND	ND	ND	ND		
4	12		150	600	果実**	0	0.17	ND	ND	ND		
					果皮**	0	0.22	ND	ND	ND		
					果肉**	0	0.01	ND	ND	ND		

全て葉面散布

\*Unbagged samples

ND = < 0.002 mg/kg

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロキサド <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)														
バナナ	30% SC	Troncal, Canar 県, エクアドル	-	-	-	-	果実*	-	ND	ND	ND	ND		
							果皮*	-	ND	ND	ND	ND		
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND		
			4	12	150	600	果実*	0	0.16	ND	ND	ND		
							果皮*	0	0.24	ND	ND	ND		
							果肉*	0	0.03	ND	ND	ND		
				Rio Frio, Zona Bananera, コロンビア	-	-	-	-	果実*	-	<0.01	ND	ND	ND
							果皮*	-	0.01	ND	ND	ND		
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND		
		4	12	150	600	果実*	0	0.66	ND	ND	ND			
						果皮*	0	1.12	ND	ND	ND			
						果肉*	0	0.10	ND	ND	ND			
				Macondo, Zona Bananera, コロンビア	-	-	-	-	果実*	-	<0.01	ND	ND	ND
							果皮*	-	<0.01	ND	ND	ND		
							果肉*	-	ND	ND	ND	ND		
4	12	150	600	果実*	0	0.15	ND	ND	ND					
				果皮*	0	0.34	ND	ND	ND					
				果肉*	0	0.05	ND	ND	ND					

全て葉面散布

\*Unbagged samples

ND = < 0.002 mg/kg

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサロキサト	F002	F008	F048	
試験実施機関 : BASF S.A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)													
マン ゴー	16.7% SC	Santo Antonio de Posse, サンパウロ州, ブラジル	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	
			4	8 6 8	66.8	267. 2	果実	0	0.12	ND	ND	ND	
								3	0.13	ND	ND	ND	
								7	0.13	ND	ND	ND	
								10	0.07	ND	ND	ND	
							14	0.08	ND	ND	ND		
				Anapolis, ゴイアス州, ブラジル	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND
		4	10 4 7	66.8	267. 2	果実	0	0.32	ND	ND	ND		
							3	0.30	ND	ND	ND		
							7	0.37	ND	ND	ND		
							10	0.20	ND	ND	ND		
							14	0.22	ND	ND	ND		
				Conchal, サンパウロ州, ブラジル	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND
		4	7	66.8	267. 2	果実	7	0.20	ND	ND	ND		
		Jaboticabal サンパウロ州, ブラジル	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND		
4	7	66.8	267. 2	果実	7	0.16	ND	ND	ND				

全て葉面散布

\*Unbagged samples

ND = < 0.002 mg/kg

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度 (mg/kg)		
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロキサト	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国 ジョージア州)											
綿	6.25% EC	Sycamore, GA, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	5 7	99- 100	299	綿実	30	0.0505 0.0869	<0.002 <0.010	<0.010 <0.010
		Cheneyville, LA, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	7	103	309	綿実	29	0.1129 0.0990	0.0129 0.0120	<0.010 <0.010
		Washington, LA, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	7	101	303	綿実	31	<0.01 0.0173	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
		St. Landry, LA, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	7	100- 101	301	綿実	31	<0.010 0.0158	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
		Lebanon, OK, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	7	102- 104	310	綿実	28	0.1443 0.1106	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
		Claude, TX, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	4	99- 100	298	綿実	32	0.1033 0.0750	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
		Groom, TX, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	4	98- 100	297	綿実	32	0.1210 0.0924	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
		Groom, TX, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	4	99	297	綿実	35	0.0954 0.0473	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002
		Groom, TX, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002
			3	4	99- 101	299	綿実	32	0.0258 0.0179	<0.002 <0.002	<0.002 <0.002

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度 (mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> ロキ サト <sup>®</sup>	F008	F048		
試験実施機関：SGS North America Inc. (米国 ジョージア州)													
綿	6.25% EC	Sanger, CA, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002		
			3	7	99- 103	303	綿実	39	0.0263	<0.002	<0.002		
		Fresno, CA, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002		
			3	7	95- 102	298	綿実	31	<0.010	<0.002	<0.002		
		Sanger, CA, 米国	-	-			綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002		
			3	7	100- 104	304	綿実	30	0.0149	<0.002	<0.002		
		綿	6.25% EC	Claude, TX, 米国	-	-			***	-	<0.002	<0.002	<0.002
					3	4	99- 100	298	***	32	7.9004	0.0268	<0.010
				Groom, TX, 米国	-	-			***	-	<0.002	<0.002	<0.002
3	4				98- 100	297	***	32	4.9605	0.0108	<0.002		
Groom, TX, 米国	-			-			***	-	<0.002	<0.002	<0.002		
	3			4	99	297	***	35	7.6344	0.0221	<0.010		
									8.4275	0.0292	<0.010		

全て broadcast 散布

綿実：繊維を取らない状態の綿実

\*\*\*: Gin byproducts

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF S. A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブ ラジル サンパウロ州)												
コーヒー	5% EC	Mogi Guacu, SP, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			3	49 52	100	300	豆	0	0.10	<0.002	<0.002	<0.002
								15	0.15	<0.002	<0.002	<0.002
								45	0.05	<0.002	<0.002	<0.002
							50	0.1	<0.002	<0.002	<0.002	
		Londrina, PR, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002
			3	60	100	300	豆	0	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
								15	0.02	<0.002	<0.002	<0.002
								30	0.01	<0.002	<0.002	<0.002
								45	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
							60	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
		Cambe, PR, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			3	60	100	300	豆	45	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002
		Araguari, MG, ブラジ ル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
3	61 59		100	300	豆	45	0.02	<0.002	<0.002	<0.002		

葉面散布



農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピロ キト	F002	F008	F048	
試験実施機関 : BASF S. A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)													
コーヒー	6.25% EC	Santo Antonio de Posse, SP, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
			3	30	75	225	豆	29	0.01	<0.002	<0.002	<0.002	
							豆	44	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002	
								豆	59	0.02	<0.002	<0.002	<0.002
		Rolandia, PR, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			3	30	75	225	豆	30	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
							豆	45	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
								豆	60	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		Londrina, PR, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			3	30	75	225	豆	45	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
		Cambe, PR, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			3	30	75	225	豆	45	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	

葉面散布

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)					
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピ キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048		
試験実施機関 : BASF S. A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブ ラジル サンパウロ州)														
コーヒー	5% EC	Cambe, PR, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
			3	60	100	300	豆	0	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002		
								15	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002		
								30	0.01	<0.002	<0.002	<0.002		
								45	0.01	<0.002	<0.002	<0.002		
								60	0.04	<0.002	<0.002	<0.002		
				Santo Antonio de Posse, SP, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		3	30- 60		100	300	豆	0	0.03	<0.002	<0.002	<0.002		
								15	0.07	<0.002	<0.002	<0.002		
								30	0.04	<0.002	<0.002	<0.002		
								45	0.03	<0.002	<0.002	<0.002		
							60	0.03	<0.002	<0.002	<0.002			
				Santo Antonio do Jardim, SP, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
		3	44 45		100	300	豆	45	0.03	<0.002	<0.002	<0.002		
		Matao, SP, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
3	46 43		100	300	豆	45	0.13	<0.002	<0.002	<0.002				

葉面散布

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサ <sup>®</sup> キト <sup>®</sup>	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF S. A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)												
コーヒー	16.7% CS	Santo Antonio do Jardim, SP, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	60	100. 2	300.6	豆	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
								35	0.020	<0.01	<0.01	<0.01
								45	0.027	<0.01	<0.01	<0.01
							60	0.033	<0.01	<0.01	<0.01	
		Dois Corregos, SP, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	60	100. 2	300.6	豆	45	0.076	<0.01	<0.01	<0.01
							60	0.037	<0.01	<0.01	<0.01	
		Araguari, MG, ブラジ ル	-	-	-	-	豆	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	60	100. 2	300.6	豆	0	0.013	<0.01	<0.01	<0.01
								35	0.012	<0.01	<0.01	<0.01
								45	0.021	<0.01	<0.01	<0.01
							60	0.021	<0.01	<0.01	<0.01	
		Indianopoli s, MG, ブラジ ル	-	-	-	-	豆	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	60	100. 2	300.6	豆	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
								35	0.014	<0.01	<0.01	<0.01
								45	0.022	<0.01	<0.01	<0.01
							60	0.020	<0.01	<0.01	<0.01	
		Cambe, PR, ブラジル	-	-	-	-	豆	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	60	100. 2	300.6	豆	45	0.039	<0.01	<0.01	<0.01
							60	0.018	<0.01	<0.01	<0.01	

葉面散布

農作物	剤型 (濃度)	試験実施 場所 (市,州,国)	回 数	散布 間隔 (日)	最大処理量 (g ai/ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(mg/kg)			
					1回 当り	1作 付け 当り			フルキサピ キト	F002	F008	F048
試験実施機関 : BASF S. A. Global Environmental and Consumer Safety Laboratory - GENCS (ブラジル サンパウロ州)												
コーヒー	16.7% SC	Araguari, MG, ブラジ ル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			3	60	100. 2	300.6	豆	0	0.043	<0.002	<0.002	<0.002
								35	0.050	<0.002	<0.002	<0.002
								45	0.041	<0.002	<0.002	<0.002
							60	0.020	<0.002	<0.002	<0.002	
		Irai de Minas, MG, ブラジ ル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			3	60	100. 2	300.6	豆	0	0.018	<0.002	<0.002	<0.002
								35	0.013	<0.002	<0.002	<0.002
								45	0.013	<0.002	<0.002	<0.002
							60	0.020	<0.002	<0.002	<0.002	
		Rolandia, PR, ブラジ ル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
			3	60	100. 2	300.6	豆	45	0.022	<0.002	<0.002	<0.002
								60	0.019	<0.002	<0.002	<0.002
		Jaguapita, PR, ブラジ ル	-	-	-	-	豆	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
3	60		100. 2	300.6	豆	45	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002		
						60	<0.01	<0.002	<0.002	<0.002		

葉面散布

<別紙5：畜産物残留試験（海外）>

①ウシ

試料	試験日	休薬日数	フルキサピロキサド (μg/g)				
			1群 対照	2群 通常量 EU	3群 通常量 US	4群 3倍量 US	5群 10倍量 US
乳汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00114 (0.00141)	0.00280 (0.00300)	0.0103 (0.0218)
	3	0	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	0.00167 (0.00280)	0.00378 (0.00433)	0.0144 (0.0253)
	5	0	ND	0.00101 (0.00104)	0.00181 (0.00289)	0.00405 (0.00480)	0.0132 (0.0275)
	7	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00167 (0.00281)	0.00517 (0.00631)	0.0146 (0.0265)
	10	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00186 (0.00295)	0.00446 (0.00457)	0.0154 (0.0374)
	14	0	ND	0.00109 (0.00128)	0.00152 (0.00252)	0.00360 (0.00462)	0.0123 (0.0295)
	17	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00153 (0.00259)	0.00389 (0.00442)	0.0130 (0.0271)
	21	0	<0.001 (<0.001)	0.00111 (0.00132)	0.00144 (0.00212)	0.00450 (0.00601)	0.0129 (0.0282)
	24	0	ND	0.00103 (0.00109)	0.00161 (0.00260)	0.00467 (0.00485)	0.0153 (0.0254)
	28	0	ND	0.00111 (0.00132)	0.00183 (0.00321)	0.00413 (0.00454)	0.0146 (0.0234)
	29	1	—	—	—	—	0.00409 (0.00565)
	30	2	—	—	—	—	0.00109 (0.00115)
	32	4	—	—	—	—	ND
	34	6	—	—	—	—	ND
35	7	—	—	—	—	ND	
脱脂乳 (21日)			<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	0.00234 (0.00526)
乳脂 (21日)			<0.001 (0.001)	0.00577 (0.00703)	0.00432 (0.00541)	0.0313 (0.0564)	0.135 (0.334)

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：検出下限未満（<0.000153 μg/g）、

—：試料なし

試料	試験日	休薬日数	代謝物 008 (μg/g)				
			1群 対照	2群 通常量 EU	3群 通常量 US	4群 3倍量 US	5群 10倍量 US
乳 汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	0.00105 (0.00115)	0.00120 (0.00160)	0.00295 (0.00349)	0.0108 (0.0153)
	3	0	ND	0.00118 (0.00134)	0.00148 (0.00245)	0.00336 (0.00398)	0.0143 (0.0227)
	5	0	ND	0.00122 (0.00143)	0.00177 (0.00261)	0.00389 (0.00454)	0.0128 (0.0225)
	7	0	ND	0.00124 (0.00142)	0.00164 (0.00268)	0.00460 (0.00534)	0.0160 (0.0260)
	10	0	ND	0.00108 (0.00124)	0.00157 (0.00228)	0.00400 (0.00532)	0.0129 (0.0228)
	14	0	ND	0.00102 (0.00107)	0.00130 (0.00175)	0.00251 (0.00352)	0.00973 (0.0114)
	17	0	ND	0.00104 (0.00112)	0.00133 (0.00198)	0.00315 (0.00437)	0.0118 (0.0165)
	21	0	ND	0.00104 (0.00113)	0.00124 (0.00171)	0.00346 (0.00408)	0.0108 (0.0168)
	24	0	ND	0.00138 (0.00170)	0.00163 (0.00251)	0.00395 (0.00488)	0.0147 (0.0261)
	28	0	ND	0.00146 (0.00170)	0.00160 (0.00251)	0.00325 (0.00436)	0.0157 (0.0290)
	29	1	—	—	—	—	0.00494 (0.00905)
	30	2	—	—	—	—	0.00132 (0.00196)
	32	4	—	—	—	—	ND
	34	6	—	—	—	—	ND
35	7	—	—	—	—	ND	
脱脂乳 (21日)			<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	0.00132 (0.00178)	0.00370 (0.00479)
乳脂 (21日)			<0.001 (0.001)	0.00365 (0.00522)	0.00287 (0.00493)	0.0160 (0.0198)	0.0721 (0.0984)

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個別最大値、ND : 検出下限未満(<0.000232 μg/g)、

— : 試料なし

試料	試験日	休薬日数	代謝物 002 (μg/g)				
			1群 対照	2群 通常量 EU	3群 通常量 US	4群 3倍量 US	5群 10倍量 US
乳 汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
	3	0	ND	<0.001 (<0.001)	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	5	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	7	0	<0.001 (<0.001)	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
	10	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	14	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 <sup>1)</sup> (<0.001 <sup>1)</sup> )
	17	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	21	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	24	0	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
	28	0	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 <sup>1)</sup> (<0.001 <sup>1)</sup> )
	29	1	—	—	—	—	<0.001 (<0.001)
	30	2	—	—	—	—	ND
	32	4	—	—	—	—	ND
	34	6	—	—	—	—	ND
35	7	—	—	—	—	ND	
脱脂乳 (21日)			<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
乳脂 (21日)			<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個別別最大値、

ND：非検出又は検出下限未満(<0.0000487 μg/g)、—：試料なし、

1)：改良法による再分析結果を含む

試験群		休薬日数	フルキサピロキサド (μg/g)			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.0105 (0.0108)
3	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0128 (0.0145)	<0.01 (<0.01)	0.0193 (0.0241)
4	3倍量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0308 (0.0317)	<0.01 (<0.01)	0.0447 (0.0585)
5	10倍量 US	0	0.0108 (0.0124)	0.0846 (0.0939)	0.0143 (0.0192)	0.147 (0.171)
		2	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		5	ND	ND	<0.01	<0.01
		7	ND	ND	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：非検出又は検出下限未満

試験群		休薬日数	代謝物 008 (μg/g)			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0229 (0.0318)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0379 (0.0513)	0.0105 (0.0114)	<0.01 (<0.01)
4	3倍量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0875 (0.111)	0.0166 (0.0213)	0.0246 (0.0321)
5	10倍量 US	0	0.0244 (0.0314)	0.255 (0.347)	0.0504 (0.0757)	0.108 (0.125)
		2	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		5	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		7	ND	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：非検出又は検出下限未満



試験群		休薬日数	代謝物 002 (μg/g)			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 US	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量 US	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10 倍量 US	0	ND <sup>1)</sup>	ND <sup>1)</sup>	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )
		2	ND	ND	<0.01	<0.01
		5	ND	ND	<0.01	<0.01
		7	ND	ND	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：非検出又は検出下限未満、  
1)：改良法による再分析結果を含む

②ニワトリ

試料	試験日	休薬日数	フルキサピロキサド (μg/g)				
			1群 <sup>1)</sup> 対照	2群 通常量 US	3群 通常量 EU	4群 3倍量 EU	5群/6群 <sup>2)</sup> 10倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (0.00168)
	1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00248 (0.00327)
	3	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00179)	0.00294 (0.00376)
	5	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00135 (0.00159)	0.00648 (0.0124)
	7	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00128 (0.00148)	0.00529 (0.00543)
	9	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00180)	0.00432 (0.00585)
	13	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (0.00170)	0.00122 (0.00131)	0.00299 (0.00348)
	16	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00109 (0.00127)	0.0413 (0.0474)
	20	0	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00166 (0.00211)	0.00396 (0.00538)
	23	0	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00212)	0.00170 (0.00309)	0.00196 (0.00269)	0.00453 (0.00643)
	27	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00277 (0.00451)	0.00432 (0.00585)
	27	0	—	—	—	—	0.00413 (0.00589)
	28	0	<LOQ	—	—	—	0.00363 (0.00441)
	30	2	ND	—	—	—	0.00158 (0.00165)
	32	4	ND	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
	34	8	ND	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
	36	10	ND	—	—	—	ND
38	12	ND	—	—	—	ND	
40	14	ND	—	—	—	ND	
41	15	ND	—	—	—	ND	

数値上段は群平均値、下段 ( ) 内は亜群別最大値、

ND : 検出下限未満(<0.000191 μg/g) 、LOQ : 定量下限(0.001 μg/g)、— : 試料なし

1) : 休薬期間(6群)の対照4例(28~41日)を含む、2) : 5群は-1~27日、6群は27~41日

試料	試験日	休薬日数	代謝物 008 (μg/g)				
			1群 <sup>1)</sup> 対照	2群 通常量 US	3群 通常量 EU	4群 3倍量 EU	5群/6群 <sup>2)</sup> 10倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00101 (0.00104)	0.00339 (0.00626)
	3	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00251 (0.00307)	0.00593 (0.00898)
	5	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00121 (0.00125)	0.00427 (0.00490)	0.0127 (0.0184)
	7	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00142 (0.00168)	0.00408 (0.00441)	0.0115 (0.0143)
	9	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00425 (0.00518)	0.0122 (0.0132)
	13	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00128 (0.00148)	0.00379 (0.00400)	0.00895 (0.0138)
	16	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00166 (0.00207)	0.00307 (0.00375)	0.0106 (0.0123)
	20	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00130 (0.00152)	0.00477 (0.00545)	0.00854 (0.0140)
	23	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00107 (0.00110)	0.00435 (0.00485)	0.00862 (0.0118)
	27	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00111 (0.00119)	0.00412 (0.00520)	0.0122 (0.0132)
	27	0	—	—	—	—	0.0114 (0.0147)
	28	0	ND	—	—	—	0.0111 (0.0127)
	30	2	ND	—	—	—	0.00720 (0.00811)
	32	4	ND	—	—	—	0.00447 (0.00518)
	34	6	ND	—	—	—	0.00118 (0.00126)
	36	8	ND	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
	38	12	ND	—	—	—	ND
40	14	ND	—	—	—	ND	
41	15	ND	—	—	—	ND	

数値上段は群平均値、下段 ( ) 内は亜群別最大値、

ND : 検出下限未満(<0.000142 μg/g)、LOQ : 定量下限(0.001 μg/g)、— : 試料なし

1) : 休薬期間(6群)の対照4例(28~41日)を含む、2) : 5群は-1~27日、6群は27~41日

試料	試験日	休薬日数	代謝物 002 (μg/g)				
			1群 <sup>1)</sup> 対照	2群 通常量 US	3群 通常量 EU	4群 3倍量 EU	5群/6群 <sup>2)</sup> 10倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (0.00100)	ND	<LOQ (<LOQ)
	1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	3	0	ND	ND	ND	ND	ND
	5	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND
	7	0	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)
	9	0	ND	ND	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	13	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	16	0	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)
	20	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	23	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	27	0	ND	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND
	27	0	—	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
	28	0	<LOQ	—	—	—	ND
	30	2	ND	—	—	—	ND
	32	4	ND	—	—	—	ND
	34	6	ND	—	—	—	<LOQ (<LOQ)
	36	8	ND	—	—	—	ND
38	12	ND	—	—	—	ND	
40	14	ND	—	—	—	ND	
41	15	ND	—	—	—	ND	

数値上段は群平均値、下段 ( ) 内は亜群別最大値、

ND : 検出下限未満(<0.000107 μg/g) 、LOQ : 定量下限(0.001 μg/g)、— : 試料なし

1) : 休薬期間(6群)の対照4例(28~41日)を含む、2) : 5群は-1~27日、6群は27~41日

試験群		休薬 日数	フルキサピロキサド (μg/g)			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.0251 (0.0278)
6	10倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個別別最大値

試験群		休薬 日数	代謝物 008 (μg/g)			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0104 (0.0111)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0143 (0.0184)	<0.01 (<0.01)	0.141 (0.157)
6	10倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個別別最大値

試験群		休薬 日数	代謝物 002 (μg/g)			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10 倍量 EU	0	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )	<0.01 <sup>1)</sup> (<0.01 <sup>1)</sup> )
6	10 倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段 ( ) 内は個別最大値

1) : 改良法による再分析結果を含む

<別紙6：推定摂取量>

農畜産物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：55.1 kg)		小児(1～6歳) (体重：16.5 kg)		妊婦 (体重：58.5 kg)		高齢者(65歳以上) (体重：56.1 kg)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)
小麦	0.804	59.8	48.1	44.3	35.6	69	55.5	49.9	40.1
てんさい	0.052	32.5	1.69	27.7	1.44	41.1	2.14	33.2	1.73
みかん	0.090	17.8	1.60	16.4	1.48	0.6	0.05	26.2	2.36
その他のかんきつ類果実	1.50	5.9	8.85	2.7	4.05	2.5	3.75	9.5	14.3
りんご	1.34	24.2	32.4	30.9	41.4	18.8	25.2	32.4	43.4
日本なし	0.556	6.4	2.85	3.4	1.52	9.1	4.06	7.8	3.48
西洋なし	0.556	0.6	0.27	0.2	0.09	0.1	0.04	0.5	0.22
もも	0.056	3.4	0.19	3.7	0.21	5.3	0.30	4.4	0.25
ネクタリン	0.655	0.1	0.07	0.1	0.07	0.1	0.07	0.1	0.07
すもも	0.174	1.1	0.19	0.7	0.12	0.6	0.10	1.1	0.19
うめ	2.88	1.4	4.03	0.3	0.86	0.6	1.73	1.8	5.18
おうとう	2.70	0.4	1.08	0.7	1.89	0.1	0.27	0.3	0.81
その他のスパイス	11.0	0.1	1.10	0.1	1.10	0.1	1.10	0.2	2.20
牛・筋肉と脂肪	0.0193	15.3	0.30	9.7	0.19	20.9	0.40	9.9	0.19
牛・肝臓	0.0128	0.1	0.00	0.0	0.00	1.4	0.02	0.0	0.00
牛・その他食用部分	0.0193	0.5	0.01	0	0.00	3.4	0.07	0.4	0.01
豚・筋肉と脂肪	0.0193	42.0	0.81	33.4	0.64	43.2	0.83	30.6	0.59
豚・肝臓	0.0128	0.1	0.00	0.5	0.01	0	0.00	0.1	0.00
豚・その他食用部分	0.0193	0.6	0.01	0.3	0.01	0.1	0.00	0.4	0.01
その他陸棲哺乳類・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分	0.0193	0.4	0.01	0.1	0.00	0.4	0.01	0.4	0.01
乳	0.00186	264	0.49	332	0.62	365	0.68	216	0.40
鶏卵	0.00170	41.3	0.07	32.8	0.06	47.8	0.08	37.7	0.06
その他の家きんの卵	0.00170	0.3	0.00	0.4	0.00	0.3	0.00	0.3	0.00
合計			105		91.8		97.4		116

注) ・農産物の残留値は、登録又は申請されている使用時期・回数による各試験区のフルキサピロキサドの平均残留値のうち最大値を用いた(別紙3参照)。

・畜産物の残留値は、通常量(EU/US)投与群におけるフルキサピロキサドの平均値のうち最大値を用いた(参照別紙5)。

・「ff」：平成17～19年の食品摂取頻度・摂取量調査(参照96)の結果に基づく食品摂取量(g/人/日)

・「摂取量」：残留値及び食品摂取量から求めたフルキサピロキサドの推定摂取量(μg/人/日)

・『みかん』については、温州みかんの果肉の値を用いた。

・『その他のかんきつ類果実』についてはかぼす、すだち及びゆずのうち、残留値の高いかぼすの値を用いた。

・『西洋なし』については、日本なしの値を用いた。

・『もも』については、ももの果肉の値を用いた。

・『その他のスパイス』については、温州みかん(果皮)の値を用いた。

- ・『ばれいしょ』については、全データが定量限界未満であったため、摂取量の計量に用いなかった。
- ・豚の残留値は、牛に係る推定摂取量の算出に用いた残留値を豚の同じ種類の組織に用いた。
- ・『牛・その他食用部分』及び『その他陸棲哺乳類・筋肉と脂肪と肝臓と腎臓と食用部分』については、牛に係る推定摂取量の算出に用いた残留値のうち最大値を用いた。
- ・『牛・腎臓』、『鶏・筋肉と脂肪』、『鶏・肝臓』、『鶏・腎臓』及び『鶏・その他食用部分』については、通常量 (EU/US) 投与群におけるフルキサピロキサドの残留値がいずれも定量限界未満であったことから、推定摂取量の計算に用いなかった。
- ・『その他の家きんの卵』については、鶏卵の値を用いた。



<参照>

1. 農薬抄録フルキサピロキサド（平成 24 年 7 月 2 日改訂）：BASF ジャパン株式会社、一部公表
2. <sup>14</sup>C-標識体のラットにおける動態試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
3. <sup>14</sup>C-標識体のラットにおける生体内代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
4. <sup>4</sup>C-標識体のヤギにおける動態試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
5. <sup>4</sup>C-標識体のヤギにおける生体内代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
6. 産卵鶏における吸収、分布、排泄および排泄試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
7. 産卵鶏における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
8. <sup>14</sup>C-標識体のトマトにおける代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
9. <sup>14</sup>C-標識体の大豆茎葉処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
10. <sup>14</sup>C-標識体の小麦茎葉処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
11. <sup>14</sup>C-標識体の小麦種子処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
12. 好氣的土壤中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
13. 好氣的土壤中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
14. 好氣的土壤中分解速度試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
15. 好氣的土壤中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
16. 土壌吸脱着試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
17. 加水分解動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
18. 水中光分解試験（緩衝液）（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
19. 水中光分解試験（自然水）（GLP 対応）：BASF SE、2010 年、未公表
20. 泌乳牛における乳汁および組織中残留試験（GLP 対応）：Charles River、2009 年、未公表
21. 産卵鶏における卵および組織中残留試験（GLP 対応）：Charles River、2010 年、未公表
22. BAS700F のマウスおよびラットにおける毒性薬理試験ラットにおける急性経口毒性試験（GLP 対応）：食品農医薬品安全性評価センター、2010 年、未公表
23. ラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：Centre International de Toxicologie、2008 年、未公表

24. ラットを用いた急性経皮毒性試験（GLP対応）：Centre International de Toxicologie、2008年、未公表
25. ラットを用いた粉塵ダストによる急性吸入毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2008年、未公表
26. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
27. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
28. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
29. Wistar系ラットを用いた急性経口神経毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
30. ウサギを用いた皮膚刺激性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2006年、未公表
31. ウサギを用いた眼刺激性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
32. モルモットを用いた皮膚感作性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
33. ラットを用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
34. マウスを用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
35. ビーグル犬を用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
36. ラットを用いた90日間反復経口投与神経毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
37. ビーグル犬を用いた12カ月間反復経口投与慢性毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
38. マウスを用いた18カ月間反復経口投与発癌性併合試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、2010年（改訂版）、未公表
39. ラットを用いた12カ月間および24カ月間反復経口投与慢性毒性・発癌性併合試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
40. ラットを用いた2世代繁殖毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
41. ラットを用いた催奇形性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
42. ウサギを用いた催奇形性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表

43. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
44. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
45. チャイニーズハムスター卵巣細胞（CHO-K1細胞株）を用いた遺伝子突然変異試験：HPRT試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2007年、未公表
46. チャイニーズハムスター卵巣細胞（CHO-K1細胞株）を用いた遺伝子突然変異試験：HPRT試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
47. チャイニーズハムスターV79細胞を用いた*in vitro*染色体異常誘発性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
48. チャイニーズハムスターV79細胞を用いた*in vitro*染色体異常誘発性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
49. 経口投与によるマウス骨髄細胞小核試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2006年、未公表
50. 腹腔内投与によるマウス骨髄細胞小核試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
51. 経口投与ラットの肝細胞を用いた*in vivo*不定期DNA合成試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
52. 静脈内投与ラットの肝細胞を用いた*in vivo*不定期DNA合成試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
53. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
54. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2007年、未公表
55. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
56. ラットを用いた肝酵素誘導試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
57. ラットを用いた甲状腺機能試験（パークロレート放出試験）（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
58. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-1（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
59. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-2（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
60. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-3（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
61. US EPA : Pesticide Fact Sheet. Fluxapyroxad. (2012)

62. EFSA : Conclusion on the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance fluxapyroxad. (2012)
63. 食品健康影響評価について（平成 24 年 8 月 21 日付け厚生労働省発 0821 第 3 号）
64. 食品健康影響評価の通知について（平成 25 年 4 月 1 日付け府食第 247 号）
65. 食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）の一部を改正する件（平成 26 年 10 月 3 日付け、平成 26 年厚生労働省告示第 390 号）
66. 農薬抄録フルキサピロキサド（平成 25 年 5 月 29 日改訂）：BASF ジャパン株式会社、一部公表
67. フルキサピロキサドインポートトレランス（2 次申請）：BASF ジャパン株式会社、未公表
68. フルキサピロキサド海外作物残留試験成績：BASF ジャパン株式会社、2014 年、未公表
69. 食品健康影響評価について（平成 26 年 9 月 9 日付け厚生労働省発食安 0909 第 5 号）
70. 食品健康影響評価の通知について（平成 27 年 3 月 3 日付け府食第 169 号）
71. 食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）の一部を改正する件（平成 27 年 12 月 22 日付け、平成 27 年厚生労働省告示第 477 号）
72. 食品健康影響評価について（平成 29 年 8 月 30 日付け厚生労働省発生食 0830 第 9 号）
73. 農薬抄録フルキサピロキサド（平成 28 年 2 月 25 日改訂）：BASF ジャパン株式会社、一部公表
74. 土壌残留試験成績：BASF ジャパン株式会社、2011 年、未公表
75. 国内作物残留試験成績（小麦、もも）（GLP 対応）：日本植物防疫協会、2013、2014 年、未公表
76. 代謝物 F001 のラットを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
77. 代謝物 F002 のラットを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
78. 代謝物 F048 のラットを用いた 28 日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
79. 代謝物 F001 のウサギを用いた催奇形性試験（GLP 対応）：BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
80. 代謝物 F002 のウサギを用いた催奇形性試験（GLP 対応）：BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
81. 代謝物 F048 のウサギを用いた催奇形性試験（GLP 対応）：BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
82. 代謝物 F001 のチャイニーズハムスター卵巣細胞を用いた遺伝子突然変異試験

- (HPRT 試験) (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
83. 代謝物 F001 のチャイニーズハムスター-V79 細胞を用いた *in vitro* 染色体異常誘発性試験 (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
  84. 代謝物 F001 のマウスにおける小核試験 (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
  85. 代謝物 F002 のチャイニーズハムスター卵巣細胞を用いた遺伝子突然変異試験 (HPRT 試験) (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2008 年、未公表
  86. 代謝物 F002 のチャイニーズハムスター-V79 細胞を用いた *in vitro* 染色体異常誘発性試験 (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2008 年、未公表
  87. 代謝物 F002 のマウス骨髄細胞を用いた小核試験 (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
  88. 代謝物 F048 のチャイニーズハムスター卵巣細胞を用いた遺伝子突然変異試験 (HPRT 試験) (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
  89. 代謝物 F048 のチャイニーズハムスター-V79 細胞を用いた *in vitro* 染色体異常誘発性試験 (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
  90. 代謝物 F048 のマウスにおける小核試験 (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
  91. 代謝物 F048 のラット単回投与によるラット肝細胞を用いた *in vivo* 不定期 DNA 合成試験 (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
  92. マウスを用いた免疫毒性試験 (GLP 対応) : BASF 毒性研究所、2009 年、未公表
  93. 海外作物残留試験成績 : BASF ジャパン株式会社、2011~2015 年、未公表
  94. JMPR① : Pesticide residues in food 2012. Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues. Report. (2012)
  95. JMPR② : Pesticide residues in food 2012. Joint FAO/WHO Meeting on Pesticide Residues. Toxicological evaluations. (2012)
  96. 平成 17~19 年の食品摂取頻度・摂取量調査 (薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会資料、2014 年 2 月 20 日)
  97. 食品健康影響評価の結果の通知について (平成 29 年 12 月 12 日付け府食第 802 号)
  98. 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 31 年 1 月 22 日付け厚生労働省告示第 9 号)
  99. 食品健康影響評価について (令和 4 年 10 月 19 日付け厚生労働省発食 1019 第 10 号)
  100. 農薬抄録フルキサピロキサド (令和 3 年 9 月 30 日改訂) : BASF ジャパン株式会社、一部公表
  101. インポートトレランス申請資料 フルキサピロキサド (令和 4 年 6 月 28 日) : BASF ジャパン株式会社、未公表

102. フルキサピロキサドフロアブル 温州みかん 作物残留試験最終報告書 (GLP 対応) : 一般社団法人日本植物防疫協会、2020 年、未公表
103. フルキサピロキサドフロアブル 温州みかん 作物残留試験最終報告書 (GLP 対応) : 一般社団法人日本植物防疫協会、2021 年、未公表
104. フルキサピロキサドフロアブル かぼす 作物残留試験における残留分析試験 : 株式会社日曹分析センター、2019 年、未公表
105. フルキサピロキサドフロアブル すだち 作物残留試験における残留分析試験 : 株式会社日曹分析センター、2019 年、未公表
106. フルキサピロキサドフロアブル ゆず 作物残留試験における残留分析試験 : 株式会社日曹分析センター、2020 年、未公表
107. フルキサピロキサドフロアブル りんご 作物残留試験最終報告書 (GLP 対応) : 一般社団法人日本植物防疫協会、2019 年、未公表
108. フルキサピロキサドフロアブル りんご 作物残留試験最終報告書 (GLP 対応) : 一般社団法人日本植物防疫協会、2020 年、未公表
109. フルキサピロキサドフロアブル 日本なし 作物残留試験最終報告書 (GLP 対応) : 一般社団法人日本植物防疫協会、2019 年、未公表
110. フルキサピロキサドフロアブル 日本なし 作物残留試験最終報告書 (GLP 対応) : 一般社団法人日本植物防疫協会、2020 年、未公表
111. フルキサピロキサドフロアブル もも 作物残留試験最終報告書 (GLP 対応) : 一般社団法人日本植物防疫協会、2020 年、未公表
112. フルキサピロキサドフロアブル ネクタリン 作物残留試験における残留分析試験 : 株式会社日曹分析センター、2019 年、未公表
113. フルキサピロキサドフロアブル うめ 作物残留試験における残留分析試験 (GLP 対応) : 株式会社日曹分析センター、2019 年、未公表
114. フルキサピロキサドフロアブル すもも 作物残留試験における残留分析試験 : 株式会社日曹分析センター、2019 年、未公表
115. フルキサピロキサドフロアブル おうとう 作物残留試験における残留分析試験 : 株式会社日曹分析センター、2019 年、未公表